

青苗B遺跡

～萬徳寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～

1998年度

奥尻町教育委員会

青苗 B 遺跡

～萬徳寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～

1998年度

奥尻町教育委員会

例　　言

1. 本書は“萬徳寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書”である。
2. 本書の編集は木村哲朗が担当し、木村・安西が分担執筆した。文責は、第Ⅰ章、第1節～第5節（1 土器、第Ⅱ章、第Ⅲ章、第1節P-1～4・6・7・10～12、第2節、B-1～4・6～15、第3節、第4節、F・C-1～17・21・22、第5・6節、第Ⅳ章、第1節、第V章は木村が第Ⅰ章、第5節（2 石器、第Ⅲ章、第1節P-2・5・6、第2節B-5、第4節F・C-19・20、第Ⅳ章、第2節が安西がおこなった。
3. フローテーション水洗についてはエーテック環境科学研究所に依頼した。またフローテーション水洗・選別については泊村教育委員会ヘロカルウス遺跡発掘調査事務所の小柳リラコ氏に様々な助言・指導をいただいた。
4. 遺物の写真撮影は“スタジオ C R E E K ”の佐藤雅彦氏に委託し、一部木村がおこなった。現場の写真撮影は木村と安西がおこなった。
5. 骨片集中範囲出土の動物遺存体の分析については、国立人類学博物館の西本豊弘氏に、炭化種子については札幌国際大学の吉崎昌一氏および北海道大学埋蔵文化財研究室の椿坂恭代氏に鑑定をお願いし、椿坂氏については、原稿を頂いた。
6. 整理作業の分担は以下の通りである。
土器復元：天内千秋、大崎恵美子、工藤竹美、近藤美佐子
土器実測：木村哲朗、トレース：近藤美佐子
上器拓本：天内千秋、土器断面実測：工藤竹美
石器実測、トレース：大橋敏子、柳谷とし子
石器計測：大橋敏子、柳谷とし子、高山和孝
フローテーション選別：石見優子
8. 調査を進めるにあたり、下記の機関、人々よりご指導、ご助言、ご協力を頂いた。
北海道教育厅、大沼忠春、田才雅彦、種市幸生、泊村教育委員会 小柳リラコ、高山誠、田部淳
国立人類学博物館 西本豊弘、札幌国際大学 吉崎昌一、北海道大学埋蔵文化財研究室 椿坂恭代
北海道開拓記念館、右代啓視、野村崇、北海道電力（株）古田玄一。

凡例

1. 本書の略語は以下のように用いた。

(1) 遺構

土壤：P, 骨片集中範囲：B, 焼土：F, 炭化物集中範囲：C,
フレイクチップ集中範囲：F C, 石組遺構：S, 小ピット：S P.

(2) 遺物

土器：P, 剥片類：F, 磬類：S.

(3) 地層

渡島大島火山灰：O s - a, 白頭山-苦小牧火山灰：B-T m,

2. 本書の挿図の縮尺は原則として以下のように示したが、これ以外のものはスケールを参照されたい。

図II-1 : 1/25000, 図II-2 : 1/2000, 遺構図 : 1/40, 復元土器 : 1/4,

朽木上器・礫石器 : 1/3, 剥片石器 : 1/2.

3. 本書の一覧表等の計測単位記載を以下のように統一した。

遺構平面図, 土層断面図 : m, 遺物 : cm, g.

4. 遺跡分布図や遺構分布図, 遺構平面図などの向きは方位で記す。

5. 焼土及び, 石器のアスファルト・タール付着部はスクリーントーンを貼って示す。

目 次

序
例 言
凡 例
目 次
挿図目次
挿表目次
写真図版目次

第Ⅰ章 調査の概要	1
第1節 調査要項	1
第2節 調査体制	1
第3節 調査の経緯	1
第4節 発掘区の設定と調査方法	1
第5節 遺物の分類	2
第Ⅱ章 遺跡の位置と環境	4
第1節 奥尻島の遺跡	4
第2節 位置と環境	4
第3節 基本層序	7
第Ⅲ章 遺構	10
第1節 土 壤	10
第2節 骨片集中範囲	15
第3節 焼 土	20
第4節 フレイク・チップ集中範囲	21
第5節 その他の遺構	27
第Ⅳ章 遺 物	30
第1節 土 器	30
第2節 石 器	83
第Ⅴ章 関連科学	
青苗B遺跡出土の炭化種子について	132
第VI章 総 括	136
写真図版	148

挿図目次

図 I - 1 小グリット配置図	2	図 IV - 20 包含層出土土器 (20)	58
図 I - 2 グリット配置図	2	図 IV - 21 包含層出土上器 (21)	60
		図 IV - 22 包含層出土上器 (22)	61
図 II - 1 青苗周辺の遺跡分布図	5	図 IV - 23 包含層出土上器 (23)	63
図 II - 2 青苗B遺跡とその周辺	6	図 IV - 24 包含層出土上器 (24)	65
図 II - 3 発掘区の地形図	7	図 IV - 25 包含層出土土器 (25)	66
図 II - 4 上層断面位置図	8	図 IV - 26 包含層出土土器 (26)	68
図 II - 5 上層断面図	9	図 IV - 27 包含層出土土器 (27)	70
		図 IV - 28 包含層出土土器 (28)	71
図 III - 1 遺構分布図	11	図 IV - 29 包含層出土土器 (29)	72
図 III - 2 遺構図 (1)	12	図 IV - 30 包含層出土石器 (1)	84
図 III - 3 遺構図 (2)	13	図 IV - 31 包含層出土石器 (2)	90
図 III - 4 遺構図 (3)	18	図 IV - 32 包含層出土石器 (3)	92
図 III - 5 遺構図 (4)	19	図 IV - 33 包含層出土石器 (4)	93
図 III - 6 遺構図 (5)	24	図 IV - 34 包含層出土石器 (5)	94
図 III - 7 遺構出土遺物 (1)	25	図 IV - 35 包含層出土石器 (6)	95
図 III - 8 遺構出土遺物 (2)	26	図 IV - 36 包含層出土石器 (7)	96
図 III - 9 遺構出土遺物 (3)	27	図 IV - 37 包含層出土石器 (8)	103
		図 IV - 38 包含層出土石器 (9)	104
図 IV - 1 包含層出土上器 (1)	31	図 IV - 39 包含層出土石器 (10)	115
図 IV - 2 包含層出土土器 (2)	32	図 IV - 40 包含層出土石器 (11)	117
図 IV - 3 包含層出土上器 (3)	34	図 IV - 41 包含層出土石器 (12)	118
図 IV - 4 包含層出土土器 (4)	35	図 IV - 42 包含層出土石器 (13)	119
図 IV - 5 包含層出土土器 (5)	36	図 IV - 43 包含層出土石器 (14)	120
図 IV - 6 包含層出土土器 (6)	38	図 IV - 44 包含層出土石器 (15)	121
図 IV - 7 包含層出土土器 (7)	39	図 IV - 45 包含層出土石器 (16)	122
図 IV - 8 包含層出土土器 (8)	40	図 IV - 46 包含層出土石器 (17)	123
図 IV - 9 包含層出土土器 (9)	42	図 IV - 47 包含層出土石器 (18)	123
図 IV - 10 包含層出土土器 (10)	43	図 IV - 48 包含層遺物分布 (1)	125
図 IV - 11 包含層出土上器 (11)	44	図 IV - 49 包含層遺物分布 (2)	125
図 IV - 12 包含層出土土器 (12)	46	図 IV - 50 包含層遺物分布 (3)	125
図 IV - 13 包含層出土土器 (13)	47	図 IV - 51 包含層遺物分布 (4)	125
図 IV - 14 包含層出土土器 (14)	49	図 IV - 52 包含層遺物分布 (5)	125
図 IV - 15 包含層出土土器 (15)	51	図 IV - 53 包含層遺物分布 (6)	125
図 IV - 16 包含層出土土器 (16)	53	図 IV - 54 包含層遺物分布 (7)	125
図 IV - 17 包含層出土土器 (17)	54		
図 IV - 18 包含層出土土器 (18)	56	図 VI - 1 時期別遺構分布図	137
図 IV - 19 包含層出土土器 (19)	57	図 VI - 2 IV群a類上器分布	139

插表目次

図VI-3	IV群b類土器分布	140
図VI-4	II層出土遺物分布(1)	141
図VI-5	II層出土遺物分布(2)	142
図VI-6	II層出土遺物分布(3)	143
図VI-7	II層出土遺物分布(4)	144
図VI-8	II層出土遺物分布(5)	145
表III-1	土壤一覧表	28
表III-2	骨片集中範囲一覧表	28
表III-3	焼土一覧表	28
表III-4	フレイク・チップ集中範囲一覧表(1)	28
表III-5	フレイク・チップ集中範囲一覧表(2)	29
表III-6	石組構造一覧表	29
表III-7	炭化物集中範囲一覧表	29
表III-8	小ピット一覧表	29
表IV-1	復元土器一覧表(1)	73
表IV-2	復元土器一覧表(2)	74
表IV-3	復元土器一覧表(3)	75
表IV-4	拓本土器一覧表(1)	76
表IV-5	拓本土器一覧表(2)	77
表IV-6	拓本土器一覧表(3)	78
表IV-7	拓本土器一覧表(4)	79
表IV-8	拓本土器一覧表(5)	80
表IV-9	拓本土器一覧表(6)	81
表IV-10	拓本土器一覧表(7)	82
表IV-11	石鏃一覧表(1)	85
表IV-12	石鏃一覧表(2)	86
表IV-13	石鏃一覧表(3)	87
表IV-14	石鏃一覧表(4)	88
表IV-15	石鏃一覧表(5)	89
表IV-16	石鋸一覧表	89
表IV-17	石錐一覧表(1)	90
表IV-18	石錐一覧表(2)	91
表IV-19	楔形石器一覧表	92
表IV-20	抉入石器一覧表	92
表IV-21	つまみ付きナイフ一覧表(1)	96
表IV-22	つまみ付きナイフ一覧表(2)	97
表IV-23	削器一覧表(1)	97
表IV-24	削器一覧表(2)	98
表IV-25	削器一覧表(3)	99
表IV-26	削器一覧表(4)	100
表IV-27	削器一覧表(5)	101
表IV-28	削器一覧表(6)	102
表IV-29	搔器一覧表(1)	104

表IV-30	捶器一覧表(2)	105
表IV-31	捶器一覧表(3)	106
表IV-32	Rフレイク一覧表(1)	106
表IV-33	Rフレイク一覧表(2)	107
表IV-34	Rフレイク一覧表(3)	108
表IV-35	Rフレイク一覧表(4)	109
表IV-36	Rフレイク一覧表(5)	110
表IV-37	Rフレイク一覧表(6)	111
表IV-38	Rフレイク一覧表(7)	112
表IV-39	Rフレイク一覧表(8)	113
表IV-40	Rフレイク一覧表(9)	114
表IV-41	Uフレイク一覧表	114
表IV-42	石核一覧表(1)	115
表IV-43	石核一覧表(2)	116
表IV-44	石製品一覧表	116
表IV-45	石斧一覧表	119
表IV-46	すり石一覧表	120
表IV-47	砥石一覧表	120
表IV-48	たたき石一覧表(1)	121
表IV-49	たたき石一覧表(2)	122
表IV-50	石錘一覧表	122
表IV-51	石皿一覧表	123
表IV-52	台石一覧表	124
表V-1	青苗B遺跡出土炭化種子表	134

写真図版目次

図版1	遺跡全景・発掘風景	147
図版2	P-1～P-6	148
図版3	P-7～B-3	149
図版4	B-6～B-10	150
図版5	F-C-4～F-C-13	151
図版6	F-C-15～SP-6	152
図版7	SP-7～8～F-C-16IV群b類土器	153
図版8	IV群b類土器出土状況～台石出土状況	154
図版9	遺構出土遺物(1)	155
図版10	遺構出土遺物(2)	156
図版11	包含層出土土器(1)	157
図版12	包含層出土土器(2)	158
図版13	包含層出土土器(3)	159
図版14	包含層出土土器(4)	160
図版15	包含層出土土器(5)	161
図版16	包含層出土土器(6)	162
図版17	包含層出土土器(7)	163
図版18	包含層出土土器(8)	164
図版19	包含層出土土器(9)	165
図版20	包含層出土土器(10)	166
図版21	包含層出土土器(11)	167
図版22	包含層出土土器(12)	168
図版23	包含層出土土器(13)	169
図版24	包含層出土土器(14)	170
図版25	包含層出土土器(15)	171
図版26	包含層出土土器(16)	172
図版27	包含層出土土器(17)	173
図版28	包含層出土土器(18)	174
図版29	包含層出土土器(19)	175
図版30	包含層出土土器(20)	176
図版31	包含層出土石器(1)	177
図版32	包含層出土石器(2)	178
図版33	包含層出土石器(3)	179
図版34	包含層出土石器(4)	180
図版35	包含層出土石器(5)	181

関連科学写真図版目次

図版1	炭化種子	136
-----	------------	-----

第Ⅰ章 調査の概要

1節 調査要項

事業名	萬徳寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査
原因者	九鬼 恵隆
調査者	奥尻町教育委員会
遺跡名	青苗B遺跡 北海道教育委員会登載番号(C-07-07)
所在地	奥尻郡奥尻町字青苗299
調査面積	815m ²
調査期間	平成9年5月6日～平成10年3月31日（現場期間、平成9年7月4日まで）

2節 調査体制

奥尻町教育委員会	教育長	加藤 堅寿
	課長	高田 延三（平成9年度） 山下 育三（同10年度）
	係長	泉沢 克尚
	学芸員（調査員）	木村 哲朗
	調査補助員	安西 雅希（平成9年度）

3節 調査の経緯

平成5年7月12日に発生した、北海道南西沖地震による津波の襲来により、奥尻島は大きな打撃を被った。中でも青苗地区は地区の大半を津波とその後の火災で失った。萬徳寺も例外でなく、津波により流された。その後、萬徳寺門徒22人から、寺院再建の要望があり、平成9年度建設の計画を立てた。しかし、以前から青苗B遺跡として登載されている地点であったため、平成8年5月13日、北海道教育委員会の立会を行い、その結果、寺の敷地内全体が包含層である事が判明した。町との協議の結果、平成9年度において発掘調査することになった。しかし、寺院建設に多額の費用がかかるなど、自力では発掘調査費は捻出できず、国からの補助を受けて調査することとなり、体制を固めた。調査を進めるにつれ、遺物量が想いのほか多い結果となり、文化庁の検査官の立ち会いのもとに協議し、その結果、平成10年度においても整理を続行することとなり、新たな体制を固めることとなった。

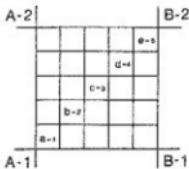
4節 発掘区の設定と調査方法

グリットの設定は復興後あらたに区画整理された道路に付帯する歩道と調査区との境界線を基軸にX軸、それに直交して調査区と南側の民地との境界線を基軸にY軸を設定した。

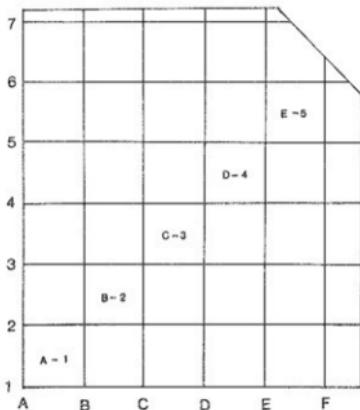
グリットは大グリットと小グリットを設定し、大グリットは5m×5mとした。グリットの呼称はX軸に大文字のアルファベット、Y軸にはアラビア数字を用いた。X軸は南からA～F、Y軸は東から1～7とし、東南端の杭をグリットの呼称とした。大グリットは遺構の計測や小グリットの設定の時の基準となる。小グリットは大グリットを1mメッシュで25分割したもので、包含層出土の遺物の取り上げ

のときの基準となる。この小グリットの呼称はX軸に小文字のアルファベット、Y軸にアラビア数字を用いた。

発掘作業は層位毎に掘り下げる分層発掘を基本とし、層の厚い地点は幾度かに分けて掘り進めた。



図I-1 小グリット模式図



図I-2 グリット配置図

包含層の遺物の取り上げは層位毎かつ小グリット毎でとりあげた。

また、造構出土遺物は、一括でまとまって出土している場合を除いて1点ずつ出土地点、標高を測って取り上げた。また、擾乱となっているところは大グリット毎で取り上げた。

5節 遺物の分類

本遺跡からは当初の予想を遥かに上回る66794点にのぼる数多くの遺物が出土した。遺物は土器が24823点、石器類がフレイク・チップを含め41971点である。

(1) 土 器

I群土器 繩文時代中期のもの

II群土器 繩文時代後期のもの

a類 後期前葉、入江式などに相当するもの

b類 後期中葉、手桶式・ホッケマ式などに相当するもの

c類 後期後葉、堂林式・御殿山式などに相当するもの

III群上器 繩文時代晩期のもの

a類 晩期前葉に相当するもの。

b類 晩期後葉に相当するもの。

IV群土器 統繩文時代初頭～前葉のもの

a類 青苗B式・兜野式・大狩部式・東歌別式などに相当するもの

b類 砂沢式や南川Ⅲ群・南川Ⅳ群に相当するもの

V群土器 純文時代のもの

(2) 石 器

石器は剥片石器と礫石器に大別し、剥片石器類は石器 9 種類と石核、フレイク・チップに、礫石器類は石器 7 種類と礫に分類した。以下、特徴的な遺物について記す。

抉入石器

矢柄研磨器等として利用されたと考えられるもので、剥片の縁辺に抉りを持ち、使用頻度によって抉りがつぶれているもの。

楔形石器

骨や木を断ち割る等に使用したと考えられるもので、楔形もしくは凸レンズ状の断面を持ち、その上端、下端、あるいは両側縁に階段状の剥離がみられるもの。

搔器

皮なめし等に利用したと考えられるもの。刃部の形態、あるいは部位によってラウンドスクレイパー、エンドスクレイパー、サイドスクレイパー、その他に分けられる。なお、背面が全面加工され、爪形に調整されたものも搔器とした。

Rフレイク

剥片の一部に二次加工を施したもの。器種の特定できないもの。

Uフレイク

刃こぼれ状の使用痕をもつ剥片。

たたき石

礫の端部、面部、側縁に叩いた痕跡をもつもの。くぼみ石とよばれるものも含めた。

石皿

使用面の凹んでいる礫

台石

使用面の平坦な大型の礫。

第Ⅱ章 奥尻島の遺跡と環境

1節 奥尻島の遺跡

奥尻島は北海道南西部の日本海に浮かぶ、風光銘艶な島である。外観は皿を伏せたようなながら形状である。これは島自体が島海火山帯の上に位置し、幾度かの隆起と沈降を繰り返してきたため、海成段丘を形成してきたためである。海成段丘は瀬川秀良により幾つかの面に分類されているが、そのうち寺屋敷面（60～50m）は、数多くの遺跡が分布し、奥尻島に分布する遺跡のうち、その大半がこの面に立地する。寺屋敷面に立地する遺跡は現在知られているところで、北から、仏沢遺跡、長浜2遺跡、長浜遺跡、松江遺跡、松江2遺跡、ワサビ谷地川左岸遺跡、同右岸遺跡、青苗遺跡、米岡1、2、3、4遺跡、千疊遺跡、石見牧場遺跡、赤川2遺跡が分布する。時期的には、米岡2・3遺跡に患山期の土器が、奥尻空港遺跡に須恵器の破片が出土している例もあるが、寺屋敷面に位置する遺跡の多くが時期的に縄文時代早期～中期にかけての遺跡である。一方、島内には寺屋敷面よりずっと標高の低い遺跡が幾つかある。本遺跡を始めとする砂丘遺跡である。砂丘遺跡は現在知られているところでは、青苗B遺跡、青苗砂丘遺跡、米岡5遺跡、赤川遺跡があげられる。時期は青苗B遺跡が縄文時代後期～撫文時代、米岡5遺跡、赤川遺跡が撫文時代、青苗砂丘遺跡がオホーツク文化期（十和田式）である。上記の遺跡の状況を見る限り、当遺跡を始め、縄文時代後期以降の遺跡で占めているのが特徴である。なお、独立砂丘を形成している青苗砂丘遺跡、米岡5遺跡、赤川遺跡は撫文時代、オホーツク文化期など7～8世紀以降の遺跡で占める。

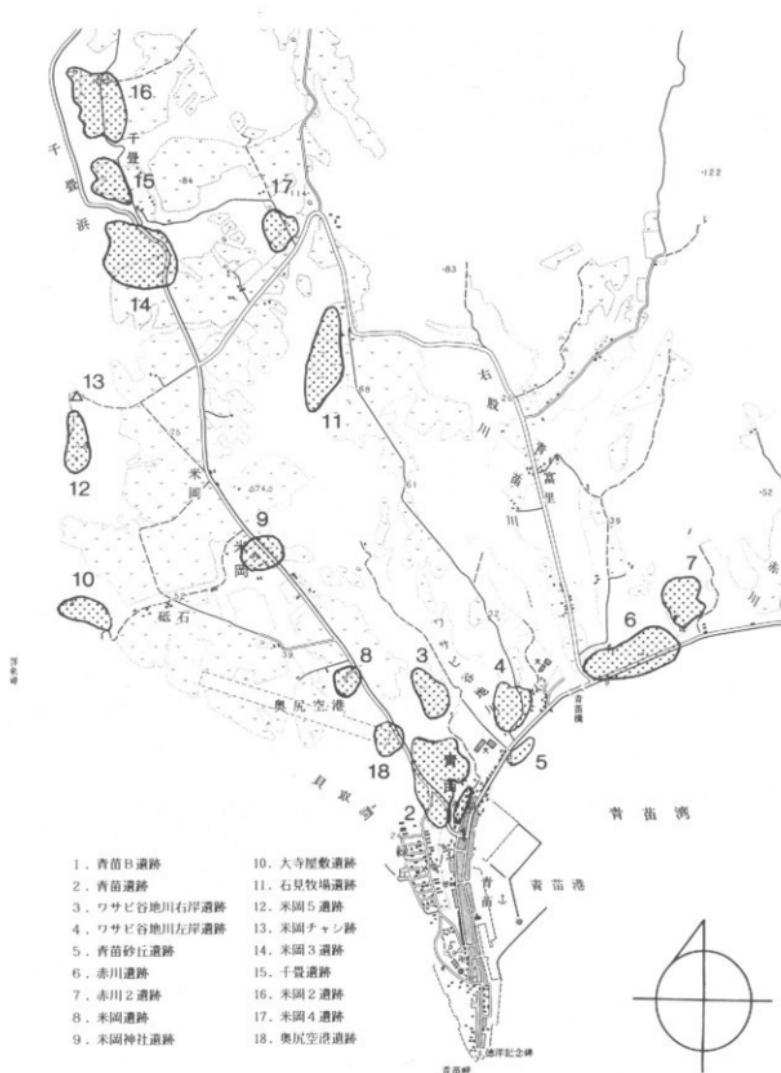
2節 位置と環境

青苗B遺跡は奥尻島の南端、青苗地区の海成段丘の東側斜面下の砂丘上に位置し、一部斜面崖地にも及ぶ。青苗地区の東海岸側は、強い北西風の風下であり、このため、現在でも奥尻鰧一の漁港があり、それを取り巻くように市街地が広がっている。また、強風や波濤の影響が少ないせいか、砂丘の発達も西海岸に較べると顯著である。

当遺跡の後背部に位置する海成段丘の張り出しが、北側を貝塚台地、南側を山本台地といい、貝塚台地には撫文時代の貝塚が、山本台地には大型の勾玉が出土した墳墓等が検出されているなど、撫文時代を代表する大遺跡（青苗遺跡）となっている。

青苗B遺跡は青苗遺跡の位置する海成段丘下に形成された砂丘遺跡で、特徴的なことは、段丘の斜面をすぐ後背地に控えていることである。また、他の砂丘遺跡よりも砂丘の形成は早かったと考えられ、出土する遺物も縄文時代後期など、比較的古いものも認められる。それと同時に本遺跡には各時期にわたる生活の跡が認められている。このことは、海退が進んだ更に後であっても生活の場として好条件であったことを物語る。

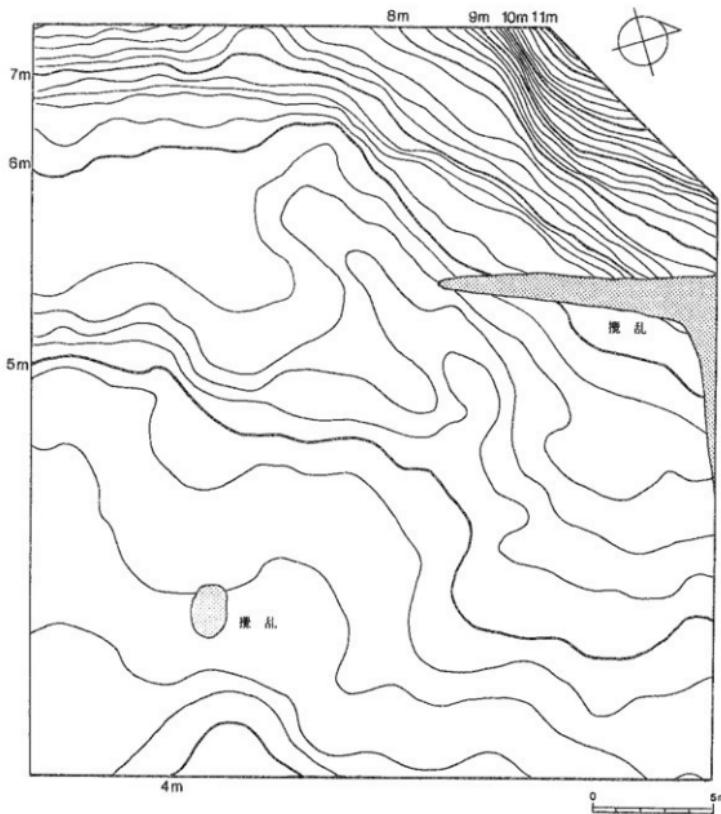
本遺跡の後背地となっている山本、貝塚両台地の間は沢により別れており、その両台地の間から本遺跡を縦断するかたちで、沢水が流れていたものと考えられ、その地形も発掘区内において認められている（図II-3）。縄文時代晚期、統縄文時代における作業場的な状況は、こうした沢水の存在と無関係ではなかったものと言えよう。



図II-1 青苗周辺の遺跡分布図



図II-2 青苗B遺跡とその周辺



図II-3 青苗周辺の遺跡分布図

3節 基本層序

本遺跡は砂丘上に立地するため、包含層は厚い。また、攪乱や流れ込みが深く及んでいるため、極めて分かりづらくなっているところがあった。しかし全体として見ると、砂層であるⅡ層、Ⅳ層、Ⅵ層と、礫を多量に含むⅢ層、Ⅴ層とに分けることができる。砂層は海岸からの砂が風の作用によりもたらされたのに対し礫層は沢戸段丘斜面からもたらされたものが主体となっていると考えられる。なお、場所によってⅣ層が削り取られて無くなっていたり、反対にⅢ・Ⅴ層の堆積が認められない場所もあった。これは沢水の力による侵食等も関係しているのかも知れない。従って堆積状況は極めて複雑な様相を呈する。

土層断面は、X軸は4ライン、Y軸はEラインを記録した。

I層：擾乱層

近代～現代に掘りこまれた層。一部重機により取り除く。

O s - a 層

渡島大島火山灰の堆積した層。乳白色を呈する。一部重機により取り除く。

II層：黒色砂層

粘質を持ち、若干の炭化物を含む。間層にB-Tm層、II'層を挟む。なお、B-Tm層の上層は縄文時代、下層は統縄文時代初頭～前葉の包含層であるが、B-Tm層の挟まない部分における分層が困難であったため、1層にまとめた。下層からは統縄文時代初頭～前葉のフレイク・チップ集中範囲や骨片集中範囲が検出されている。

B-Tm層

白頭山火山灰の堆積した層。明褐色を呈する。

II'層：黒灰色砂層

III層：褐色砂礫層

粗砂や礫を多く含む。また、リモナイトが多く存在しているのも特徴である。遺物は縄文時代晩期のものが中心であるが、統縄文時代の遺物も混ざる。

IV層：褐色砂層

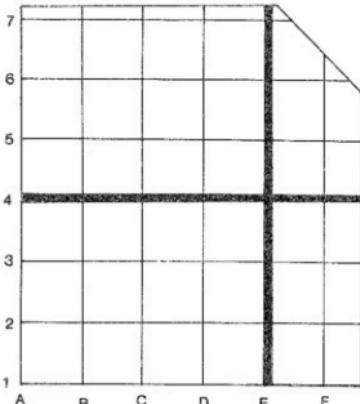
若干粘質を持つ層。遺物は縄文時代晩期が中心であるが、一部後期の遺物を含む。また骨片を多く含む層が存在するなど縄文時代晩期の生活面が検出されている。なお、C-4～D-4にかけてのラインにおけるIV層はとくに粘質にとみ、調査中は認識できなかったものの、沢あとであった可能性を考えられる。

V層：褐色砂礫層

粗砂や礫、粘土塊等を含む。また、リモナイトも多く含まれている。間層として、砂層を含むことがあるが、これは、II、IV層と同様の砂層、考えて良いかもしれない。遺物は縄文時代後期が中心であるが、晩期のものもかなり出土している。

VI層：灰褐色砂層

混ざり気のない純粋な砂層。



図II-4 土層断面位置図

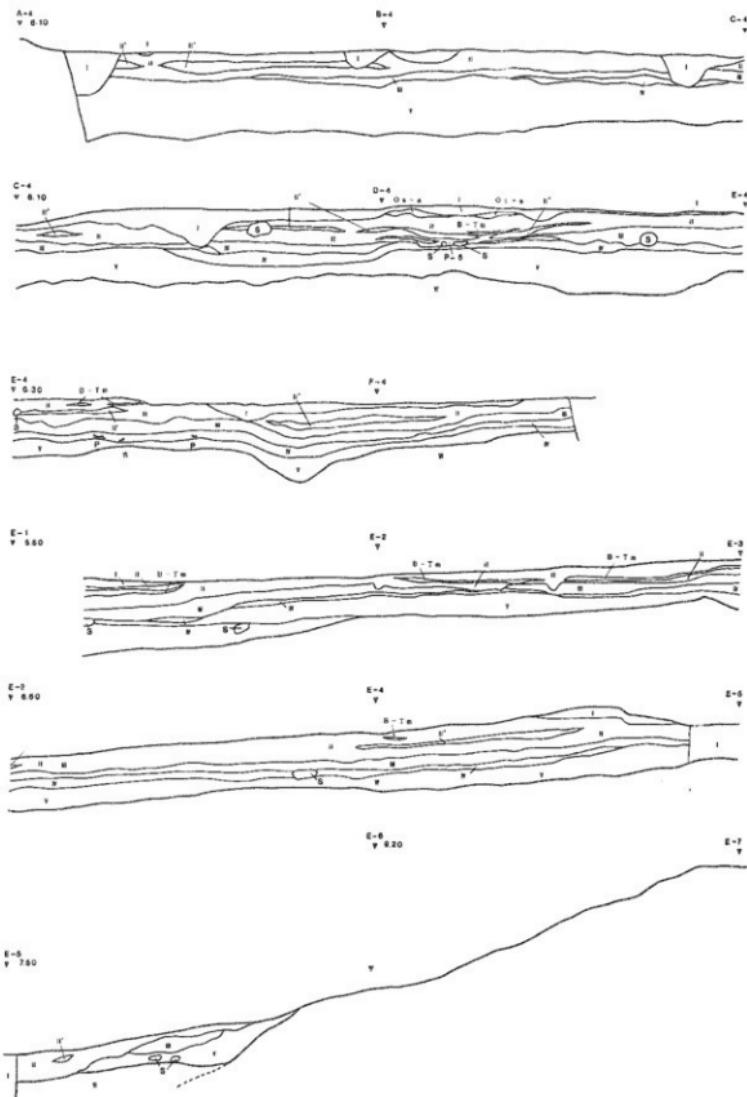


図 II - 5 土層断面図

第Ⅲ章 遺構

1節 土 壤

P-1

(1) 遺構

Eラインにおいて土層確認のためのトレンチを開けることにより、E-5グリットにおいて発見された。

尚、土壤の東側の壁は、水道管敷設のための擾乱によりなくなっているが、他の遺存する壁面や壌底面の形状から、長軸を北西-南東に向く楕円形と考えられる。土壤はII層より掘り込まれていること、出土遺物がIV群b類土器を伴っていることなどから恵山期の土壤と考えられる。壌底面は赤色を呈しているが、ベンガラではなく、リモナイトに近いものと考えられ、人為的なものであるかは明らかではない。堆積状態は自然堆積と考えられる。また、壌底面出土の遺物は少ない。土壤の性格は不明であるが、周辺の遺構や遺物の出土状況から、何らかの作業施設であった可能性がある。

(2) 遺物

1はIV群b類土器で頸部の破片である。壌底面より出土した。

P-2

(1) 遺構

D-1グリットの調査中、C-1グリット側に黒褐色の落ち込みを検出し、P-2とした。なお、当遺構の北側がD-1グリット掘り下げ時に消失したため長径は不明である。短径は0.48m、確認面からの深さは0.22mである。遺物は土器が1点、チップが2点出土している。

P-3

(1) 遺構

発掘区のはば中央、D-4グリット周辺に僅かに残る、II層上面に分布する炭化物層を精査中に、灰色砂混じりの層の落ち込みを発見、土壤とした。形状は長軸を北北西-南南東に向いた不規則な楕円形を呈し、規模は長径が0.70m、短径が0.51m、確認面からの深さ0.06mである。時期は、II層上層出土であること、擦文土器片が出土していることから、擦文時代の土壤と考えられる。擦文時代の遺構と考えられるものはこの1基のみである。出土遺物は、土器片の他、礫が出土しているのみであり、その性格は不明である。

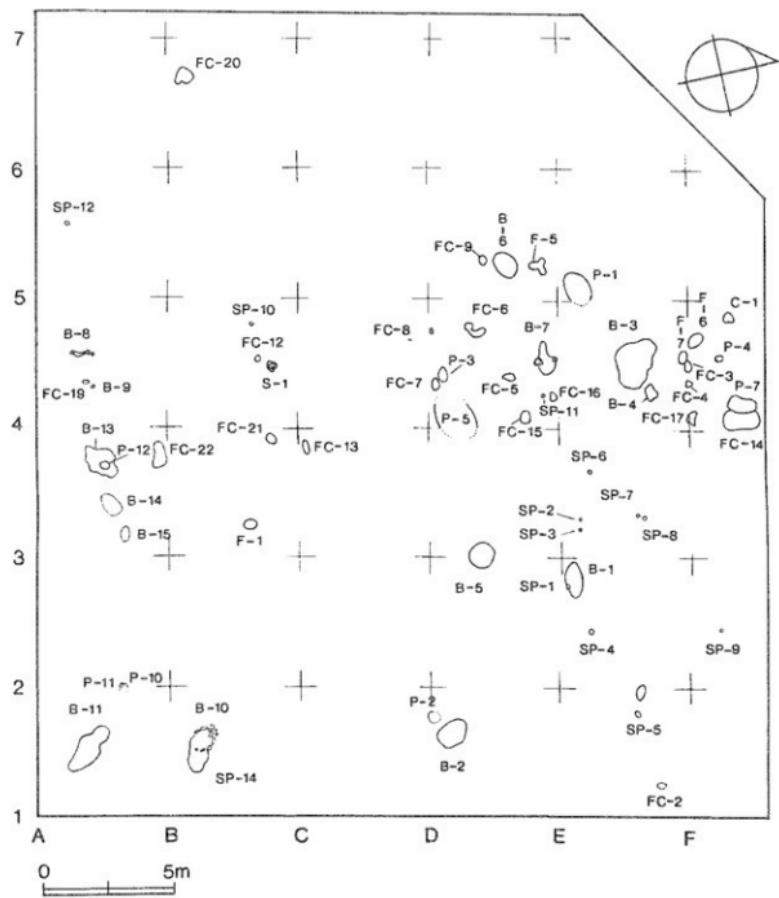
(2) 遺物

2はV群土器で口縁部の破片である。器面には刷毛目状擦痕が認められ、沈線がめぐる。

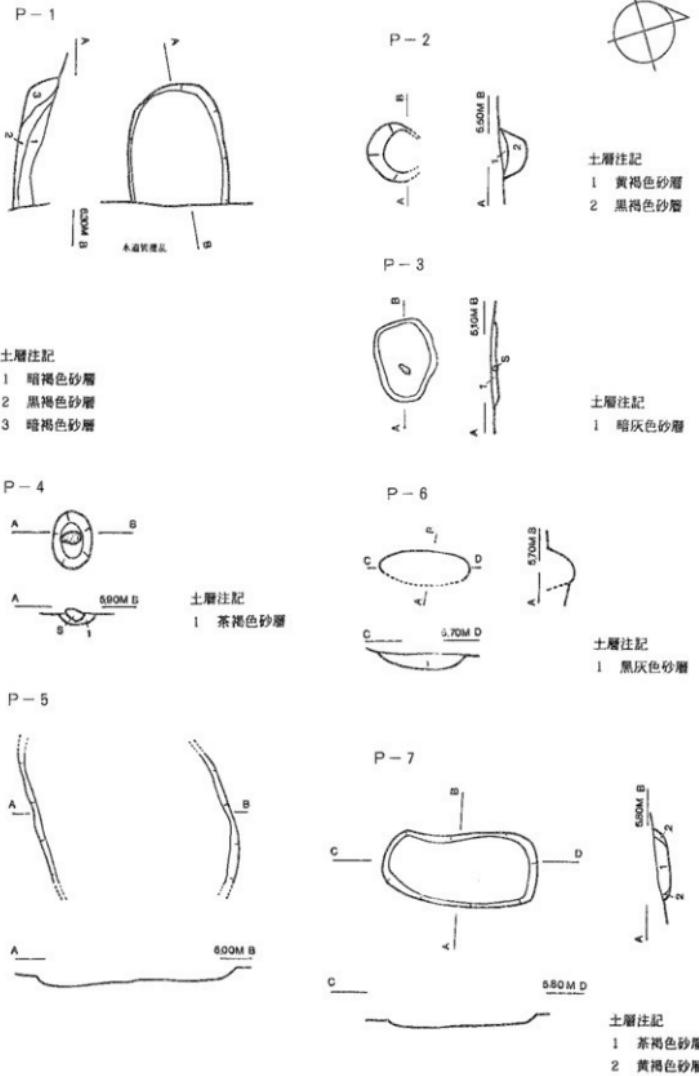
P-4

(1) 遺構

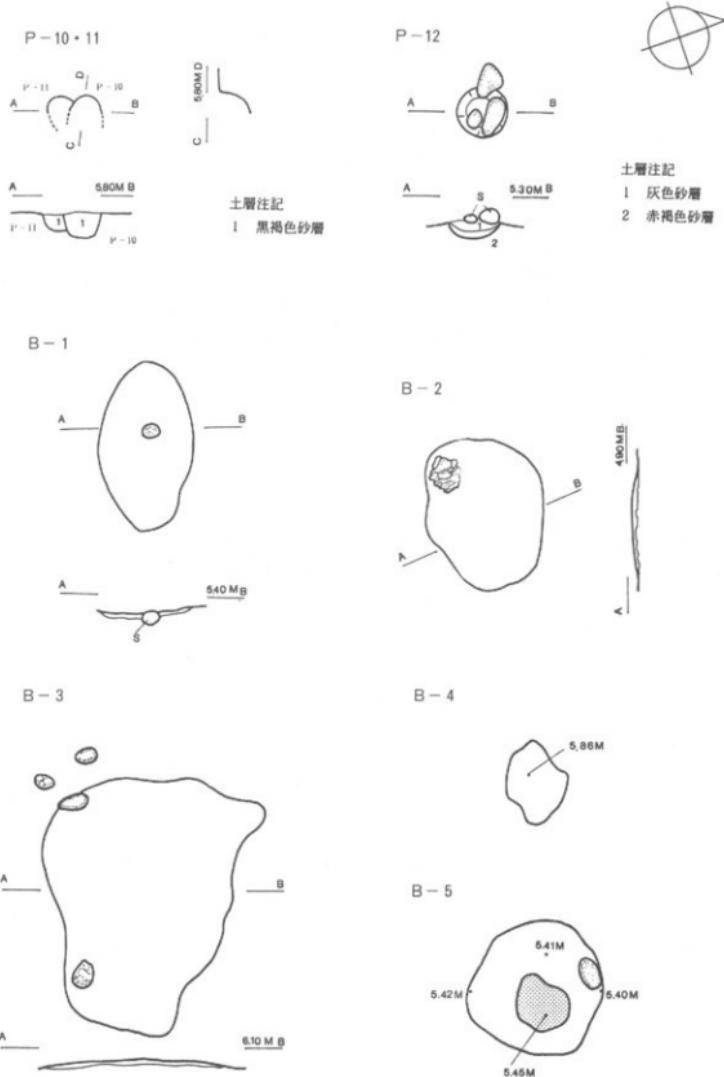
発掘区の北側、F-4区のII層を調査中に黒色土の落ち込みを検出、P-4とした。形状は長軸を南北に向いた楕円形で、長径は0.47m、短径が0.30m、確認面からの深さ0.08mである。出土土器の細片は晩期のものであるが、確認面がII層であることから統繩文時代前半期の遺構と考えられる。本土壤に伴うと考えられるものは礫1点である。遺構の性格は不明である。



図III-1 遺構分布図



図III-2 遺構図(1)



図III-3 遺構図(2)

(2) 遺物

3はⅢ群上器で覆土中より出土した。胴部の破片で斜行縄文が施されている。

P-5

(1) 遺構

メインセクションのD-4グリット部分に層の落ち込みを確認。土壤と判断した。覆土は粘性をもつ灰褐色土粒を多く含む灰色砂であり、壇底及び覆土より多量のフレイクチップや土器、礫が出土している。メインセクション部分のみの残存のため本来のプランは不明であるが、掘り込み8cm程度の深い堅穴様の土壙と推察される。掘り込み面は覆土上面にⅡ層が堆積し、また、壇底がⅣ層を僅かに掘り込んでいることからⅢ層に対応する時期のものと考えられる。フレイクチップは頁岩のものが多く、その分布は土壤周縁部分に多い傾向が見られる。フレイクチップは長さ3cm前後のものが多く、フレイクチップ集中範囲出土のものと較べ小さいものが主体となっている。

なお、土器も壇底出土のものはⅢ群であり、層位の状況と時期的に一致する。

(2) 遺物

4~8はⅢ群土器、9~12はⅣ群土器である。4は爪形文の施されたものでⅢ群a類に属する。5~7は斜行縄文の施されているものである。9は口縁部の破片で突縄文の施されているもの、10は肩部の破片で沈線が巡る。12は帶縄文の施されているものである。13は石錐である。

P-6

B-4グリットより検出。遺構確認面はVI層であるが、壇底に堆積する覆土がⅡ層と考えられる黒灰色砂であるため掘り込み面はⅡ層と考えられ、時期は統縄文時代初頭と考えられる。平面形は長径72cmで、長軸を北北東~南南西を向けた長楕円形を呈していると考えられる。覆土は骨片を多く含み、僅かながら炭化物も検出された。

P-7

(1) 遺構

発掘区の北側、F-4グリットのV層を調査中に黒褐色土の落ち込みを発見、P-7とした。形状は長軸を北北東~南南西に向けた椭円形で、長径1.26m、短径0.61m、確認面からの深さは0.10mである。壇底はしっかりしている。時期は出土土器が大洞系の特徴を持つことから晩期と考えられる。形状は墓壙に似る。遺物は覆土に土器片やフレイク・チップが散在しているのみである。なお、当土壤から3m南側に、大洞系の小型の精製土器が出土(図III-13・232)している。何らかの関わりがあるのかもしれない。

(2) 遺物

14は口縁部の破片で斜行縄文が施されている。15は沈線文のみのものとともに壇底面から出土した。共にⅢ群a類土器である。

P-10・11

A-2グリットを調査中、A-3グリット側に黒褐色の落ち込みを検出。調査するうちに、2つのピットが重複していることが分かり、ともにP-10・11とした。確認面からの深さは10か0.22m、11が0.13mである。時期は埋土がⅡ層のものであることから統縄文時代初頭~前葉と考えられる。ともに遺物は出土していない。

P-12

(1) 遺構

発掘区の南側、A-3グリットの骨片集中-13を除去後、V層上面に灰色砂の落ち込みを検出、P-12とした。形状は円形で、直径が0.41m、確認面からの深さ0.15mである。出土遺物は砾3点であり、2は台石として利用された可能性がある。時期は続縄文時代の骨片集中地点より下層であることから続縄文時代以前と考えられる。遺構の性格は明らかでないが、灰色砂を埋めていることなどから何らかの作業に関わる施設の可能性がある。

2節 骨片集中範囲

B-1

(1) 遺構

発掘区北寄りのE-2グリットでIV層を調査中に発見された。範囲は長径1.40m、短径0.79mの梢円形で厚さは0.05mある。下層はV層であり、上面は赤褐色を呈するが鉄分の染みの影響か焼土によるもののかは明らかにすることはできなかった。中央部にはリモナイトの塊が検出されている。出土土器から縄文時代晚期前葉の遺構と考えられる。このほか、周辺からは安山岩製の削器が1点検出されている。

骨片は、鳥骨の小さな破片が多い。海獣骨片も少量認められた。

(2) 遺物

16は爪形文の施されたものでⅢ群a類土器である。17はⅢ群土器で胴部の破片である。18は削器で安山岩製である。

B-2

(1) 遺構

発掘区南寄りのD-1グリットでIV層を調査中に発見された。範囲は長径1.25m、短径0.97m、厚さ0.05mである。B-1同様下層はV層である。焼土は確認できなかった。

種の同定できた骨片では、ウグイ椎骨1点、アイナメ椎骨1点である。

(2) 遺物

19はⅢ群a類土器で爪形文と沈線が施されている。

B-3

(1) 遺構

発掘区の北側、E-4グリットでII層を調査中に発見された。範囲は長径2.10m、短径1.61m、厚さ0.05mである。骨片の分布範囲は広いがB-1・2に較べると密度は薄く、流れている可能性がある。また、南側には砾が4点検出されており、そのうち2点は被熱している。出土土器は縄文時代晚期のものが中心であるが、骨片の層がII層下位であることから続縄文時代初頭～前葉の時期の遺構と考えられる。遺物は砾のほか、土器片、フレイク・チップが出土している。

骨片は魚骨・海獣骨が多量に検出。魚骨はカサゴ類（ソイ類）の椎骨3点と種不明魚類椎骨10点が出土した。この10点は焼けて縮小、変形していたが、おそらくカサゴ類と考えられる。海獣類は小さな破片であるが、おそらくアシカ科のトド、アシカ、オットセイなのであろう。

(2) 遺物

20はⅢ群a類1種土器、21は同2種土器である。共に沈線による文様が施されている。22は石錐である。

B-4

発掘区の北側、E-4グリットでⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.67m、短径0.51mである。B-3に較べ厚く堆積しているが、覆土は流れ込んだ状況であり、B-3の層が自然地形に流れ込み、堆積した可能性が考えられる。

小骨片のみで種は同定できるものはなかった。

B-5

発掘区のはば中央、D-2グリットでIV層下面を調査中に発見された。範囲はD-2・3グリットにまたがり、直径約1.10mのはば円形に分布する。中央部はほぼ赤褐色を呈し、焼土と考えられる。なお、範囲の北側には焼けた礫が出土したが、取り上げの時点ではろぼろに碎けた。時期はIV層下層の出土であること、Ⅲ群a類土器が出土していること等から、縄文時代晚期前葉と考えられる。

骨片は種不明魚類椎骨3点、鳥骨片1点、アシカ科海獣指骨1点、その他海獣骨片多数が出土した。

B-6

(1) 遺構

発掘区の北西寄り、D-5グリットのIV層を調査中に発見された。範囲は長径1.17m、短径0.97m、厚さ0.10mである。骨片は密に分布している。出土遺物は、Ⅲ群a類1種十器が多く出土しているほか、大型の安山岩の礫が出土している。礫は割れ、熱を受けている。なお、一括土器と礫の下位における骨片の遺存状態は特によい。当遺構の北側には焼土(F-5)がある。層位がIV層下層であること、Ⅲ群a類土器が出土していることから、時期は縄文時代晚期前葉と考えられる。

骨片は鳥骨片少量、アシカ科の海獣骨片が多量に出土した。

(2) 遺物

23・24はⅢ群a類1種土器で爪形文が施されているものである。25~27も同類であるがこちらには沈線文が描かれている。28は地文のみのものでともにⅢ群上器である。30はRフレイクで一側縁の腹面のみの加工である。29は安山岩製の削器で両側縁及び先端を加工している。

B-7

発掘区の北寄り、D-4グリットのIV層下面を調査中に発見された。範囲は長径は1.39m、短径が0.50m、厚さ0.07mで他の骨片集中地点より厚く堆積し、平面形も不規則な広がりを呈する。本集中地点の北側と南側に焼けた礫が出土し、本遺構の付属施設として機能していたと考えられる。時期は、IV層下位であること、Ⅲ群a類1種土器が出土していることから、縄文時代晚期前葉と考えられる。

骨片はホッケ?椎骨約20点、アシカ科の海獣骨片小片が多量に出土した。

B-8

発掘区の南側、A-4グリットの一直線状に分布する焼けた礫群を調査中、礫群の下位、Ⅱ層下面から検出された。範囲は長径が0.43m、短径は0.19mと狭い。また、礫群にそって1m程北側には獣の骨が1本出土している。骨片層は礫群の下層に存在し、礫群が骨片集中に伴うものであるかは明らかではない。礫、骨片とともに溝状の凹みに流れ込んだ可能性も考えられる。時期はⅡ層下面から検出されることから、統縄文時代初頭かと思われる。

骨片は、種不明魚類椎骨2点、アシカ科の海獣小片約20点出土した。

B-10

(1) 遺構

発掘区の南東側、B-1グリットのII層から石組を発見。精査しているうちII層下位より検出した。範囲は長径1.72m、短径0.79m、厚さ0.05mであり、骨片の分布は石組内及び石組の東側に大きく広がる。石組の隙は熱を受けており、また、骨片集中の下位からは石組の形状に沿って焼土が検出されていることから石組炉と考えられ、本骨片集中に伴う関連施設と考えられる。なお、骨片は石組炉外の方に厚く堆積しているが、これは流れ出したためと思われる。時期は、II層下位に検出されたこと、付近の同一層からIV群土器が出上していることなどから、統繩文時代初頭～前葉と考えられる。なお、ここからは栽培種と考えられるヒエ種子1点が出土している。

骨片は、石組内からは、サケ椎骨1点、カレイ椎骨1点ほか種不明魚骨片多量、石組外からは、アイナメ椎骨10点以上、ヒラメ椎骨数点、ヒラメの歯1点が出土した。

(2) 遺物

31はIV群上器、32は削器で頁岩製である。

B-11

(1) 遺構

発掘区の南東隅、A-1グリットのII層を調査中に発見された。範囲は長軸2.07m、短軸0.90mで不規則な形状を呈し、厚さは0.10mである。当集中下位には長径0.60m、短径0.49m、厚さ0.10mの焼土が検出され、本集中範囲に伴うものと考えられる。なお、南西側には炭化物がまとまって出土している。時期はIV群土器が出上すること、層位などから、統繩文時代初頭～前葉と考えられる。

骨片は、カサゴ類椎骨1点、カレイ類椎骨20点以上、種不明魚類椎骨20点以上（大部分はカレイ類）、鳥骨片少量その他の魚骨、アシカ科の海獣骨が多量に出土した。

(2) 遺物

33は頁岩製のRフレイクである。

B-13

(1) 遺構

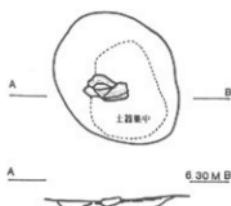
発掘区の南側、A-3グリットのII層を調査中に発見された。範囲は長軸1.68m、短軸1.02m、厚さ0.04mで不規則な形状に分布する。当集中下位には長径0.75m、短径0.70m、厚さ0.13mの焼土が検出され、本集中範囲に伴う遺構と考えられる。時期はIV群a類土器が出土していること、骨片層がII層下位であること、骨片層下位に焼土を伴うなどの特徴がB-10・11に共通していることなどから、それらと同様、統繩文時代初頭～前葉と考えられる。

骨片は、カサゴ類椎骨3点、ヒラメ椎骨1点、カレイ類椎骨40点以上、種不明魚類椎骨30点以上（大部分は、カレイ類？）、その他の魚骨、アシカ科の海獣骨が多量に出土している。

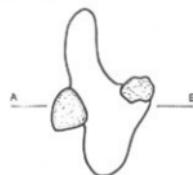
(2) 遺物

34・35はともにIV群a類土器の胴部破片である。

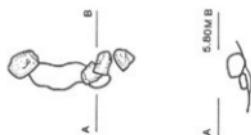
B - 6



B - 7



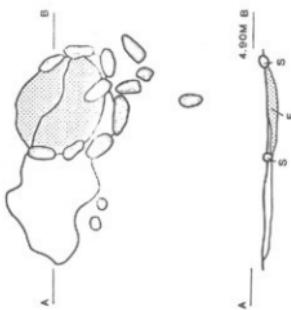
B - 8



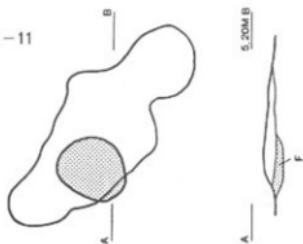
B - 9



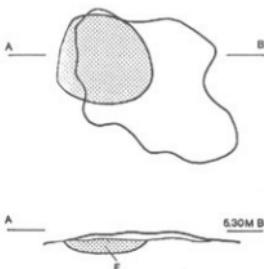
B - 10



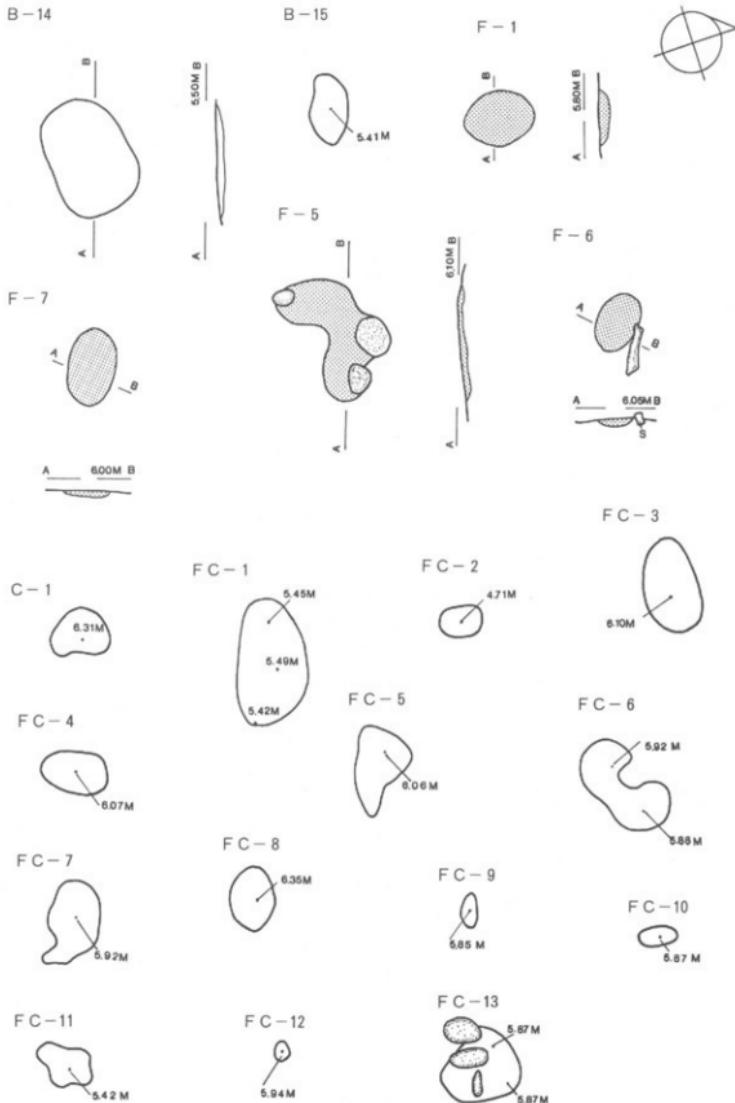
B - 11



B - 13



図III-4 遺構図(3)



図III-5 遺構図(4)

B-14

(1) 遺構

B-13の東側、II層を調査中に発見された。範囲は長径0.94m、短径0.67m、厚さ0.05mである。IV群a類と考えられる土器が出土していること、B-13と同一層位であることから続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

骨片はアシカ科の海獣骨片1点、小骨片が少暈出土している。

(2) 遺物

36はIV群a類土器と考えられるもの。

B-15

B-14の東側、II層を調査中に発見された。範囲は長径0.55m、短径0.32mと狭い。時期は層位などからB-13・14同様、続縄文時代初頭～前葉と考えられる。遺物は出土していない。

骨片は、カサゴ類椎骨3点、種不明椎骨3点、アシカ科海獣骨小片が少量出土している。

3節 燃 土

F-1

B-3グリットのII層を調査中赤褐色の広がりを検出、S-1とした。範囲は長径が0.57m、短径が0.47mである。時期はII層より検出されていることから続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

F-5

発掘区の北寄り、D-5グリットのIV層を調査中に発見された。範囲は、長軸1.00m、短軸0.65m、深さ0.08mの不規則な形状を呈し、特に強く熱を受けた場所が2ヶ所認められる。燃土の下位には礫が2点検出されているが熱を受け、赤紫色に変色している。うち1点は脆く、取り上げの時点で砕けた。B-6と同一層位であり、近接していることから、B-6に関連する施設の可能性がある。時期はB-6同様、縄文時代晚期前葉と考えられる。

F-6

発掘区の北側、F-4区のV層下面を調査中に発見された。範囲は長径0.50m、短径0.31m、深さ0.07mである。周辺には、F-7やC-1、ホッケマ式の一括土器や台石が出土、骨片や炭化物が散在する。燃土の北側には棒状の礫が出土しているが、当遺構に伴うものであるかどうかは明らかではない。時期はV層下面であること、同一生活面からホッケマ式土器が出土していることなどから縄文時代後期中葉と考えられる。

F-7

発掘区の北側、F-4グリットのV層下面を調査中に発見された。範囲は長径0.63m、短径0.39m、厚さ0.05mである。北西隣にはF-6があり、それと同一時期の燃土と考えられる。

4節 フレイク・チップ集中範囲

F・C-1

発掘区の北東側、E-1グリットのIV層を調査中に検出された。範囲はE-2グリットにも広がる。範囲は長径1.04m、短径0.57mである。時期はIV層下面に検出されていることから縄文時代晚期頃かと考えられる。

37はⅢ群と考えられる小破片である。38はRフレイクである。

F・C-2

発掘区の北東隅、E-1グリットのV層を調査中に検出された。範囲は長径0.35m、短径0.25mの狭い範囲である。

F・C-3

発掘区の北側、E-4グリットのII層を調査中に発見された。チップはその殆どが細かい細片であり、石質は頁岩と黒曜石が半々ぐらいである。範囲は長径が0.78m、短径は0.47mである。時期はII層より検出されたことIV群b類土器が出土したことから統縄文時代前葉と考えられる。

39は脛部破片で縄文が施されている。

F・C-4

E-4グリットのII層を調査中、F・C-3の東隣に発見された。範囲は長径0.40m、短径0.36mである。フレイクは大きい破片が多く石質は全てが頁岩である。なお、南隣にはB-3があるが、層位的にはF・C-3・4の方が若干高く、時期的に後になるものと考えられ、F・C-3同様、統縄文時代 前葉と考えられる。

40は削器、41・42はRフレイクでともに頁岩製である。

F・C-5

D-4グリットのII層下面～III層上面を調査中に発見された。範囲は長軸0.72m、短軸0.46mで、西端で特に集中している。フレイク・チップは比較的小さいものが多い。石質は殆どが頁岩である。当地点はII b層出土であり、同一層位で0.30m程東側にIV群b類土器が検出されていることから、時期は統縄文時代前葉と考えられる。

43・44は頁岩製のRフレイクである。

F・C-6

D-4グリットのII層下面～III層上面を調査中に発見された。範囲は長軸0.83m、短軸0.48mで不規則な形状を呈するが、密集範囲は大きく2ヶ所に分かれる。フレイク・チップは中ぐらい程の大きさであるが、他の集中地点に較べ量が多い。石質は全て頁岩である。検出された層位から統縄文時代初頭～前葉と考えられる。

45は石誠、46はRフレイクである。

F・C-7

D-4 グリットのⅡ層下面～Ⅲ層上面を調査中に発見された。範囲は長径0.64m、短径0.42mである。フレイクは大型のものが多い。また、フレイクは原石面を残すものが多く、その幾つかは接合した。当地点の西側には炭化材が見つかっており、何らかの施設があった可能性がある。時期は検出された層位からF・C-6 同様、統縄文時代初頭～前葉と考えられる。

F・C-8

C-4 グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.30m、短径0.12mの極めて狭い範囲である。フレイク・チップは小さいものが殆どで数は少ない。この集中地点には炭化物が半ば覆い被さるように併出しておる、何らかの関わりが考えられる。また、周辺には、同一生活面上から、無柄の石鏃や台石として利用された小型の板状礫、IV群b類土器と考えられる土器底部、棒状の炭化材、削器・熱を受けて割れた礫などが検出されている。なんらかの作業施設内におけるフレイク・チップ集中であり、簡単な加工を施した場所であろう。時期は検出層位や遺物等から統縄文時代初頭と考えられる。

F・C-9

D-5 グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.52m、短径0.37mである。上位には大型のフレイク、下位には細かいチップ等が認められた。

47はIV群b類土器の口縁部である。

F・C-12

B-4 グリットのⅡ層を調査中に発見された。分布は長径0.18m、短径0.15mのごく狭い範囲である。フレイクは比較的大きめで同じ位の大きさのものばかりであり、選んで持ち込まれたものと考えられる。石質は全て頁岩である。時期は出土層位から統縄文時代初頭～前葉と考えられる。

F・C-13

C-3 グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲はB-3 グリットにも広がり、長径0.63m、短径0.57mである。3点の礫を伴う。

F・C-14

F-4 グリットⅡ層より検出。フレイクは頁岩が殆どである。層位などから統縄文時代初頭～前葉と考えられる。範囲は長径1.30m、短径0.79mである。

48は地文のみのもの、49は無文の土器とともにⅢ群a類土器、50はIV群b類である。51は削器である。

F・C-15

D-4 グリットのⅡ層を調査中に発見された。範囲は長径0.51m、短径0.32mである。フレイク・チップは比較的小型のものが多い。時期は南側の同一層位からIV群b類土器が出土していることから、統縄文時代前葉と考えられる。

F・C-16

D-4グリットのII層を調査中に発見された。範囲は長径0.50m、短径0.32mである。フレイクは大型のものが多く、南側には焼跡やIV群b類土器の破片が出土している。時期は出土土器や検出層位から続縄文時代前葉と考えられる。

F・C-17

F-4グリットのV層の落ち込みを調査中に発見された。範囲は長軸0.57m、短軸0.35mの不規則な形状を呈する。フレイク・チップは比較的細かいものが多い。その多くは流れ込みと考えられ、明解な伴土器も認められないことから、時期を特定することはできなかった。

F・C-19

A-4グリットのII層を調査中に発見された。範囲は長径0.27m、短径0.16m、フレイク・チップは比較的小さなもののが散在する程度である。なお、同一生活面上には小規模ながら骨片集中範囲や赤褐色の粘土塊、IV群a類の土器片が認められ、それらが分布する範囲全体に赤い小蹠が分布するなど特異な状況といえる。それらを全て含め、何らかの作業場であったと考えられる。時期は検出層位や出土遺物等から続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

F・C-20

B-6グリットIV層より検出。フレイクとともに土器片が多く検出された。範囲は長径1.30m、短径0.79mである。山本台地の縁辺の斜面に位置しており、原位置から大きく移動していると考えられる。分布域の東端から花崗閃緑岩の焼跡が検出されている。フレイクは頁岩が主体である。土器は主にIII群a類が出土している。

56は石錐、57・58・60は削器、59・61・62はRフレイクである。57は靴形を呈する。削器・Rフレイクとともに頁岩製である。

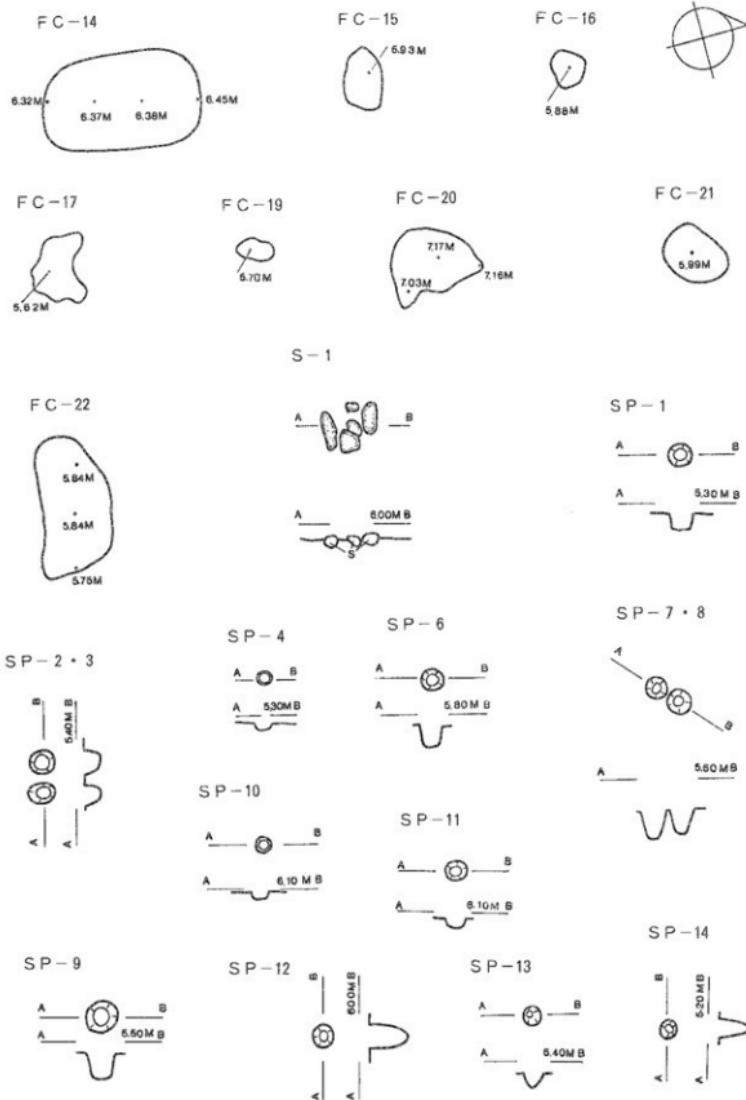
F・C-21

B-3グリットのII層を調査中に発見された。範囲は長径が0.42m、短径は0.38mである。出土層位から続縄文時代初頭～前葉と考えられる。

F・C-22

A-3グリットのII層より検出。フレイクとともにIV群a類土器が出土、復元された。範囲は長径が1.17m、短径は0.57mである。隣接してB-13がある。

63は胴部から口縁部にむけすんなりと立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口唇の断面形状は三角である。文様は口縁部に突瘤文と3条の沈線文、胴部には綾走縄文が施されている。色調は外面は茶褐色、内面は黒褐色である。64・65もIV群a類である。



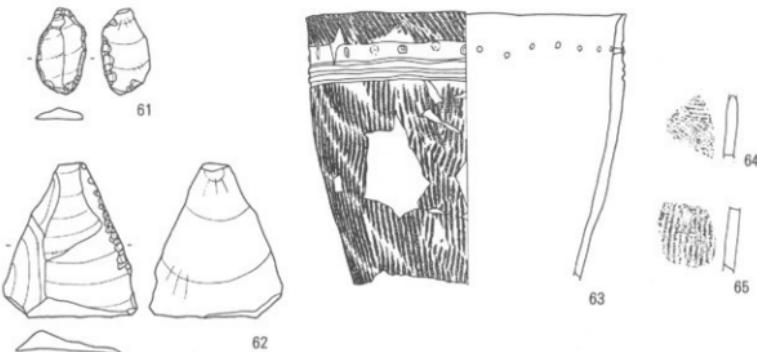
図III-6 遺構図(5)



図III-7 遺構出土遺物(1)



図III-8 遺構出土遺物（2）



図III-9 遺構出土遺物（3）

5節 その他の遺構

S-1

B-4グリット、II層下面～III層上面を調査中に発見された。石組の範囲は長径0.47m、短径0.39mで、上位からは取り上げ可能な礫が5個、下位には茶褐色化し、脆くなった礫が2個検出された。石組内には炭化物が出土しているが、焼土は検出されず、礫は熱を受けた痕跡は見られないため、用途は不明である。遺物は出土していないが、時期は出土層位から縄文時代初頭～前葉と考えられる。

C-1

F-4グリット、V層上面を調査中に発見された。範囲は長径0.47m、短径0.36mである。炭化物は細かい破片として散在している。F-6・7と同一層位であることから縄文時代後期中葉と考えられる。遺物は出土していない。

小ピット（SP-1～14）

全部で12基検出されている。時期を特定できる遺物が出土していないが、その多くは近世～近代の所産と考えられる。

表III-1 土壌一覧表

遺構名	グリット	確認面	平面形	規 模	時期	備 考
P-1	E-4・5	II 層	楕円形	不明×0.83／0.20	IV b	東側は水道管埋設により消滅
P-2	C・D-1	II 層	円 形	不明×0.48／0.22	IV	
P-3	D-4	II 上面	楕円形	0.70×0.51／0.06	V	
P-4	F-4	II 層	楕円形	0.47×0.30／0.08	IV	
P-5	D-3・4	III 層	不 明	不明×1.57／0.04	III	
P-6	B-4	IV 層	長楕円形	0.74×不明／0.19	IV	
P-7	F-3・4	IV 層	長楕円形	1.26×0.61／0.16	IV	
P-10	A-1・2	II 層	不 明	不明×不明／0.22	IV	
P-11	A-1・2	II 層	不 明	不明×不明／0.13	V	
P-12	A-3	V 層	円 形	0.41×0.41／0.15		灰色砂を人為的に埋設

表III-2 骨片集中範囲一覧表

遺構名	グリット	確認面	平面形	範 囲	時期	備 考
B-1	E-2	IV 層	楕円形	1.40×0.79／0.05	Ⅳ a	焼けて脆くなった縛を伴う
B-2	D-1	IV 層	不整円形	1.25×0.97／0.05	Ⅲ a	削れた縛を伴う
B-3	E-4	II 層	不整形	2.10×1.61／0.05	IV	焼けた縛を伴う
B-4	E-4	II 層	不整形	0.67×0.51／	IV	
B-5	D-2・3	IV 層	円 形	1.10×1.07／	Ⅲ a	焼けて脆くなった縛を伴う
B-6	D-5	IV 層	不整円形	1.17×0.97／0.10	Ⅲ a	割れた縛、土器片多量に伴う
B-7	D-4	IV 層	不整形	1.39×0.50／0.07	Ⅲ a	焼けた縛を伴う
B-8	A-4	II 層	不整形	0.43×0.19／0.06	IV	焼けた縛を伴う
B-10	B-1	III 層	不整形	1.72×0.79／0.05	IV	石組、焼土伴う。ヒエ種子検出。
B-11	A-1	Ⅲ 層	不整形	2.07×0.90／0.10	IV	焼土伴う
B-13	A-3	II 層	不整形	1.68×1.02／0.04	IV	焼土伴う
B-14	A-3	II 層	楕円形	0.94×0.67／0.05	IV	
B-15	A-3	II 層	楕円形	0.55×0.32／	IV	

表III-3 焼土一覧表

遺構名	グリット	確認面	平面形	範 囲	時期	備 考
F-1	B-3	II 層	楕円形	0.57×0.47／0.10	IV	P-8を要更
F-5	D-5	IV 層	不整形	1.00×0.65／0.08	Ⅲ a	
F-6	F-4	V層下	楕円形	0.50×0.31／0.07	Ⅱ b	
F-7	F-4	V層下	楕円形	0.63×0.39／0.05	Ⅱ b	

表III-4 フレイクチップ集中範囲一覧表(1)

遺構名	グリット	確認面	平面形	範 囲	時期	備 考
FC-1	E-1・2	II 層	—	1.04×0.57	IV	
FC-2	E-1	V 層	—	0.35×0.25		
FC-3	E-4	II 層	—	0.78×0.47	IV	
FC-4	E-4・5	II 層	—	0.40×0.36	IV	
FC-5	D-4	II 層	—	0.72×0.46	IV	
FC-6	D-4	II 層	—	0.83×0.48	IV	
FC-7	D-4	II 層	—	0.64×0.42	IV	
FC-8	C・D-4	II 層	—	0.30×0.12	IV	
FC-9	D-5	II 層	—	0.52×0.37	IV	
FC-10	E-3	V 層	—	0.30×0.15		
FC-12	B-4	II 層	—	0.18×0.15	IV	
FC-13	B・C-3	II 層	—	0.63×0.57	IV	

表III-5 フレイクチップ集中範囲一覧表(2)

造構名	グリット	確認面	平面形	範 囲	時期	備 考
F C - 14	F - 4	II 層	—	1.30×0.79	IV	
F C - 15	D - 4	II 層	—	0.51×0.32	IV	
F C - 16	D - 4	II 層	—	0.50×0.32	IV	
F C - 17	E・F - 4	IV 層	—	0.57×0.35	III	
F C - 19	A - 4	II 層	—	0.27×0.16	IV	
F C - 20	B - 6	III 層	—	1.30×0.79	III	土器多量に伴う
F C - 21	B - 3	II 層	—	0.42×0.38	IV	
F C - 22	A - 3	II 層	—	1.17×0.57	IV a	IV群a類の一括土器を伴う

表III-6 石組造構一覧表

造構名	グリット	確認面	平面形	範 囲	時期	備 考
S - 1	B - 4	III 層	—	0.48×0.39	III	

表III-7 炭化物集中範囲一覧表

造構名	グリット	確認面	平面形	規 模	時期	備 考
C - 1	F - 4	V 下面	—	0.47×0.36	II	

表III-8 小ピット一覧表

造構名	グリット	確認面	平面形	規 模	時期	備 考
S P - 1	E - 1	III 層	楕 円 形	0.20×0.18/0.13		
S P - 2	E - 4	III 層	楕 円 形	0.22×0.17/0.15		
S P - 3	E - 4	III 層	円 形	0.20×0.20/0.14		
S P - 4	E - 2	II 下曲	円 形	0.10×0.11/0.06		
S P - 6	E - 3	III 層	円 形	0.17×0.17/0.17		
S P - 7	E - 3	III 層	円 形	0.18×0.17/0.23		
S P - 8	E - 3	III 層	円 形	0.19×0.19/0.20		
S P - 9	F - 2	IV 曲	円 形	0.26×0.25/0.21		
S P - 10	B - 4	IV 曲	円 形	0.13×0.12/0.05		
S P - 11	D - 4	III 層	楕 円 形	0.17×0.13/0.08		
S P - 12	A - 5	IV 曲	楕 円 形	0.19×0.17/0.33		
S P - 13	B - 3	III 層	円 形	0.15×0.14/0.10		
S P - 14	B - 1	III 層	楕 円 形	0.15×0.13/0.25		

第IV章 遺物

1節 土器

第Ⅰ群土器 繩文時代中期のもの。

- 1は撚糸圧痕の施された貼付帯のあるもの。2は竹管様工具による押引文が施される。
3は底部から口縁部に向けすなり立ち上がる深鉢形土器である。口縁は平縁で、口唇の断面形状は丸みを帯びた角形を呈する。口縁部にはO Iの突瘤文が巡る。口縁部から胴上部にかけて斜行縄文が施され、同じ原体の縄文が内面の口縁部にも施される。色調は、内外面とともに黄褐色～茶褐色。
4は口縁部に2条の条線文の施され、地文に縄文の施されたものである。5は撚糸文の施された胴部破片、6は口縁部が無文で胴部に撚糸文の施されたものである。

第Ⅱ群土器 繩文時代後期のもの。

a類：後期前葉のものをまとめた。

7は入組状の文様の施されたもの、8は内外面に幾何学的な文様が施されたものである。11には連続したS字状の文様が描かれている。12は円弧状の文様が施されている。

b類：後期中葉のものをまとめた。

14は胴部がすなりと立ち上がり、頸部が若干すぼみ、口縁部の開く深鉢形土器である。底部は欠損している。口唇の断面は角形を呈する。口縁には4つの山形口縁で、口唇直下には幅のせまい縄文帶、頸部には上位が沈線による連弧文、下位が横走沈線で区画された縄文帶がめぐる。胴部には円弧を上下互い違いに組み合わせた文様が施されている。色調は内外面ともに茶褐色である。

15～18は、口縁部の破片で16・17は円形刺突文の巡るもの、18は横走沈線の巡るものである。19・20は胴部の破片で、19は壺形土器と考えられる。

21は胴部から口縁部に向け大きく開く深鉢形土器で口縁は波状を呈する。底部は欠損している。口唇の断面は角形で、刻みが口唇直下と胴部との境目に巡る。口縁部は無文である。胴部はS字を基調とする入組文が描かれている。色調は内外面ともに褐色である。

22は小型の浅鉢形土器である。口縁には山形の小突起があり、その中央に貫通孔がほどこされる。口唇の断面形状は角形で刻みはここに巡らされる。口縁部には縦位の沈線、胴部との境目には横走沈線が3条巡る。胴部は無文である。底部は僅かに遺存するが形状がわかるほどは残っていない。色調は外面が黒褐色、内面が茶褐色である。

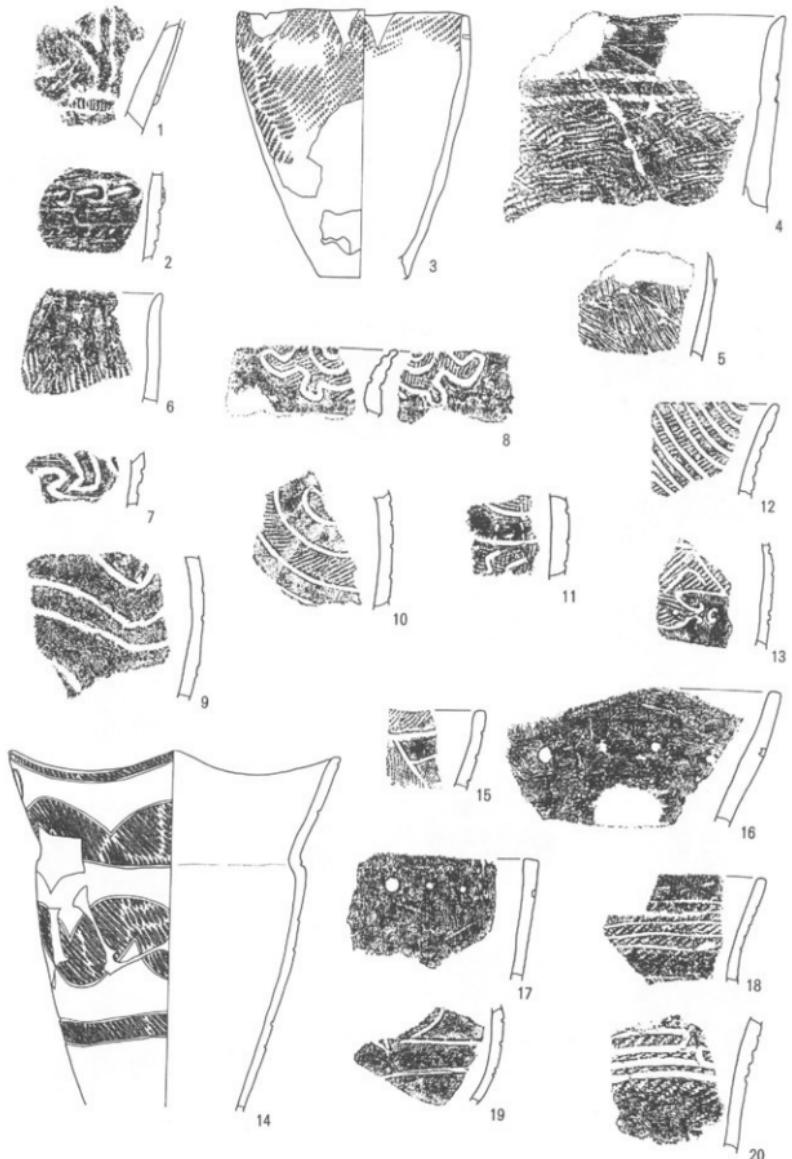
23は小型の浅鉢形土器で、口縁部が欠損する。頸部には沈線及び刻みが巡り、胴部には地文としての縄文及び沈線文が施される。底部は僅かに掲げ底となる。色調は内外面ともに黄褐色である。

24は小型の筒形土器の頸部である。口縁部と胴部以下は欠損している。文様は上部には刻みが横位に、下位には縦位に施され、地文の施された部分を区画する。色調は内外面ともに黄褐色である。

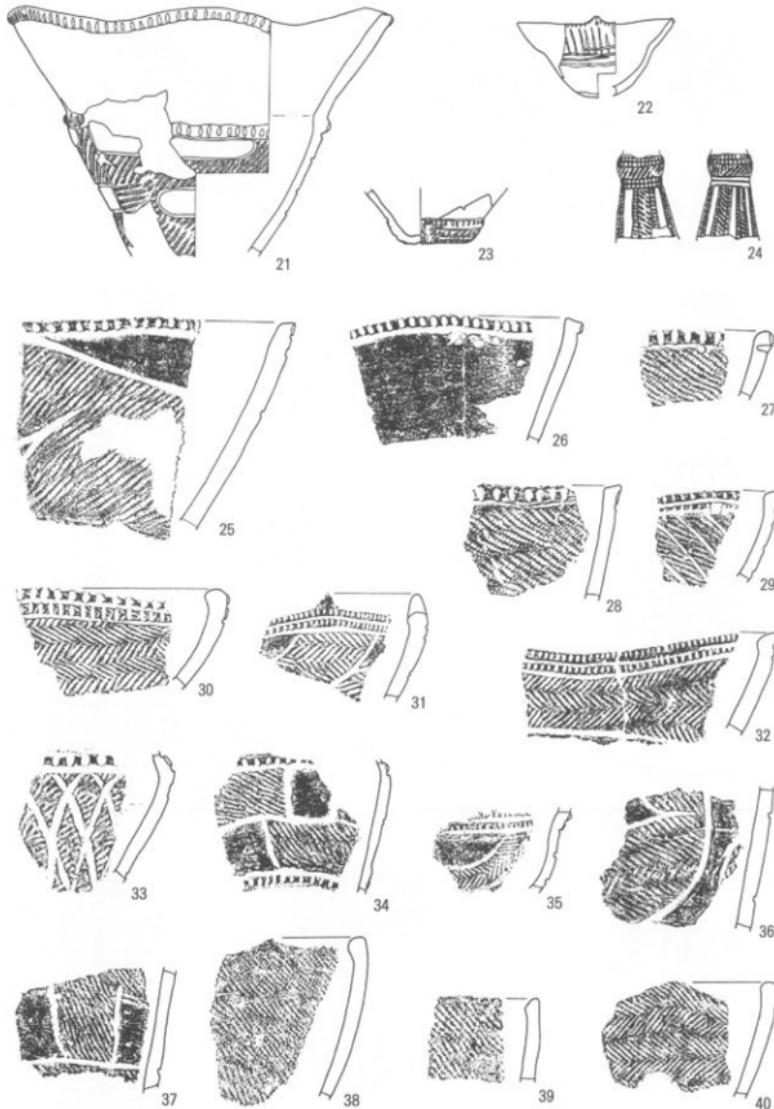
25～32は口唇直下に刻みの巡るもので、25～28は1条、29～32は2条巡る。27は円形刺突文、29は斜位の沈線が施される。30～32は地文が羽状縄文。33～35は刻みの巡る胴部の破片である。33は格子状の文様、34は縦位と横位の沈線で、地文の施された場所と無文の場所を区画する。35は2条の刻みが巡る。38～41は地文のみのものをまとめた。38・39は斜行縄文、40・41は羽状縄文である。

c類：縄文時代後期後葉のものをまとめた。

42～44は沈線の描かれた口縁部の破片である。42・43は円弧状に描かれた沈線の組み合わせによる文



图IV-1 包含层出土土器(1)



图IV-2 包含层出土土器(2)

様ですり消しによる無文帶を形成する。45～46は胴部の破片で沈線の施されたものである。

47～64は突瘤文の施されているものである。47～51・55～60は横走沈線を巡らしたのち、突瘤文のはどこしたもの。52～54・61・63・64は沈線は施されず、地文の上から突瘤文を施している。62は外側から刺突を施したのち、内面に形成された突瘤をならし、外側の刺突には貼付瘤を付け、刺突を隠したものである。65・66は口縁部に横走沈線が、67・68は沈線により鋸齒状の文様を描く。69・70は胴部の破片で地文の上から幾何学的な文様が描かれている。

71は口縁及び底部の欠損した壺形土器である。文様は肩部に円弧状に施された沈線を基調とする文様が描かれ、その部分のみ地文の縄文が施されている。色調は内外面ともに黄褐色である。

72は小型の浅鉢形土器である。口唇の断面は丸みをもつ。文様は口縁部と底部に沈線に区画された縄文帯が巡り、胴部には無文帯の中に連続した円弧文が描かれている。色調は外側が茶褐色、内側が黒褐色である。73～75は地文に沈線文及び擦り消しを施したもの。

76は比較的小型の浅鉢形土器と考えられる。口縁部及び底部は欠損している。頸部及び胴中部～下部に文様帯が巡り、胴上部は無文帯となる。文様は地文には斜行縄文がほどこされ、その上から頸部には鋸齒状を基調とした沈線文や貼付瘤、胴中部から下部には孤状を基調とした沈線文や貼付瘤がめぐる。色調は内外面ともに黄褐色である。

77～80は貼付瘤の施されたもので、77は口縁部、78～80は胴部の破片である。79は貼付瘤の剥落した跡が認められるものである。

第三群土器 縄文時代晩期のもの

a類：晩期前葉のもの。

1種：上の図式などに相当するもの

82～93は爪形文をもつもののうち、爪形文の左側に“めくれ”の認められるものである。82・83は突瘤の上から爪形文を施しているものである。84・86は爪形文の間に沈線による文様を施しているもので、84は×印に似た文様を連続して描いている。85は胴部に孤状を基調とした文様を描いている。88は2条の沈線の上に、爪形文を施しているが、他に較べて大きく、“めくれ”が右側にあることなど、若干異なる。87は大きな貼付瘤を施しているものである。

94～107は爪形文ないし刺突文が2段巡るものである。地文は斜行縄文を施したものが多い。

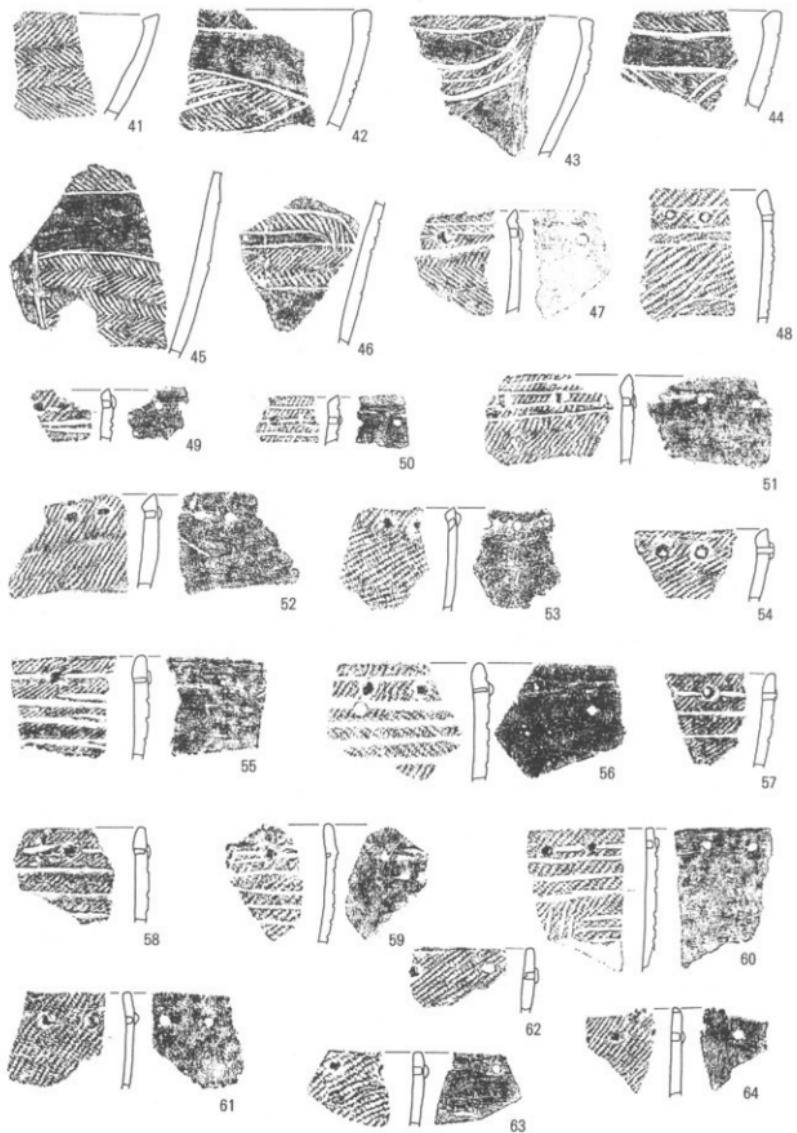
94は口縁部がすなり立ち上がる深鉢形土器で底部は欠損している。口縁には斜め方向の刻みが巡り、そのため小さな波状口縁となる。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部は丸棒状工具による斜めから刺突による爪形文を2列施している。地文は斜行縄文である。色調は内外面ともに黒褐色～黄褐色である。

95は胴部から口縁部にむけ直線的に開く深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁には2組の山形小突起が8対めぐり、口唇の断面形状は角形となる。口縁部に爪形文が2段施されている。地文は斜行縄文である。色調は外側が茶褐色、内側が褐色である。

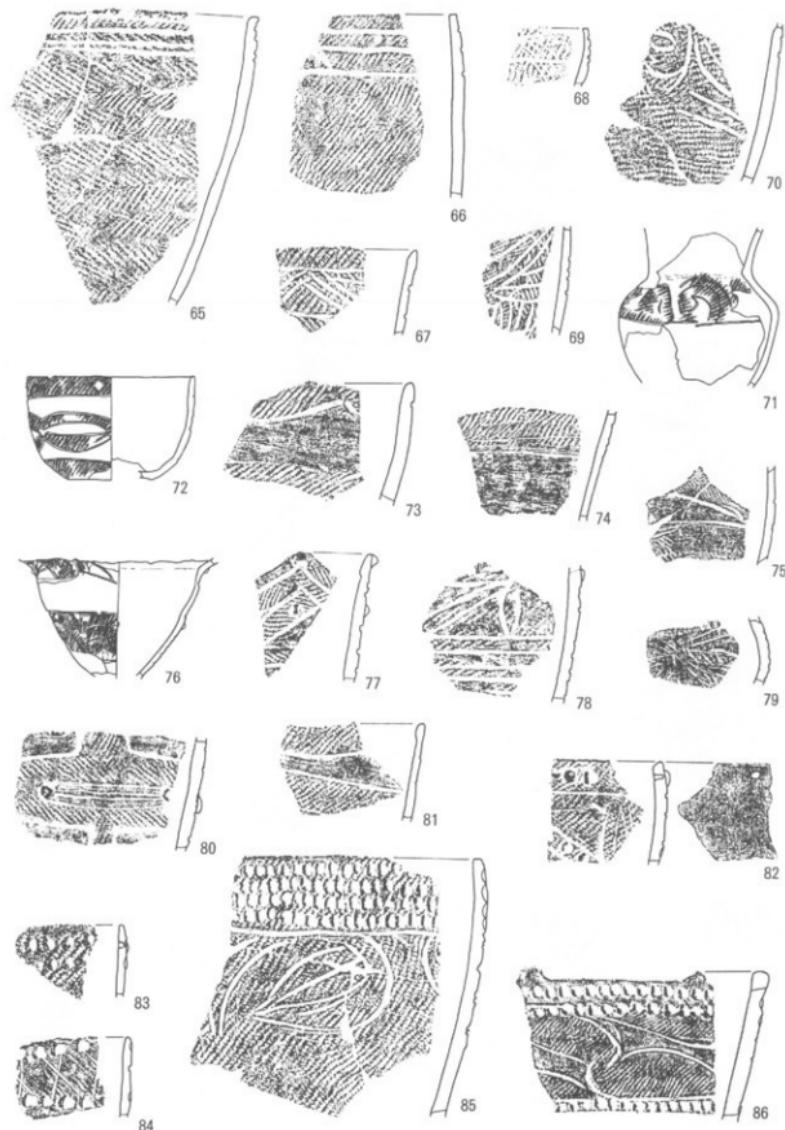
96は94と同様の器形をもつ深鉢形土器で底部は欠損している。口唇の断面形状は外削ぎ気味の角形で、94と同様斜め方向の刻みにより小さな波状口縁を形成する。文様は角棒の先端による上からの刺突による爪形文を2段施している。胴部は斜行縄文である。色調は内外面ともに灰褐色である。

97の爪形文は角棒の先端、99・101は棒状工具で刻線を施すように刻む。103は細い棒状工具による列点文状、105・106は角棒状工具による押引文状、100は先端が丸みをもつ工具の刺突による爪形文と考えられる。107は“めくれ”が認められるものであるが前掲したものと違い、方向がまちまちであるなど規則性がない。

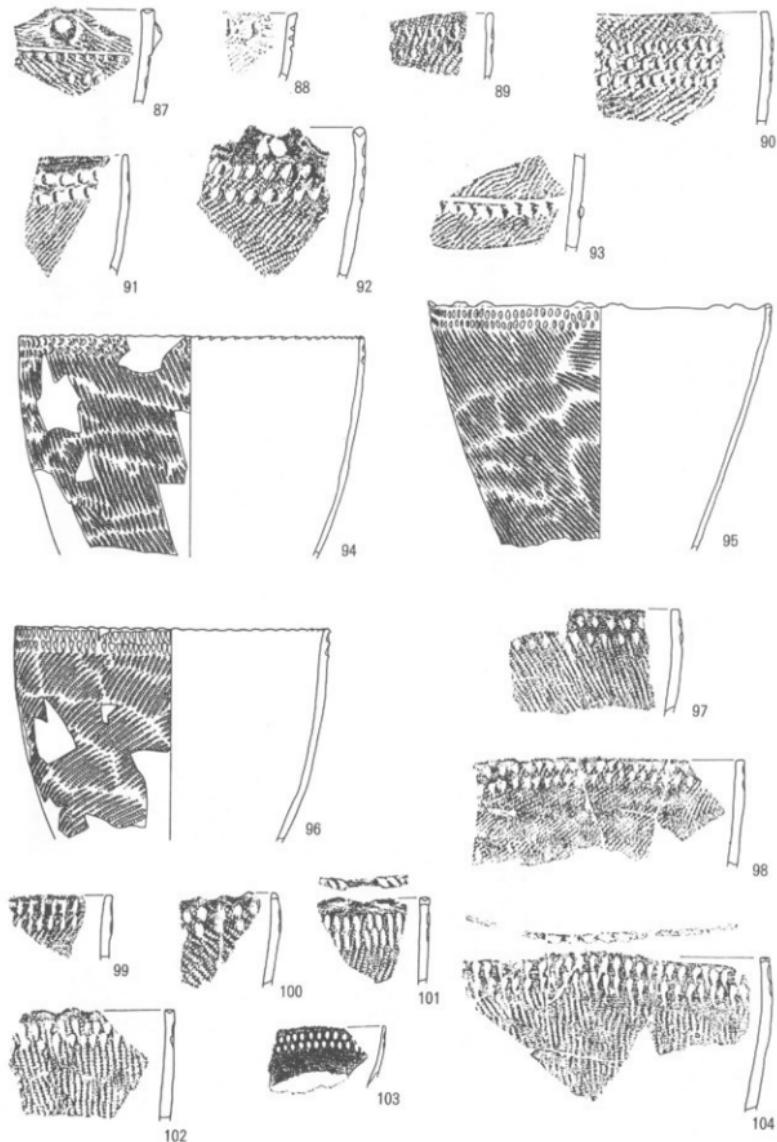
108～123は3段の爪形文の巡るものである。地文は縦走縄文が大半を占める。



図IV-3 包含層出土土器（3）



图IV-4 包含层出土土器(4)



図IV-5 包含層出土土器(5)

108は胴部から口縁部に向けすんなりと立ち上がる深鉢形土器で、底部は欠損する。口縁には斜め方向の刻みが施され、小さな波状口縁を形作る。口唇の断面形状は角形である。地文は縦走縄文を施している。色調は外面が黄褐色、内面が灰黄褐色である。

109は胴部から口縁部に向け立ち上がる深鉢形土器で、底部は欠損する。口唇の断面形状は丸みを持つ角形である。口縁は平縁であるが、連続した4個の刻みが6箇所施される。胴部は縦走縄文を施している。色調は外面が褐色、内面が黒褐色で煤が付着している。

110の爪形文は角棒状工具による斜め方向、112は先端が丸みを持つ工具による刺突、113は丸棒状工具による横方向の刺突による爪形文が施される。112の地文は斜行縄文である。

114は胴部から口縁部に向け椀状に立ち上がる深鉢形土器である。口縁には正面に3個、側面に1個の山形小突起が施される。口唇の断面形状は角形を呈する。胴部には縦走縄文が施される。色調は外面が茶褐色、内面が黒褐色である。115は細い丸棒状工具による上方向、119は横方向の刺突による爪形文である。

120は底部が張り出し胴部から口縁部に向け椀状に立ち上がる深鉢形土器である。上半分と下半分は接合しないため、図上で推定復元をした。口唇の断面形状は三角形を呈し、口縁には2個の山形小突起が認められる。文様は口縁部に山形小突起のあるところには4段、それ以外のところでは3段の爪形文が巡る。胴部は縦走縄文である。底部には2条の横走沈線が巡る。色調は外面が褐色、内面が黒褐色である。

121は胴部が大きく張り出して口縁部が真っ直立ち上がる器形である。底部は欠損している。口縁には棒状工具による刻みが内面と外面から交互に施されている。口唇の断面形状は丸みをもつ。胴部には縦走縄文を畠状に施す。色調は外面が黄褐色～褐色、内面が黄褐色である。122は地文に斜行縄文が施されている。

124～131・134は爪形文が4段巡るものである。地文は130を除き、全て縦走縄文である。

124は胴部から口縁部に向け、比較的直線的に聞く深鉢形土器である。底部は欠損している。口唇の断面形状は丸みを持つ。口縁には斜め方向の刻みが巡り、それにより細かい波状口縁を形作る。口唇の断面形状は丸みをもつ。色調は外面が褐色、内面が暗褐色である。

125は口縁の一部が波状となっているものである。

127は胴部から口縁部に向けすんなりと立ち上がる深鉢形土器で、口唇の断面形状は角形を呈する。口縁には124同様、斜め方向の刻みが施され、細かな波状口縁を形作る。色調は外面が褐色、内面が黄褐色である。130は地文が斜行縄文のもの。131は口縁に小突起の施されているもので、突起には1段の爪形文が施されるため突起のある部分だけ5段となる。134は太い角棒状工具により横位の押引文ふうに施される。

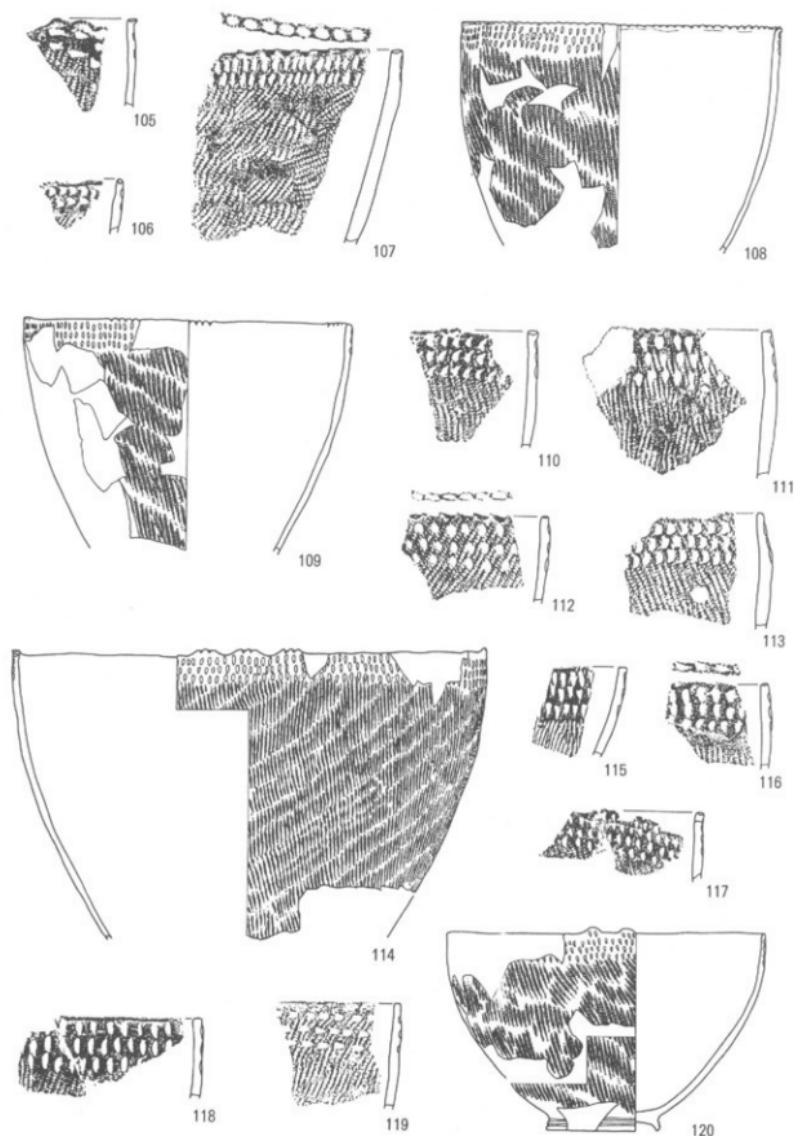
132・133は5段の爪形文が施されたもの。132の口唇には斜め方向の刻みが巡るが、部分により刻みの向きを変える。

135～139は口縁部の文様が爪形文と横走沈線によるものである。

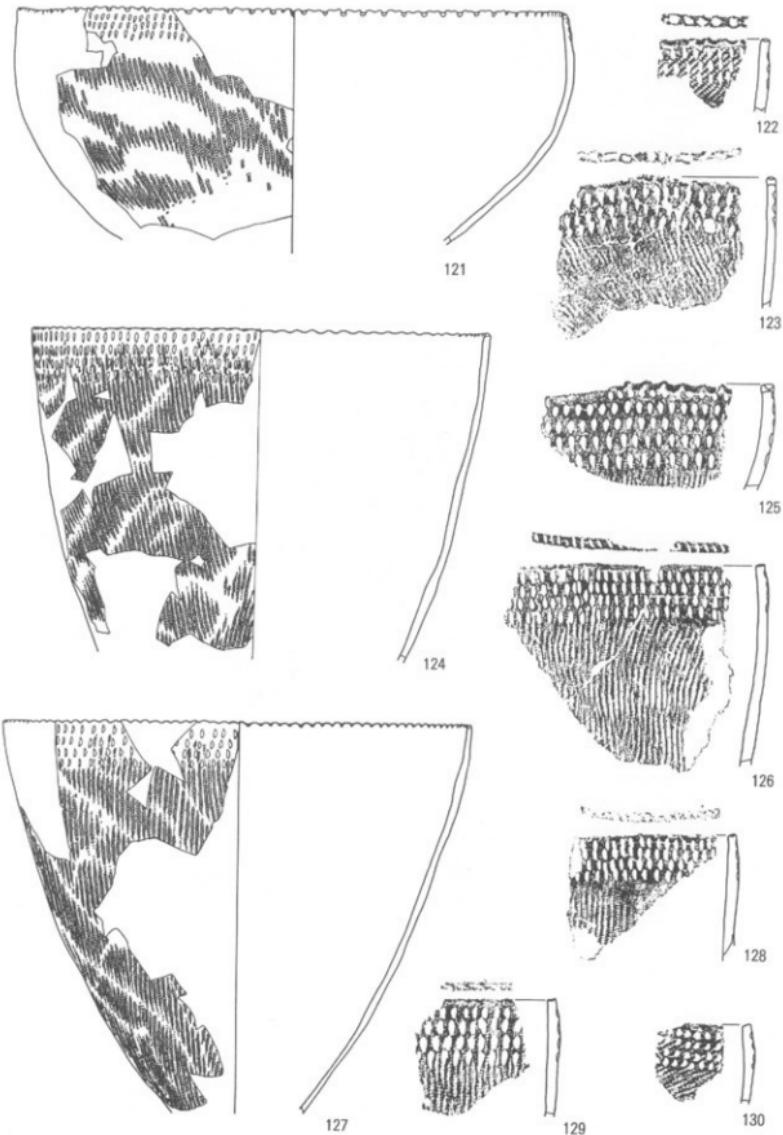
135は胴部から口縁部に向け内湾し立ち上がる深鉢形土器である。口唇の断面形状は丸みを持つ。口縁には2組1対の山形小突起が4箇所巡る。文様は山形突起下には沈線による曲線、口縁部には3本の横走沈線の上下に2段の爪形文が巡る。胴部には縦走縄文が施されている。色調は外面は褐色～黒褐色、内面は灰褐色～黄褐色を呈する。

136は爪形文に挟まれて3本、138は爪形文下に2本、137は爪形文を挟んで4本の横走沈線が巡る。136・139は上位には縦位、下位には横位の爪形文が施されている。

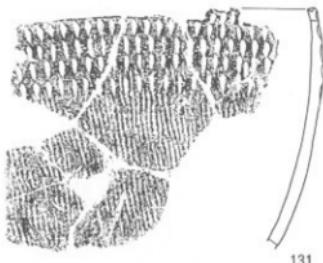
140～144は底部の資料である。140は浅鉢形土器の底部である。141～143は台状となっているものである。141は3段、142は2段の爪形文、143は2段の爪形文と2条の横走沈線が施される。



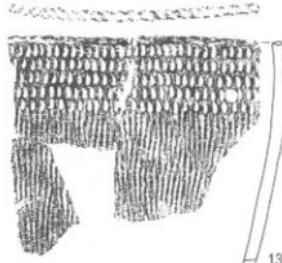
圖IV-6 包含層出土土器（6）



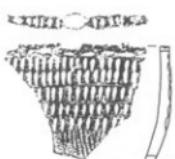
图IV-7 包含层出土土器(7)



131



132



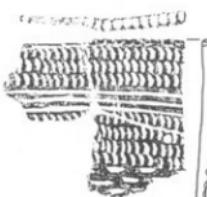
133



135



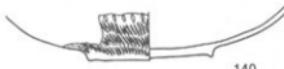
134



136



137



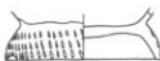
140



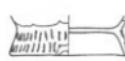
138



139



141



142



143



144

图IV-8 包含层出土土器(8)

145～178は沈線文と爪形文の組み合わせにより、幾何学的な文様の展開するものである。

145は胴部の張り出す小型の浅鉢形土器である。口縁には2個1組の小突起が6対巡る。口唇の断面形状は角形を呈する。器面の文様は口唇から底部付近まで爪形文と横走沈線が交互に施され、その中间には1対の小突起間に一つずつ“6”の字に似た文様が描かれている。内外面ともにきれいに調整されている。色調は外面が褐色、内面が黄褐色である。

146は注口土器の注口部である。文様は沈線に挟まれた爪形文のほか、貼付瘤が施されている。色調は内外面ともに褐色である。

147～149は口縁部に横走沈線と爪形文のみの組み合せのものである。149・150は丸棒状工具による斜めからの刺突による。151・152は刻み目の上位に貼付瘤が施されているもの。154は2段の刻み目にはさまれて連続した山形文が施されたものである。161～164は沈線に挟まれた爪形文により直線以外の様々な文様を施すもの。164・165は胴部の破片で、165には刻みの施された貼付瘤が巡る。166・168・173～176・177・178は横走沈線や幾何学的な文様の間に爪形文を充填したものである。

179～184は器面や文様の区画内において小刻みの刺突を施しているものである。

179は小型の浅鉢形土器である。口唇の断面形状は角形を呈する。口縁は細かい波状口縁となっている。器面には6段の列点文が巡る。底部は平底と考えられる。色調は内外面ともに褐色である。

180は区画内で括ったその外側を刺突で充填している。

182は底部の丸い浅鉢形土器で、口縁部は欠損する。頸部には横走沈線が数条巡り、幅の狭い胴部には列点文が1段施されている。丸底の底部には同心円を基調とする沈線が描かれ、その間を刺突文が充填する。色調は内外面ともに褐色である。

183は胴部の張り出す深鉢形土器と考えられるが、口縁部と底部が欠損しているものである。文様は頸部に列点文が2段巡り、胴部には丁字文ふうの区画内に列点文が1段施される。色調は外面が黒褐色、内面が褐色である。184は2本の横走沈線や、2本1組の垂下する沈線でX画し、その中を刺突文で充填している。

185・186は沈線を基調とした文様であるが一部に刺突も施されている。187～192は沈線文の施されたもので、191は深い沈線を刻み弧状の文様を貼付文のように浮かび上がらせている。193はボタン状の貼付文の施されたものである。

194は底部の欠損した深鉢形土器である。口縁には刻みのある小突起が4個巡る。口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は口縁部に4条の横走沈線が巡るのみである。色調は内外面ともに暗褐色である。195は突起部に穿孔が施されたものである。

197～214は地文のみのものである。

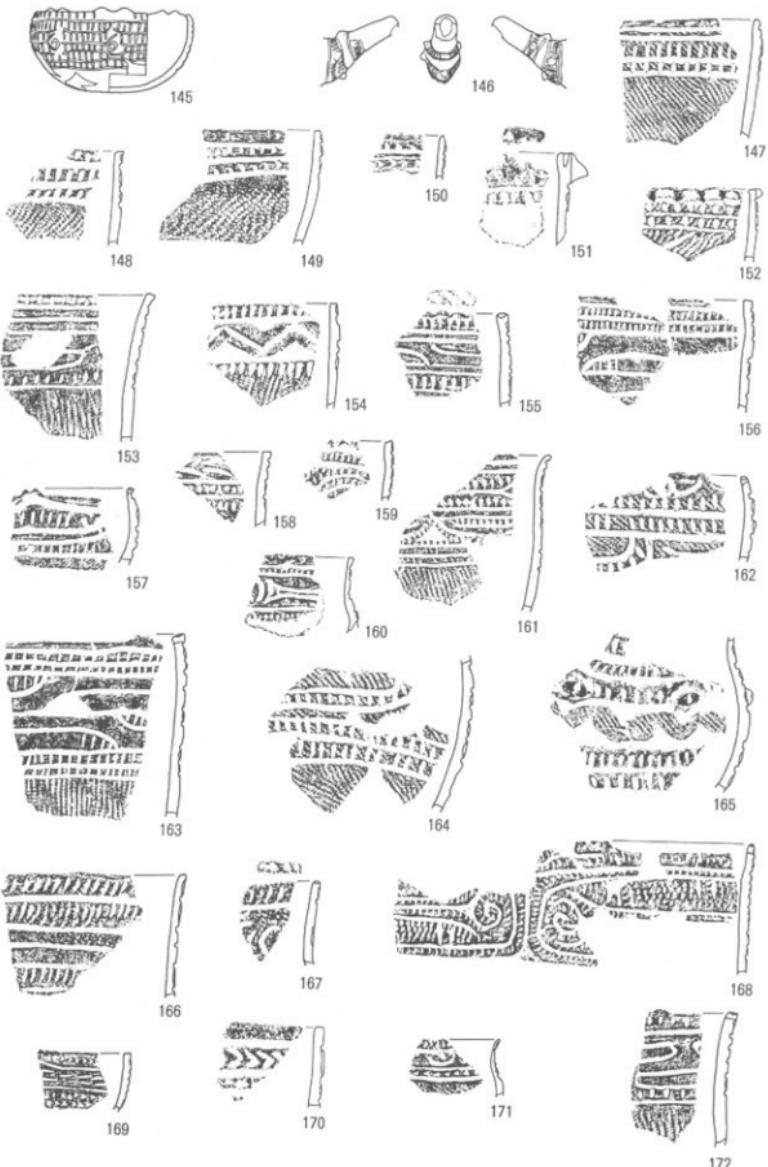
198は胴部から口縁部に向けすなりと聞く深鉢形土器である。底部は欠損している。口唇には斜め方向の刻みが巡り、細かな波状口縁となっている。口唇の断面形状は角形を呈する。地文は継走縄文が施される。色調は外面が黄褐色～褐色、内面は黄褐色である。

197・199～203も細かな波状口縁を呈するものである。199・202の口縁は内面と外面から交互に押し付けるようなやり方で波状口縁を作出している。

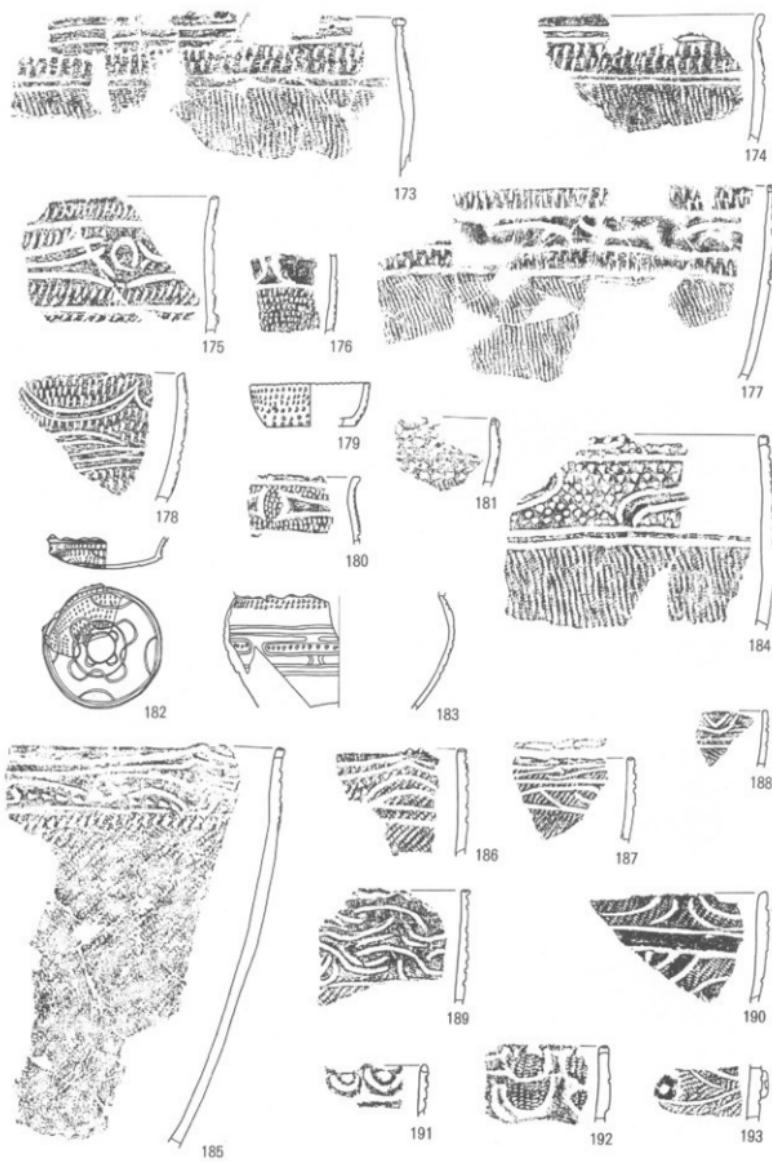
204は胴上部から口縁部にむけ直線的に立ち上がる深鉢形土器である。口縁には斜め方向の刻みがめぐり、細かな波状口縁を形作る。口唇は丸みをもつ。地文は斜行縄文である。色調は外面が褐色～茶褐色、内面が褐色である。205・207は口唇に刻みの巡るもので、205は刻みの向きを変えて施す。

208は底部の欠損した浅鉢形土器である。口縁には頂部に刻みをもつ2草1組の小突起が、6ヶ所施されている。口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は斜行縄文が施されている。色調は外面が褐色、内面が茶褐色である。

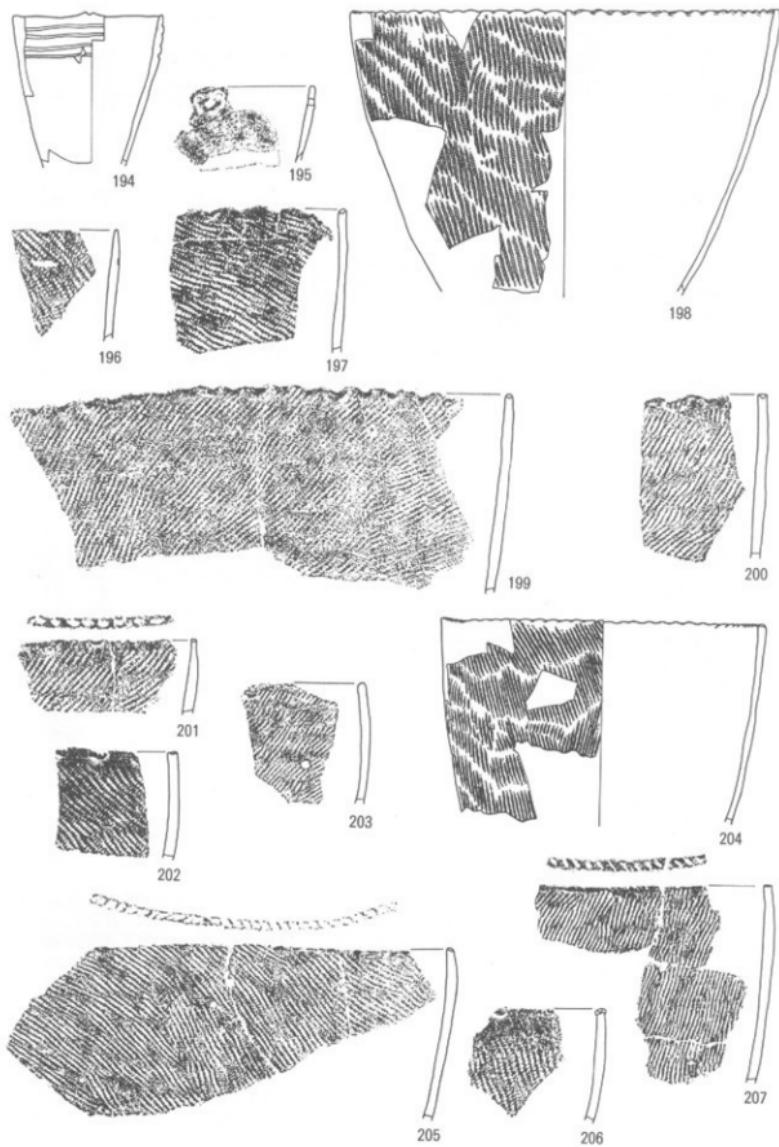
210は底部の欠損した深鉢形土器である。口縁は刻みがあるほかは平縁で鎧状の工具による押圧によ



图IV-9 包含层出土器（9）



图IV-10 包含层出土土器 (10)



図IV-11 包含層出土土器 (11)

り平縁を作出している。口唇の断面形状は角形を呈する。文様は斜行縦文が施される。色調は外面は暗褐色、内面が灰褐色である。

211は副部から口縁部に向けすんなりと立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁には刻みのある小突起が認められ、口縁上には一部に縦文が施されている。口唇の断面形状は丸みを帯びた角形である。文様は縦走縦文である。色調は外面が褐色、内面が黒褐色を呈する。

213は胴部から底部にかけてのもので、底部は揚げ底である。214は副部のみのものである。

215～221は無文のものである。

215は小型の浅鉢形土器である。底部は欠損している。口縁には刻みが巡り、口唇の断面形状は丸みを持つ。色調は内外面ともに黄褐色である。

216は椀状を呈する浅鉢形土器である。口縁には小突起のかけ落ちたあとがあるが、その他の部分は平縁である。口唇の断面形状は角形を呈する。底部は揚げ底であるが、底部が欠損している。

色調は内外面ともに黄褐色である。

217は副部から口縁部にむけ大きく開く浅鉢形土器である。口縁には4個の刻みをもつ山形小突起が巡らされている。口唇の断面形状は角形を呈する。底部は揚げ底である。色調は外面が灰褐色、内面が黄褐色である。

218は副部から口縁部にむけ、直線的に立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には細かな波状口縁が巡る。口唇の断面形状は丸みを持つ。色調は内外面ともに茶褐色。

219は大型の深鉢形土器で、口縁は細かな波状口縁、底部は揚げ底である。口唇の断面形状は丸みを持つ。色調は外面が褐色、内面は黄褐色である。

220は比較的小型の深鉢形土器である。口縁には小突起が1基施され、その他の場所には指による押圧が巡り僅かに波状となる。口唇の断面形状は鋭い三角を呈する。底部は僅かに揚げ底である。色調は内外面ともに黒褐色～褐色である。221は口縁部の破片で口唇に刻みが巡る。

2種：大洞B式などに相当するもの

222は胴下部と底部の欠損した深鉢形土器である。口縁は緩やかな波状を呈し、口唇の断面形状は丸みを持つ。文様は沈線によるもので、口縁部には弧や三角を施し、胴部には横走沈線や破線を巡らす。色調は内外面ともに黒褐色である。223～228は沈線による文様の描かれているもので、223は円弧状、226～228は三角形を基調とした文様が描かれている。

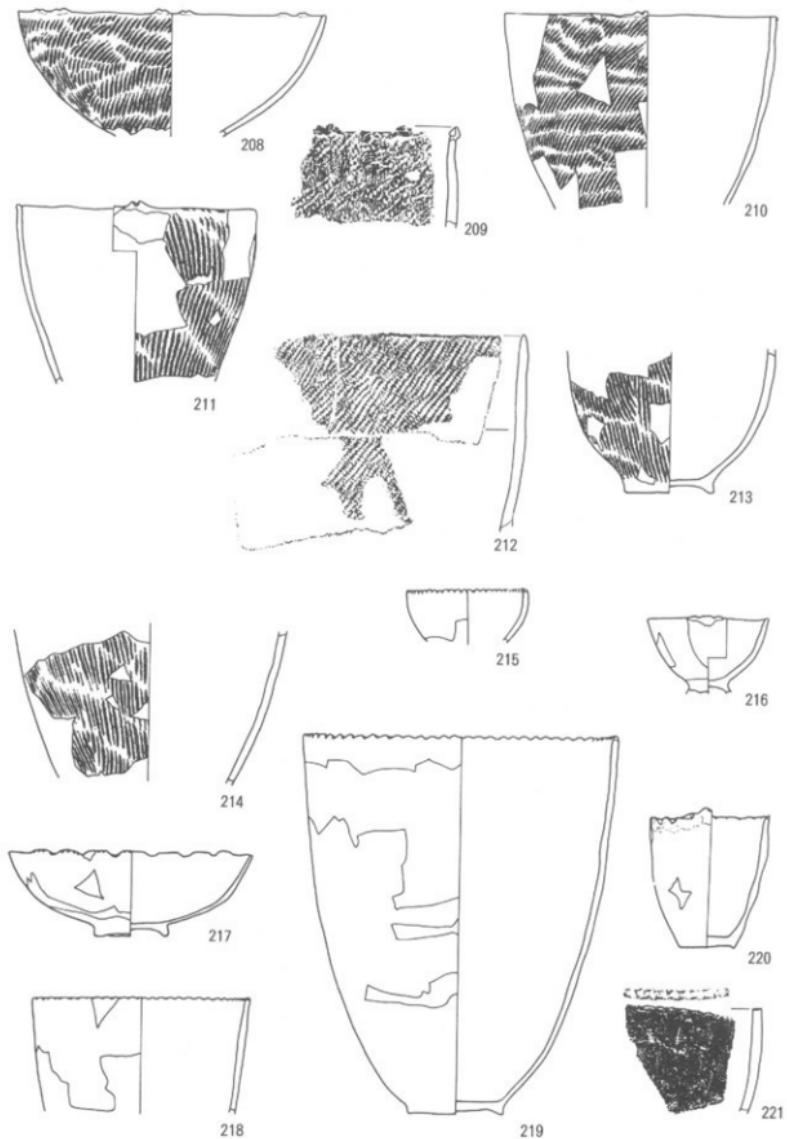
229は口縁部の欠損した浅鉢形土器で、底部は揚げ底である。文様は2条の横走沈線と三叉様の文様を施す。器面の調整は内外面ともに極めて良い。色調は内外面ともに黄褐色である。

230は注口上器の注口部である。

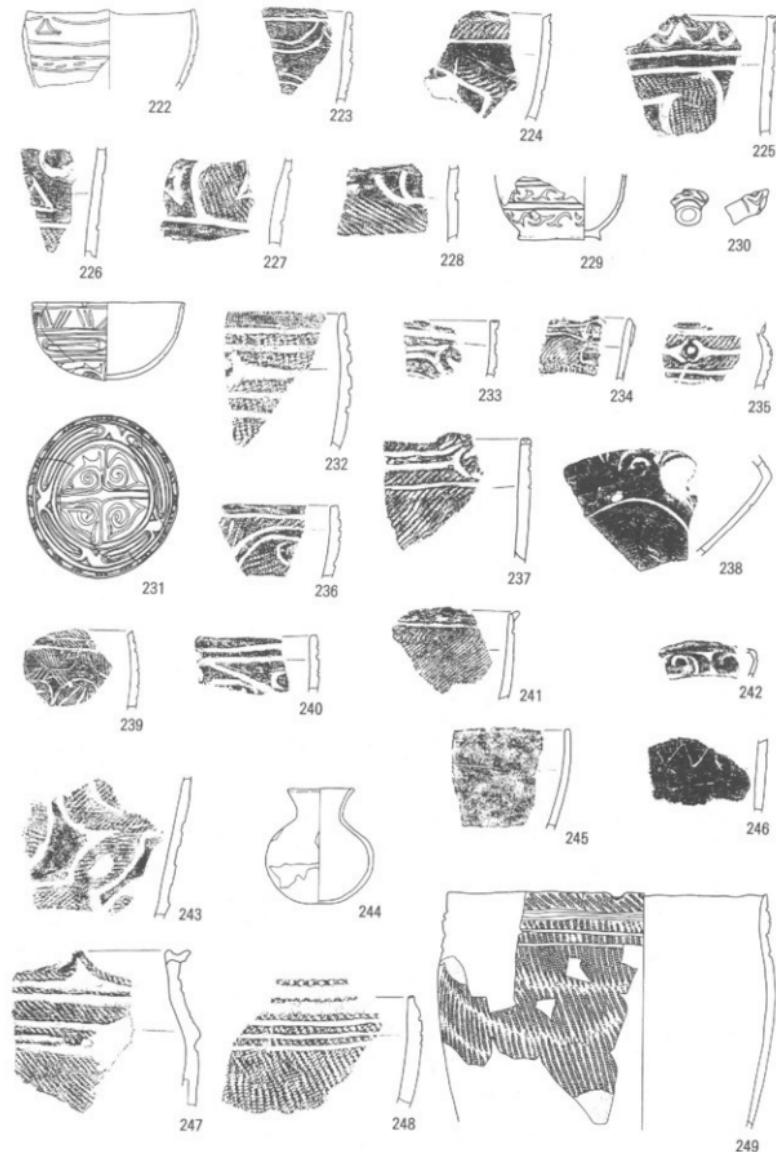
231は丸底の浅鉢形土器である。口縁は平縁で口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は横走沈線文を数段施し、その間に“ハ”の字を連続した文様、楕円形を基調とした文様を施し、底部には渦巻き状の文様が4個施される。色調は内外面ともに褐色である。

232～235・237にも三叉状の文様が描かれている。238・242は精製土器で、238は注口上器の胴下部と考えられる。241は沈線の下位に細かな斜行縦文の施されたもので精製土器の可能性がある。

244は小型の壺型土器である。口縁は平縁、口唇の断面形状は角形である。器面全体に刻みが施された、精製土器と考えられるが文様は施されていない。底部は丸底に近い。色調は外面が赤褐色～黒褐色、内面が褐色である。245・246も精製土器の可能性がある無文土器の破片である。246には焼成後に付けられた刻線が鉛垂状に刻まれている。



图IV-12 包含层出土土器 (12)



图IV-13 包含层出土土器(13)

b類：晩期後葉のもの

247～249がこれに属する。ともに横走沈線を基本としたモチーフである。

249は胴部が僅かに張り出す深鉢形土器である。胴下部から底部にかけて欠損している。口唇の断面形状は三角である。口縁には1箇所凹んだ部分が認められる。口縁部の文様は横走沈線、地文は斜行縄文である。色調は内外面ともに褐色である。

第IV群土器 縦縄文時代のもの。

a類：青苗B式、兜野式、大背部式、東歌別式などに相当するもの。

1種：地文が斜行もしくは縦走縄文のみのもの。

250は胴部から口縁部にむけ、直線的に立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は中央に大きな刻みをもつ山形の小突起が4基施される。小突起上は大きな刻みにより頂部が二つに分かれしており、それぞれ頂部にはさらに小さな刻みが施される。文様は口縁部には小突起下に4本の縦方向の沈線が施され、胴部との境目には3条の沈線が巡る。胴部は縦走縄文が施される。色調は黒褐色～褐色、内面は褐色である。

251は底部が張り出し、胴上部から口縁部にむけ直線的に立ち上がる深鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は三角である。文様は口縁部に4条の横走沈線が施されるが、上部の2条は、波頂部で切れて縦向きになる。胴部は縦走縄文が施される。底部は掲げ底である。色調は外面は褐色～黒褐色、内面は黒褐色である。

252は胴部が僅かに張り出す深鉢形土器で、胴下部以下は欠損する。口縁には山形の小突起がある。口唇の断面形状は三角である。文様は口縁部には、突起下に縦方向の列点文とそれを左右に挟む縦方向の沈線が施され、胴部との境目には3条の沈線が巡る。なお、列点文と沈線は同一工具による施文と考えられる。胴部には縦走縄文が施されている。色調は外面が黒褐色～赤褐色、内面が黒褐色である。

253は小型の浅鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は丸みを持つ。文様は上部から4条の横走沈線、列点文、2条の波状の沈線が施される。地文は横走する縄文が施される。底部は僅かに掲げ底である。色調は外面が黄褐色～褐色、内面が褐色である。

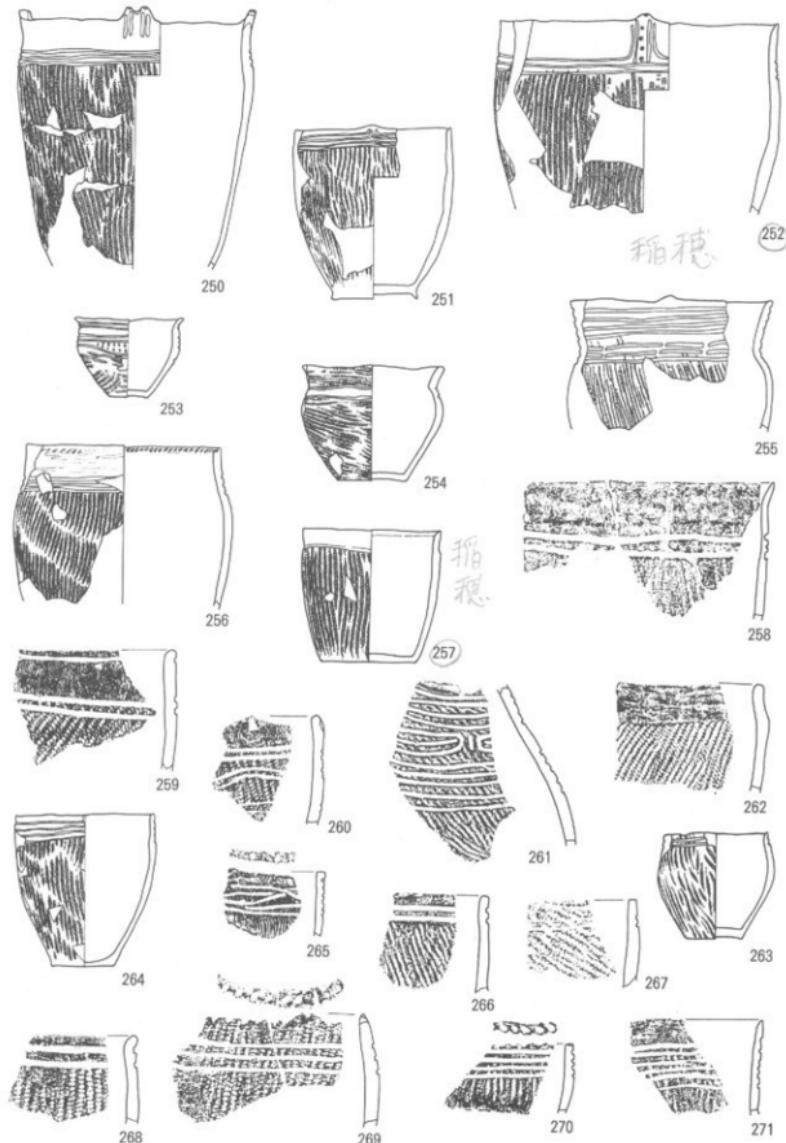
254は胴部が若干膨らみ口縁部の外反する深鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は丸みをもつ。頂部には2条の横走沈線に挟まれた無文帯がめぐる。地文は横走する縄文である。底部は僅かに掲げ底となる。色調は外面は黒褐色、内面は黒褐色～茶褐色である。

255は胴部が張り出し、口縁部の開く深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には山形の小突起が施される。口唇の断面形状は角形を呈する。文様は、口縁部には上から4条の横走沈線、2条の破綻線の沈線、1条の横走沈線が巡る。胴部には撚糸文風の縄文が施される。色調は外面が暗褐色、内面が黒褐色である。

256は胴部の膨らむ深鉢型土器で、胴下部以下は欠損する。口縁は平縁で口唇には縦縄文が巡る。口縁部は上部に無文帯、下部に沈線が3条めぐる。この、無文帯は沈線を施したものと同じ工具によって整形されたものと考えられる。なお、無文帯の一部には縦縄文がかすかに残っており、前に施されていた縦縄文を擦り消して無文帯としたものと考えられる。胴部には縦走縄文が施されている。色調は外面が茶褐色、内面は黒褐色である。

257は胴部が僅かに膨らむ深鉢形土器である。口縁は平縁、口唇の断面形状は三角である。口縁部は無文で口縁部と胴部との境目には沈線が巡る。胴部は縦走縄文が施されている。底部は平底である。色調は内外面ともに茶褐色を呈する。

258は無文帯の下位に2条の横走沈線に挟まれた列点文の巡るものである。259も口縁部に無文帯が形成されているもので、無文帯の上位には1条、下位には2条の横走沈線がめぐる。260は波状口縁となっ



图IV-14 包含层出土土器 (14)

ているものであり、波頸部には刻みが施される。261は壺形土器の頸部と考えられる破片である。262は無文帯と地文の斜行縞文のみのものである。

263は胴部が若干張り出す深鉢形土器である。口縁は平縁と考えられるが一部内面からの押奈により凹んだ部分がある。口唇の断面形状は三角を呈する。文様は口縁部に2条の沈線文が巡る。胴部は撓り戻しの原体による縦走縞文が施される。底部は僅かに揚げ底である。色調は外面が暗褐色であり内面は暗褐色、底は黄褐色である。

264は胴部が開き口縁部が垂直に立ち上がる深鉢形土器である。口縁は平縁、口唇の断面形状は丸みを持つ。文様は口縁部に4条の横走沈線が巡り、胴部には、縦走縞文が施される。底部は僅かに丸みをもち、若干バランスが悪い。色調は内外面ともに茶褐色である。

266～274は横走沈線の施された口縁部破片で、266～268は2条、269は3条、270は4条、272は5条の沈線が巡る。373～375は間隔を開けて横走沈線が巡るものである。274には口縁に2個1組の山形の小突起が施されている。

276は口縁部が真っ直立ち上がる深鉢形土器である。胴部以下は欠損している。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部には幅の狭い無文帯が2条、細い沈線が4条交互に巡らされ、その間の部分が降起帶様を呈している。地文は縦走縞文が施される。色調は外面は茶褐色～褐色、内面は灰褐色である。277は口縁部に2条の幅の狭い無文帯が施されているものである。

279は口縁部の欠損した小型の深鉢形土器である。僅かにのこる口縁部には横走沈線が数条めぐる。胴部には縦走縞文が施される。底部は平底である。色調は外面が黄褐色～暗褐色。内面は褐色～黒褐色である。

280～293は縞線文の施されたものである。

280は比較的小型の深鉢形土器である。口縁は平縁、口唇の断面形状は丸みを持つ。口縁部には1条の縞線文が巡る。地文は縦走縞文である。底部は平底を呈する。色調は外面は褐色～茶褐色、内面は黒褐色で底は黄褐色である。

281～283は口縁部の破片で縞線文が1条巡るものである。

284は胴部が開き、口縁部が若干内湾したちあがる深鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は三角を呈する。口縁部には縞線文が2条巡る。地文は縦走縞文である。内面には口縁部に横方向の調整痕が残る。

286～290・293は縞線文が2条認められるものである。286・289は縞線文の上位が無文帯であるもの、290は2条の縞線文の下位に段が巡るものである。

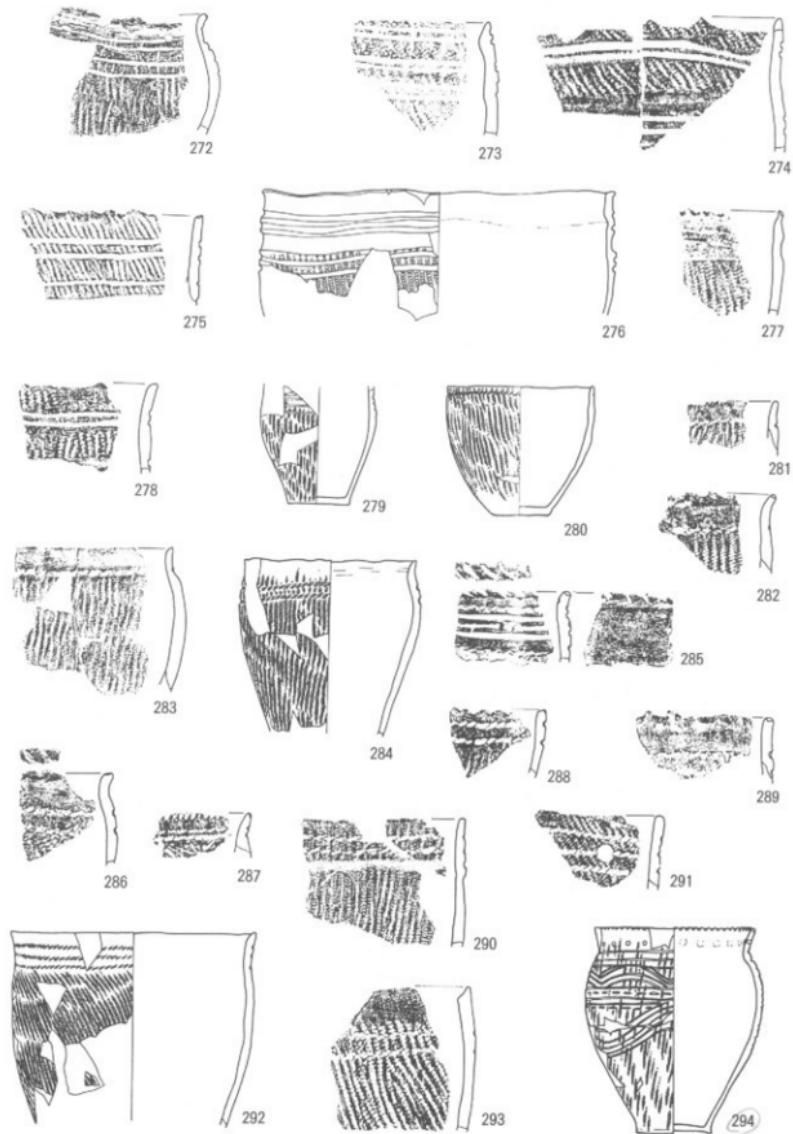
292は胴部から口縁部に向け、すなりと立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は平縁で、口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部には3条の縞線文が巡り、胴部には斜行縞文が施されている。色調は外面は褐色、内面が黄褐色である。

294～322はO I の突瘤文の施されたものである。地文は縦走縞文と斜行縞文がある。

294は胴部が大きく張り出した壺形土器である。口縁は細かな波状を呈し、口唇は丸みをもつ。文様は口縁部には突瘤文が、胴部には、3条の横走沈線や波状の沈線文、破線と横走沈線との組み合わせによるモチーフが描かれる。地文は縦走縞文である。底部は揚げ底である。色調は内外面ともに茶褐色である。

295は突瘤文の下位に弧線文が描かれているもの。296には斜位の沈線が描かれている。

297は胴部から口縁部に向けすなりと立ち上がる深鉢形土器である。口縁には刻みを持つ山形の小突起が2つ並んで施される。口唇の断面形状は角形である。底部は欠損している。口縁部には太い棒状工具により、2本の横走沈線を施し、正面近くで2本の沈線を繋げて工字文ふうに描く。突瘤文は沈線を施したものと同じ工具により、沈線の上から施される。胴部には縦走縞文を施している。色調は内外



图IV-15 包含层出土土器 (15)

津波館

面ともに褐色である。

298は胴部が膨らむ深鉢形土器である。口縁は細かい波状となっており、口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には2条の無文帯と4条の横走沈線が巡る。上位の無文帯には突瘤文が施されている。地文は縦走繩文である。色調は外顔が黄褐色、内顔が黄褐色～黒褐色である。

299・300は2条の横走沈線の施されているものである。301の刺突は貫通孔となる。

303は胴上部から口縁部に向け若干内湾する深鉢形土器で、器厚が他の土器と較べ厚い。底部は欠損している。口縁は平縁で、口唇の断面形状は丸みを持つ。口縁部には突瘤文が巡り、その下位には突瘤文を施したものと同様の工具で、3条の横走沈線が施される。地文は縦走繩文である。なお、胎土は他の土器に較べ弱干脆い。色調は外顔が暗褐色、内顔が黒褐色である。

304は胴部が若干張り出し、口縁部が僅かに外反する深鉢形土器と考えられる。胴中部以下は欠損している。口縁は平縁で口唇の断面形状は内削ぎぎみの角形を呈する。口縁部には3条の横走沈線が巡り、上位2本の沈線の間に突瘤文が巡る。地文は縦方向の繩文である。色調は外顔が褐色、内顔が黒褐色。

302・306は突瘤文の下位に3条の横走沈線が巡るもの。

308は横走沈線が2条ずつ間隔をあけて施されているもので、最上部の沈線上には突瘤文の替わりに貫通孔が巡らされている。309は2本の繩線文の巡るもので、突瘤文が上位の繩線の上から施される。310～314は斜行繩文の施されたものである。310・312は突瘤文が貫通孔となっているものである。311は口縁に太い刻みが巡る。315は横走する繩文の施されたもので、口唇には刻みが巡る。316～322は縦走繩文の施されたもの。318は口唇に斜め方向の刻みが巡り、細かな波状口縁を作出する。321にも細かな波状口縁が形成されている。

323～355は1〇の突瘤文の施されたもので、地文は縦走繩文が殆どを占める。

323は胴部が若干張り出し、口縁部の外反する深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は平縁で口縁上に縫文が施されている。口輪の断面形状は角形を呈する。文様は口縁部には内側からの突瘤文を施し、その下部には、沈線で長方形の文様を2段、工字文ふうに施し、胴部には2条の横走沈線を巡らす。地文は斜行繩文が施されているが、胴下部の縫文は若干縦走する。色調は外顔は茶褐色～明黃褐色、内顔は黒褐色～黄褐色である。

324は口縁部に沈線で長方形を施し、その上下に横走沈線を描いている。326は突瘤文の下部に上下各2条の横走沈線に挟まれた2本の平行沈線による鋸歯状の文様が描かれている。327は横走沈線と斜め方向の沈線が數条施される。

328は胴部から口縁部にかけてすんなりと立ち上がる深鉢形土器である。口縁は平縁であり、口唇の断面形状は三角である。口縁部は突瘤文のはか、2条の沈線が巡る。そのうち1条は突瘤文の施文後に施されている。地文は縦走繩文である。色調は外顔が黄褐色、内顔が灰褐色である。

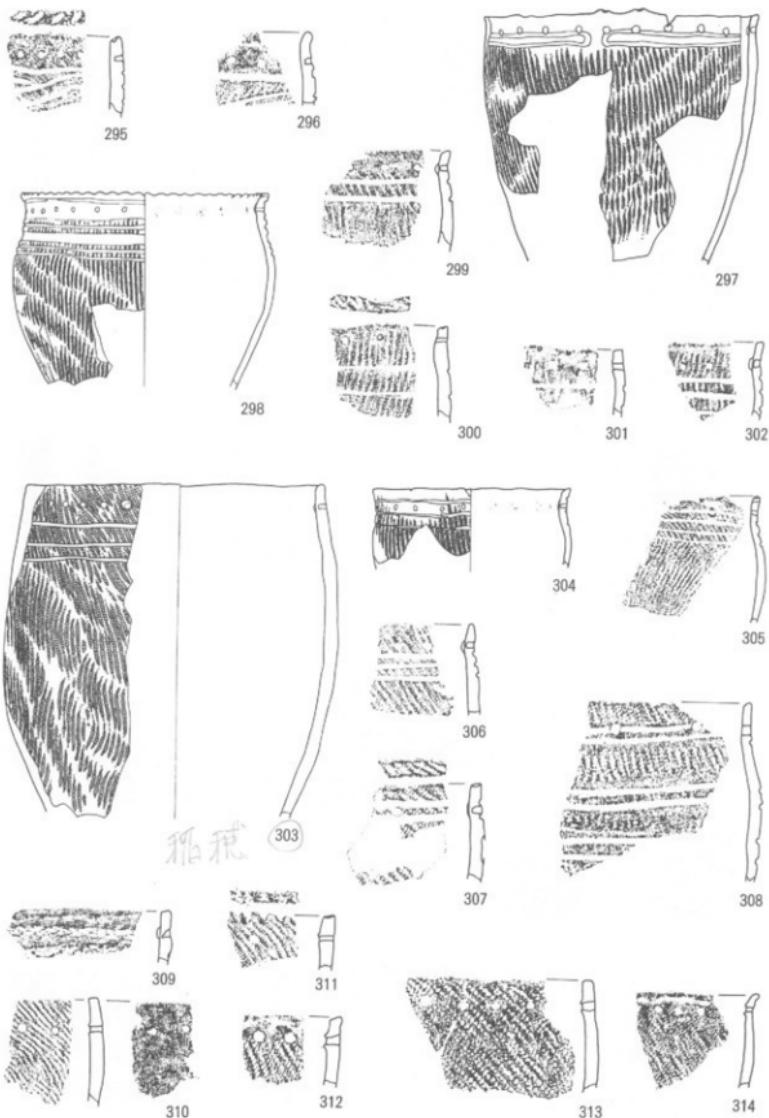
329～331も2条の横走沈線文の巡るものであるが、これらは全て突瘤文の下位に施されたもの。

333は胴部が開き口縁部が直線的に立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には刻みが巡る。口唇の断面形状は内削ぎぎみの角形である。口縁部には突瘤文の下位に3条の横走沈線が巡る。色調は外顔が褐色、内顔が黄褐色～黒褐色である。

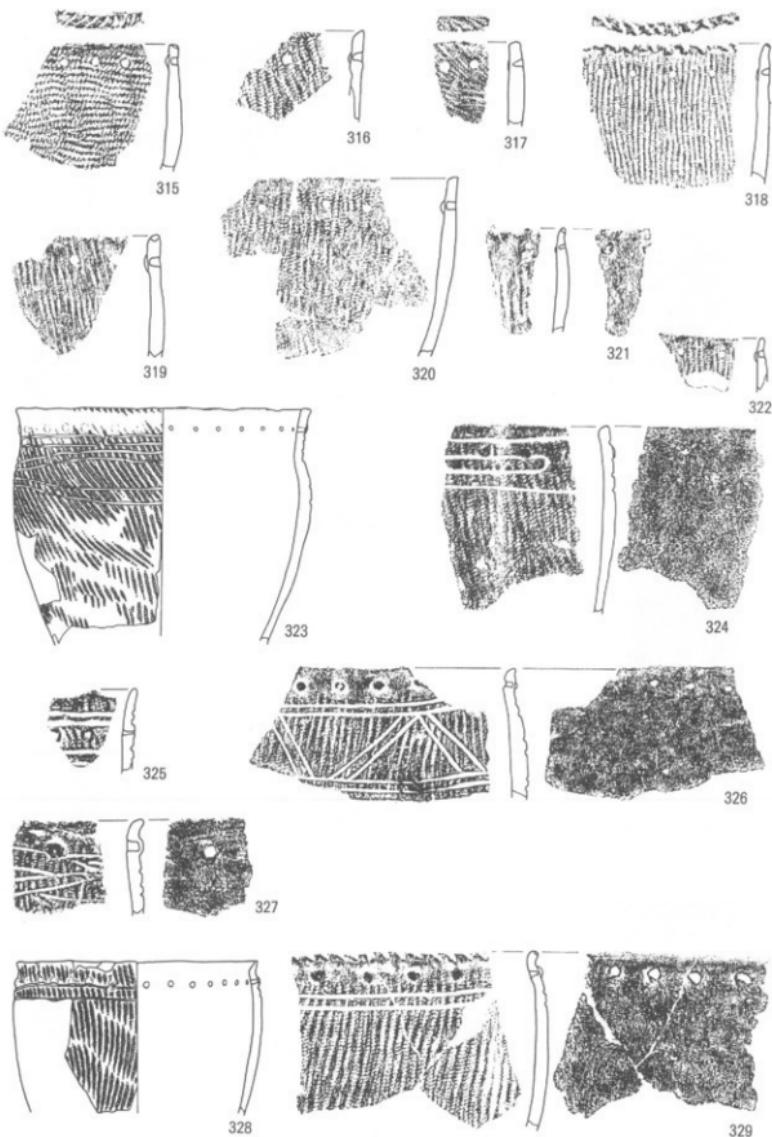
334は4条の横走沈線と幅の狭い無文帯の巡るものである。突瘤文は上位の無文帯の施文後に施されている。

336は胴部が張り出し、口縁部の外反する深鉢形土器である。胴下部以下は欠損する。口縁は細かい波状を呈し、口唇は丸みをもつ。口縁部は無文帯を形成し、そこに突瘤文が施される。胴部との境目に4条の横走沈線が巡る。胴部には擦り戻し原体による繩文が横方向に施されている。色調は外顔は褐色～暗褐色、内顔は褐色である。

335は無文帯を挟んで上下3条ずつの横走沈線が巡るものである。最上位の沈線は突瘤文の上から突



圖IV-16 包含層出土土器 (16)



图IV-17 包含层出土土器 (17)

瘤の下半分を潰して巡る。

337は広い口縁部文様帯をもつもので、口唇直下には斜め方向の縄文の施された縄文帯が巡り、その下位には突瘤文、胴部との境目には4条の横走線が巡る。地文は縦走縄文である。338は縄線文が2条巡るもの。

339～355は10の突瘤文と地文のみのものである。

341は胴部が張り出し、口縁部がわずかに内傾する深鉢型土器である。底部は欠損している。口縁は僅かに波状を呈し、口唇の断面形状は丸みをもつ。他の土器と較べ厚さがある。口縁部には突瘤文が巡る。地文は斜行縄文が施される。色調は外面が黄褐色、内面が灰黄褐色である。

342～344は斜行縄文の施されたものである。344は口縁部の文様は斜行であるが、胴部に向かうにつれ縦走する。

347は口縁部が直線的に立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は細かな波状を呈し、口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には突瘤文が施され、地文は縦走縄文である。色調は外面が黄褐色、内面が茶褐色である。

349は胴部が僅かに膨らむ深鉢型土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は僅かに波状を呈し、口唇の断面形状は内削ぎ気味の角形である。口縁部には突瘤文が巡り、地文は撚糸文ふうの縄文が施される。色調は外面は黄褐色～茶褐色、内面は黒褐色である。

345・346・350～355は縦走縄文の施されたものである。351～353は口縁部が無文帯である。352は無文帯が段状にくびれており、口唇に斜め方向からの刻みが施されている。

356は胴部が大きく張り出し、口縁部が僅かに外反する深鉢型土器である。口縁は細かな波状を呈し、口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は口縁部に施されたOの突瘤文のみで、あとは無文である。器形や口縁の形状は298と似る。色調は外面が暗褐色、内面は黒褐色で、炭化物が多量に付着する。

357～372は地文のみのものである。

357は胴部から口縁部に向け、内湾し立ち上がる深鉢形土器で、底部は欠損している。口縁は僅かに波状を呈するが意図的であるかは定かではない。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には回帶が巡り、その部分を含む口縁部は地文が磨消されている。地文は斜行縄文。色調は外面が灰褐色～褐色、内面は褐色で一部黒褐色である。

358は小型の壺形上器である。口縁は平縁であり、口唇の断面形状は外削ぎ状の角形を呈する。肩部には貫通孔の施された貼付帽がある。地文は付加条の原体による斜行縄文が施されている。底部は僅かに揚げ底である。色調は内外面ともに赤褐色。

359は胴部から口縁部に向け、直線的に立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は平縁で口唇の断面形状は三角である。色調は内外面ともに褐色である。

360は斜行縄文の施されたものである。器厚があり、傾きや胎土等が341に似る。361は口唇直下のみ縄文が施され、あとは無文となる。

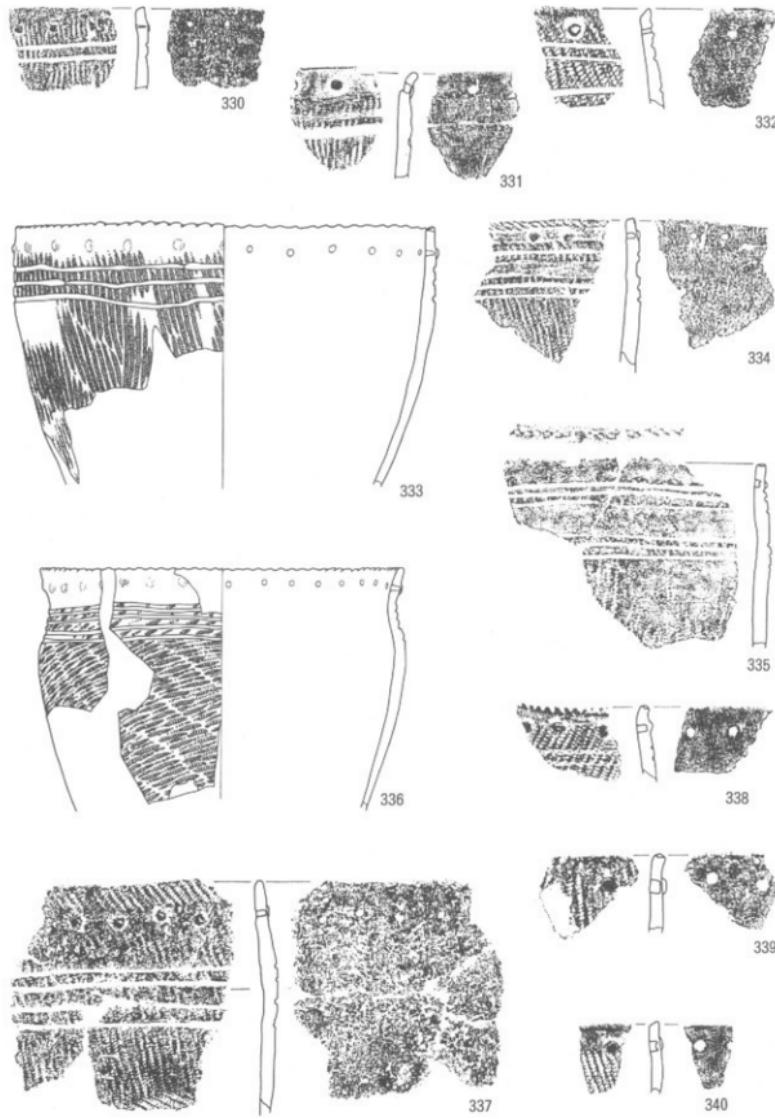
362は胴部が僅かに膨らむ小型の深鉢形土器である。口縁は平縁、口唇の断面形状は三角である。

口縁部は無文であり、胴部には僅かに斜行ないし横走する縄文が認められる。

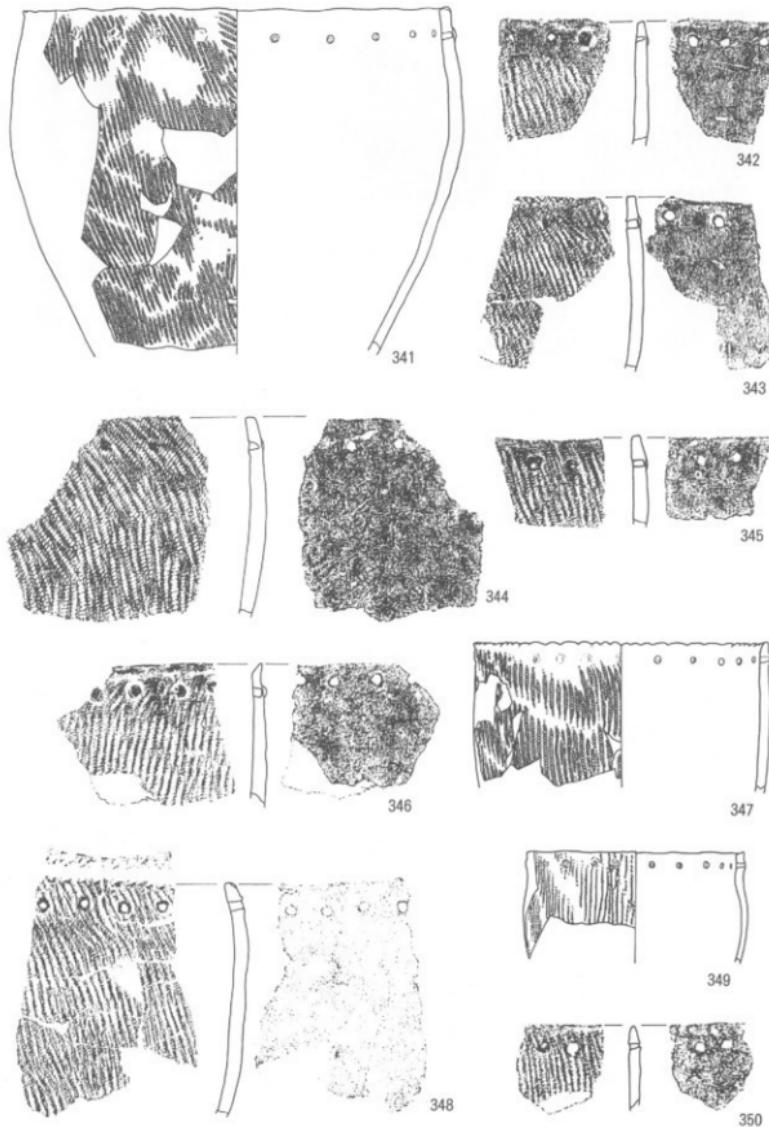
363は胴部が僅かに張り出す小型の深鉢形土器である。口縁は僅かに波状となるが意図的であるかは不明、口唇の断面形状は三角である。口縁部には横方向の整形痕がのこる。胴部には横走する縄文が施されている。色調は外面が黒褐色～茶褐色、内面は黒褐色で底部のみ黄褐色である。

366は胴部が僅かに張り出し、口縁部が聞く深鉢形土器で、胴下部から底部にかけて欠損している。口縁は僅かに波状となり、口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部は斜位、胴部には縦位の撚糸文ふうの縄文を施す。色調は外面が褐色、内面が黄褐色である。

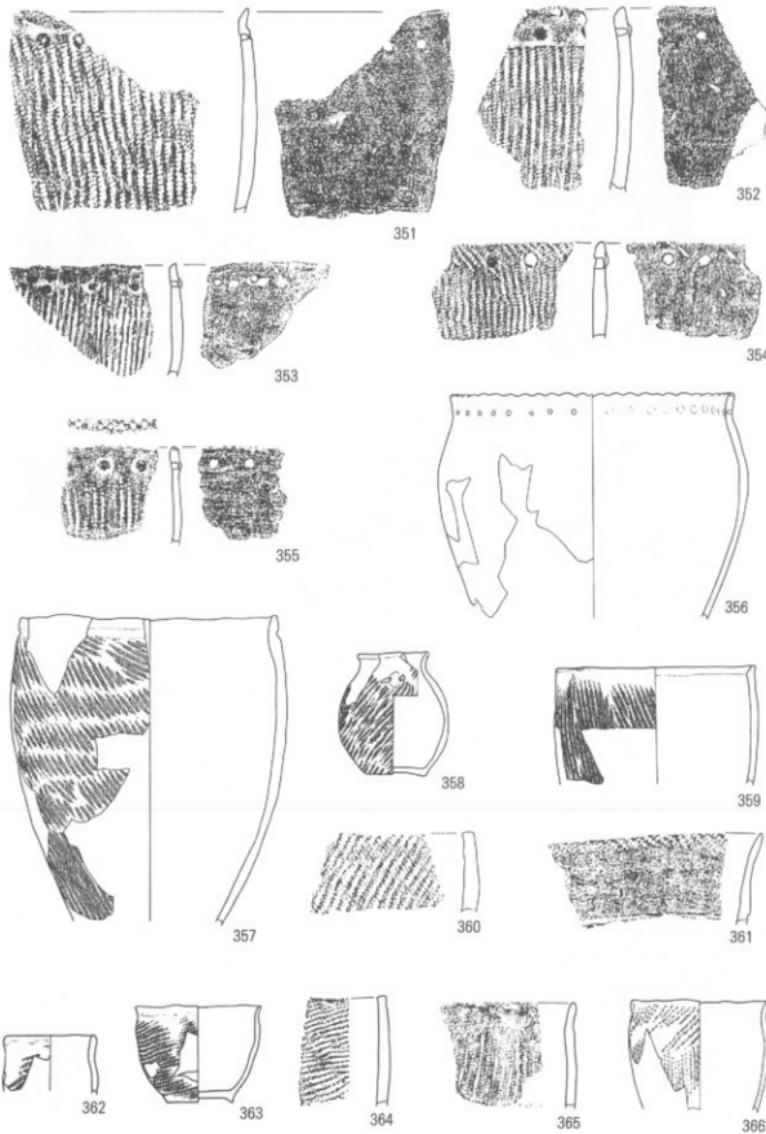
367は胴部の張り出す深鉢形土器である。口縁は細かな波状を呈し、口唇の断面形状は三角である。



图IV-18 包含层出土土器(18)



图IV-19 包含层出土土器 (19)



图IV-20 包含层出土土器 (20)

地文は縦走縄文。色調は外面は茶褐色、内面は黒褐色である。

368はは胴部の僅かに張り出す深鉢形土器と考えられる。胴中部以下は欠損している。口縁は緩やかな波状となり、口唇の断面形状は丸みをもつ。文様は撚糸文ふうの縄文が施されている。色調は外面が黒褐色、内面が褐色である。

369は胴部が張り出し、口縁部の外反する深鉢型土器である。口縁は平縁で、口唇の断面形状は三角である。口縁部は無文帯であり、胴部には撚糸文が施されている。底部は平底である。色調は外面が黄褐色で底部を中心に茶褐色、内面は底が黄褐色である他は黒褐色である。

370も地文が撚糸文のものである。371・372には縦走縄文が施されている。

2種：地文に帯縄文を伴うもの。

373は胴部が僅かに膨らむ深鉢形上器である。胴下部以下は欠損している。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部は無文であり、胴部との境目に1条の沈線が巡る。胴部には縦位の帯縄文が施されている。色調は外面が黄褐色、内面が茶褐色である。

374は胴部が張り出し、口縁部が若干内傾する深鉢形上器である。底部は欠損している。口縁は一部内面から指で押圧したと考えられる凹みがあり、口縁の接合破片が少ないため1ヶ所しか認められないが、口縁を巡るものと考えられる。口唇の断面形状は三角である。口縁部には横走の帯縄文が巡り、胴部との境目に1条の横走沈線が施される。胴部には帯縄文が施され、胴上部にはその上から横走する帯縄文を1条巡らす。色調は外面が暗灰褐色～黄褐色、内面は黄褐色である。

375～382は沈線文の施されたものである。375は肩部から胴部にかけて工字文ふうの文様が施される。380には鋸歯状の文様が認められる。382は列点文と縄線文の巡るものである。

383は胴部と口縁部との境目に2本の縄線文に挟まれた無文帯か、384は口縁部、385は胴部と口縁部の境目に1本の縄線文が巡る。

386～395は突瘤文の施されたもの。386・387はO Iの突瘤の認められるもので、386は帯縄文に挟まれた無文帯、387は帯縄文の上位の無文帯に突瘤文を施す。

389～395はI Oの突瘤文の巡るものである。

388は内面からの刺突を密に施しているが突瘤はあまり明瞭でない。

389は胴部以下の欠損したものであるが深鉢形土器と考えられる。口縁は太い棒状工具により斜め方向の刻みが施される。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には太い横走する帯縄文が施した後、突瘤文を巡らしている。胴部には縦走する帯縄文を施した後、横走する帯縄文を施す。色調は内外面ともに灰褐色である。

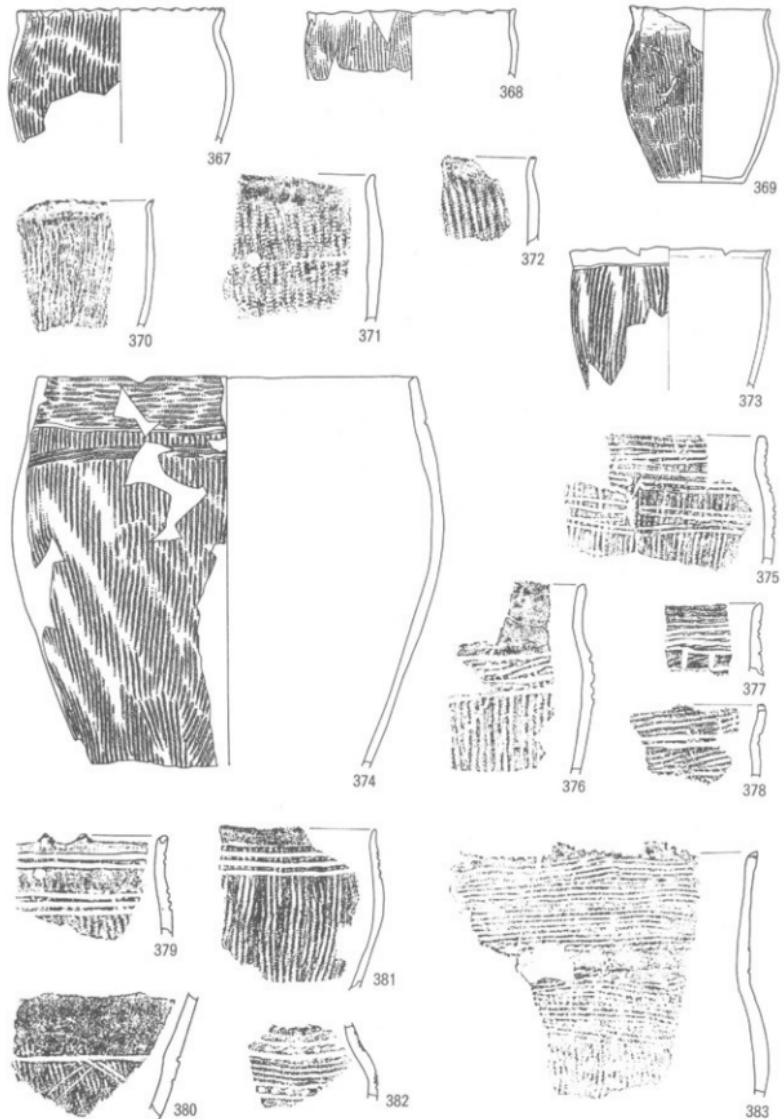
396～421は地文のみのものである。

396は胴部が膨らみ、口縁部の外反する深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は緩やかな波状を呈し、口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には斜行縄文、胴部との境目に帯縄文、胴部には縦走縄文を施している。色調は外面が褐色、内面が黒褐色で煤が付着している。

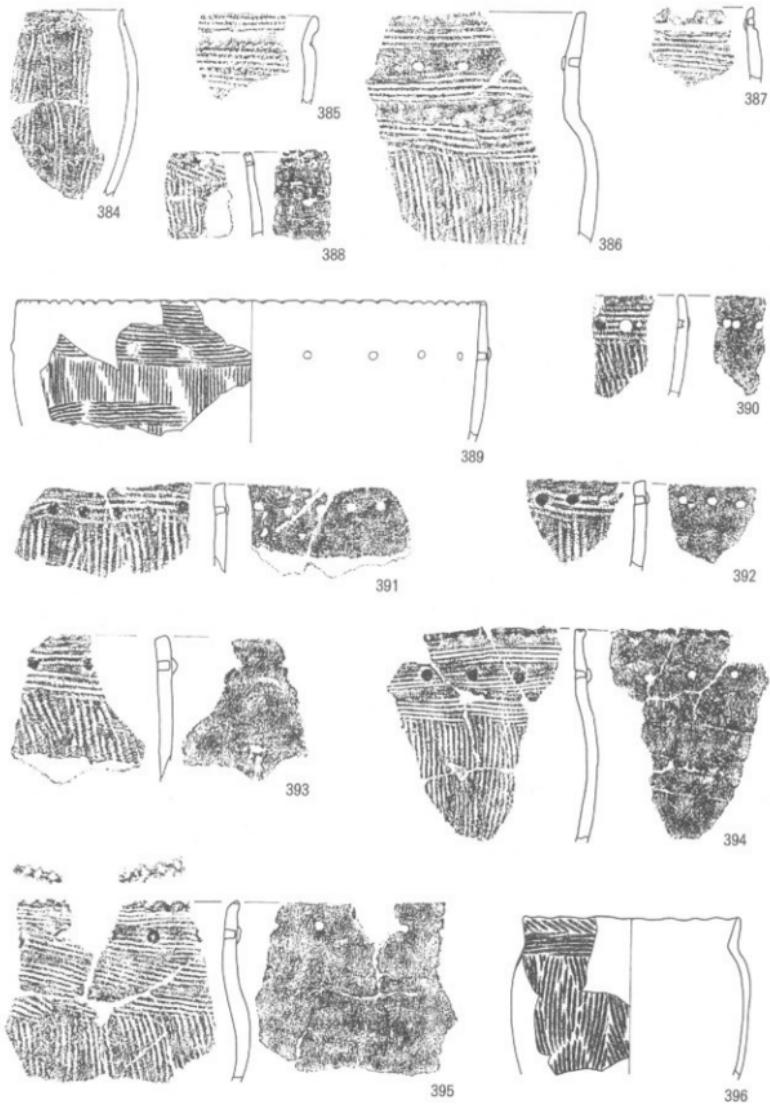
397は口縁部が直線的に立ち上がる深鉢形土器である。口唇の断面形状は丸みをもつ。横走縄文を帯状に施し、一部縦走縄文を横位に巡らす。底部は平底である。色調は内外面ともに茶褐色である。

398は胴部が若干膨らみ、口縁部が内傾する深鉢形土器である。口縁はほぼ平縁であるが、刻みが2つ施されている。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には横走、胴部は縦走する帯縄文が施される。色調は外面が暗褐色、内面が黒褐色である。

399は胴部から口縁部に向かって立ち上がる深鉢形上器で、胴下部以下は欠損する。口縁には山形の小突起が2つ認められ、頬部には刻みが巡る。口縁部は帯縄文が弧状に施されている。また胴部との境目には沈線が僅かに認められるが、これは一度沈線を施したもの上から縄文を施し、沈線を潰したものと考えられる。胴部は縦走縄文が施されている。色調は外面が暗褐色、内面が赤褐色である。



图IV-21 包含层出土土器 (21)



图IV-22 包含层出土土器 (22)

400も胴部が張り出す深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には刻みをもつ山形の小突起が2対1組で施される。口唇の断面形状は平縁の部分は角形、小突起の部分は三角である。口縁部には横方向の帯繩文、胴部には継走繩文が施されている。色調は外側が褐色、内側が灰褐色を呈する。

401は口縁部が僅かに内湾する深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁は平縁、口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部の上位は帯繩文を弧状に施し、下位には横走する帯繩文が巡る。胴部には継走繩文が施される。色調は外側が灰褐色、内側が黄褐色である。

402は胴部が大きく張り出す深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は平縁、口唇の断面形状は鋸い三角を呈する。口縁部には帯繩文が弧状に施され、胴部には継走繩文が施される。色調は外側は上部黒褐色で下部褐色、内側は黒褐色である。

403は胴部から口縁部に向けすなんり立ち上がる深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁はほぼ平縁であると考えられる。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には横走する帯繩文が1条巡らされている。胴部は継走繩文である。色調は外側が黄褐色、内側が黒褐色である。

404は段状の肩部をもち、口縁部が僅かに内傾する深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は三角である。口縁部には横走、胴部には継走する帯繩文が施されている。色調は外側が茶褐色、内側が黒褐色である。

405は胴部の僅かに膨らむ深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は平縁で、口唇の断面形状は内削ぎ状の角形を呈する。文様は継走繩文を施したのち、口縁部から胴中部にかけて横走する帯繩文を4条巡らす。色調は外側が茶褐色で内側が黒褐色である。

406は胴部から口縁部に向けすなんりと立ち上がる深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁はほぼ平縁で、口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には斜行繩文を施したのちに帯繩文を横方向に2~3段施す。胴部には継走繩文が施される。また、内側の口縁部にはIV群b類1種に似た段が認められる。色調は外側が褐色~灰褐色、内側が暗褐色である。

407は胴下部の張り出す小型の壺形土器である。口縁は平縁、口唇の断面形状は三角である。器面には継走繩文を施したのち、3条の横走する帯繩文を施す。色調は外側が褐色で内側が茶褐色。

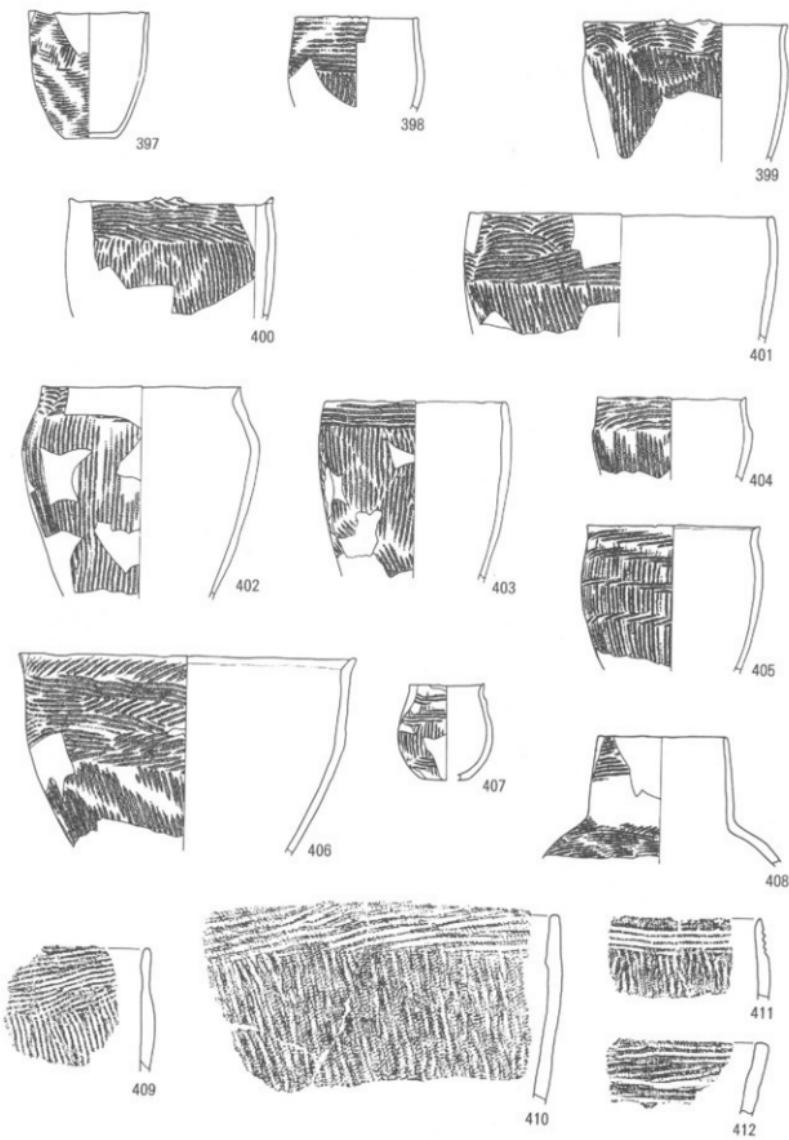
408は胴部以下が欠損する壺形土器で肩部、口縁部のみが復元した。口縁は平縁で口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部の上位には横走する帯繩文、口縁部の下位の無文帶を挟んで肩部には横走繩文を施している。色調は内外面ともに黄褐色である。

410・411は口縁部に1条の帯繩文が巡るもの。412・413は1条もしくは2条、414・417・420・422は2条の帯繩文が巡る。415は撫糸文ふうの繩文が施されているもの、419・420は無文帶の巡るものである。無文帶はそれぞれ、419は口縁部の上位、420は胴部との境目にめぐる。421・422は口縁に太い棒状工具による刻みが巡る。423は胴部の張り出すもので、器形、頸部に沈線に挟まれた無文帶が巡るなどはIV群b類に近い特徴を持つ。

424~426は底部で、424・426は揚げ底、425は平底である。

427は小型の壺形土器である。胴下部以下が欠損している。口縁は平縁、口唇の断面形状は丸みを持つ。色調は内外面ともに灰褐色である。

429は頸部が若干くびれる小型の浅鉢形土器である。口縁は平縁で、口唇の断面形状は角形（若干丸みを持つ）である。口縁下には1箇所、補修孔と考えられる孔が認められる。底部は平底である。色調は内外面ともに灰褐色である。



图IV-23 包含层出土土器 (23)

b 頸土器 砂沢式・南川Ⅲ群・南川Ⅳ群など恵山系の土器に相当するもの

1種：砂沢式や南川Ⅲ群などに相当するもの

430・431・433は口縁部に縦線の沈線が巡るものである。429・431には内面に横走沈線が2条巡る。

432は外面、435は内外面に横走沈線と弧状の沈線が施される。434は頸部に平行する沈線により鋸歯状の文様を施す。

436は胴部が張り出し頸部が内傾し、口縁部が外反する深鉢形土器である。胴中部以下は欠損する。口縁は正面に山形の小突起があり頂部には刻みが3つ施される。口唇の断面形状は角形である。口縁部には縦方向の縄文が施され、その上から1条の沈線や列点文が施される。頸部には上位に横走沈線や列点文が巡り、下位は無文帯となり、胴部との境目にはまた、横走沈線および列点文が巡る。

内面には口縁部に4条の横走沈線を施す。色調は外面が茶褐色、内面が黒褐色である。

437は口縁部に施された横走沈線の下位に弧状の沈線が描かれる。

438は肩上部が内傾し口縁部の外反する深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁には刻みをもつ小突起があり、口縁の平坦部には細かい刻みが巡る。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には7条の横走沈線が巡り、胴上部は無文帯、その下位には列点文が1条、横走沈線が数条ほどめぐる。胴部における地文は縦走縄文である。内面には口縁部に胴部の地文と同じ原体による縄文が施されている。色調は外面は褐色～茶褐色、内面は褐色である。

439は胴部が張り出し頸部が僅かに内傾する深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は平縁であるが指による押圧によるものと考えられる刻みのようなものが巡る。口縁の断面形状は丸みをもつ。口縁部から頸部にかけて3条の横走沈線が巡るが、沈線は部分的に押引文状となっている。頸部下位は無文帯となり、肩部との境目には1条の横走沈線がめぐる。肩部以下は若干帶状縦走縄文が施されている。440は肩部の張り出す器形のもので、肩部には弧状の沈線が巡るものである。

441は胴部の張り出し、頸部がおおきく内傾する深鉢形土器である。口縁部と底部は欠損している。頸部の上位には横走沈線が数条巡り、下位は無文帯となり、その下端には刻みが巡る。胴部は横走沈線が上位に5条、下位に4条巡らし、その間に弧状の沈線を描く。地文は縦走縄文である。色調は内外面ともに茶褐色である。

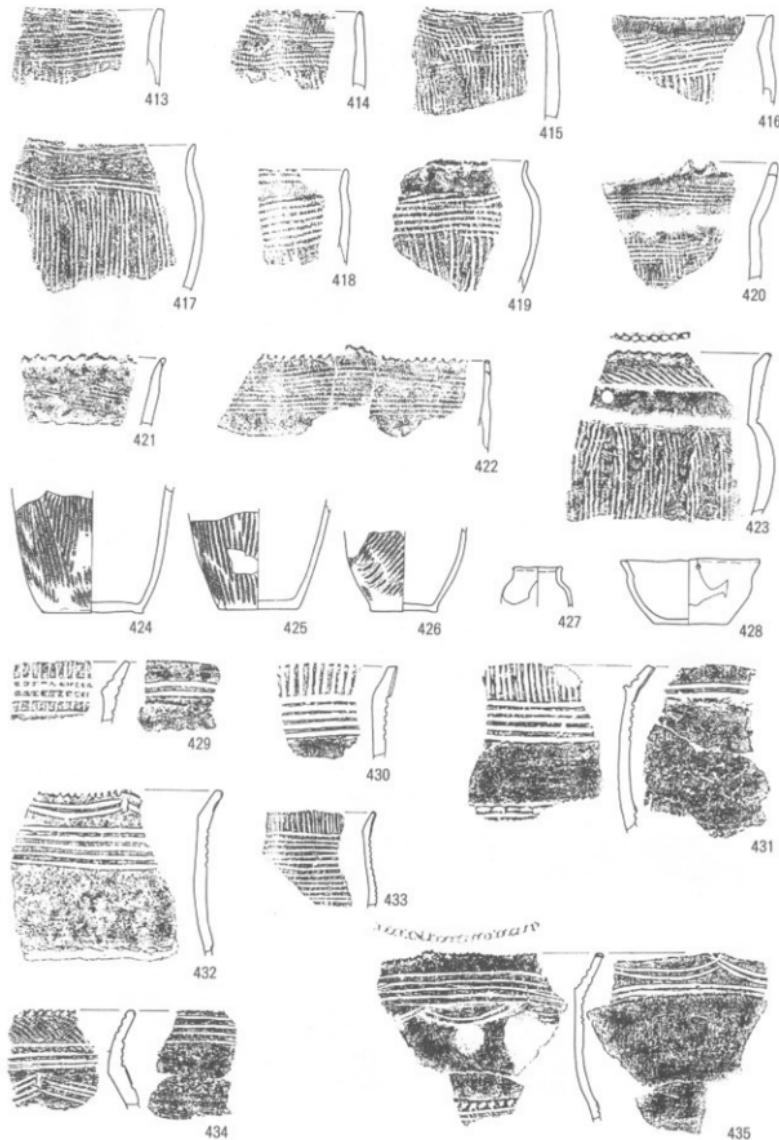
442～447は胴部の資料である。444は弧状の平行沈線が施されているもの。447は3本の波状の沈線が巡る。445は貼付瘤の施されているものである。

448は、頸部が若干内傾し口縁部のひらく深鉢形上器である。胴部以下は欠損している。口縁には山形の小突起が4基施され、刻みが巡らされている。口唇の断面形状は角形である。口縁部から頸部にかけて8条の横走沈線が巡り、頸部の下位は無文帯となる。肩部には横走沈線と列点文が巡る。内面には横走沈線が5条巡る。色調は外面が黒褐色、内面が茶褐色である。

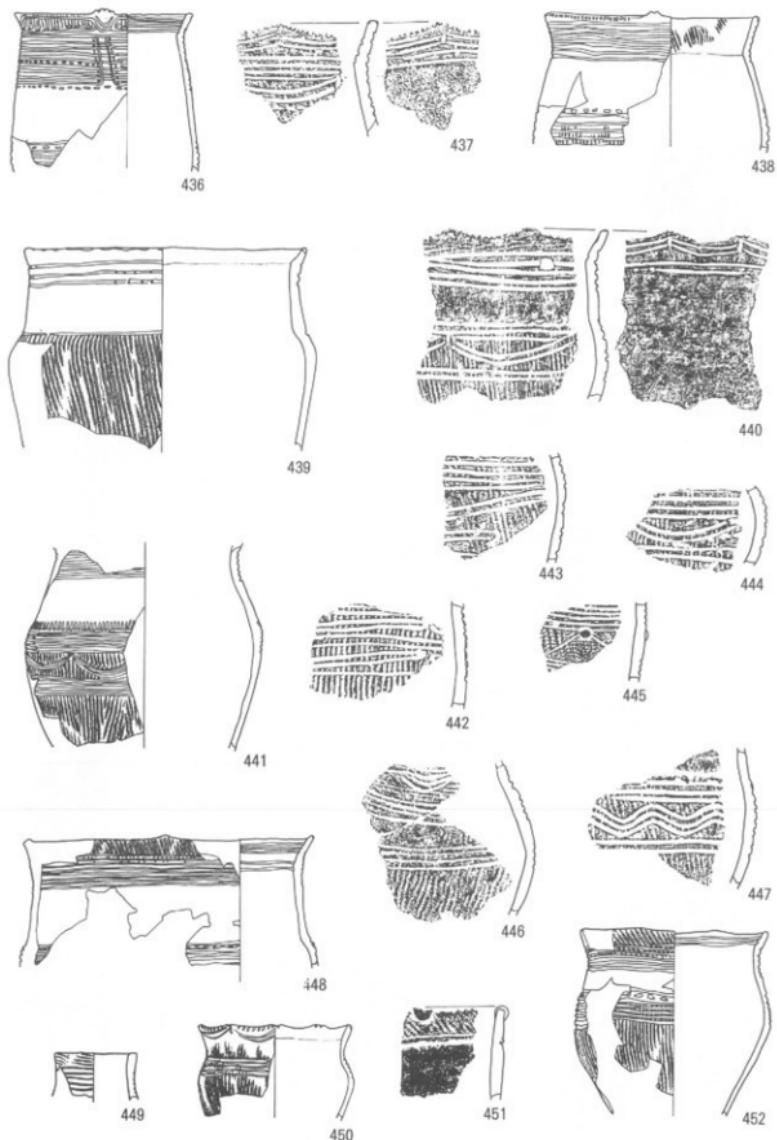
449は胴部以下の欠損した小型の土器である。口縁は平縁であり、口唇の断面形状は角形である。口縁部の上位には横走する縄文が施され、下位には横走沈線が数条巡る。色調は内外面ともに褐色である。

450は胴部が張り出し口縁部の外反する深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁は緩やかな波状を呈し、刻みが巡らされる。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部は波状口縁に沿って弧状の沈線を2本ずつ施し、胴上部には5条の横走沈線が巡る。地文は縦走縄文である。色調は外面が茶褐色で内面は褐色である。

452は胴部が膨らみ口縁部の外反する深鉢形土器で、底部は欠損している。口縁は僅かに波状を呈する。口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁から頸部にかけて横走沈線が施されているが数条の沈線が施されているのではなく、1本の沈線がコイル状にほどこされているものである。頸部の下位には幅の狭い無文帯が巡り、胴部には6条の横走沈線及び1条の列点文が巡る。胴部の地文は縦走縄文である。色調は外面が灰褐色～黄褐色、内面が黄褐色である。



圖IV-24 包含層出土土器 (24)



图IV-25 包含层出土土器 (25)

453は胸部に斜位の沈線文が施され、453・456には無文帯との境目に列点文が、455には無文帯の下位に4条の横走沈線が巡る。

457は胸部が僅かに膨らみ、頸部が直立し、口縁部の外反する深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁は緩やかな波状を呈する。口縁部から頸部にかけて、7条の沈線が巡る。頸部の下位は無文帯となり、胸部には6～7条の横走沈線及び1条の列点文が巡る。胴部の地文は縦走繩文である。色調は外面は口縁部が黒褐色で胸部が褐色、内面は黒褐色である。

458は胸部が僅かに膨らみ口縁部の聞く深鉢形上器である。胴下部以下は欠損する。口縁は緩やかな波状を呈する。口唇直下には刻みがめぐる。口縁部と胸部の境目には4条の横走沈線が巡り、胴上部は幅の広い無文帯となる。無文帯の下端には沈線が1条巡り、その下位には縦走繩文が施される。内面には波状口縁の波頂部に、1つずつ刻みが施される。

459は胴部が内傾し口縁部の外反する深鉢形上器である。胴中部以下は欠損している。口縁は平縁で口唇の断面形状は角形である。口縁部には9条の横走沈線が巡り、胴上部は無文、その下位にも数条ほど横走沈線が巡る。色調は内外面ともに暗褐色である。

460は胸部が張り出し口縁部の外反する深鉢形土器である。底部は欠損している。口縁には頂部に刻みをもつ2対の山形の小突起が6基巡り、突起部以外のところには刻みが巡る。口唇の断面形状は角形である。口縁部には6条の沈線が巡る。頸部には幅の広い無文帯、胸部には6条の沈線及び1条の列点文が巡る。胴中部以下に施された地文は斜行繩文で若干帶状を呈する。色調は外面が茶褐色～赤褐色、内面は褐色、一部黒褐色である。

461は胴上部が内傾し、口縁部が僅かに聞く深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁には斜め方向の刻みが巡る。口唇の断面形状は三角である。口縁部には3条に横走沈線が巡り、胴部には縦走繩文が認められる。色調は内外面ともに暗褐色である。

462は底部の欠損した壺形土器である。口縁は平縁で、口唇の断面形状は三角である。口縁部は無文であり、肩部には6条の横走沈線が巡る。胴部には縦走繩文が施されているが、摩耗した部分が多い。色調は内外面ともに黄褐色である。

465・466は口縁部に横走沈線を主体とする沈線の施されるもので、地文の繩文は認められない。467は口縁部に繩線文が1条巡る。

468は口縁部と底部の欠損したもので深鉢形土器と考えられる。頸部には無文帯が巡り、胴上部には5条の横走沈線と、1条の列点文が巡る。胴部の地文は縦走繩文である。色調は外面が茶褐色、内面が黒褐色である。

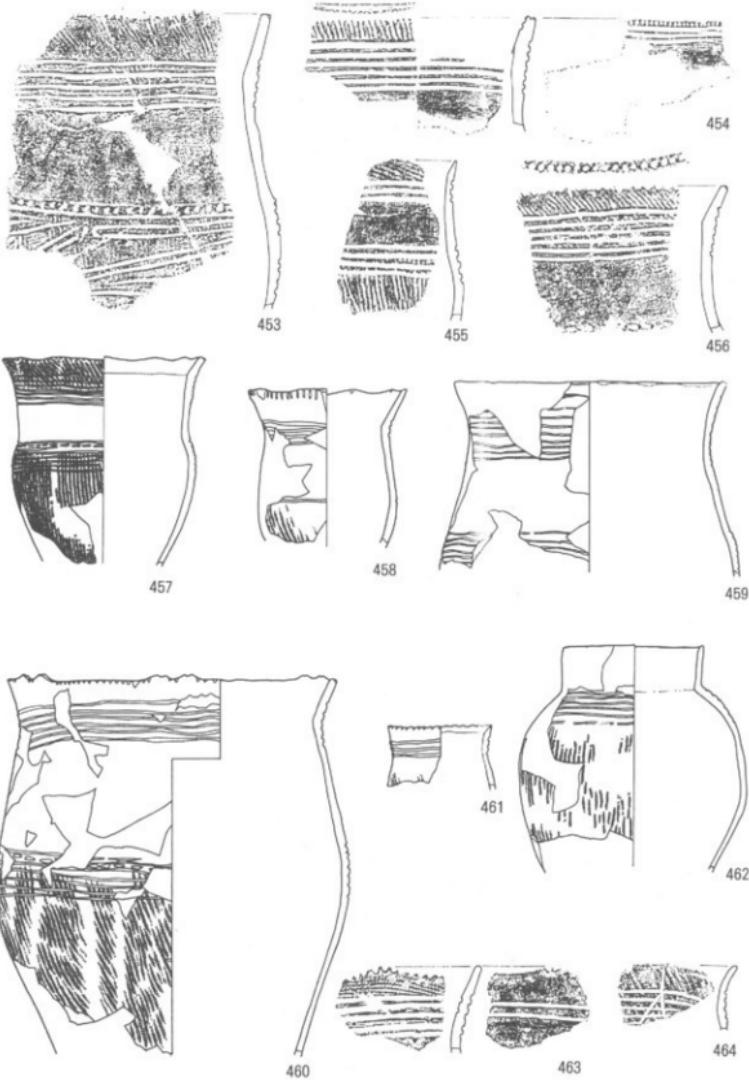
469は肩部から胴中部のみのものである。肩部には数条の横走沈線が巡る。地文は緩方向の帯繩文である。色調は外面が褐色、内面は黒褐色で煤が多量に付着している。

470・471は胴部の破片で、470は波状の平行沈線と列点文、471は横位の列点文と8条の横走沈線が巡る。

472は口縁部の欠損した小型の深鉢形土器である。頸部との境目には横走沈線が数条巡っているものと考えられる。胴部には緩方向の帯繩文が施される。色調は内外面ともに黒褐色である。

473は胸部が張り出し口縁部の外反する深鉢形土器で、胴中部以下は欠損する。口縁には刻みが巡る。口唇の断面形状は角形である。口縁部には6条、胴部には4条の横走沈線が巡る。地文は斜行繩文を織杉状に施す。色調は外面が茶褐色で内面が黒褐色である。

474は小型の浅鉢形土器である。底部は丸底である。口縁は僅かに波状を呈し、口唇の断面形状は角形である。口縁部には波状口縁に合わせて3条1組の弧状の沈線を巡らし、波頂部の下位には刻みを施す。胸部から底部にかけては3条1組の沈線が波頂部から2組ずつ斜め方向に施す。地文は横走繩文である。内面には2条1組の弧状の沈線が巡る。色調は内外面ともに褐色である。



図IV-26 包含層出土土器 (26)

475は胴部が僅かに張り出す深鉢形土器である。胴中部以下は欠損している。口縁は緩やかな波状を呈し、口頂部には刻みが施される。口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部には波状口縁にあわせ、弧状の沈線が3本ずつ施される。口縁部の下位から胴部にかけては9条の横走沈線が巡る。地文は口縁部には斜行、胴部以下は縦走に近い縞文が施される。色調は外面が茶褐色、内面は褐色である。

476・479・480は波状口縁に沿って口縁部に弧状の沈線の巡るもので、地文に斜行縞文が施される。479・480は内面にも同様の文様が施される。口縁部と胴部との境目には476は9条、478・481には6条、482には5条の横走沈線が巡る。483は地文のみのもので斜行縞文が施されている。

2種：南川IV群に相当するもの。

484は胴中部が膨らみ、口縁部の聞く深鉢形土器がある。底部は欠損している。口縁は2基1組の山形の小突起が施され、全体に刻みが巡る。口唇の断面形状は角形を呈する。口縁部には沈線に縦取られた縦位の帯縞文、胴部には沈線に縦取られた2条の横位の帯縞文や、やはり沈線に縦取られた帯縞文による文様及び列点文がめぐる。胴下部には縦位の帯縞文が施される。色調は内外面ともに黄褐色である。

485は胴部が若干膨らみ、口縁部の大きく外反する深鉢形土器である。口縁は僅かに波状を呈し、口縁上には刻みが巡る。口唇の断面形状は角形である。口縁部には上位に横位の帯縞文が巡り、その下位には縦位の帯縞文が施される。胴部との境目には横走沈線が巡るが、場所により1条～4条となる。胴上部から中部にかけては帯縞文が網目状に巡り、一部沈線で縦取られている。胴下部には縦位の帯縞文が施される。色調は内外面ともに明黄褐色である。

486は胴部が僅かに膨らむ深鉢形土器である。胴下部以下は欠損している。口縁には山形の小突起があり、刻みが巡らされている。口唇の断面形状は角形である。口縁部には上位に横位の帯縞文を施し、その上に沈線を雜に描き、下位には縦位の帯縞文を施す。胴部には2条の横位の帯縞文を施し、その間に帯縞文を網目状に施して一部分を沈線により括る。色調は内外面ともに暗褐色である。

487は頸部から口縁部のみのものである。口縁は平縁で口唇の断面形状は丸みをもつ。口縁部には1条の貼付帶が巡り、その上には列点文が2段施設される。色調は外面は黄褐色、内面は褐色を呈する。488～491は底部の資料である。488・489は掲げ底、490は平底である。491は高壺状の台がついたものである。

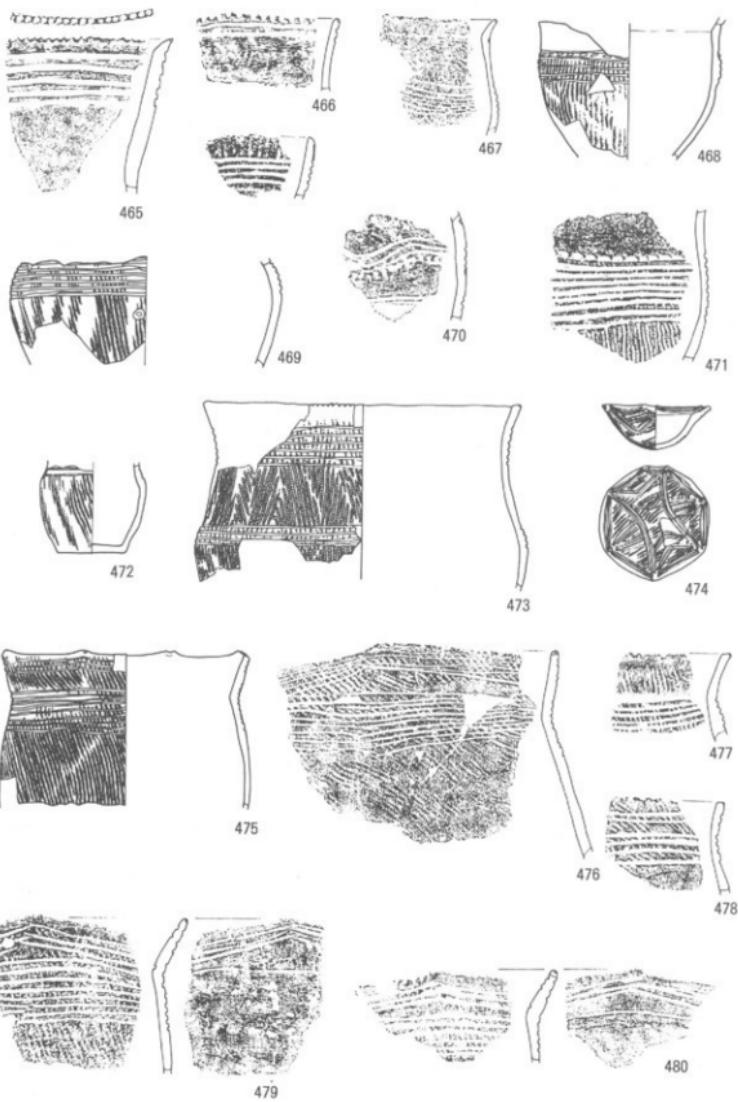
第V群土器 繰文時代に相当するもの。

492は底部が張り出し胴部はすんなりと立ち上がり、口縁部の聞く深鉢形土器である。口縁は平縁、口唇の断面形状は三角である。口縁部は上位に3条の横走沈線、その下位には3本1組の沈線による鋸歯状の文様が施されている。胴下位に縦位のヘラ削りの跡があり、底部付近では横方向のナデ整形の跡が認められる。色調は外面が灰褐色、内面は黄褐色～灰褐色である。

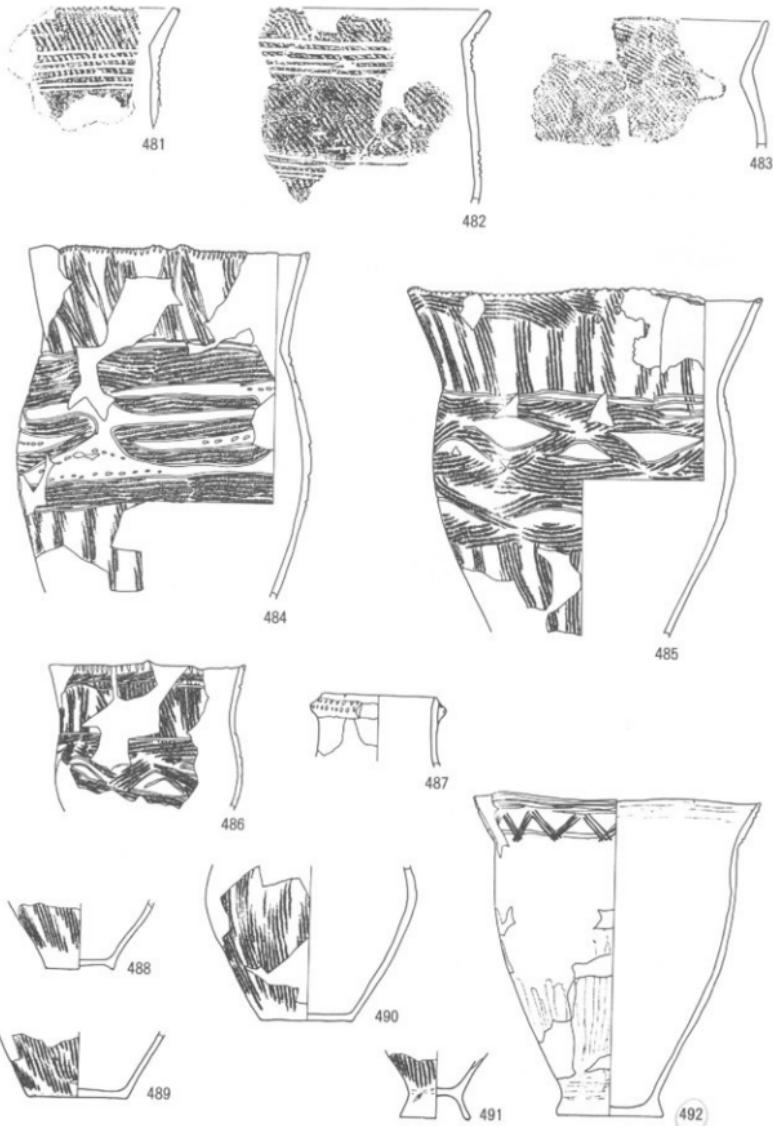
493～499は口縁部の破片である。493は3本1組の沈線により格子状の文様を描いたもの、495は刻線の認められるものである。494は口唇直下に1条、496は口縁部の上位と下位に1条ずつ横走沈線が巡る。497は壺形土器の破片である。器面にはハケメ状擦痕が認められ、口縁部及び頸部には太い横走沈線が巡る。498・499は壺の破片である。498は段が1段巡り、499には口縁部に2条の横走沈線が巡る。

500は底部が張り出し、口縁部の欠損した深鉢形土器である。胴部には縦位のヘラ削りのあとが認められる。色調は外面は褐色、内面は赤褐色～黒褐色である。

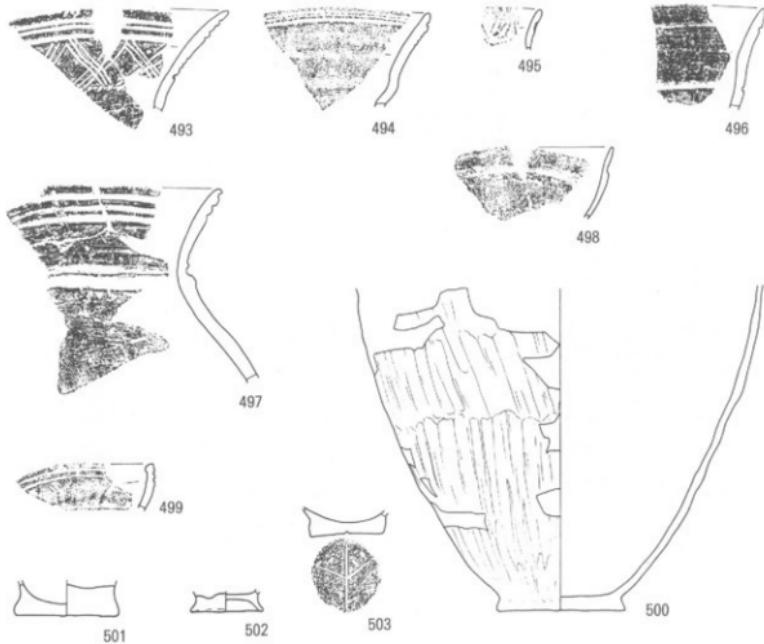
501～503は底部の資料である。502は掲げ底である。503は底部に刻文が施されているもので、当遺跡唯一の資料である。



圖IV-27 包含層出土土器 (27)



图IV-28 包含层出土土器 (28)



图IV-29 包含层出土土器 (29)

表IV-1 復元土器一覧表(1)

No	分類	層位	グリット名	高さ(mm)	口径(mm)	胸径(mm)	底径(mm)	器厚(mm)	回番	備考
1	III	V	A-4	219.8	187.9	184.7	71.9	8.1	3	
2	II b	V	D-5		268.4	219.2		8.2	14	
3	II b	V	E-4		314.8	219.5		11.6	21	
4	II b	V	F-4 a-4	66.6	128.6	80.1	22.4	5.9	22	
5	II b	V	A-4 a-5			109.8	53.4	4.0	23	
6	II b	V	B-5 a-5			38.5		5.5	24	
7	II c	V	A-6 d-3			129.6		5.2	71	
8	II c	IV	A-6 e-5	84.6	137.3	136.2	68.6	5.8	72	
9	II c	IV				129.2		5.0	76	
10	III a	IV	E-4 b-2		283.1	175.4		4.9	94	
11	III a	V	E-3 d-1		281.6	252.8		4.4	95	
12	III a	V	E-5 c-5		258.2	251.5		6.7	96	
13	III a	IV	E-3 a-b		262.1	258.6		5.3	108	
14	III a	III	D-4 e-2		268.4	259.2		6.9	109	
15	III a	IV	C-1		386.3	361.8		5.1	114	
16	III a	IV	E-3	166.5	160.5	245.4	94.2	4.8	120	
17	III a	V	D-6 a-1		450.0	454.0		6.1	121	
18	III a	IV	B-4 e-4		374.6	350.6		6.1	124	
19	III a	III	B-1 e-2		379.7	331.9		7.3	127	
20	III a	IV	D-1		371.0	375.6		5.8	135	
21	III a	III	E-4 b-4				101.6	4.4	140	
22	III a	IV	D-1 c-2				129.0	4.9	141	
23	III a	IV	D-3 a-2				97.9		142	
24	III a	IV	E-3 a-4				139.3	4.1	143	
25	III a	IV	D-4 c-2				96.0	4.5	144	
26	III a	IV	E-3	68.3	127.3	132.7	43.4	3.9	145	
27	III a			55.0		29.0			146	注口土器の注口部
28	III a	II	A-3 a-2	35.7	97.3	94.5	71.5	5.2	179	
29	III a	IV	F-4 e-1			93.7	54.9	3.3	182	
30	III a	IV	E-4 d-2			187.9		5.3	183	
31	III a	V	C-3 c-2		122.2	115.1		4.3	194	
32	III a	V	D-4 c-3		351.8	335.1		7.0	198	
33	III a	IV	D-4 c-2		265.8	258.3		5.5	204	
34	III a	IV	D-4 e-1		252.1	245.3		4.9	208	
35	III a	IV	E-4 b-2		223.2	214.6		5.7	210	
36	III a	III	C-4 a-1		195.8	190.8		4.0	211	
37	III a					196.7	74.0	7.1	213	
38	III a	II				216.9		5.2	214	
39	III a	V	D-6 a-1		98.6	95.8		4.5	215	
40	III a	V	D-2 e-1		99.2	93.9	37.3	3.7	216	
41	III a	III	F-4 c-1	60.5	200.0	183.0	60.0	5.1	217	
42	III a	IV	F-3 b-5		179.0	170.6		6.0	218	
43	III a	IV	C-3		257.0	244.0		4.7	219	
44	III a	IV		113.5	99.3	90.2	42.7	7.6	220	
45	III a	V	C-5 a-3		137.5	143.6		5.5	222	
46	III a	V	B-3 b-4			108.2	69.2	2.8	229	
47	III a			24.0		7.2			230	
48	III a	IV	E-4 d-1	63.8	125.0	120.5	50.2	3.3	231	
49	III a	III	B-3 b-4	92.3	54.8	86.8		4.0	244	
50	III b	II	C-5 b-4		261.7	275.2		6.2	249	
51	IV a	II	D-3 a-3		194.9	195.0		6.2	250	
52	IV a	II	A-4 c-2	141.8	128.0	130.3	70.1	6.2	251	
53	IV a	II	D-2 e-3		227.4	234.4		6.7	252	
54	IV a	II	C-1 d-4	65.4	89.1	84.0	30.7	6.5	253	

表IV-1 復元土器一覧表(2)

No.	分類	層位	グリット名	器高(mm)	口径(mm)	胴径(mm)	底径(mm)	器厚(mm)	図番	備考
55	IV a	II	D - 1 c - 3	95.1	115.3	116.0	56.3	6.9	254	
56	IV a	II	A - 4 d - 3		170.0	171.0		4.5	255	
57	IV a	III	F - 4 c - 2		156.3	179.4		6.4	256	
58	IV a	III	A - 2 b - 3	108.0	113.6	112.8	78.7	6.8	257	
59	IV a	III	A - 1 b - 4	86.5	84.8	94.1	45.2	5.5	263	
60	IV a	II	C - 4 d - 1	124.8	112.5	114.6	51.3	5.3	264	
61	IV a		E - 3 c - 3		289.4	288.7		5.3	276	
62	IV a	II	A - 3 e - 4			94.2	50.6	5.6	279	
63	IV a	II	D - 3 b - 1	106.2	120.6	119.1	46.6	5.7	280	
64	IV a	II	A - 2 a - 1		141.5	147.7		6.0	284	
65	IV a	II	A - 2 a - 2		200.1	201.3		6.4	292	
66	IV a	III	A - 2 c - 1	167.4	131.3	145.0	61.0	4.8	294	
67	IV a	II	B - 2 d - 2		226.0	222.0		7.8	297	
68	IV a	II	A - 2 b - 1		202.1	213.9		5.9	298	
69	IV a	III	C - 2 a - 2		243.5	272.8		11.1	303	
70	IV a	II	C - 3		161.6	162.4		5.5	304	
71	IV a	II	C - 4 a - 1		240.7	244.5		9.9	323	
72	IV a	III	D - 4 c - 2		196.7	201.8		6.6	328	
73	IV a	II	D - 4		343.2	331.9		9.9	333	
74	IV a	III	C - 2 d - 4		299.8	300.0		9.1	336	
75	IV a	II	E - 4 b - 4		347.1	368.3		11.3	341	
76	IV a	II	C - 3		240.7	141.4		8.3	347	
77	IV a	III	A 1 b - 2		176.9	184.1		6.7	349	
78	IV a	II	A - 3 c - 5		232.5	252.4		6.0	356	
79	IV a	II	B - 2 c - 4		210.7	226.1		11.8	357	
80	IV a	II	B - 2 a - 2	99.9	57.5	88.8	49.9	6.0	358	
81	IV a	II	A 2 d - 2		163.2	167.7		5.6	359	
82	IV a	II	A - 3 c - 5		72.0	76.7		4.8	362	
83	IV a			82.3	105.3	102.7	51.7	5.7	363	
84	IV a	II	B - 3 e - 2		113.5	115.8		5.0	366	
85	IV a	II	D - 4 a - 1		169.9	182.5		5.7	367	
86	IV a	II	C - 2 b - 1		171.9	173.8		5.4	368	
87	IV a	II	D - 2	143.7	114.2	126.9	70.1	4.9	369	
88	IV a	II	A - 2 d - 3		164.8	162.4		5.1	373	
89	IV a	II	B - 3		308.7	351.3		10.7	374	
90	IV a	III	B - 1 a - 5		383.3	376.8		9.3	389	
91	IV a	II	A - 2 e - 4		178.4	193.1		5.9	396	
92	IV a	III	A - 1 c - 2	100.9	98.5	95.8	42.1	4.3	397	
93	IV a	II	A - 4 a - 3		100.8	111.2		6.3	398	
94	IV a	III	A - 3 d - 1		168.3	167.4		5.8	399	
95	IV a	II	C - 2 d - 3		168.2	170.8		5.3	400	
96	IV a	II	B - 3 a - 3		249.2	253.5		7.1	401	
97	IV a	II	B - 2 c - 4		162.0	192.0		6.7	402	
98	IV a	II	C - 3 a - 1		149.4	155.6		8.4	403	
99	IV a	II	C - 3 b - 1		121.6	130.9		6.3	404	
100	IV a	II	B - 5 c - 5		140.0	147.8		7.1	405	
101	IV a	III	E - 4 e - 1		275.8	252.8		7.2	406	
102	IV a	II	C - 2	76.6	61.1	75.7	39.2	4.6	407	
103	IV a	II	A - 4 d - 2		105.7	190.9		8.0	408	
104	IV a	II	D - 2 a - 5			129.2	83.5	6.2	424	
105	IV a	II	C - 2 c - 1				64.5	4.8	425	
106	IV a		E - 4 d - 1				54.5	4.7	426	
107	IV a	II			40.5	58.1		3.6	427	
108	IV a	II	D - 2 a - 1	52.2	113.5	101.7	61.6	4.4	428	

表IV-1 復元土器一覧表(3)

No	分類	番号	グリット名	器高(mm)	口径(mm)	胴径(mm)	底径(mm)	器厚(mm)	図番	備考
109	IV b	II	C - 2 e - 2	—	147.5	155.4	—	5.4	436	
110	IV b	II	F - 4 b - 1	—	175.6	192.1	—	5.6	438	
111	IV b	II	A - 1 d - 4	—	229.8	250.1	—	9.2	439	
112	IV b	II	D - 2 a - 2	—	192.2	—	—	7.8	441	
113	IV b	II	A - 2 d - 2	—	236.9	239.7	—	6.7	448	
114	IV b	II	E - 4 e - 1	—	155.2	159.3	—	5.2	452	
115	IV b	II	D - 4 d - 1	—	167.6	151.4	—	7.4	457	
116	IV b	II	D - 4 d - 3	—	128.3	109.4	—	5.3	458	
117	IV b	II	F - 4 c - 2	—	222.7	246.8	—	5.8	459	
118	IV b	II	D - 1	—	268.6	290.4	—	6.3	460	
119	IV b	II	E - 4 d - 4	—	84.2	—	—	4.6	461	
120	IV b	III	C - 4 a - 2	—	115.5	190.0	—	5.3	462	
121	IV b	II	E - 3 c - 5	—	—	150.0	—	5.2	468	
122	IV b	II	E - 3 a - 1	—	—	223.0	—	6.5	469	
123	IV b	II	A - 3 b - 1	—	—	85.9	55.7	4.7	472	
124	IV b	II	F - 4 a - 1	—	258.7	273.3	—	7.1	473	
125	IV b	II	E - 4 c - 1	36.1	89.3	75.3	—	4.8	474	蓋の可能性あり
126	IV b	II	D - 4 c - 1	—	203.0	200.9	—	6.9	475	
127	IV b	II	D - 5	—	228.6	235.8	—	4.7	484	
128	IV b	II	A - 2 a - 3	—	291.1	245.4	—	6.8	485	
129	IV b	II	A - 1 c - 5	—	160.2	154.6	—	4.8	486	
130	IV b	II	A - 3 e - 5	—	92.4	—	—	5.1	487	
131	IV b	II	C - 3 a - 1	—	—	57.1	—	4.0	488	
132	IV b	I	—	—	—	52.8	—	4.1	489	
133	IV b	II	E - 2 a - 1	—	—	171.3	75.0	7.1	490	
134	IV	—	C - 6 d - 1	—	—	—	58.5	4.3	491	
135	V	II	D - 5	258.5	234.7	196.5	87.2	5.9	492	
136	V	II	C - 4 e - 1	—	—	326.4	105.7	7.3	500	
137	V	I	—	—	—	—	85.0	—	501	

表III-4 拓本土器一覧表(1)

No.	分類	柄位	グリット名	部 位	文 様	岡番	備 考
1	I	III	D-6 a-3	口縁部	貼付文・撚糸压痕文	1	
2	I	V	A-4 d-2	胴 部	押引文・沈線文	2	
3	I	I	B-6	口縁部	繩文・縄文・無文帯あり	4	
4	I	V	B-3 e-1	胴 部	撚糸文	5	
5	I	V	D-5 a-5	口縁部	糸文・無文帯あり	6	
6	II a	V	C-2 e-2	II縁部	沈線文	7	
7	II a	III	D-1 d-4	口縁部	沈線文・繩文・無文帯あり	8	
8	II a	V	C-6 c-2	胴 部	沈線文	9	
9	II a	I	D-3	胴 部	沈線文・縄文・無文帯あり	10	
10	II a	V	C-3 c-1	胴 部	沈線文・縄文・無文帯あり	11	
11	II b	V	D-6 b-1	口縁部	沈線文・縄文	12	
12	II b	V	D-5 b-5	胴 部	沈線文・縄文・無文帯あり	13	
13	II b	IV	D-4 c-2	II縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	15	
14	II b	V	C-4 a-1	口縁部	円形刺突文	16	
15	II b	IV	F-4 b-3	口縁部	円形刺突文	17	
16	II b	IV	B-5 a-3	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	18	
17	II b	V	D-2 b-3	胴 部	沈線文	19	
18	II b	IV	A-5 e-4	口縁部	沈線文・縄文	20	
19	II b	IV	A-4 a-2	II縁部	沈線文・縄文・刻み・無文帯あり	25	
20	II b	III	A-4 a-3	口縁部	刻み・無文帯あり	26	
21	II b	V	A-4 a-3	口縁部	円形刺突文・刻み・縄文	27	
22	II b	IV	E-2 b-2	II縁部	刻み・縄文	28	
23	II b	V	C-5 a-1	II縁部	沈線文・刻み・縄文	29	
24	II b	IV	E-3 b-2	口縁部	刻み・縄文	30	
25	II b	IV	C-3 d-1	口縁部	刻み・縄文・無文帯あり	31	
26	II b	IV	A-6 b-5	口縁部	刻み・縄文	32	
27	II b	IV	C-3 a-4	胴 部	沈線文・刻み・縄文	33	
28	II b	V	B-3 d-4	胴 部	沈線文・刻み・縄文・無文帯あり	34	
29	II b	V	D-2 e-5	胴 部	沈線文・刻み・縄文・無文帯あり	35	
30	II b	IV	F-4 b-2	胴 部	沈線文・縄文・無文帯あり	36	
31	II b	IV	B-1 d-3	胴 部	沈線文・縄文・無文帯あり	37	
32	II b	V	A-6 e-5	II縁部	縄文	38	
33	II b	V	B-3 d-4	口縁部	縄文	39	
34	II b	V	D-4 b-5	II縁部	縄文	40	
35	II b	V	C-2 d-1	口縁部	縄文	41	
36	II c	V	D-5 c-3	II縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	42	
37	II c	IV	C-6 b-1	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	43	
38	II c	V	C-6 a-1	口縁部	沈線文・縄文・無文帯あり	44	
39	II c	IV	A-4 b-2	胴 部	沈線文・縄文・無文帯あり	45	
40	II c	V	C-2 e-5	胴 部	沈線文・縄文・無文帯あり	46	
41	II c	V	C-2 e-1	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	47	
42	II c	IV	A-6 d-3	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	48	
43	II c	IV	A-6 d-3	II縁部	突瘤文・沈線文・縄文	49	
44	II c	V	A-5 a-3	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	50	
45	II c	V	B-2 a-5	II縁部	突瘤文・沈線文・縄文	51	
46	II c	IV	A-4 a-2	口縁部	突瘤文・縄文	52	
47	II c	III	B-1 c-2	口縁部	突瘤文・縄文	53	
48	II c	V	D-5 b-3	口縁部	突瘤文・縄文	54	
49	II c	IV	A-6 d-3	II縁部	突瘤文・沈線文・縄文	55	
50	II c	V	E-3 d-5	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	56	
51	II c	I	C-3 c-4	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	57	
52	II c	V	C-6 b-2	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	58	
53	II c	V	C-2 c-1	II縁部	突瘤文・沈線文・縄文	59	
54	II c	III	E-3 a-1	口縁部	突瘤文・沈線文・縄文	60	

表III-4 拓本土器一覧表(2)

No	分類	部位	グリット名	部 位	文	様	図番	備 考
55	II c	V	A - 6	d - 3	口縁部	突瘤文・繩文	61	
56	II c	IV	C - 3	e - 1	口縁部	貼付文・繩文	62	
57	II c	V	A - 5	e 1	口縁部	突瘤文・繩文	63	
58	II c	V	B - 3	d - 2	口縁部	突瘤文・繩文	64	
59	II c	IV	C - 6	b - 1	口縁部	沈線文・繩文	65	
60	II c	V	C - 3	c 3	口縁部	沈線文・繩文	66	
61	II c	IV	C - 5	c - 4	口縁部	沈線文・繩文	67	
62	II c	V	B - 1	e - 3	口縁部	突瘤文・繩文	68	
63	II c	V	C - 6	e - 1	胸 部	沈線文・繩文	69	
64	II c	V	D - 4	d - 1	胸 部	沈線文・繩文	70	
65	II c	IV	A - 6	d - 3	口縁部	沈線文・繩文・無文帯あり	73	
66	II c	IV	C - 6	b - 1	胸 部	沈線文・繩文・無文帯あり	74	
67	II c	V	D - 1	d - 1	胸 部	沈線文・繩文・無文帯あり	75	
68	II c	V	E - 4	a - 4	口縁部	貼付瘤・沈線文・繩文・無文帯あり	77	
69	II c	V	D - 3	c - 1	胸 部	貼付瘤・沈線文・繩文	78	
70	II c	III	A - 4	e - 5	胸 部	沈線文・施文	79	貼付瘤の剥落した跡あり
71	II c	IV	E - 3	d - 4	胸 部	貼付瘤・沈線文・繩文・無文帯あり	80	
72	II c	I	E - 3		口縁部	沈線文・繩文・無文帯あり	81	
73	III a	IV	A - 6	e - 5	口縁部	突瘤文・爪形文・沈線文・繩文	82	
74	III a	II	A - 4	b - 1	口縁部	突瘤文・爪形文・沈線文・繩文	84	
75	III a	IV	A - 6	d - 5	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	85	
76	III a	V	D - 2	d - 5	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	86	
77	III a	V	C - 3	c - 1	口縁部	貼付瘤・爪形文・沈線文・繩文	87	
78	III a	V	B - 3	b - 1	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	88	
79	III a	V	C - 4	c - 2	口縁部	爪形文・繩文	89	
80	III a	IV	F - 4	a - 2	口縁部	爪形文・繩文	90	
81	III a	II	D - 4	c - 1	口縁部	爪形文・繩文	91	
82	III a	III	C - 4	b - 4	口縁部	爪形文・繩文	92	
83	III a	V	C - 3	d - 1	胸 部	爪形文・沈線文・繩文	93	
84	III a	四	D - 5	b - 5	口縁部	爪形文・繩文	97	
85	III a	II	F - 4	a - 4	口縁部	爪形文・繩文	98	
86	III a	II	D - 3	e - 4	口縁部	爪形文・繩文	99	
87	III a	V	D - 2	b - 3	口縁部	爪形文・繩文	100	
88	III a	IV	E - 3	a - 4	口縁部	爪形文・繩文	101	
89	III a	III	D - 5	c - 1	口縁部	爪形文・繩文	102	
90	III a	IV	E - 4	e - 3	口縁部	爪形文	103	
91	III a	III	D - 3	b - 4	口縁部	爪形文・繩文	104	
92	III a	III	B - 3	d - 5	口縁部	爪形文・繩文	105	
93	III a	V	C - 3	c - 1	口縁部	爪形文・繩文	106	
94	III a	IV	E - 3	a - 4	口縁部	爪形文・繩文	107	
95	III a	IV	D - 4	c - 3	口縁部	爪形文・繩文	110	
96	III a	IV	B - 1	d - 4	口縁部	爪形文・繩文	111	
97	III a	V	D - 2	c - 2	口縁部	爪形文・繩文	112	
98	III a	III	B - 1	c - 3	口縁部	爪形文・繩文	113	
99	III a	IV	F - 4	a - 2	口縁部	爪形文・繩文	115	
100	III a	IV	D - 4	c - 1	口縁部	爪形文・繩文	116	
101	III a	IV	B - 1		口縁部	爪形文・繩文	117	
102	III a	IV	D - 3	a - 1	口縁部	爪形文・繩文	118	
103	III a	IV	E - 3	b - 5	口縁部	爪形文・繩文	119	
104	III a	II	D - 1	e - 3	口縁部	爪形文・繩文	122	
105	III a	IV	D - 4	e - 1	口縁部	爪形文・繩文	123	
106	III a	IV	D - 2	e - 5	口縁部	爪形文・繩文・無文帯あり	125	
107	III a	IV	F - 3	a - 5	口縁部	爪形文・繩文	126	
108	III a	IV	E - 3	a - 4	口縁部	爪形文・繩文・無文帯あり	128	

表III-4 拓本土器一覧表(3)

No	分類	層位	グリット名	部 位	文	様	図番	備 考
109	III a	IV	D - 4	e - 1	口縁部	爪形文・繩文	129	
110	III a	IV	E - 3	d 3	口縁部	爪形文・繩文	130	
111	III a	III	D - 4	c - 1	口縁部	爪形文・繩文	131	
112	III a	V	E - 3	b - 4	口縁部	爪形文・繩文	132	
113	III a	III	B - 1	e - 2	口縁部	爪形文・繩文	133	
114	III a	III	E - 2	c - 4	口縁部	爪形文・繩文	134	
115	III a	III	D - 4	c - 3	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	136	
116	III a	IV	D - 4	c - 1	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	137	
117	III a	V	A - 3	c - 2	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	138	
118	III a	IV	E - 3	a - 3	嗣 部	爪形文・繩文	139	
119	III a	I	F - 4		口縁部	爪形文・沈線文・繩文	147	
120	III a	II	B - 1	c - 5	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	148	
121	III a	III	E - 2	b - 3	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	149	
122	III a	IV	D - 4	c - 3	口縁部	爪形文・繩文	150	
123	III a	IV	E - 4	d - 1	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	151	
124	III a	V	D - 5	a 1	口縁部	爪形文・繩文	152	
125	III a	IV	E - 3	a - 4	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	153	
126	III a	III	E - 3	a - 4	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	154	
127	III a	IV	A - 3	b - 4	口縁部	爪形文・繩文	155	
128	III a	III	D - 4	d - 2	口縁部	爪形文・繩文	156	
129	III a	III	D - 4	a - 3	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	157	
130	III a	IV	D - 3	c 1	口縁部	爪形文・繩文	158	
131	III a	IV			口縁部	爪形文・繩文	159	
132	III a	V	D - 5	b - 3	口縁部	爪形文・繩文	160	
133	III a	IV	E - 4	c - 2	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	161	
134	III a	II	D - 4	d - 2	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	162	
135	III a	V	E - 3	b - 3	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	163	
136	III a	V	E - 4	a - 5	嗣 部	爪形文・沈線文・繩文	164	
137	III a	III	D - 3	a - 3	嗣 部	貼付嗣・爪形文・沈線文・繩文	165	
138	III a	IV	E - 3	a - 3	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	166	
139	III a	IV	D - 3	a - 4	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	167	
140	III a	IV	E - 4	b - 4	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	168	
141	III a	IV	C - 5	d - 2	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	169	
142	III a	III	E - 3	a - 1	口縁部	沈線文・繩文	170	
143	III a	IV	D - 2	b - 2	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	171	
144	III a	IV	E - 3	d - 4	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	172	
145	III a	IV	D - 1	a - 1	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	173	
146	III a	III	D - 1	c - 3	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	174	
147	III a	III	E - 3	a - 2	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	175	
148	III a	II	F - 4	c - 1	嗣 部	爪形文・沈線文・繩文	176	
149	III a	IV	E - 4	a - 2	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	177	
150	III a	IV	E - 5	a 2	口縁部	爪形文・沈線文・繩文	178	
151	III a	V	F - 4	c - 1	口縁部	爪形文・沈線文	180	
152	III a	IV	C - 6	c - 2	口縁部	沈線文・列点文・繩文	181	
153	III a	III	F - 4	a - 2	口縁部	沈線文・列点文・繩文	184	
154	III a	III	D - 4	e - 5	口縁部	沈線文・列点文・繩文	185	
155	III a	III	B - 1	c - 2	口縁部	沈線文・列点文・繩文	186	
156	III a	V	D - 1	d - 2	口縁部	沈線文・繩文	187	
157	III a	IV	D - 2	e - 5	口縁部	沈線文・繩文	188	
158	III a	V	C - 3	c - 2	口縁部	沈線文・繩文	189	
159	III a	IV	B - 3	d - 2	口縁部	沈線文・繩文	190	
160	III a	V	B - 2	e - 5	口縁部	沈線文	191	
161	III a	IV	D - 4	b - 2	口縁部	爪形文・繩文	192	
162	III a	V	E - 3	b - 5	嗣 部	貼付文・沈線文・繩文	193	

表III-4 拓本土器一覧表(4)

No	分類	層位	グリット名	部 位	文 標	図番	備 考
163	III a	V	C 6 e - 1	口縁部	沈線文	195	突起部に貫通孔
164	III a	V	F - 1 c 5	口縁部	繩文・沈線文?	196	
165	III a	V	D - 1 c - 3	口縁部	繩文	197	
166	III a	V	A - 2 e - 1	口縁部	繩文	199	
167	III a	V	C - 3 d - 2	口縁部	繩文	200	
168	III a	IV	C - 3 c - 5	口縁部	繩文	201	
169	III a	V	B - 3 e - 2	口縁部	繩文	202	
170	III a	III	E - 4 b 2	口縁部	繩文	203	
171	III a	IV	E - 3 a - 5	口縁部	繩文	205	
172	III a	IV	D - 4 d - 2	口縁部	繩文	206	
173	III a	V	D - 3 e - 1	口縁部	繩文	207	
174	III a	V	F - 2 b - 4	口縁部	繩文	209	
175	III a	IV	A 4 e - 2	口縁部	繩文	212	
176	III a	V	D 5 e - 1	口縁部	無文	221	
177	III a	V	C - 3 d - 1	口縁部	沈線文	223	
178	III a	V	A 4 e - 2	口縁部	沈線文・繩文	224	
179	III a	V	D - 2 e - 1	口縁部	沈線文・繩文・無文帶あり	225	
180	III a	III	F - 2 b - 2	胴 部	沈線文・繩文・無文帶あり	226	
181	III a	I	C - 3 c - 4	胴 部	沈線文・繩文・無文帶あり	227	
182	III a	V	D - 5 b - 1	胴 部	沈線文・繩文・無文帶あり	228	
183	III a	III	E - 4 b - 2	口縁部	沈線文・繩文	232	
184	III a	II	F 4 a - 1	口縁部	沈線文・繩文	233	
185	III a	V	C - 5 d - 4	口縁部	沈線文・繩文	234	
186	III a	III	E - 5 b - 2	胴 部	沈線文・繩線文	235	
187	III a	IV	C - 3 e - 2	口縁部	沈線文・繩文	236	
188	III a	V	C - 2 d - 5	口縁部	沈線文・繩文	237	
189	III a	V	D - 1 d - 2	胴 部	沈線文	238	精製土器
190	III a	V	B - 1 c - 3	口縁部	沈線文・繩文	239	
191	III a	III	D - 4 a - 4	口縁部	沈線文	240	
192	III a	V	C - 5 d - 4	口縁部	沈線文・繩文・無文帶あり	241	
193	III a	III	A 3 d - 2		沈線文	242	土製品?
194	III a	IV	B - 2 b - 4	口縁部	沈線文・繩文	243	
195	III a	V	B - 3 e - 1	口縁部	無文	245	
196	III a	III	D - 4 c - 4	胴 部	沈線文	246	文様は焼成後に施す
197	III b	II	A 2 e - 5	口縁部	沈線文・繩文・無文帶あり	247	
198	IV a	IV	C 3 d - 1	口縁部	沈線文・繩文	248	
199	IV a	II	A - 2 c 4	口縁部	沈線文・貫通孔	258	
200	IV a	III	B - 1 a - 5	口縁部	沈線文・繩文	259	
201	IV a	IV	D - 3 b 5	口縁部	沈線文・繩文	260	
202	IV a	IV	D - 1 e - 2	胴 部	沈線文・繩文	261	
203	IV a	III	E - 4 b - 2	口縁部	繩文・無文帶	262	
204	IV a	II	B - 2 e - 5	口縁部	尖端文・沈線文・繩文	265	
205	IV a	III	A - 2 c - 1	口縁部	沈線文・繩文	266	
206	IV a	V	B - 3 c - 5	口縁部	沈線文・繩文	267	
207	IV a	IV	A - 1 b 2	口縁部	沈線文・繩文	268	
208	IV a	II	C - 2 e - 1	口縁部	沈線文・繩文	269	
209	IV a	III	C - 2 d - 5	口縁部	沈線文・繩文	270	
210	IV a	II	A - 4 e - 2	口縁部	沈線文・繩文	271	
211	IV a	II	D - 2 d - 2	口縁部	沈線文・繩文	272	
212	IV a	III	C - 2 a - 3	口縁部	沈線文・繩文	273	
213	IV a	II	E - 4 a - 1	口縁部	沈線文・繩文	274	
214	IV a	III	D - 2 d - 3	口縁部	沈線文・繩文	265	
215	IV a	II	C - 3 b - 2	口縁部	繩文・無文帶	277	
216	IV a	IV	E - 4 e - 1	口縁部	沈線文・繩文	278	

表III-4 拓本土器一覧表(5)

No.	分類	所位	グリット名	部位	文様	図番	備考
217	IV a	I	F - 4	a - 1	口縁部 縹線文・縄文	281	
218	IV a	II	D - 2	a - 1	口縁部 縹線文・縄文・無文帯あり	282	
219	IV a	III	B - 2	d - 4	口縁部 縹線文・縄文・無文帯あり	283	
220	IV a	II	D - 1	d - 5	口縁部 縹線文・沈綴文	285	
221	IV a	IV	C - 6	a - 1	口縁部 縹線文・縄文	286	
222	IV a	II	C - 1	b - 3	口縁部 縹線文・縄文	287	
223	IV a	V	D - 2	d - 5	口縁部 縹線文・縄文	288	
224	IV a	III	D - 3	d - 1	口縁部 縹線文・縄文・無文帯あり	289	
225	IV a	V	C - 4	a - 2	口縁部 縹線文・縄文	290	
226	IV a	II	D - 1	c - 5	口縁部 縹線文・縄文	291	
227	IV a	III	B - 2	c - 2	口縁部 縹線文・縄文・無文帯あり	293	
228	IV a	II	D - 1	c - 5	口縁部 突瘤文・沈綴文	295	
229	IV a	IV	C - 3	d - 1	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	296	
230	IV a				口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	299	
231	IV a	II	C - 1	e - 2	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	300	
232	IV a	II	C - 1	d - 3	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	301	
233	IV a	III	E - 4	d - 4	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	302	
234	IV a	III	A - 2	d - 2	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	305	
235	IV a		C - 2		口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	306	
236	IV a	I			口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	307	
237	IV a	II	D - 4	b - 1	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	308	
238	IV a	II	D - 1	c - 2	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	309	
239	IV a	V	A - 3	b - 2	口縁部 突瘤文・縄文	310	
240	IV a	II	D - 2	a - 4	口縁部 突瘤文・縄文	311	
241	IV a	II	A - 3	b - 1	口縁部 突瘤文・縄文	312	
242	IV a	II	D - 1	c - 4	口縁部 突瘤文・縄文	313	
243	IV a	II	D - 1	d - 4	口縁部 突瘤文・縄文	314	
244	IV a	V	C - 2	a - 3	口縁部 突瘤文・縄文	315	
245	IV a	II	D - 2	a - 2	口縁部 突瘤文・縄文	316	
246	IV a	IV	C - 1	d - 3	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	317	
247	IV a	II	D - 4	c - 3	口縁部 突瘤文・縄文	318	
248	IV a	III	D - 3	b - 3	口縁部 突瘤文・縄文	319	
249	IV a	II	B - 2	a - 5	口縁部 突瘤文・縄文	320	
250	IV a	II	C - 3	a - 1	口縁部 突瘤文・縄文	321	
251	IV a	III	A - 2	b - 4	口縁部 突瘤文・縄文	322	
252	IV a	IV	C - 3	d - 1	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	324	
253	IV a	II	D - 3	a - 5	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	325	
254	IV a	III	B - 1	b - 2	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	326	
255	IV a	IV	B - 2	b - 4	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	327	
256	IV a	III	C - 1	e - 2	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	329	
257	IV a	II	A - 2	a - 4	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	330	
258	IV a	II	A - 3	c - 2	口縁部 突瘤文・縄文	331	
259	IV a	II	D - 1	d - 4	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	332	
260	IV a	III	D - 1	c - 3	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文・無文帯あり	334	
261	IV a	II	B - 2	b - 4	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文・無文帯あり	335	
262	IV a	III	A - 1	a - 4	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	337	
263	IV a	III	A - 1	c - 4	口縁部 突瘤文・沈綴文・縄文	338	
264	IV a	III	D - 3	e - 5	口縁部 突瘤文・縄文	340	
265	IV a	II	D - 4	d - 4	口縁部 突瘤文・縄文	342	
266	IV a	I	B - 5		口縁部 突瘤文・縄文	343	
267	IV a	II	C - 1	c - 4	口縁部 突瘤文・縄文	344	
268	IV a	II	D - 1	a - 3	口縁部 突瘤文・縄文	345	
269	IV a	II	F - 4	c - 4	口縁部 突瘤文・縄文	346	
270	IV a	IV	C - 1	c - 3	口縁部 突瘤文・縄文	348	

表III-4 拓本土器一覧表(6)

No.	分類	層位	グリット名	部 位	文 様	図番	備 考
271	IV a	Ⅲ	D - 1	c - 3	口縁部 突唇文・繩文	350	
272	IV a	Ⅲ	C - 3	b - 1	口縁部 突唇文・繩文	351	
273	IV a	Ⅲ	D - 1	d - 3	口縁部 突唇文・繩文・無文帶あり	352	
274	IV a	II	B - 2	b - 5	口縁部 突唇文・繩文・無文帶あり	353	
275	IV a	III	B - 2	d - 5	口縁部 突唇文・繩文	354	
276	IV a	III	B - 2	e - 2	口縁部 突唇文・繩文	355	
277	IV a	III	A - 1	e - 2	口縁部 繩文	360	
278	IV a	IV	E - 4	d - 2	口縁部 繩文・無文帶あり	361	
279	IV a	V	F - 2	a - 2	口縁部 繩文	364	同文時代後期の可能性もあり
280	IV a	II	A - 2	a - 2	口縁部 繩文	365	
281	IV a	II	A - 4	c - 1	口縁部 扇糸文・無文帶あり	370	
282	IV a	III	C - 2	a - 4	口縁部 繩文・無文帶あり	371	
283	IV a	III	D - 2	b - 4	口縁部 繩文・無文帶あり	372	
284	IV a	II	B - 3	e - 5	口縁部 沈線文・带繩文	375	
285	IV a	III	A - 1	b - 2	口縁部 沈線文・带繩文・無文帶あり	376	
286	IV a	III	E - 4	b - 2	口縁部 沈線文・带繩文	377	
287	IV a	II	C - 3	a - 1	口縁部 沈線文・带繩文	380	
288	IV a	II	A - 2	a - 2	口縁部 沈線文・带繩文	379	
289	IV a	IV	B - 4	a - 3	肩 部 沈線文・带繩文	380	
290	IV a		C - 2		口縁部 沈線文・带繩文	381	
291	IV a	II	A - 1	a - 2	口縁部 圆形刺突文・沈線文・繩線文・带繩文	382	
292	IV a	I	D - 5	c - 4	口縁部 繩線文・带繩文・無文帶あり	383	
293	IV a	II	A - 2	a - 2	口縁部 繩線文・带繩文	384	
294	IV a	II	A - 3	c - 1	口縁部 繩線文・带繩文・無文帶あり	385	
295	IV a	II	A - 2	a - 5	口縁部 突唇文・带繩文	386	
296	IV a	II	A - 2	b - 5	口縁部 突唇文・带繩文	387	
297	IV a	III	B - 1	a - 5	口縁部 突唇文・带繩文	388	
298	IV a		表 採		口縁部 突唇文・带繩文	390	
299	IV a	IV	A - 4	e - 3	口縁部 突唇文・带繩文	391	
300	IV a	II	B - 3	e - 5	口縁部 突唇文・带繩文	392	
301	IV a	II	C - 3	c - 2	口縁部 突唇文・带繩文	393	
302	IV a	III	A - 1	d - 2	口縁部 突唇文・带繩文	394	
303	IV a	II	B - 3	c - 1	口縁部 突唇文・带繩文	395	
304	IV a	II	D - 5	b - 3	口縁部 带繩文	409	
305	IV a	II	B - 2	c - 4	口縁部 带繩文	410	
306	IV a	II	A - 4		口縁部 带繩文	411	
307	IV a	II	B - 3	d - 1	口縁部 带繩文	412	
308	IV a	III	B - 1	c - 3	口縁部 带繩文	413	
309	IV a	II	C - 1	c - 4	口縁部 带繩文	414	
310	IV a	II	B - 4	b - 3	口縁部 带繩文	415	
311	IV a	II	B - 2	c - 5	口縁部 带繩文	416	
312	IV a		B - 3	d - 1	口縁部 带繩文	417	
313	IV a	II	B - 3	d - 5	口縁部 带繩文	418	
314	IV a		A - 1	a - 2	口縁部 带繩文	419	
315	IV a	III	A - 1	b - 4	口縁部 带繩文	420	
316	IV a	II	B - 1	a - 5	口縁部 带繩文	421	
317	IV a	III	A - 1	b - 2	口縁部 带繩文	422	
318	IV a	IV	A - 1	b - 2	口縁部 带繩文・無文帶あり	423	
319	IV b	II	C - 3	d - 2	口縁部 沈線文	429	
320	IV b	III	C - 1	e - 3	口縁部 沈線文	430	
321	IV b		D - 3		口縁部 沈線文・列点文	431	
322	IV b	III	A - 1	e - 5	口縁部 沈線文・列点文	432	
323	IV b	II	F - 4		口縁部 沈線文	433	
324	IV b	II	A - 3	e - 4	口縁部 沈線文・繩文	434	

表III-4 拓本土器一覧表(7)

No	分類	層位	グリット名	部 位	文	様	図番	備 考
325	IV b	II	E - 4 c - 1	II縁部	沈綴文・列点文		435	
326	IV b	II	B - 3 c - 4	II縁部	沈綴文		437	
327	IV b	III	C - 2 e - 3	口縁部	沈綴文・列点文・繩文		440	
328	IV b	III	B - 1 d - 5	胴 部	沈綴文・繩文		442	
329	IV b	III	A - 7 d - 1	胴 部	沈綴文・繩文		443	
330	IV b	II	C - 4 d - 1	胴 部	沈綴文・繩文		444	
331	IV b	II	E - 4 e - 1	胴 部	貼付縫・沈綴文・繩文		445	
332	IV b	II	A - 3 d - 2	胴 部	沈綴文・繩文		446	
333	IV b	IV	C - 4 c - 2	胴 部	沈綴文・繩文		447	
334	IV b	II	A - 3 b - 4	II縁部	綴文・沈綴文・無文帯あり		451	
335	IV b	II	D - 2 b - 2	口縁部	沈綴文・繩文・列点文・無文帯あり		453	
336	IV b	II	D - 1 b - 4	II縁部	沈綴文・綴文・無文帯あり		454	
337	IV b	II	D - 5 a - 2	口縁部	沈綴文・綴文・無文帯あり		455	
338	IV b	II	A - 4 d - 1	口縁部	沈綴文・綴文・無文帯あり		456	
339	IV b	I	C - 1	II縁部	沈綴文・綴文		463	
340	IV b	II	D - 1 b - 3	口縁部	沈綴文・綴文・無文帯あり		464	
341	IV b	III	E - 3 c - 3	口縁部	沈綴文・無文帯あり		465	
342	IV b	II	D - 2 b - 3	II縁部	沈綴文・無文帯あり		466	
343	IV b	V	E - 3 b - 5	口縁部	沈綴文・繩継文・綴文・無文帯あり		467	
344	IV b	II	D - 5 a - 2	胴 部	沈綴文・列点文		470	
345	IV b	II	A - 4 d - 1	胴 部	沈綴文・列点文・綴文・無文帯あり		471	
346	IV b	I	F - 4	口縁部	沈綴文・綴文		476	
347	IV b	V	D - 2 e - 2	II縁部	沈綴文・綴文		477	IV a の可能性あり
348	IV b	II	C - 1 c - 3	口縁部	沈綴文・綴文		478	
349	IV b	II	D - 4 d - 3	II縁部	沈綴文・綴文		479	
350	IV b	II	E - 4 e - 4	口縁部	沈綴文・綴文		480	
351	IV b	II	D - 5 a - 4	II縁部	沈綴文・綴文		481	
352	IV b	III	E - 4 d - 3	口縁部	沈綴文・綴文		482	
353	IV b	III	D - 4 b - 2	口縁部	綴文		483	
354	V	I	C - 2	II縁部	沈綴文・刻綴文		493	
355	V	I	A - 6	II縁部	沈綴文		494	
356	V	II	C - 6 a - 3	II縁部	刻綴文		495	
357	V	I	E - 4	口縁部	沈綴文		496	
358	V	II	D - 4 e - 2	II縁部	沈綴文		497	
359	V	I	D - 3	II縁部	段あり		498	
360	V	III	E - 3 a - 1	口縁部	沈綴文		499	
361	V	I	C - 3	底 部	刻綴文		503	

2節 石 器

青苗B遺跡からは剥片類1179点、礫類79点の計1258点が出土している。剥片石器と礫石器との比率は礫石器が著しく少ない。剥片石器では機能の明瞭なものは 削器が最も多いが、靴形や木葉形などの定型的なものは少なく、不定形な剥片の縁辺に刃部を作出しただけのものが多い。石鎚は有柄のものが殆どで、なかでも有柄凸基のものが最も多い。石鎚は有柄で基端部の張り出すもの、石鎚の大きいものを石錐として扱った。石錐は剥片の一端に刃部を作出したのみのものと、つまみ部が明瞭に作出されたものがほぼ同数である。つまみ付きナイフは全点が剥片の縁辺のみを加工したもので、切り出し状の形態のものが多い。抉入石器は抉りの部分に使用の結果と考えられる潰れが確認される。搔器は削器にみられる靴形を呈する形態のものがあるのが特徴である。Rフレイクは剥片の縁辺のみを加工しているものであり、安山岩を使用しているものが比較的多い。

砾石器では石斧が最も多く出土している。石斧は扁平で片刃のものが多く含まれる。砾石は角性状のものと扁平なものがあり、そのなかには割れた状態で出土した大型の砾石が1点出土した。石錐は有溝石錐と考えられるものが1点出土している。たたき石は端部に使用痕があるものであり、中には“トチむき石”状の使用痕を持つものもある。石皿は使用痕が明瞭なすりくぼみ状となっているものである。

石鎚

230点が出土している。石質は頁岩156点、黒曜石48点、チャート10点、安山岩各2点、玄武岩9点、メノウ3点、メノウ質頁岩1点である。形態別には有柄凸基81点、有柄平基65点、有柄凹基14点、無柄凹基8点、無柄平基7点、柳葉形6点、菱形2点である。未製品は22点であり形態が不明な破片は17点である。

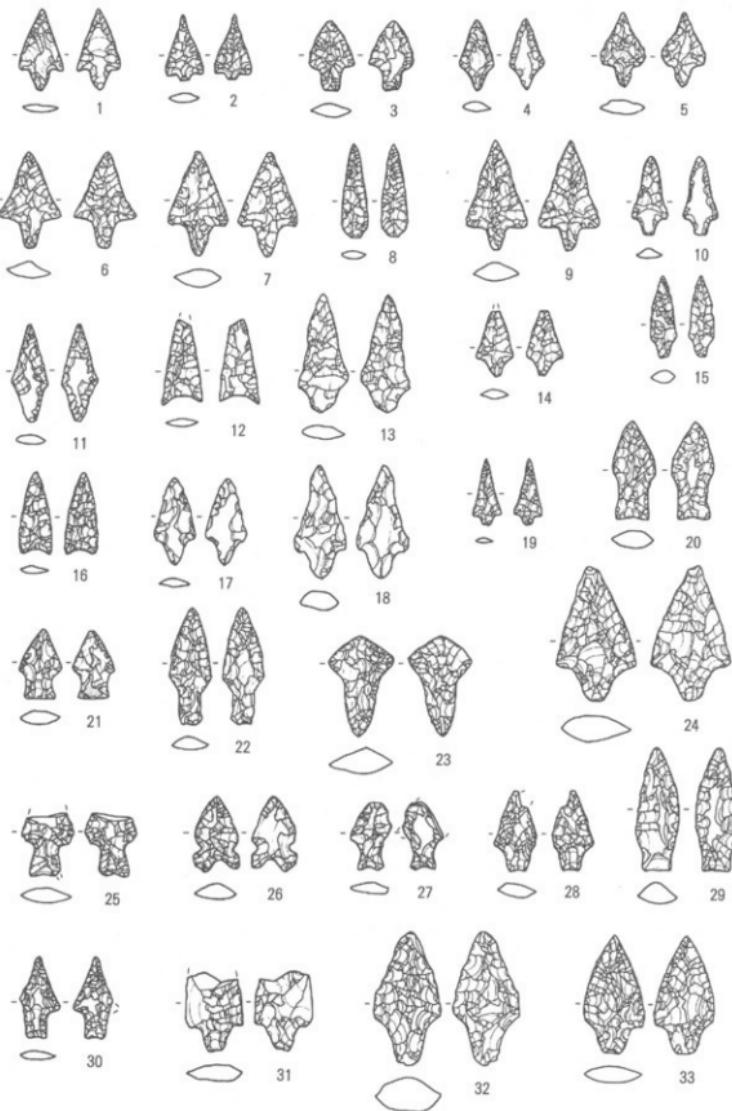
12・16は無柄凹基、3・5～7・9・18・19は有柄平基である。3は一方の基端部がやや短く作出されている。5は腹面に原石面が残る。4・8・11・13～15・17は有柄凸基であり、4は縁辺のみの加工である。1・2は有柄凹基であり、2は側縁が内湾し、先端が著しく先細るものである。

No.91・100はいずれも有柄凸基であり柄部にアスファルトが付着しているものである。

石錐

22点が出土している。石質は頁岩14点、黒曜石2点、チャート2点、安山岩3点、形態別では、有柄凸基12点、柳葉形1点などである。20～23・25・27・28・30・32・33は有柄凸基であり20・21・25・27は柄端部の張り出すもの、20・25・27・30は柄下部の内湾するものである。24・31は有柄平基である。26は異形のものであり柄下部が内湾し、その両端が突起状に張り出す。29は柳葉状を呈している。21はタール状のものが付着している。

（石鎚と石錐との区分の基準は、1. 有柄のもので基部が内湾し、基端部の張り出すもの、2. 有柄で柄部が刺突部と較べて著しく細いもの、3. 大型で有柄、刺突部が大きく外湾するもの、5. 大型のもので柄部が大きく外湾するもの。5. 大型のもの。以上の5つの条件を1つでも満たすものを石錐とした。）



図IV-30 包含層出土石器（1）

表IV-11 石鐵一覧表(1)

No.	層位	グリット名	断続	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	IV	A-5	e-3	1	22.3	13.6	4.9	0.9	頁岩	有柄平基, 先端欠損
2	IV	B-3	a-3	2	23.3	14.3	3.7	1.0	頁岩	有柄平基, 先端・基部欠損
3	IV	B-3	d-4	3	33.1	17.9	3.7	1.3	チャート	1 有柄凹基
4	IV	C-2	c-4	4	42.0	21.7	4.3	2.3	頁岩	有柄平基
5	IV	C-2	d-2	5	31.6	16.9	5.3	2.2	頁岩	有柄凸基
6	IV	C-2	d-3	6	25.1	11.4	3.5	0.7	黒曜石	有柄平基
7	IV	C-2	e-5	7	20.8	14.5	2.7	0.9	頁岩	有柄平基, 先端欠損, 習作
8	IV	F-4	b-3	8	26.7	15.4	4.0	1.0	チャート	2 有柄凹基
9	V	A-1	c-5	9	31.3	10.9	10.9	1.6	頁岩	基部欠損
10	V	A-2	c-1	10	31.4	11.8	4.1	1.1	頁岩	有柄凸基
11	V	A-2	e-2	11	28.3	18.3	5.3	2.2	頁岩	3 有柄凸基
12	V	A-4	a-1	12	25.6	16.0	4.2	1.2	黒曜石	有柄凸基, 欠端欠損
13	V	A-4	d-2	13	28.7	13.5	4.2	1.3	頁岩	4 有柄凸基
14	V	A-4	e-3	14	30.3	18.3	6.1	2.1	頁岩	5 有柄平基
15	V	B-1	c-3	15	29.0	15.3	5.9	1.5	頁岩	有柄平基
16	V	B-1	c-3	16	28.6	16.9	5.0	2.1	チャート	有柄凸基
17	V	B-2	a-4	17	20.3	13.2	6.1	1.2	黒曜石	有柄平基
18	V	B-2	e-5	18	33.4	15.4	5.0	1.8	頁岩	有柄平基
19	V	B-3	b-2	19	23.3	12.2	4.1	1.0	頁岩	有柄凸基
20	V	B-3	c-3	20	17.3	11.1	4.3	0.7	頁岩	有柄凸基
21	V	B-3	c-4	21	21.1	14.2	2.3	0.7	頁岩	有柄凸基
22	V	B-3	d-2	22	23.6	13.2	4.7	2.0	頁岩	有柄平基
23	V	B-3	d-4	23	32.5	16.6	4.9	2.0	頁岩	有柄平基
24	V	B-3	d-4	24	26.0	11.4	3.1	0.7	頁岩	有柄平基
25	V	B-3	d-4	25	24.3	13.2	3.9	0.9	頁岩	有柄平基
26	V	B-3	d-5	26	24.0	16.6	4.7	1.7	頁岩	先端・基部欠損
27	V	B-4	b-2	27	30.2	16.3	4.4	1.2	頁岩	未製品
28	V	B-4	c-1	28	24.7	11.2	3.6	0.7	頁岩	有柄凸基
29	V	B-4	d-1	29	19.3	13.8	3.1	0.6	黒曜石	有柄凹基, 先端・基部欠損
30	V	B-4	d-1	30	26.9	12.9	4.1	1.0	頁岩	有柄凸基, 欠端欠損
31	V	B-4	e-2	31	24.3	14.7	4.8	1.2	チャート	有柄凸基
32	V	B-5	d-1	32	33.9	12.8	4.7	1.7	頁岩	有柄凸基
33	V	B-5	e-1	33	26.3	12.5	4.2	1.1	頁岩	有柄凸基, 欠端欠損
34	V	B-6		34	20.3	15.2	6.3	1.6	頁岩	有柄凹基, 欠端欠損
35	V	C-1	a-3	35	39.2	25.4	6.9	3.3	頁岩	6 有柄平基
36	V	C-1	d-1	36	43.1	24.5	7.7	4.7	頁岩	7 有柄平基
37	V	C-2	e-2	37	26.8	19.0	2.9	1.3	頁岩	有柄平基, 習作
38	V	C-3	a-2	38	16.6	13.2	3.8	0.7	頁岩	有柄凸基, 先端・基部欠損
39	V	C-3	b-1	39	25.4	10.1	2.7	0.6	頁岩	先端のみ
40	V	C-3	b-1	40	28.2	17.1	5.0	1.9	頁岩	有柄凸基
41	V	C-3	c-1	41	16.3	16.2	2.3	0.6	頁岩	有柄凸基, 先端欠損
42	V	C-3	d-1	42	19.1	10.1	3.7	0.6	頁岩	有柄平基, 欠端欠損
43	V	C-4	c-2	43	26.3	15.5	3.0	1.3	頁岩	有柄凹基, 先端・基部欠損
44	V	C-4	d-1	44	25.7	14.6	3.9	1.1	頁岩	有柄凸基, 先端欠損
45	V	C-4	d-1	45	20.6	15.4	6.6	1.8	頁岩	未製品
46	V	C-4	d-1	46	23.7	11.8	2.8	0.6	頁岩	有柄凸基, 先端欠損
47	V	C-4	d-1	47	28.3	13.6	5.5	1.2	頁岩	有柄平基
48	V	C-5	a-3	48	26.0	11.9	5.9	1.4	黒曜石	有柄凸基, 先端欠損
49	V	C-5	b-1	49	39.1	14.9	3.9	2.0	頁岩	有柄凸基, 習作
50	V	D-1	a-4	50	35.4	14.4	4.1	1.3	頁岩	有柄平基
51	V	D-1	b-3	51	21.5	15.7	4.2	1.2	頁岩	菱形
52	V	D-1	e-3	52	30.0	12.3	4.8	1.1	頁岩	有柄平基, 向側縫に抉りあり
53	V	D-1	e-4	53	15.7	11.1	3.7	0.5	黒曜石	有柄平基, 先端欠損
54	V	D-2	a-2	54	28.5	13.0	3.7	1.5	頁岩	有柄凸基, 欠端欠損

表IV-12 石器一覧表(2)

No	部位	グリット名	鉄錐	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
55	V	D-2	b-3	55	38.8	17.9	8.4	5.5	安山岩	有柄凸基
56	V	D-2	b-3	56	26.7	14.2	3.7	1.2	チャート	有柄平基
57	V	D-2	d-5	57	36.4	24.2	7.8	5.8	頁岩	有柄凸基
58	V	D-3	b-1	58	51.1	19.5	10.2	8.3	頁岩	有柄凸基
59	V	D-3	c-1	59	25.3	15.1	3.5	0.9	頁岩	有柄平基、先端欠損
60	V	D-3	c-4	60	28.4	15.5	5.2	1.2	頁岩	有柄凸基
61	V	D-3	c-3	61	28.8	16.0	5.9	1.9	黒曜石	有柄平基、先端・基部欠損
62	V	D-4	b-1	62	38.0	10.7	3.7	1.4	頁岩	8 有柄凸基
63	V	D-4	b-1	63	29.5	18.3	6.9	2.9	黒曜石	有柄凹基
64	V	D-4	b-3	64	42.5	18.3	8.7	4.9	頁岩	有柄凸基
65	V	D-5	c-1	65	24.0	16.9	3.5	1.1	頁岩	有柄平基、先端欠損
66	V	D-5	c-3	66	20.0	14.5	4.7	1.0	頁岩	有柄平基、先端・柄部欠損
67	V	D-5	d-1	67	21.3	13.3	4.7	1.1	頁岩	有柄凸基
68	V	D-5	d-5	68	20.9	13.5	4.3	0.9	頁岩	有柄平基、先端・柄部欠損
69	V	E-1	b-4	69	19.3	12.6	4.0	0.8	黒曜石	有柄凸基、花十勝を使用
70	V	E-3	b-1	70	37.3	18.7	3.8	3.0	頁岩	有柄凹基
71	V	E-3	c-3	71	45.4	25.3	8.3	5.2	頁岩	9 有柄平基
72	V	E-4	a-2	72	30.0	17.8	5.1	2.7	玄武岩	有柄凸基、先端欠損
73	V	E-4	a-2	73	14.7	15.2	5.9	1.4	黒曜石	有柄凸基、先端欠損
74	V	E-4	a-4	74	17.6	17.8	2.6	0.8	頁岩	有柄平基、先端欠損
75	V	F-1	b-5	75	19.3	12.4	4.6	0.8	黒曜石	有柄凸基
76	V	F-1	b-5	76	35.1	22.2	4.0	2.0	頁岩	未製品
77	V	F-1	b-5	77	19.8	15.6	4.9	1.1	玄武岩	有柄平基、先端欠損
78	V	F-1	c-5	78	21.1	16.7	4.9	1.1	頁岩	有柄平基、先端欠損
79	V	F-1	b-4	79	24.5	14.5	5.2	1.0	頁岩	有柄平基
80	IV	A-2	c-2	80	25.6	16.9	5.1	1.7	頁岩	有柄凸基、柄部欠損
81	IV	A-4	e-3	81	35.6	20.9	6.0	4.4	頁岩	有柄凸基、先端・柄部欠損
82	IV	B-2	c-4	82	26.2	12.0	4.0	0.8	頁岩	有柄平基
83	IV	B-4	a-3	83	26.9	13.9	3.9	0.7	チャート	有柄凸基
84	IV	B-4	a-4	84	25.3	15.3	4.9	1.5	黒曜石	有柄平基、柄部欠損
85	IV	B-5	c-1	85	20.4	14.1	2.3	0.4	頁岩	有柄凹基、柄部欠損
86	IV	B-6	-	86	26.5	15.1	3.8	1.4	頁岩	無柄凸基
87	IV	B-6	-	87	29.1	14.1	5.5	2.0	頁岩	未製品、横長剥片を使用
88	IV	C-1	c-4	88	18.7	12.8	4.2	1.0	黒曜石	有柄平基
89	IV	C-1	c-4	89	21.2	12.9	4.8	1.1	黒曜石	有柄凸基、柄部欠損
90	IV	C-2	a-5	90	30.8	16.5	6.7	2.7	黒曜石	有柄平基、柄部欠損
91	IV	C-2	e-5	91	45.8	19.5	11.1	8.4	頁岩	有柄凸基、柄部アスファルト着
92	IV	C-4	a-1	92	19.8	13.0	3.6	0.6	頁岩	有柄平基
93	IV	C-4	c-1	93	21.6	12.1	4.6	1.1	黒曜石	有柄凸基、先端欠損
94	IV	C-5	c-4	94	29.1	19.9	7.2	3.5	頁岩	有柄凸基、先端欠損
95	IV	D-1	b-4	95	16.3	15.0	4.8	1.1	黒曜石	有柄凸基、先端・基部欠損
96	IV	D-1	d-4	96	25.5	14.1	3.8	1.9	頁岩	有柄平基
97	IV	D-3	a-4	97	29.2	16.1	3.2	1.5	黒曜石	無柄平基
98	IV	D-3	a-4	98	20.4	16.2	6.9	2.0	頁岩	有柄平基、先端欠損
99	IV	D-3	a-4	99	28.1	12.4	5.0	1.5	頁岩	有柄平基、柄部欠損
100	IV	D-3	a-5	100	30.1	18.1	6.8	2.6	頁岩	有柄凸基、柄部アスファルト着
101	IV	D-3	e-3	101	36.8	20.5	5.2	4.1	頁岩	未製品
102	IV	D-4	d-1	102	23.7	13.1	3.9	0.8	頁岩	基部欠損
103	IV	D-4	d-2	103	37.5	13.5	6.2	2.8	頁岩	有柄平基
104	IV	D-4	e-1	104	34.2	16.4	7.1	2.8	黒曜石	無柄凹基
105	IV	D-4	e-4	105	50.0	23.5	11.4	10.6	安山岩	有柄凸基
106	IV	E-1	a-4	106	10.6	9.7	3.4	0.3	黒曜石	柄部片?
107	IV	E-2	d-2	107	29.1	11.4	2.7	1.0	玄武岩	有柄凸基
108	IV	E-3	a-5	108	37.6	16.5	6.3	2.6	頁岩	有柄平基、未製品

表IV-13 石鎚一覧表(3)

No	層位	グリット名	鉛錠	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固形	備考
109	IV	E-3 a-5	109	29.5	14.4	6.7	2.2	リカ頭部		有柄凸基、未製品
110	IV	E-4 a-1	110	35.5	15.5	8.1	3.3	黒曜石		有柄凸基
111	IV	E-4 a-1	111	25.2	14.1	3.3	1.0	メノウ		有柄平基
112	IV	E-4 a-1	112	29.8	12.8	4.7	1.4	頁岩		菱形
113	IV	E-4 a-2	113	27.5	16.1	4.3	1.9	頁岩		有柄凸基、先端欠損
114	IV	F-4 a-2	114	32.6	14.5	3.8	1.5	頁岩		有柄凹基、両側縁に抉りあり
115	IV	F-4 a-2	115	25.8	12.5	4.2	1.0	黒曜石		有柄凹基、柄部欠損
116	IV	E-4 a-2	116	33.5	17.1	6.7	3.1	頁岩		有柄凸基、柄部欠損
117	IV	E-4 a-2	117	26.2	12.8	4.3	1.3	頁岩		有柄凸基、木製品
118	IV	E-4 c-2	118	31.3	16.6	5.0	2.3	玄武岩		有柄凸基、有端欠損
119	IV	E-4 d-1	119	19.2	15.4	3.7	0.7	頁岩		有柄平基
120	IV	E-4 d-1	120	27.0	16.1	6.7	2.1	黒曜石		有柄凸基、先端欠損
121	IV	E-4 e-1	121	30.1	17.9	6.2	2.9	頁岩		有柄平基、先端・基部欠損
122	IV	E-4 e-3	122	49.1	16.6	9.6	6.9	頁岩		有柄凸基、先端欠損
123	IV	F-4 a-3	123	23.9	10.8	3.9	0.8	黒曜石		有柄凹基
124	IV	F-4 c-3	124	34.5	14.3	5.6	2.0	頁岩		有柄平基
125	III	A-4 a-1	125	32.3	14.8	5.2	2.0	頁岩		未製品
126	III	A-4 b-1	126	25.4	13.9	3.4	1.3	頁岩		未製品
127	III	A-4 d-3	127	31.0	15.6	4.0	1.9	頁岩		基部欠損
128	III	A-4 d-4	128	19.0	18.8	2.9	2.0	頁岩		先端欠損
129	III	A-4 e-2	129	40.1	19.9	4.6	3.2	頁岩		未製品
130	III	B-1 a-2	130	52.0	21.5	6.6	6.0	頁岩		未製品
131	III	B-2 a-1	131	18.5	12.8	4.2	1.0	チャート		基部欠損
132	III	B-2 b-1	132	39.9	16.3	4.8	2.7	頁岩		柳葉形
133	III	B-3 b-1	133	31.1	12.7	6.1	2.7	頁岩		柳葉形
134	III	B-3 c-1	134	37.0	19.0	6.9	4.1	頁岩		有柄平基、未製品
135	III	B-3 e-2	135	31.9	14.1	3.4	1.1	頁岩	10	有柄平基
136	III	B-5 e-1	136	39.8	14.9	3.8	1.8	頁岩	11	有柄凸基
137	III	C-3 c-4	137	28.7	16.9	5.9	2.9	頁岩		基部欠損
138	III	C-4 c-4	138	24.2	16.3	3.4	1.3	頁岩		未製品
139	III	D-1 d-2	139	27.8	15.6	4.0	1.7	頁岩		有柄凸基
140	III	D-1 d-5	140	18.6	8.9	2.7	0.4	頁岩		有柄平基、先端欠損
141	III	D-1 d-5	141	20.5	14.6	5.1	1.6	頁岩		有柄凸基、先端・柄部欠損
142	III	D-1 e-1	142	35.4	18.2	6.9	3.8	黒曜石		無柄平基
143	III	D-1 e-2	143	24.6	14.3	4.2	1.5	黒曜石		無柄平基、先端欠損
144	III	D-3 a-4	144	26.8	11.9	3.8	1.3	頁岩		基部欠損
145	III	D-3 b-1	145	30.1	12.9	2.9	1.1	頁岩		木葉形
146	III	D-3 e-2	146	25.3	12.2	7.2	2.0	頁岩		有柄凹基
147	III	D-4 b-2	147	28.1	13.0	4.6	1.3	黒曜石		未製品
148	III	D-4 d-2	148	16.8	7.9	2.4	0.3	黒曜石		習作
149	III	D-4 c-3	149	15.0	11.3	3.1	0.4	黒曜石		有柄平基、先端欠損
150	III	D-4 e-3	150	23.7	15.8	6.1	1.4	黒曜石		有柄平基、先端欠損
151	III	E-2 a-1	151	45.9	14.3	4.6	2.3	頁岩		柳葉形
152	III	E-3 a-2	152	29.5	18.4	3.9	1.8	黒曜石		基部欠損
153	III	E-3 b-1	153	26.4	12.0	3.0	0.8	頁岩		有柄平基、柄部欠損
154	III	E-4 a-3	154	22.5	13.7	4.0	1.1	頁岩		有柄平基、先端欠損
155	III	E-4 b-2	155	32.8	18.2	9.5	3.4	黒曜石		有柄凸基
156	III	E-4 b-2	156	23.1	2.0	4.7	1.1	黒曜石		有柄途付き、先端・基部欠損
157	III	E-4 c-3	157	48.5	23.0	10.0	8.7	頁岩		有柄凸基
158	III	E-4 c-3	158	29.8	16.7	5.1	1.9	頁岩		有柄平基
159	III	E-4 e-2	159	44.5	19.1	9.2	4.0	頁岩		有柄凸基
160	III	E-5 c-1	160	22.6	16.1	2.3	0.6	頁岩		有柄平基
161	III	E-5 d-1	161	25.6	10.1	3.6	0.7	頁岩		有柄凸基
162	II	A-2 a-2	162	45.1	16.0	5.3	4.3	頁岩		柳葉形

表IV-14 石鏡一覧表(4)

番号	グリット名	軽純	長さ	幅	厚さ	重量	石質	開番	備考
163	II A - 2 b - 4	163	25.6	16.9	5.1	1.7	頁岩	有柄凸基、柄部欠損	
164	II A - 3 a - 2	164	33.9	16.2	3.5	1.6	頁岩	12	有柄凹基、柄部欠損
165	II A - 3 b - 1	165	47.7	20.0	6.6	4.1	頁岩	13	有柄凸基
166	II A - 3 b - 1	166	28.4	14.5	5.0	2.3	頁岩		柳葉形、先端欠損
167	II A - 3 c - 2	167	26.3	14.8	3.9	6.4	チャート	14	有柄凸基
168	II A - 2 c - 5	168	47.7	22.6	5.3	6.4	頁岩		未製品
169	II A - 3 d - 2	169	19.4	14.3	2.9	0.7	頁岩		有柄平基、先端欠損
170	II A - 4 b - 1	170	27.8	16.4	3.4	1.2	頁岩		木製品
171	II B - 1 a - 5	171	15.3	10.8	2.4	0.8	頁岩		先端部のみ
172	II B - 1 d - 4	172	20.3	11.0	3.0	0.9	黒曜石		有柄凸基、先端・柄部欠損
173	II B - 1 d - 4	173	31.7	18.4	3.4	2.3	頁岩		未製品
174	II B - 2 d - 4	174	22.1	15.5	3.7	1.0	頁岩		有柄平基
175	II B - 3 d - 3	175	36.7	22.5	6.6	4.1	頁岩		木彫形
176	II B - 4 a - 1	176	25.0	15.2	8.8	2.6	頁岩		有柄凸基、先端欠損
177	II B - 4 a - 1	177	28.7	13.4	5.2	1.7	玄武岩		有柄凸基、先端欠損
178	II B - 4 d - 3	178	26.7	11.5	4.3	1.5	黒曜石		未製品
179	II B - 4 e - 3	179	46.2	23.5	6.3	5.6	頁岩		無柄凹基
180	II B - 6 e - 5	180	26.7	10.1	2.5	0.5	頁岩		柳葉形
181	II C - 2 b - 4	181	19.8	13.8	4.1	0.7	頁岩		有柄平基、先端欠損
182	II C - 3 a - 1	182	35.2	18.0	5.3	3.0	黒曜石		無柄平基
183	II C - 3 b - 1	183	28.9	15.8	4.7	2.3	頁岩		先端・基部欠損
184	II C - 3 b - 1	184	28.5	19.3	5.1	2.2	頁岩		無柄平基
185	II C - 5 a - 3	185	33.1	10.1	5.0	1.5	頁岩	15	有柄凸基
186	II C - 5 b - 1	186	33.2	13.0	2.9	1.1	黒曜石	16	無柄凹基
187	II C - 5 b - 4	187	26.2	18.2	5.5	1.2	頁岩		有柄平基、先端欠損
188	II C - 5 b - 4	188	50.8	20.3	8.7	6.3	頁岩		有柄凸基、先端欠損
189	II C - 6 e - 2	189	31.0	17.2	5.9	2.8	安山石		有柄凸基
190	II C - 6 e - 2	190	24.5	13.9	4.4	1.4	黒曜石		有柄凸基、先端・背面加工
191	II C - 7 c - 1	191	31.3	16.1	6.1	2.5	頁岩		有柄凸基、先端欠損
192	II D - 1 a - 3	192	21.2	11.5	2.8	0.6	黒曜石		無柄平基
193	II D - 2 b - 5	193	20.3	19.7	2.8	0.9	黒曜石		未製品
194	II D - 2 b - 4	194	24.4	17.7	4.0	1.4	メノウ		無柄平基
195	II D - 3 e - 4	195	34.8	19.8	7.2	5.0	黒曜石		未製品
196	II D - 4 c - 1	196	37.5	17.9	4.2	2.8	メノウ		未製品
197	II D - 4 e - 4	197	21.9	12.1	3.7	0.7	頁岩		有柄凸基
198	II E - 3 a - 5	198	28.0	20.0	6.1	2.4	頁岩		未製品
199	II E - 4 a - 1	199	35.3	16.3	4.1	1.9	玄武岩	17	有柄凸基
200	II E - 4 a - 2	200	42.9	21.0	5.2	3.7	頁岩		未製品
201	II E - 4 a - 2	201	37.9	18.3	4.3	2.6	玄武岩		有柄平基
202	II E - 4 d - 1	202	46.3	21.4	7.9	6.3	玄武岩	18	有柄平基
203	II E - 4 e - 1	203	15.7	15.4	3.2	0.6	頁岩		基部欠損
204	II E - 5 b - 3	204	24.7	15.9	3.4	1.0	頁岩		有柄凹基、先端・柄部欠損
205	II E - 5 d - 1	205	32.3	18.8	5.1	1.6	頁岩		木彫形
206	II F - 4 a - 3	206	42.2	23.1	7.8	7.1	チャート		未製品
207	II F - 4 b - 2	207	22.9	14.2	5.2	1.0	頁岩		有柄平基
208	II F - 4 c - 5	208	27.2	11.8	4.0	0.8	チャート	19	有柄平基
209	I B - 5	209	23.1	9.5	4.0	0.9	黒曜石		有柄凸基
210	I C - 6	210	35.9	21.4	5.9	4.9	頁岩		未製品
211	I C - 1	211	43.5	17.3	7.1	4.5	頁岩		有柄平基、柄部欠損
212	I C - 3	212	29.4	13.0	3.0	1.1	頁岩		有柄平基
213	I C - 3	213	16.1	15.7	2.9	0.6	黒曜石		有柄凸基、先端・基部欠損
214	I C - 3	214	19.2	12.3	3.4	0.7	頁岩		有柄凸基
215	I C - 3	215	30.6	15.9	7.4	3.2	頁岩		有柄凸基
216	I D - 1	216	17.2	9.9	1.8	0.4	頁岩		無柄凹基、習作

表IV-15 石鍔一覧表(5)

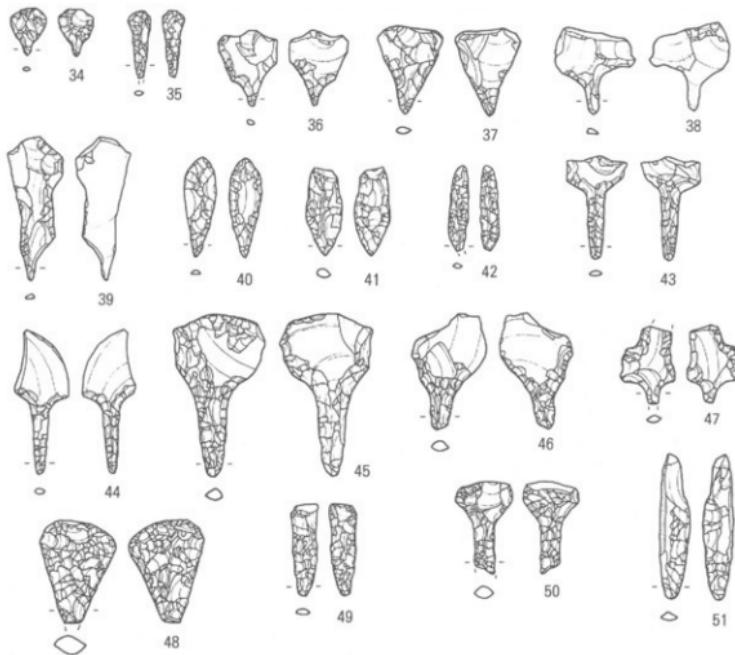
No.	部位	グリット名	通番	長さ	幅	厚さ	重量	石質	岡番	備考
217	I	D-3	217	32.3	11.3	3.0	0.8	頁岩	有柄平基	
218	I	D-5	218	23.3	14.5	3.6	1.1	頁岩	有柄凹基	
219	I	E-1	219	33.1	13.0	2.7	0.9	黒曜石	無柄凹基	
220	I	E-1	220	32.1	18.6	5.2	2.4	頁岩	有柄凸基	
221	I	E-2	221	18.2	13.2	3.0	0.5	黒曜石	未製品	
222	I	E-3	222	23.4	15.8	5.3	1.7	黒曜石	有柄凸基, 一側縫欠損	
223	I	E-4	223	40.4	16.1	6.1	3.8	黒曜石	有柄凸基	
224	I	F-3	224	20.4	12.0	3.0	0.9	玄武岩	未製品	
225	I	F-5	225	39.8	14.1	6.2	2.2	頁岩	有柄平基	
226	I	F-5	226	28.8	11.7	5.2	1.3	黒曜石	有柄平基, 柄部欠損	
227	表	採	227	31.1	14.2	3.5	1.2	頁岩	暫作	
228	表	採	228	23.2	12.9	3.7	1.2	頁岩	有柄凸基, 先端欠損	
229	表	採	229	22.9	17.2	2.8	1.1	頁岩	未製品	

表IV-16 石鍔一覧表

No.	部位	グリット名	通番	長さ	幅	厚さ	重量	石質	岡番	備考
1	V	A-4 b-4	230	39.6	17.1	7.1	4.5	頁岩	20	有柄凸基, 柄部張り出す
2	V	B-2 c-2	231	28.6	17.2	6.0	2.4	頁岩	21	有柄凸基, 柄部に付着物
3	V	B-2 e-4	232	47.5	17.2	6.4	4.3	頁岩	22	有柄凸基
4	V	B-3 b-5	233	22.5	15.5	6.9	2.5	頁岩		基部のみ
5	V	B-3 c-3	234	34.1	22.4	9.2	6.3	頁岩		有柄凹基, 先端欠損
6	V	B-4 d-1	235	41.0	25.9	9.2	8.0	頁岩	23	有柄凸基
7	V	C-2 e-5	236	55.0	33.0	11.5	16.7	頁岩	24	有柄平基
8	V	C-3 c-5	237	24.9	21.2	6.2	2.9	頁岩	25	有柄凸基, 柄部張り出す
9	V	D-4 b-1	238	30.0	19.1	6.0	2.8	黒曜石	26	異形鉛(柄部2基)
10	V	E-4 b-3	239	27.1	16.5	5.3	2.3	黒曜石	27	有柄凹基, 柄部張り出す
11	V	F-1 a-5	240	32.8	17.1	5.9	2.4	頁岩	28	有柄凸基
12	IV	A-6 d-3	241	50.1	17.6	9.1	7.2	チャート	29	柳葉形
13	IV	B-4 a-4	242	33.3	16.1	4.5	1.8	頁岩	30	有柄凸基
14	IV	C-2 c-1	243	43.5	21.6	8.6	5.2	頁岩		有柄凸基
15	III	A-6 e-5	244	32.9	23.9	7.7	5.4	頁岩	31	有柄平基, 先端欠損
16	III	D-4 c-2	245	51.2	21.2	6.6	7.1	安山岩		有柄平基
17	III	E-4 e-2	246	53.8	34.8	9.7	14.7	安山岩		有柄平基
18	II	A-3 c-4	247	34.6	17.8	5.2	4.0	安山岩		未製品, 柄部張り出す
19	II	D-1 e-3	248	60.0	25.8	8.9	16.3	玄武岩		有柄凸基, 先端欠損
20	II	D-3 d-1	249	36.8	23.1	7.6	5.9	チャート		有柄平基, 柄部欠損
21	II	D-3 e-1	250	54.3	27.0	13.0	15.4	頁岩	32	有柄凸基
22	II	E-2 b-2	251	47.9	24.5	6.8	7.2	頁岩	33	有柄凸基

石錐

55点が出土している。石質は頁岩が47点、黒曜石2点、玄武岩2点、チャート2点、メノウ1点である。形態別では有柄のもの42点、棒状のもの11点、剥片に刃部を作り出しているもの2点である。有柄のものなかで明瞭な柄部を持ち、刃部の長いものは48~47・50など16点、有柄のうち刃部の短いものは34・36~38・39などの19点である。また、無柄のものではV字状の刺突部をもつものが5点出土している。



図IV-31 包含層出土石器（2）

表IV-17 石錐一覧表（1）

No.	層位	グリット名	趣割	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	V	A-2	e-1	252	24.4	13.2	9.8	2.5	頁岩	有柄、刃部欠損
2	V	A-3	c-2	253	19.5	14.9	6.9	1.6	チャート	34 有柄、刃部つぶれ
3	V	A-4	d-2	254	24.9	19.7	7.2	2.9	頁岩	有柄、刃部欠損
4	V	A-4	e-3	255	27.9	21.3	5.3	4.0	頁岩	有柄
5	V	A-4	e-3	256	26.9	8.7	4.2	0.8	黒曜石	35 有柄
6	V	B-1	c-3	257	29.5	28.2	7.9	7.5	頁岩	有柄、刃部欠損
7	V	B-3	c-4	258	31.1	24.3	5.8	4.0	頁岩	36 有柄、刃部つぶれ
8	V	B-3	d-4	259	35.1	26.4	10.9	7.9	頁岩	37 有柄、刃部つぶれ
9	V	B-3	e-1	260	27.9	22.4	7.4	4.5	頁岩	有柄、刃部つぶれ
10	V	B-4	d-1	261	34.2	28.3	8.3	8.0	頁岩	有柄
11	V	C-3	a-1	262	37.1	31.2	6.1	5.8	頁岩	有柄、刃部つぶれ
12	V	C-3	e-2	263	17.1	13.3	2.7	0.8	頁岩	有柄
13	V	C-4	b-2	264	36.1	32.6	9.2	6.9	頁岩	38
14	V	C-5	d-2	265	21.8	8.6	3.5	0.6	黒曜石	棒状
15	V	C-5	b-3	266	39.2	22.4	9.9	7.2	頁岩	未製品
16	V	C-5	d-1	267	22.3	17.6	5.1	1.7	頁岩	有柄、刃部つぶれ
17	V	C-5	e-2	268	58.9	21.8	9.1	9.4	頁岩	39 有柄
18	V	C-5	e-4	269	38.8	20.3	5.5	5.8	頁岩	有柄、刃部欠損
19	V	C-6	c-2	270	31.3	22.2	7.9	3.2	頁岩	有柄、刃部つぶれ

表IV-18 石塚一號表(2)

No	部位	グリット名	標記	長さ	幅	厚さ	重量	石質	因番	備考
20	V	C-6	d-2	271	15.9	13.2	3.7	0.8	頁岩	有柄、刃部欠損
21	V	D-1	a-4	272	40.7	13.4	8.8	3.3	頁岩	40 横状
22	V	D-1	e-4	273	35.9	14.3	10.8	5.5	頁岩	41 横状
23	V	D-5	a-5	274	47.2	24.2	10.8	10.7	頁岩	有柄、刃部欠損
24	V	D-5	c-2	275	26.6	16.0	4.9	1.9	頁岩	有柄、刃部つぶれ
25	V	E-1	a-2	276	34.9	7.5	4.8	1.3	頁岩	42 有柄、刃部欠損
26	V	E-2	b-3	277	25.8	19.2	5.5	3.1	頁岩	有柄、刃部欠損
27	V	E-5	c-5	278	41.8	24.4	6.8	3.8	頁岩	43 有柄、刃部つぶれ
28	IV	B-2	c-4	279	58.9	21.6	4.5	4.3	頁岩	44 有柄、刃部つぶれ
29	IV	B-4	a-4	280	30.0	25.8	7.9	4.6	頁岩	有柄、刃部つぶれ
30	IV	C-2	e-2	281	33.7	19.7	7.1	3.1	頁岩	有柄、刃部欠損
31	IV	C-3	b-1	282	29.9	12.8	4.1	1.5	頁岩	有柄
32	IV	C-3	c-3	283	30.6	14.2	6.6	2.6	頁岩	有柄、刃部つぶれ
33	IV	C-3	e-5	284	66.2	37.6	11.2	19.8	頁岩	45 有柄、刃部つぶれ
34	IV	D-1	e-4	285	34.4	17.9	8.1	4.0	頁岩	有柄、刃部欠損
35	IV	D-3	b-5	286	48.2	30.1	10.7	10.2	頁岩	46 有柄、刃部欠損
36	IV	D-4	e-1	287	31.5	22.1	7.2	4.3	頁岩	47 有柄、刃部欠損
37	IV	E-1	b-4	288	22.9	13.8	8.4	1.9	頁岩	有柄、未製品
38	IV	E-1	b-1	289	31.6	16.0	7.5	3.3	頁岩	有柄
39	IV	E-4	a-1	290	41.5	31.1	11.2	12.5	頁岩	48 有柄、刃部欠損
40	III	A-1	c-3	291	37.5	11.4	6.2	3.0	頁岩	49 横状、刃部つぶれ
41	III	A-2	d-1	292	28.6	7.4	4.0	0.8	頁岩	横状
42	III	E-4	b-3	293	39.5	23.4	6.5	3.0	頁岩	有柄、刃部欠損
43	III	E-4	b-4	294	56.4	20.4	7.0	10.6	玄武岩	棒状、刃部つぶれ
44	II	A-3	b-1	295	21.2	11.3	3.0	0.9	チャート	有柄、未使用
45	II	A-3	c-5	296	32.7	23.7	5.3	4.0	頁岩	有柄、刃部つぶれ
46	II	A-3	d-2	297	33.9	17.2	9.0	3.0	頁岩	有柄、刃部欠損
47	II	C-3	b-1	298	32.5	21.5	6.2	2.9	頁岩	有柄、刃部つぶれ
48	II	D-1	b-2	299	23.9	9.8	4.3	1.1	メノウ	有柄、刃部つぶれ
49	II	E-3	a-5	300	38.5	23.4	9.1	4.8		50 有柄、刃部欠損
50	II	E-4	a-2	301	36.4	21.6	5.5	3.1	玄武岩	有柄
51	I	B-3	-	302	59.0	11.9	8.0	6.0	頁岩	51 横状、刃部つぶれ
52	I	F-3	-	303	32.8	13.4	7.0	2.9	頁岩	有柄
53	表	採	-	304	48.2	12.1	5.8	4.0	頁岩	横状
54	表	採	-	305	35.6	15.6	4.8	2.8	頁岩	有柄、刃部欠損
55	表	採	-	306	41.8	13.3	7.9	4.1	頁岩	棒状、刃部つぶれ

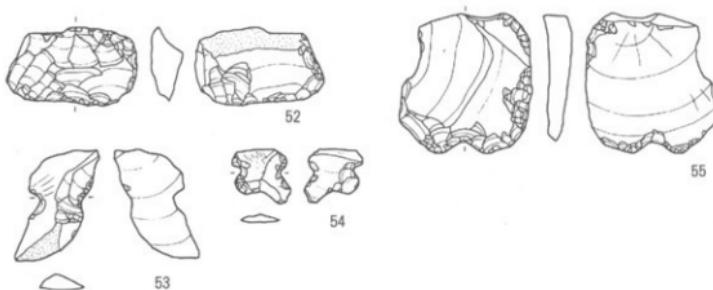
楔形石器

3点が出土している。石質はいずれも頁岩である。No.2は三辺に階段状の剥離がみられ断面は楔形を呈している。52は上端と下端に階段上の剥離が見られる。断面は楔形を呈する。No.3は上端のみに階段状の剥離がみられ、断面は楔形、側縁に原石面が残る。

抉入石器

13点が出上している。石質は頁岩が12点、黒曜石1点である。縦長剥片の一側縁に抉りをもつものは6点であり、No.2は一側縁に抉りが3箇所あるものである。また、両側縁に抉りをもつものは53・54など4点である。先端部に抉りをもつものは2点、抉り部分が潰れているものは9点である。抉り2箇所以上もつもので抉りが潰れているものは1点である。53・54は両側縁に1箇所ずつ抉りがあり、53は1箇所が、54は2箇所が潰れている。55は剥片の先端に1箇所の抉りをもつものであり、抉り部分は潰れ

ている。No.6は三叉状を呈し、両側縁、先端にそれぞれ1箇所ずつ抉りをもつものであり、いずれも漬れているもので石製品である可能性がある。



図IV-32 包含層出土石器（3）

表IV-19 條形石器一覧表

No.	層位	グリット名	種類	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	III	E-2 a-1	307	33.3	53.5	18.4	28.2	頁岩	52	基部・先端つぶれ
2	I	C-3	308	42.2	44.6	19.5	19.5	頁岩		基部つぶれ、先端欠損
3	I	F-5	309	34.3	38.1	9.1	14.0	頁岩		基部・先端つぶれ

表IV-20 塊入石器一覧表

No.	層位	グリット名	種類	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	V	A-4 d-2	310	54.4	24.9	10.6	9.7	頁岩	53	両側縁に抉り1箇所、つぶれ
2	V	C-2 b-5	311	57.8	26.2	14.2	15.9	頁岩		一側縁に抉り3箇所
3	V	C-2 e-1	312	36.2	26.1	7.6	9.8	頁岩		一側縁に抉り1箇所
4	V	C-3 a-1	313	26.9	22.1	5.1	4.0	黒曜石	54	両側縁に抉り1箇所、つぶれ
5	V	C-3 c-1	314	54.6	52.8	6.6	38.0	頁岩	55	先端に抉り1箇所、つぶれ
6	V	C-5 c-1	315	35.2	24.4	5.6	4.2	頁岩		三叉状、抉り3箇所
7	V	C-6 d-2	316	20.1	16.1	3.8	2.2	頁岩		一側縁に抉り1箇所、つぶれ
8	IV	C-1 b-5	317	46.3	53.4	16.1	3.4	頁岩		両側縁に抉り2箇所、つぶれ
9	IV	D-1 e-3	318	35.9	49.4	10.2	19.4	頁岩		一側縁に抉り1箇所、つぶれ
10	IV	D-3 a-4	319	54.8	51.0	8.2	22.0	頁岩		両側縁に抉り1箇所、つぶれ
11	II	A-2 a-2	320	33.6	14.5	6.5	3.0	頁岩		一側縁に抉り1箇所
12	II	A-3 b-1	321	33.1	25.7	7.3	3.6	頁岩		一側縁に抉り1箇所、つぶれ
13	I	C-1	322	50.8	39.8	22.4	60.0	頁岩		先端に抉り1箇所、つぶれ

つまみ付きナイフ

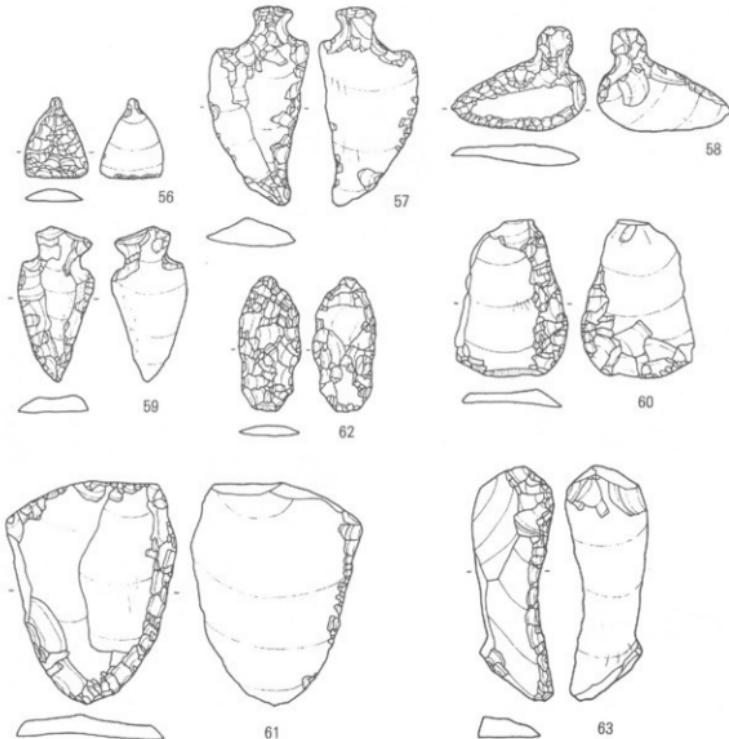
32点が出土している。石質はいずれも頁岩である。殆どが背面の縁辺のみの2次加工で刃部が作出されているものであり、切り出し状を呈するものが多く含まれている。縦長剥片の一側縁のみの加工されているものは6点、両側縁が加工されているものが13点、両側縁及び先端が加工されているもの3点である。背面が全面2次加工されているもの1点、両面の加工されているもの1点である。このほか切り出し状のもの6点、縦長のもの11点、横長のものは58など2点となっている。両側縁の加工されているものでは一側縁の加工が急峻な角度をもって形成されているのに対し、一方の側縁の加工は浅く微細な

ものにとどまるものが多い。この側縁の剥離は角度も浅いことから深い方の側縁は刃部にあたり、一方の側縁の浅い加工は刃潰しにあたると推察される。

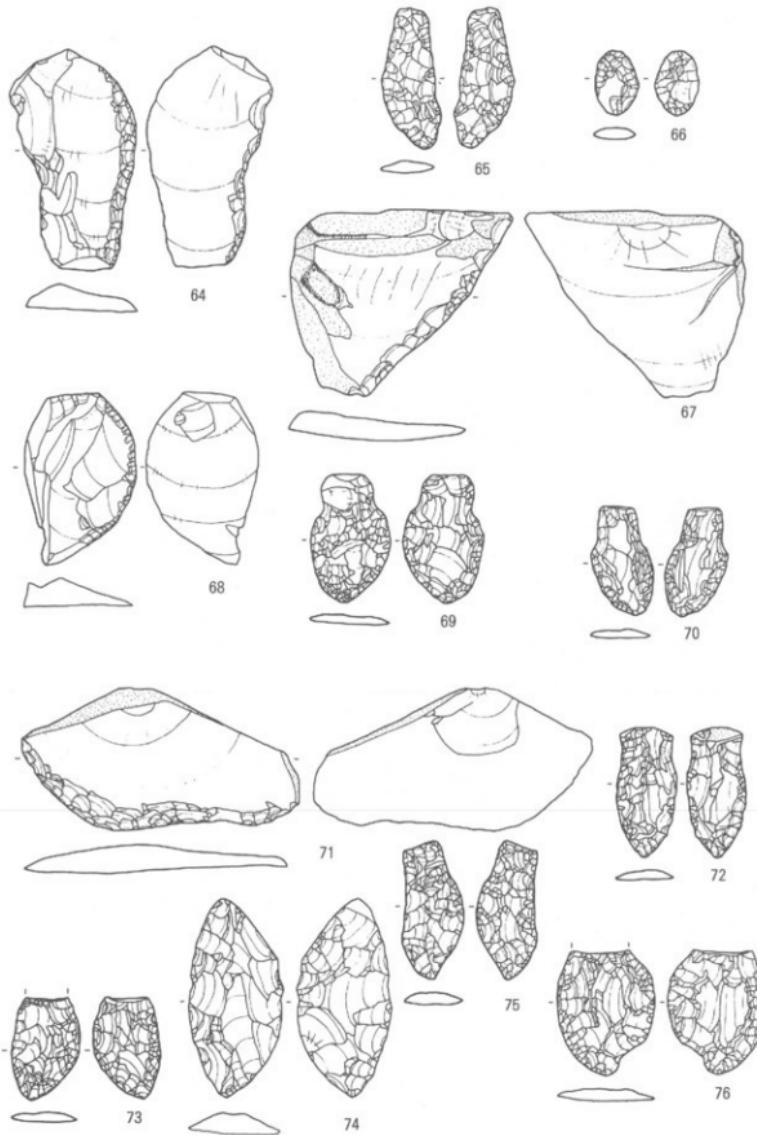
削器

261点が出土している。石質は頁岩205点、安山岩35点、メノウ1点、メノウ質頁岩1点、チャート9点、泥岩2点、黒曜石3点である。頁岩以外の石質では安山岩が最も多く使用されている。靴形や木葉形などの定型的なものは比較的少なく、剥片の側縁を2次加工した削器が多く出土している。65・69・70・75・80～82・85・87・94は靴形を呈するものであり12点が出土している。No.246を除きいずれも両面加工である。

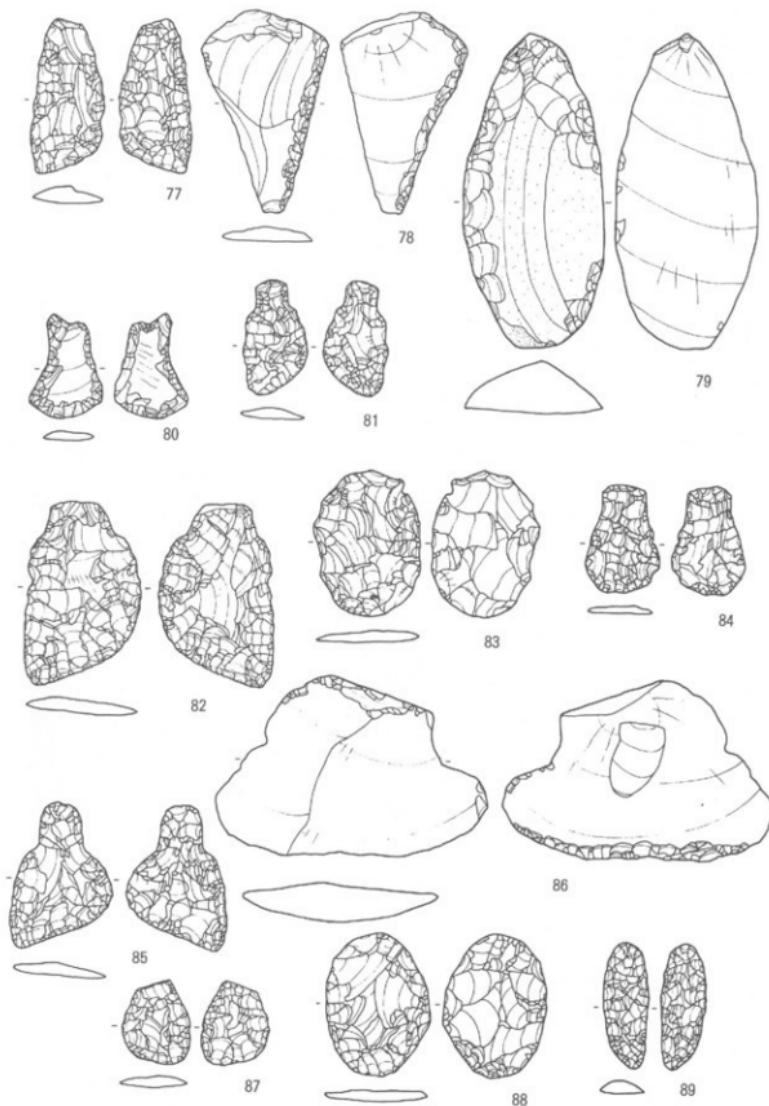
62・66・72～74・83・88は木葉形を呈するもので11点が出土している。67・71・78・86・91～93は安山岩を用い剥片の縁辺のみを加工したもので35点が出土している。



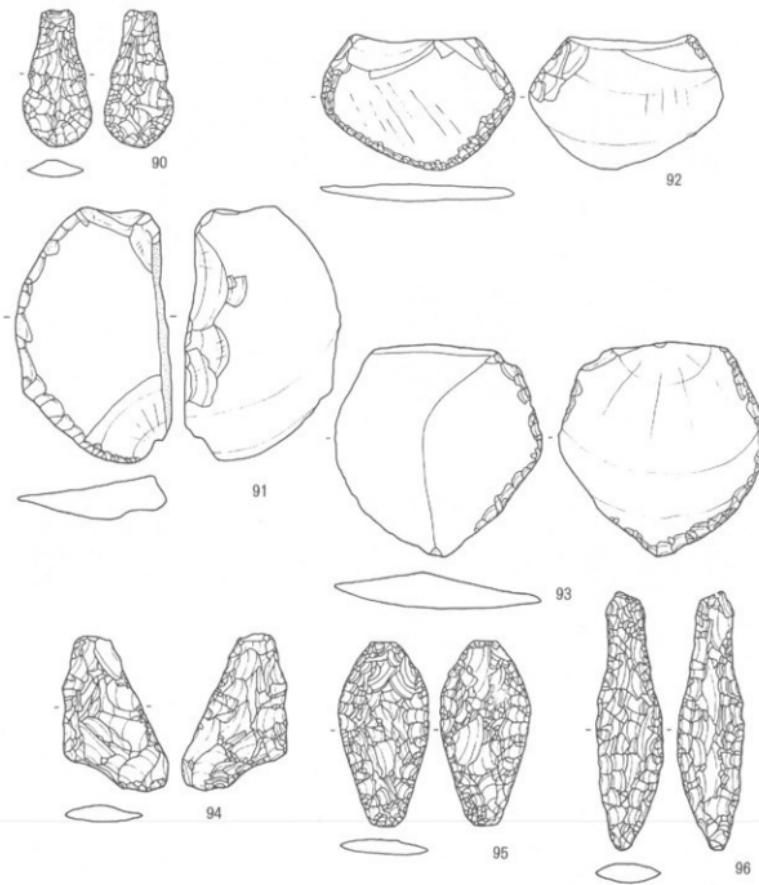
図IV-33 包含層出土石器(4)



圖IV-34 包含層出土石器（5）



图IV-35 包含层出土石器 (6)



図IV-36 包含層出土石器（7）

表IV-21 つまみ付きナイフ一覧表（1）

No.	層位	グリット名	趣斜	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	IV	C-3	a-4	323	67.6	49.7	11.9	33.7	頁岩	両側縁背面加工
2	IV	C-2	c-3	324	32.8	25.4	5.1	4.3	頁岩	56 両側縁、先端背面加工
3	V	B-2	e-2	325	63.1	27.6	12.9	18.0	頁岩	両側縁背面加工
4	V	B-4	b-1	326	62.9	28.4	9.7	18.2	頁岩	一側縁背面加工
5	V	B-4	e-2	327	81.3	38.7	12.0	32.8	頁岩	57 一側縁背面加工
6	V	B-5	e-3	328	70.6	30.0	11.7	25.8	頁岩	両側縁背面加工、先端欠損
7	V	B-5	e-3	329	59.3	49.5	10.2	31.7	頁岩	両側縁・先端背面加工
8	V	C-4	d-3	330	55.1	20.6	6.4	5.8	頁岩	一側縁背面加工

表IV-22 つまみ付きナイフ一覧表(2)

No	部位	グリット名	焼印	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
9	V	C-5	b-1	331	37.4	17.5	10.9	頁岩		側縁両面・側縁腹面加工
10	V	C-6	a-1	332	74.8	32.8	12.8	頁岩		両側縁背面加工
11	V	C-6	b-2	333	74.2	53.4	17.4	頁岩		側縁背面加工
12	V	D-3	b-1	334	23.6	29.2	9.3	頁岩		摘み部のみ、両側縁両面加工
13	V	D-5	d-5	335	71.2	31.5	8.9	頁岩		両側縁背面加工
14	IV	A-1	e-4	336	35.8	16.6	7.3	頁岩		摘み部のみ、両側縁背面加工
15	IV	A-2	b-4	337	52.4	29.0	7.6	頁岩		側縁欠損、背面加工
16	IV	A-4	e-2	338	43.8	24.9	6.2	頁岩		側縁背面加工
17	IV	A-6	b-5	339	59.8	32.5	8.1	頁岩		側縁・先端背面加工
18	IV	B-6		340	78.5	24.3	7.2	頁岩		両側縁背面加工
19	IV	C-2	e-4	341	85.6	38.8	13.7	頁岩		側縁背面加工
20	IV	D-3	c-2	342	50.0	21.5	4.5	頁岩		側縁背面加工
21	IV	D-4	d-3	343	77.2	48.2	7.0	泥岩		側縁背面加工
22	IV	D-4	c-2	344	53.2	23.3	7.6	頁岩		側縁背面加工
23	IV	E-1	b-4	345	21.9	33.6	9.2	頁岩		基部片、側縁両面加工
24	III	A-1	c-3	346	52.3	24.2	7.7	頁岩		両側縁両面加工
25	II	A-1	d-5	347	32.6	19.0	6.0	頁岩		切り出し状、両側縁背面加工
26	II	A-2	b-2	348	36.4	16.0	7.1	頁岩		側縁背面加工
27	II	A-3	b-2	349	40.8	55.0	10.2	頁岩	58	両側縁背面加工
28	I	A-3		350	61.0	20.0	7.6	頁岩		両側縁背面加工
29	I	A-6		351	62.8	30.6	7.1	頁岩	59	側縁・側縁背面加工
30	I	B-5		352	58.6	36.7	11.5	頁岩		両側縁・先端背面加工
31	I	C-5		353	28.6	43.3	8.1	頁岩		摘み部のみ、側縁両面加工
32	I	E-4		354	63.0	27.7	9.4	頁岩		両側縁背面加工

表IV-23 削器一覧表(1)

No	部位	グリット名	焼印	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	VI	B-2	c-1	355	57.9	61.5	11.6	頁岩		横長、先端背面加工
2	VI	B-2	d-1	356	63.7	46.6	8.2	頁岩	60	側縁両面・先端腹面加工
3	VI	C-2	b-5	357	68.6	77.7	25.0	頁岩		横長・先端腹面加工
4	VI	C-2	c-3	358	104.6	56.0	22.1	泥岩		側縁背面加工
5	VI	C-2	d-2	359	60.0	36.4	13.1	頁岩		先端欠損、側縁背面加工
6	VI	C-2	d-4	360	54.2	28.3	5.9	頁岩		両側縁両面加工
7	V	A-3	c-2	361	93.6	35.6	13.8	頁岩		側縁腹面加工
8	V	A-3	d-3	362	37.3	47.0	10.6	頁岩		横長、先端・側縁背面加工
9	V	A-3	d-3	363	77.4	44.8	9.4	頁岩		側縁背面加工
10	V	A-4	a-1	364	21.1	19.1	4.5	頁岩		側縁背面、両側縁腹面加工
11	V	A-4	a-5	365	28.1	45.7	10.2	頁岩		横長、先端背面加工
12	V	A-4	b-1	366	107.0	86.2	14.5	頁岩		両側縁背面加工
13	V	A-4	b-4	367	57.1	64.5	12.0	頁岩		両側縁腹面加工
14	V	A-4	b-4	368	42.2	40.5	9.7	頁岩		側縁背面加工、先端欠損
15	V	A-4	c-2	369	46.9	16.3	11.1	頁岩		側縁背面加工
16	V	A-4	e-2	370	58.1	93.3	12.3	頁岩		横長、側縁・先端背面加工
17	V	A-4	e-3	371	55.3	43.3	13.9	頁岩		側縁、先端両面加工
18	V	B-1	b-4	372	90.1	70.0	12.1	頁岩	61	側縁背面加工
19	V	B-1	b-3	373	98.6	44.1	15.9	頁岩		両側縁背面加工
20	V	B-2	a-1	374	64.8	47.5	14.4	頁岩		両側縁腹面・要口、基部欠損
21	V	B-2	d-1	375	34.5	23.1	8.4	頁岩		両側縁両側加工
22	V	B-2	d-5	376	51.5	41.2	13.9	頁岩		側縁背面加工
23	V	B-2	e-1	377	73.0	37.5	12.0	頁岩		側縁腹面加工
24	V	B-2	e-2	378	38.9	27.1	7.3	頁岩		両側縁両面加工
25	V	B-2	e-4	379	49.4	33.1	8.7	頁岩		側縁背面加工
26	V	B-2	e-5	380	41.1	59.0	11.6	頁岩		横長、先端背面加工
27	V	B-2	e-5	381	51.4	34.4	10.3	頁岩		側縁背面加工

表IV-24 制器一覽表 (2)

No.	部位	グリット名	鉛錠	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
28	V	B-3 b-4	382	48.9	37.9	7.5	18.0	頁岩		一側縁背面加工
29	V	B-3 b-4	383	48.3	26.3	12.2	12.7	頁岩		一側縁腹面加工
30	V	B-3 c-4	384	40.9	35.1	9.5	13.3	頁岩		一側縁背面加工
31	V	B-3 d-2	385	51.7	26.8	10.5	12.0	頁岩		木葉形、山側縁背面加工
32	V	B-3 d-4	386	46.8	39.0	8.5	20.0	頁岩		山側縁背面加工
33	V	B-3 d-5	387	77.0	31.4	6.8	16.0	頁岩		一側縁両面加工
34	V	B-4 c-1	388	62.8	50.3	13.2	33.1	頁岩		先端部片、一側縁背面加工
35	V	B-5 d-4	389	50.6	32.3	9.6	15.0	頁岩	62	両側縁背面加工
36	V	B-5 d-4	390	53.6	32.6	5.6	10.0	頁岩		木葉形、山側縁背面加工
37	V	B-5 e-1	391	63.8	21.2	7.9	10.0	頁岩		一側縁背面・両側縁腹面加工
38	V	B-6 c-2	392	31.6	26.8	8.6	6.0	頁岩		一側縁腹面・山側縁背面加工
39	V	C-2 b-1	393	29.1	35.0	5.0	3.6	頁岩		一側縁背面加工、先端欠損
40	V	C-2 b-4	394	44.1	25.5	6.0	9.1	頁岩		一側縁背面加工
41	V	C-2 b-4	395	52.0	43.8	9.2	15.0	頁岩		一側縁背面加工
42	V	C-2 c-3	396	41.8	33.1	10.6	10.0	頁岩		一側縁背面加工
43	V	C-2 d-1	397	81.8	54.8	7.5	45.3	頁岩		先端・両側縁背面加工
44	V	C-2 d-1	398	47.6	33.5	7.9	13.8	頁岩		木葉形、両側縁両面加工
45	V	C-2 e-1	399	74.9	49.0	16.2	62.8	頁岩		一側縁背面加工
46	V	C-3 a-2	400	85.9	31.4	14.4	43.9	頁岩	63	一側縁背面加工
47	V	C-3 b-1	401	24.7	15.5	5.3	2.0	頁岩		一側縁背面加工
48	V	C-3 b-2	402	29.6	25.8	8.9	8.5	頁岩		側縁部片、背面加工
49	V	C-3 b-3	403	42.0	56.6	5.4	11.5	頁岩		一側縁・先端背面加工
50	V	C-3 c-1	404	42.3	35.7	8.8	16.0	頁岩		一側縁背面加工
51	V	C-3 c-2	405	37.8	22.6	8.1	7.1	頁岩		一側縁・先端欠損、背面加工
52	V	C-3 d-1	406	71.6	45.4	13.3	48.9	頁岩	64	一側縁背面・一側縁腹面加工
53	V	C-3 d-1	407	39.0	46.1	10.8	18.8	頁岩		一側縁背面加工
54	V	C-3 d-2	408	57.6	45.0	4.2	15.0	頁岩		一側縁背面加工
55	V	C-3 d-3	409	35.7	22.3	9.3	10.0	頁岩		両側縁腹面加工
56	V	C-3 d-3	410	39.7	19.6	8.5	7.9	頁岩		両側縁腹面加工
57	V	C-3 e-2	411	39.5	28.9	8.8	9.0	頁岩		一側縁背面加工
58	V	C-4 c-1	412	30.0	56.2	7.9	20.0	頁岩		先端両面加工
59	V	C-4 a-1	413	42.3	22.8	8.5	8.0	頁岩		山側縁背面・一側縁腹面加工
60	V	C-4 c-2	414	55.0	26.7	5.1	6.9	頁岩	65	靴形、両側縁両面加工
61	V	C-4 d-1	415	45.6	35.9	7.0	16.9	頁岩		両側縁腹面加工
62	V	C-4 d-4	416	44.1	25.4	11.4	16.2	頁岩		一側縁背面加工
63	V	C-5 a-1	417	72.7	66.3	12.3	79.6	頁岩		一側縁背面加工
64	V	C-5 a-2	418	72.8	58.6	14.3	68.6	頁岩		一側縁・先端腹面加工
65	V	C-5 a-3	419	50.7	35.7	7.7	11.9	頁岩		両側縁背面加工
66	V	C-5 a-3	420	50.6	24.3	9.5	10.0	頁岩		一側縁背面加工
67	V	C-5 a-3	421	78.2	54.2	18.5	100.0	頁岩		一側縁背面加工
68	V	C-5 d-2	422	61.6	33.8	20.0	36.8	頁岩		一側縁背面加工
69	V	C-5 e-1	423	64.5	37.8	9.1	22.3	頁岩		一側縁背面加工
70	V	C-5 e-1	424	46.9	25.8	7.9	7.4	頁岩		両側縁背面加工
71	V	C-6 c-1	425	53.0	31.2	14.3	22.4	頁岩		一側縁背面加工
72	V	D-1 a-3	426	58.7	41.6	9.5	28.0	頁岩		一側縁背面加工
73	V	D-1 d-3	427	68.1	65.8	15.3	64.0	頁岩		一側縁背面加工、基部欠損
74	V	D-2 b-2	428	26.4	17.9	7.8	4.0	頁岩	66	木葉形、一側縁両面加工
75	V	D-2 c-2	429	103.5	68.1	14.9	102.0	安山岩	67	一側縁腹面加工
76	V	D-2 c-4	430	27.0	18.0	7.0	3.0	頁岩		切り出し状、両側縁両面加工
77	V	D-2 c-4	431	67.6	43.3	13.1	33.6	頁岩		一側縁腹面加工
78	V	D-2 d-4	432	70.5	63.0	15.6	97.0	頁岩		一側縁背面加工
79	V	D-3 c-4	433	89.1	76.1	9.4	74.1	安山岩		一側縁腹面加工
80	V	D-3 c-4	434	35.8	35.8	14.7	20.0	頁岩		一側縁背面加工
81	V	D-3 c-3	435	55.4	24.1	5.3	8.0	頁岩		靴形、側縁背面加工

表IV-25 削器一覧表(3)

No.	削面	グリット名	規格	長さ	幅	厚さ	重量	石質	圆番	備考
82	V	D-4	d-1	436	41.6	51.6	9.4	16.2	頁岩	先端背面加工
83	V	D-4	c-5	437	58.0	43.2	13.4	38.5	頁岩	側縁背面加工
84	V	D-4	d-2	438	44.2	38.7	9.4	22.0	頁岩	側縁背面加工
85	V	D-5	e-1	439	72.5	69.1	15.1	74.0	安山岩	三叉状、両面加工
86	V	D-5	a-5	440	32.0	28.8	5.4	10.0	頁岩	両側縁背面加工
87	V	D-5	e-2	441	49.1	56.1	12.0	38.0	安山岩	両側縁背面・先端背面加工
88	V	D-6	a-1	442	97.8	66.1	18.9	96.0	安山岩	両側縁背面加工
89	V	E-1	b-1	443	77.4	96.8	13.7	66.8	頁岩	横長、両側縁背面加工
90	V	E-1	d-4	444	28.2	51.0	9.0	15.0	頁岩	側縁背面加工
91	V	E-2	b-3	445	42.3	37.4	12.1	19.0	頁岩	側縁背面加工
92	V	E-3	b-1	446	67.0	60.2	13.4	62.0	安山岩	側縁背面加工
93	V	E-3	b-3	447	55.9	32.1	6.9	15.0	頁岩	側縁背面・側縁腹面加工
94	V	A-4	e-3	448	85.4	41.4	13.5	49.7	頁岩	側縁背面加工
95	IV	A-4	e-4	449	83.0	61.8	10.3	61.4	頁岩	側縁背面・側縁腹面加工
96	IV	A-5	a-2	450	61.2	47.6	11.3	43.9	チャート	側縁背面加工
97	IV	A-6	d-3	451	56.5	37.4	7.2	17.4	チャート	側縁背面加工
98	IV	A-6	d-3	452	73.8	30.0	10.6	22.3	頁岩	側縁背面・側縁腹面加工
99	IV	A-6	d-3	453	54.6	37.5	7.9	16.0	頁岩	側縁背面加工
100	IV	A-6	d-3	454	48.5	26.5	8.5	10.4	頁岩	側縁背面加工、先端欠損
101	IV	A-6	d-3	455	31.6	52.1	11.2	16.1	頁岩	横長、先端背面加工
102	IV	B-2	a-2	456	53.1	25.8	10.5	13.1	頁岩	両側縁背面加工
103	IV	B-4	a-4	457	28.7	25.5	6.2	4.4	頁岩	両側縁・先端背面加工
104	IV	B-5	d-4	458	36.6	25.4	9.5	8.7	頁岩	両側縁背面加工
105	IV	B-5	d-5	459	38.6	33.6	9.4	19.0	頁岩	側縁背面加工
106	IV	B-5	e-5	460	70.2	35.2	11.9	31.1	頁岩	側縁背面加工
107	IV	B-6		461	61.7	45.6	14.0	36.6	頁岩	側縁背面加工
108	IV	C-1	a-2	462	77.4	62.7	12.5	47.2	頁岩	側縁背面加工
109	IV	C-1	d-4	463	52.0	37.7	27.1	50.0	頁岩	側縁背面加工
110	IV	C-2	e-2	464	91.1	55.6	15.0	79.2	頁岩	両側縁背面加工
111	IV	C-3	d-1	465	32.4	51.7	6.3	11.1	頁岩	靴形、両側縁背面加工
112	IV	C-3	e-3	466	46.0	24.6	8.5	13.4	安山岩	両側縁背面加工
113	IV	C-4	a-1	467	38.9	44.0	6.9	15.0	頁岩	側縁背面加工
114	IV	C-4	a-1	468	51.5	40.8	8.5	20.0	頁岩	先端背面加工
115	IV	C-5	a-3	469	48.6	26.6	5.4	8.0	頁岩	両側縁背面加工
116	IV	C-5	a-4	470	49.3	93.7	11.6	67.7	泥岩	横長、先端背面加工
117	IV	D-2	c-5	471	43.6	32.6	8.1	18.0	頁岩	側縁両面加工
118	IV	D-3	c-5	472	70.3	50.2	14.4	48.0	安山岩	側縁背面加工
119	IV	D-3	e-1	473	149.9	98.4	15.8	225.0	安山岩	側縁腹面加工
120	IV	D-3	c-2	474	28.3	46.4	9.8	13.7	頁岩	先端背面加工
121	IV	D-1	d-1	475	60.3	103.6	12.8	108.0	安山岩	横長、先端腹面加工
122	IV	D-1	d-1	476	51.7	20.6	5.4	6.2	頁岩	両側縁背面加工
123	IV	E-1	b-2	477	75.9	42.4	13.1	50.0	チャート	側縁背面加工
124	IV	E-1	c-2	478	42.5	25.2	6.5	6.9	頁岩	靴形、両側縁背面加工
125	IV	E-2	c-4	479	53.4	28.5	6.8	6.7	頁岩	側縁背面加工
126	IV	E-3	a-2	480	105.2	73.0	30.8	178.0	チャート	側縁背面加工
127	IV	E-4	a-2	481	54.2	74.9	4.9	56.2	安山岩	側縁背面加工
128	IV	E-4	a-2	482	70.4	83.5	7.0	62.0	頁岩	側縁先端背面加工
129	IV	E-4	b-2	483	83.3	66.2	15.7	77.8	安山岩	側縁背面加工
130	IV	E-4	c-2	484	85.7	70.7	14.9	96.0	安山岩	側縁背面加工
131	IV	F-4	b-3	485	114.4	57.0	13.5	100.0	安山岩	側縁背面加工
132	III	A-1		486	64.1	39.5	8.3	22.0	頁岩	先端背面加工
133	III	A-1	b-4	487	43.6	15.0	4.7	3.6	頁岩	切り出し状、両側縁背面加工
134	III	A-2	d-2	488	18.1	18.1	3.4	1.6	頁岩	靴形、両側縁背面加工
135	III	A-2	c-4	489	48.2	26.2	6.5	9.0	頁岩	側縁背面加工

表IV-26 削器一覽表(4)

No.	層位	グリット名	通番	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番	備考
136	III	A - 4 a - 3	490	64.7	27.2	13.2	20.7	頁岩		側縁背面加工
137	III	A - 4 b - 1	491	40.0	18.0	6.5	4.0	頁岩		基部欠損。両側縁両面加工
138	III	A - 4 b - 3	492	34.2	24.0	4.4	3.8	頁岩		基部欠損。両面加工
139	III	A - 4 d - 3	493	40.4	30.3	4.5	5.5	頁岩		側縁・先端背面加工
140	III	A - 7 e - 1	494	35.5	24.3	5.1	5.0	頁岩		基準欠損。両側縁背面加工
141	III	B - 1 c - 2	495	45.3	26.2	5.8	8.8	頁岩		基部欠損。両側縁背面加工
142	III	B - 3 b - 1	496	35.6	21.1	3.9	3.3	頁岩		基部欠損。両側縁背面加工
143	III	B - 3 c - 2	497	25.7	31.2	5.7	6.1	頁岩		基部欠損。両側縁両面加工
144	III	B - 3 c - 5	498	52.5	24.0	6.7	9.3	頁岩	72	木葉形、両側縁両面加工
145	III	B - 4 a - 3	499	35.5	19.5	4.5	2.0	頁岩		側縁両面加工
146	III	B - 4 a - 3	500	42.5	25.6	9.0	8.1	頁岩		側縁両面加工
147	III	B - 4 b - 4	501	54.0	41.5	8.8	18.6	頁岩		横長、先端背面加工
148	III	B - 4 c - 5	502	52.9	61.2	10.8	37.5	頁岩		側縁背面加工
149	III	B - 4 c - 2	503	77.8	63.2	15.2	70.0	頁岩		側縁背面加工
150	III	B - 4 c - 3	504	46.2	36.3	10.2	20.0	頁岩		側縁背面加工
151	III	C - 2 b - 2	505	40.1	26.7	5.3	7.2	頁岩	73	木葉形、両側縁両面加工
152	III	C - 2 c - 5	506	50.3	25.5	4.0	6.0	頁岩		両側縁背面加工
153	III	C - 3 a - 5	507	28.1	20.0	2.5	2.1	黒曜石		両側縁両面加工
154	III	C - 3 a - 5	508	54.5	27.0	4.8	9.2	頁岩		両側縁両面加工
155	III	C - 3 c - 5	509	30.4	20.4	6.7	4.0	頁岩		側縁部分、背面加工
156	III	C - 3 d - 1	510	81.6	33.6	10.8	36.3	安山岩		側縁腹面加工
157	III	C - 4 a - 3	511	80.7	38.0	8.8	27.2	頁岩	74	木葉形、両側縁両面加工
158	III	C - 4 a - 4	512	46.2	29.6	10.0	15.8	頁岩		側縁背面加工
159	III	C - 4 b - 2	513	36.6	32.0	8.3	8.8	チャート		側縁先端背面加工
160	III	C - 4 b - 3	514	62.7	39.2	13.3	30.3	頁岩		側縁腹面加工
161	III	C - 4 e - 4	515	47.7	32.8	7.6	12.9	頁岩		基部欠損、側縁背面加工
162	III	C - 4 e - 4	516	30.2	21.9	5.4	5.0	頁岩		側縁両面加工
163	III	C - 5 e - 1	517	46.3	28.2	10.8	12.6	頁岩		側縁両面加工
164	III	D - 1 c - 5	518	45.6	30.5	7.9	9.0	頁岩		先端欠損、両側縁両面加工
165	III	D - 1 d - 2	519	76.1	28.6	6.5	15.9	安山岩		側縁背面加工
166	III	D - 1 d - 2	520	53.5	29.1	5.3	8.3	頁岩	75	靴形、両側縁両面加工
167	III	D - 2 d - 2	521	49.5	39.0	5.0	12.0	頁岩		側縁両面加工
168	III	D - 3 d - 2	522	61.8	35.9	10.7	30.0	頁岩		側縁腹面加工
169	III	D - 3 c - 3	523	63.4	27.6	7.3	16.0	頁岩	77	両側縁両面加工
170	III	D - 3 c - 3	524	60.2	22.2	10.4	10.0	頁岩		側縁背面・側縁腹面加工
171	III	D - 3 c - 3	525	96.1	48.4	7.6	40.0	安山岩		切り出しが、側縁腹面加工
172	III	D - 3 e - 3	526	64.9	62.7	10.9	41.6	安山岩		側縁背面加工
173	III	D - 4 a - 4	527	78.4	48.4	20.7	82.0	頁岩		側縁背面加工
174	III	D - 4 b - 3	528	28.5	17.8	4.9	2.0	頁岩		側縁背面・側縁腹面加工
175	III	D - 4 b - 4	529	38.9	22.2	5.7	4.0	頁岩		基部欠損、両側縁両面加工
176	III	D - 4 b - 3	530	72.2	70.7	10.7	62.1	頁岩		側縁背面加工
177	III	D - 4 b - 3	531	65.8	71.2	11.2	37.0	頁岩		先端背面加工
178	III	D - 4 b - 4	532	114.1	57.3	21.1	162.0	安山岩		側縁腹面加工
179	III	D - 4 e - 1	533	59.9	33.3	6.3	16.0	頁岩		両側縁背面加工
180	III	D - 4 e - 1	534	49.2	23.2	6.0	10.8	頁岩		側縁両面加工
181	III	D - 4 e - 1	535	38.8	16.5	4.1	2.0	頁岩		側縁背面加工
182	III	D - 4 e - 3	536	81.4	49.8	9.7	38.0	安山岩	78	側縁腹面・側縁背面加工
183	III	D - 5 c - 3	537	99.5	54.3	14.1	82.0	安山岩		側縁・先端腹面加工
184	III	D - 5 c - 3	538	59.7	33.5	7.2	17.0	頁岩		木葉形、両側縁両面加工
185	III	D - 5 c - 3	539	60.3	77.2	11.2	51.5	安山岩		側縁・先端背面加工
186	III	D - 5 c - 4	540	65.4	47.4	18.6	46.5	頁岩		先端腹面加工
187	III	D - 5 c - 4	541	120.0	108.1	18.0	106.0	安山岩		側縁背面加工
188	III	D - 5 d - 3	542	123.8	38.3	10.0	90.0	安山岩		側縁背面・側縁腹面加工
189	III	E - 2 a - 1	543	68.1	14.9	44.1	41.3	安山岩		側縁背面・側縁腹面加工

表IV-27 削器一覧表(5)

No.	部位	グリット名	鉛錠	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
190	III	E-2 b-3	544	70.0	102.8	13.1	87.6	安山岩		横長、一側縁背面加工
191	III	E-2 b-3	545	128.4	55.4	19.9	139.0	頁岩	79	両側縁背面加工
192	III	E-2 d-4	546	54.5	60.0	11.5	34.3	頁岩		一側縁背面加工
193	III	E-2 d-5	547	38.6	29.7	9.5	9.5	黒曜岩		一側縁背面加工
194	III	E-2 d-5	548	42.9	29.7	4.9	6.6	頁岩	80	一側縁・先端背面加工
195	III	E-3 a-2	549	55.3	102.2	11.1	67.4	安山岩		一側縁背面加工
196	III	F-2 c-2	550	43.8	36.5	5.5	7.2	頁岩	81	靴形、両側縁・先端内面加工
197	III	F-2 c-2	551	73.5	49.0	6.1	23.1	黒曜岩	82	靴形、両側縁・先端内面加工
198	II	A-2 b-4	552	60.5	39.4	12.4	40.0	頁岩		両側縁・先端に波状刃
199	II	A-2 b-5	553	30.1	20.8	8.3	3.3	頁岩		一側縁背面加工
200	II	A-2 d-2	554	60.1	17.5	8.6	8.9	頁岩		一側縁背面加工
201	II	A-2 e-5	555	66.1	24.8	12.5	12.6	頁岩		切り出し状、両側縁背面加工
202	II	A-3 a-2	556	54.6	25.3	8.1	11.0	頁岩		靴形、両側縁背面加工
203	II	A-3 a-5	557	36.7	22.3	7.2	6.0	頁岩		一側縁背面加工・先端欠損
204	II	A-3 c-4	558	81.0	82.3	12.4	59.8	安山岩		先端腹面加工
205	II	A-3 c-5	559	53.3	19.8	8.4	7.0	頁岩		切り出し状、両側縁背面加工
206	II	A-3 c-4	560	64.1	35.3	8.0	22.0	頁岩		両側縁背面加工
207	II	A-4 b-2	561	58.8	41.5	5.4	19.0	頁岩	83	木葉形、両側縁両面加工
208	II	A-4 b-2	562	55.9	36.9	6.7	16.8	頁岩		一側縁・先端に波状刃
209	II	B-2 a-5	563	44.3	38.7	4.7	11.6	頁岩		両側縁両面加工、基部欠損
210	II	B-3 a-5	564	43.9	29.1	4.3	6.7	頁岩	84	両側縁両面加工
211	II	B-3 d-1	565	53.6	31.8	6.8	12.1	頁岩		両側縁両面加工
212	II	B-3 d-4	566	49.8	17.3	6.3	7.8	頁岩		両側縁両面加工
213	II	B-3 d-4	567	44.5	22.1	5.7	6.2	頁岩		両側縁両面加工・先端欠損
214	II	B-4 b-2	568	28.1	17.2	5.0	4.0	頁岩		両側縁両面加工
215	II	B-4 c-1	569	31.9	57.5	7.1	17.2	頁岩		横長、基部背面・先端腹面加工
216	II	B-4 d-3	570	86.2	36.9	10.2	24.6	頁岩		木葉形、両側縁両面加工
217	II	C-1 c-3	571	27.2	21.9	5.7	5.1	頁岩		両側縁両面加工
218	II	C-1 c-4	572	33.6	24.9	6.0	5.0	頁岩		両側縁両面加工・先端欠損
219	II	C-1 c-4	573	49.3	40.6	7.2	14.2	頁岩		両側縁両面加工・基部欠損
220	II	C-2 d-5	574	36.9	15.4	7.1	3.8	頁岩		一側縁背面加工
221	II	C-2 e-4	575	34.3	35.7	7.2	10.4	頁岩		両側縁両面加工
222	II	C-3 d-4	576	61.4	38.3	7.0	15.4	頁岩	85	靴形、両側縁両面加工
223	II	C-4 b-1	577	27.8	33.2	6.6	7.0	頁岩		両側縁両面加工
224	II	C-4 b-3	578	45.7	20.8	6.5	6.0	安山岩		両側縁両面加工・基部欠損
225	II	C-4 c-2	579	65.0	84.6	9.2	48.6	安山岩		横長、一側縁背面加工
226	II	C-5 a-5	580	78.5	52.6	13.6	44.2	安山岩		一側縁背面加工
227	II	C-5 c-3	581	52.5	32.0	9.4	18.2	頁岩		両側縁背面加工
228	II	C-6 a-2	582	67.7	83.9	9.3	46.0	頁岩		横長、先端背面加工
229	II	D-2 a-1	583	47.3	29.6	7.6	7.9	頁岩		一側縁正面・一側縁背面加工
230	II	D-2 a-2	584	63.2	37.7	11.2	24.5	チャート		両側縁両面加工
231	II	D-2 b-4	585	38.9	21.4	5.9	6.0	頁岩		両側縁両面加工
232	II	D-2 d-3	586	21.0	20.5	3.7	1.6	黒曜岩		両側縁両面加工
233	II	D-3 a-5	587	63.9	21.4	9.3	12.0	頁岩		一側縁背面加工
234	II	C-3 b-4	588	42.1	25.9	10.0	11.9	メノウ		一側縁背面加工
235	II	D-4 c-1	589	77.2	109.8	22.4	100.0	安山岩	86	横長、先端腹面加工
236	II	D-4 c-3	590	43.9	15.8	7.3	4.0	頁岩		両側縁両面加工
237	II	D-4 d-1	591	38.6	20.4	6.8	5.0	頁岩		両側縁両面加工
238	II	D-4 e-4	592	33.9	26.7	5.0	5.1	頁岩	87	靴形、両側縁両面加工
239	II	D-4 c-5	593	58.5	42.2	8.2	22.3	チャート	88	木葉形、両側縁両面加工
240	II	E-2 b-5	594	43.7	44.2	7.1	18.9	頁岩		両側縁・先端背面加工
241	II	E-2 b-5	595	58.3	25.6	10.0	15.1	安山岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
242	II	E-4 a-2	596	27.1	18.8	4.3	2.0	頁岩		両側縁・先端背面加工
243	II	E-4 b-2	597	40.6	22.5	6.1	6.6	頁岩		側縁両面・一側縁背面加工

表IV-28 削器一覧表(6)

No.	層位	グリット名	翻転	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
244	II	E-4	e-1	598	51.5	18.2	7.0	頁岩	89	両側縁前面加工
245	II	F-4	a-1	599	55.7	28.0	7.6	11.3	頁岩	90
246	II	F-4	c-1	600	101.9	63.9	16.2	128.0	安山岩	91
247	II	F-4	c-4	601	78.4	54.3	7.2	38.4	安山岩	92
248	I	A-3		602	47.4	22.2	5.8	9.0	頁岩	両側縁背面加工
249	I	B-2		603	30.9	17.5	5.8	3.2	頁岩	両側縁両面加工, 基部欠損
250	I	B-6		604	79.5	45.7	8.8	42.0	頁岩	両側縁前面加工
251	I	C-1		605	30.0	31.5	5.5	5.9	頁岩	一侧縁背面加工
252	I	C-1		606	34.6	17.4	3.4	2.0	頁岩	両側縁背面加工
253	I	C-1		607	38.2	24.8	6.0	6.1	頁岩	一侧縁両面加工
254	I	C-2		608	86.4	85.2	14.2	109.4	安山岩	93
255	I	C-2		609	46.5	30.6	8.2	12.4	チャート	一侧縁背面加工
256	I	C-3		610	31.3	14.2	4.5	2.0	メノウ	両側縁背面加工
257	I	D-2		611	38.5	33.4	9.8	9.0	頁岩	両側縁両面加工, 基部欠損
258	I	F-3		612	68.6	37.3	6.8	21.2	頁岩	靴形, 両側縁, 先端前面加工
259	I	F-5		613	75.3	35.7	5.8	19.0	頁岩	両側縁両面加工
260	表	採		614	67.1	40.8	12.1	34.7	頁岩	一侧縁両面・一侧縁背面加工
261	表	採		615	106.5	27.3	10.3	27.1	チャート	96 扇形, 両側縁前面加工

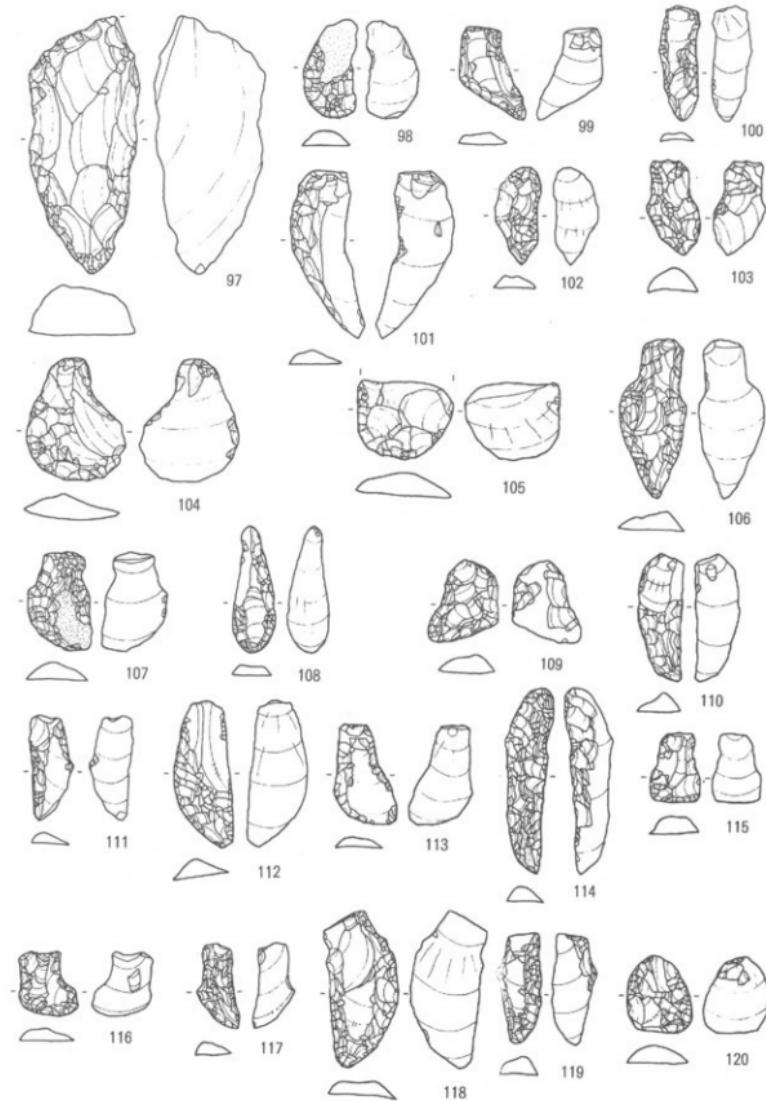
搔器

89点が出土している。石質は頁岩69点、黒曜石8点、チャート7点、メノウ1点、メノウ質頁岩2点である。形態的にはラウンドスクレイパー、靴形のスクレイパーが多い。本遺跡で特徴的なものは太い柄部の作出されている靴形のものであり24点が出土している。靴形のものは削器に分類したものと似た形態のものが多く明瞭な区別をしがたいが、加工が片面のみで剥片が反り、あるいはねじれているものを搔器に分類した。この他剥片の縁辺や先端に刃部をもつものを、それぞれサイドスクレイパー、エンドスクレイパーとした。

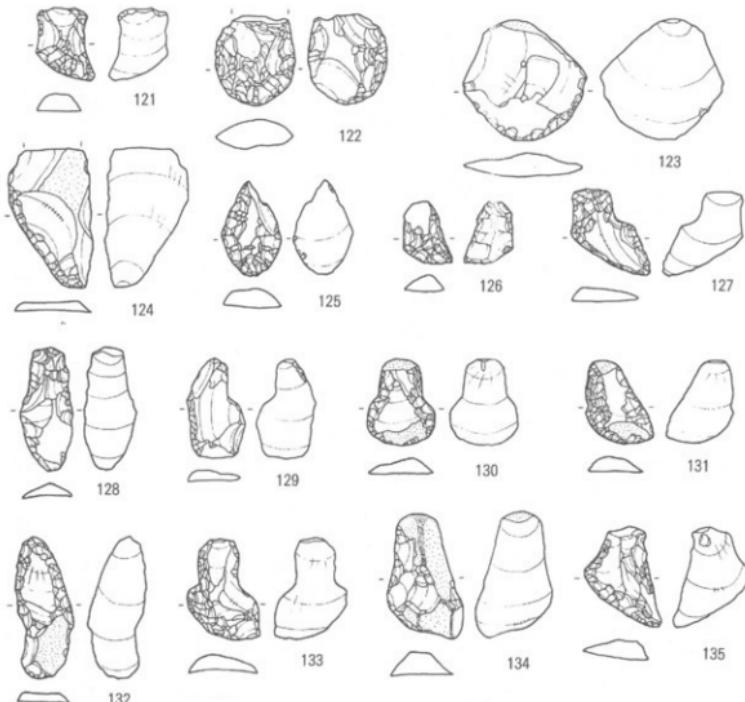
靴形を呈する搔器は刃部が右に傾いているものが多い。また、片面加工のため器体が反ったりねじれたりしているものが多い。これらは柄部をもって使用すると切ることを目的とした前後運動では刃部は物に接しにくく、削器としては不適当な形態である。これに対し上下運動は刃部の対象物に接するため上下運動に適した形態であるといえる。

99・120・103・106・107・109・112~114・116~118・121・126・127・131~135は靴形を呈するものである。これらの中でも109が刃部が左に傾いている以外の全てが刃部が右に傾いている。

また109・116・121・126など7点を除く11点は反りあるいはねじれのある剥片を使用している。靴形のなかで柄の部分の明瞭のものは103・106・109・116・117・127・130・133などであり、不明瞭のものは99・102・112・114・121・131・132・134・135などである。刃部の形態がほぼ直線を呈するものは99・109・115・127・132・135、刃部が弧状を呈するものは107・110・112・116・121・126・128・130・131・133であり、刃部が木葉形を呈するものは103・106である。102は刃部を再生したもの、134は未製品である。



图IV-37 包含层出土石器 (8)



図IV-38 包含層出土石器(9)

表IV-29 挿器一覧表(1)

No	層位	グリット名	通番	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	VI	A-4	e-2	616	64.6	25.1	8.6	16.0	チャート	一側縁背面・一側縁腹面加工
2	VI	B-3	c-2	617	104.8	42.9	16.7	90.0	頁岩	97 両側縁・先端背面加工
3	VI	B-3	e-1	618	54.2	40.2	11.0	26.0	頁岩	一側縁背面加工
4	VI	C-2	c-1	619	43.9	24.9	15.6	15.8	頁岩	両側縁背面加工
5	VI	C-6	b-1	620	39.8	31.5	11.7	16.0	頁岩	一側縁背面加工
6	VI	D-4	b-1	621	28.1	35.2	8.2	10.0	頁岩	一側縁背面加工
7	V	D-5	a-3	622	39.8	29.0	7.1	9.1	頁岩	両側縁背面加工
8	V	F-2	b-3	623	55.2	30.8	8.3	14.1	頁岩	一側縁背面加工
9	V	F-2	b-3	624	39.4	19.6	8.8	10.0	チャート	98 一側縁・先端背面加工
10	V	A-1	a-3	625	43.4	19.3	5.8	5.4	頁岩	靴形 両側縁・先端背面加工
11	V	B-4	e-3	626	47.1	15.0	4.7	4.6	チャート	100 両側縁背面・先端背面加工
12	V	B-5	c-3	627	36.6	16.3	12.0	8.0	頁岩	両側縁背面加工
13	V	B-5	e-2	628	44.8	31.2	10.4	13.0	頁岩	一側縁背面加工
14	V	B-6		629	70.4	21.1	9.0	15.9	頁岩	101 一側縁先端背面加工
15	V	C-2	c-2	630	39.2	16.6	8.9	4.5	頁岩	102 靴形 両側縁背面加工
16	V	C-5	b-4	631	21.9	8.8	4.5	1.2	黒曜石	一側縁背面加工
17	V	C-5	c-4	632	27.9	13.1	7.4	3.0	黒曜石	両側縁背面加工

表IV-30 摆器一覧表(2)

No.	層位	グリット名	鉛銅	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
18	IV	D-4 e-1	633	64.3	28.8	15.4	32.0	頁岩		両側縁背面加工
19	III	A-1 c-2	634	36.9	18.9	11.3	9.8	頁岩	103	靴形、両側縁両面加工
20	III	A-1 c-5	635	50.9	35.7	10.3	20.0	頁岩	104	靴形・先端背面加工
21	III	A-1 e-3	636	27.8	31.7	8.7	10.6	頁岩	105	一側縁・先端背面加工
22	III	A-1 e-5	637	63.4	46.4	8.1	20.8	頁岩		両側縁背面加工
23	III	A-4 a-2	638	51.3	21.0	8.1	6.0	頁岩		両側縁背面加工
24	III	A-4 d-3	639	46.3	42.1	7.1	17.4	頁岩		一側縁両面加工
25	III	A-4 e-2	640	40.7	15.2	4.6	4.0	黒曜石		両側縁背面加工
26	III	A-6 d-2	641	48.8	19.7	10.6	11.0	頁岩		一側縁背面加工
27	III	B-1 a-2	642	65.2	26.4	9.6	19.3	チャート	106	靴形、両側縁両面加工
28	III	B-1 a-5	643	35.4	24.0	7.1	6.0	黒曜石		一側縁両面加工
29	III	B-2 a-2	644	39.9	23.7	8.2	10.0	頁岩	107	靴形、両側縁・先端面加工
30	III	B-2 d-2	645	39.0	22.8	10.3	10.0	頁岩		一側縁背面加工
31	III	B-3 c-2	646	51.5	16.4	7.7	5.9	頁岩	108	両側縁背面加工
32	III	B-4 a-5	647	61.5	35.1	14.3	28.9	チャート		一側縁背面加工
33	III	C-3 b-5	648	27.7	18.0	4.9	2.0	頁岩		両側縁両面加工
34	III	C-4 c-2	649	13.6	23.7	4.8	1.8	黒曜石		両側縁・先端背面加工
35	III	D-2 c-3	650	29.0	23.3	6.4	4.8	頁岩		両側縁・先端背面加工
36	III	D-3 c-3	651	36.2	23.7	10.1	10.0	頁岩	109	靴形、両側縁背面加工
37	III	D-4 c-2	652	51.4	15.4	11.4	10.0	頁岩	110	靴形、両側縁・先端背面加工
38	III	D-4 d-2	653	30.5	30.2	10.1	10.6	頁岩		両側縁背面加工
39	III	D-4 b-3	654	88.3	40.1	8.1	20.5	泥岩		一側縁背面加工
40	III	E-2 a-4	655	41.9	18.0	6.1	4.4	メノウ	111	両側縁背面加工
41	III	E-2 b-4	656	35.1	28.4	4.9	4.1	頁岩		両側縁・先反背面加工
42	III	E-2 b-5	657	28.9	20.0	4.8	3.0	頁岩		一側縁背面加工
43	III	E-2 b-5	558	39.5	21.9	9.1	5.9	頁岩		一側縁背面加工
44	III	E-2 c-5	558	58.3	24.5	8.5	11.2	頁岩	112	靴形、両側縁背面加工
45	III	E-2 e-5	659	60.2	48.0	8.2	17.8	メノウ		一側縁背面加工
46	III	E-4 b-3	660	44.3	32.2	7.2	10.0	頁岩		先端背面加工
47	II	A-1 b-3	661	30.2	15.6	6.4	4.0	頁岩		両側縁背面加工
48	II	A-3 a-2	662	42.8	22.7	6.3	8.0	チャート	113	靴形、両側縁・先端背面加工
49	II	A-3 a-2	663	75.2	17.5	7.9	12.0	頁岩	114	靴形、一側縁両面・一側縁背面加工
50	II	A-3 b-1	664	27.0	19.2	8.2	5.0	頁岩	115	両側縁・先端背面加工
51	II	A-3 b-4	665	26.8	22.0	7.8	4.8	頁岩	116	靴形、一側縁・先端背面加工
52	II	A-3 c-4	666	35.5	14.3	7.2	4.3	頁岩	117	靴形、両側縁背面加工
53	II	A-3 c-4	667	37.7	28.6	7.4	10.0	頁岩		先端背面加工
54	II	A-3 c-5	668	34.5	14.0	6.3	4.3	頁岩		両側縁背面加工
55	II	A-3 d-2	669	32.9	17.8	7.9	4.8	頁岩		両側縁両面加工
56	II	A-3 d-2	670	60.6	12.1	9.5	8.0	頁岩		両側縁背面加工
57	II	A-3 e-3	671	36.5	23.3	7.8	6.3	頁岩		一側縁背面加工
58	II	B-2 b-5	672	64.6	27.8	6.4	13.4	頁岩	118	靴形、両側縁背面加工
59	II	B-2 c-5	673	36.1	15.3	6.2	4.0	頁岩		両側縁背面加工
60	II	B-3 d-1	674	47.2	29.7	7.3	7.5	頁岩		両側縁背面加工
61	II	B-3 d-4	675	43.9	18.3	10.0	6.9	頁岩	119	両側縁背面加工
62	II	B-3 e-5	676	30.6	24.4	7.5	6.0	黒曜石	120	両側縁・先端背面加工
63	II	B-3 e-5	677	47.0	27.2	9.5	10.8	頁岩		両側縁背面加工
64	II	B-4 d-3	678	27.3	19.4	8.7	6.0	頁岩	121	靴形、両側縁・先端背面加工
65	II	B-4 d-5	679	36.0	31.4	10.0	10.6	頁岩	122	木葉形、一側縁両面加工
66	II	C-1 b-5	680	35.8	24.5	6.4	6.8	黒曜石		両側縁背面加工
67	II	C-3 d-2	681	45.5	40.8	11.6	20.6	頁岩	123	一側縁背面加工
68	II	C-4 a-1	682	42.4	32.7	10.3	11.0	チャート		両側縁背面加工
69	II	D-2 a-4	683	56.6	36.0	7.5	15.1	頁岩	124	一側縁背面加工
70	II	D-2 b-1	684	36.5	27.6	6.2	4.2	頁岩		一側縁・先端背面加工
71	II	D-3 a-5	685	31.3	20.5	10.7	10.0	頁岩		両側縁・先端背面加工

表IV-31 剥器一覧表(3)

No.	部位	グリット名	諸誤	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
72	II	D-3 b-1	686	38.3	23.7	7.6	6.1	頁岩	125	靴形・両側縁・先端背面加工
73	II	D-3 b-2	687	46.0	21.1	5.0	4.5	黒曜石		一側縁・先端背面加工
74	II	D-3 b-5	688	43.1	22.8	6.1	9.0	チャート		両側縁背面加工
75	II	D-3 c-5	689	32.7	24.6	7.2	6.0	頁岩		先端背面加工
76	II	D-3 e-1	690	27.3	16.4	7.3	4.0	頁岩	126	靴形・両側縁背面加工
77	II	D-3 e-5	691	39.9	19.4	6.9	6.0	頁岩		両側縁背面加工
78	II	D-4 c-1	692	44.5	19.4	8.4	8.0	頁岩	127	靴形・両側縁・先端背面加工
79	II	D-4 c-1	693	51.0	20.2	8.3	6.6	チャート		一側縁背面加工
80	II	D-5 b-4	694	50.5	19.4	7.6	8.2	頁岩	128	両側縁背面加工
81	II	E-1 b-2	695	40.5	24.7	7.9	6.6	頁岩	129	靴形・両側縁背面加工
82	II	E-1 b-5	696	34.9	27.5	8.0	8.0	頁岩	130	一側縁背面加工
83	II	E-2 b-5	697	37.2	15.7	4.4	3.5	頁岩		両側縁背面加工
84	II	E-3 a-3	698	34.1	26.8	9.1	8.7	頁岩	131	靴形・両側縁背面加工
85	II	E-3 a-5	699	56.3	26.3	8.5	11.8	頁岩	132	靴形・両側縁・先端背面加工
86	II	E-4 b-1	700	41.9	28.3	9.2	10.3	頁岩	133	靴形・両側縁背面加工
87	II	F-4 a-1	701	35.0	20.7	6.7	4.0	頁岩		一側縁背面加工
88	I	C-2	702	52.5	27.7	13.6	21.1	頁岩	134	靴形・両側縁背面加工
89	I	D-1	703	39.7	33.3	10.9	10.9	頁岩	135	靴形・先端背面加工

Rフレイク

398点が出土している。石質は頁岩306点、チャート22点、黒曜石15点、安山岩42点、メノウ質頁岩4点、泥岩4点、メノウ1点である。不定形な剥片で二次加工が一部に施されているもの、あるいは器種を特定できない各種石器の未製品・破損品を含む。全般的には剥片の縁辺に二次加工を施したもののが最も多い。この中には安山岩製のものが他の器種と比較して多く含まれている。削器に分類したものに剥片の縁片を加工した安山岩製のものがあるが、このRフレイクはこの安山岩製の削器と同一の目的で利用された可能性がある。

Uフレイク

45点出土している。石質は頁岩38点、チャート3点、黒曜石・安山岩各2点、メノウ質頁岩1点である。いずれも剥片の縁片に刃こぼれ状の剥離の見られるものである。

表IV-32 Rフレイク一覧表(1)

No.	部位	グリット名	諸誤	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	VI	B-3 d-3	704	105.0	80.0	17.1	138.0	泥岩		一側縁背面加工
2	VI	C-2 b-5	705	58.4	39.1	12.2	26.0	頁岩		一側縁背面加工
3	VI	C-2 d-3	706	44.8	27.2	7.4	9.0	頁岩		一側縁背面加工
4	VI	D-2 c-2	707	73.6	38.7	7.1	20.0	頁岩		一側縁背面加工
5	VI	E-1 b-2	708	64.2	45.0	7.3	30.0	頁岩		両側縁背面加工
6	VI	E-1 b-2	709	67.0	41.1	10.0	37.0	頁岩		両側縁背面加工
7	VI	F-4 a-2	710	93.8	36.5	14.0	43.4	頁岩		両側縁背面加工
8	VI	F-4 b-4	711	49.6	34.7	3.9	11.8	頁岩		一側縁・基部腹面加工
9	V	A-1 d-4	712	61.5	49.8	10.2	29.5	頁岩		一側縁背面・先端面加工
10	V	A-1 e-5	713	35.9	16.6	3.4	2.0	チャート		一側縁肉面加工
11	V	A-3 c-2	714	32.6	18.6	4.3	2.0	頁岩		一側縁背面加工
12	V	A-3 d-3	715	45.3	27.0	4.8	10.0	チャート		一側縁背面加工
13	V	A-4 b-4	716	55.1	51.0	18.2	41.7	頁岩		一側縁背面加工
14	V	A-4 b-4	717	42.3	35.7	7.3	12.5	頁岩		一側縁背面・一側縁腹面加工

表IV-33 Rフレイク一覧表(2)

No.	部位	グリット名	頭幅	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番	備考
15	V	A-4	c-2	718	45.0	26.4	7.7	10.0	頁岩	側縁背面加工
16	V	A-4	c-2	719	71.3	36.7	10.9	30.0	頁岩	側縁両面加工
17	V	A-4	b-1	720	58.5	43.3	8.3	17.0	頁岩	側縁両面加工
18	V	B-1	d-5	721	71.4	48.2	6.2	26.0	安山岩	側縁背面加工
19	V	B-1	d-5	722	31.1	20.3	11.9	5.0	頁岩	側縁裏面加工
20	V	B-2	c-1	723	97.2	67.0	14.5	74.3	安山岩	側縁・先端背面加工
21	V	B-2	c-2	724	37.3	25.4	5.3	4.7	頁岩	側縁背面加工
22	V	B-3	b-1	725	26.1	46.2	10.3	14.0	チャート	両側縁背面加工
23	V	B-3	b-1	726	24.8	31.1	6.3	6.0	頁岩	側縁腹面加工
24	V	B-3	b-5	727	31.2	27.7	8.0	7.5	頁岩	両側縁背面加工
25	V	B-3	c-2	728	73.3	45.7	13.0	39.1	頁岩	両側縁背面加工
26	V	B-3	c-2	729	30.3	21.8	6.7	3.0	頁岩	両側縁裏面加工
27	V	B-3	c-3	730	47.3	51.2	10.4	30.0	頁岩	側縁背面加工
28	V	B-3	d-5	731	39.8	52.0	13.5	30.0	頁岩	側縁背面加工
29	V	B-3	e-3	732	45.9	38.9	11.6	28.0	頁岩	先端背面加工
30	V	B-3	e-4	733	58.2	24.8	7.7	12.0	頁岩	側縁背面加工
31	V	B-4	a-1	734	42.2	22.4	4.4	3.6	頁岩	側縁裏面加工
32	V	B-4	a-1	735	38.0	21.1	5.5	4.0	頁岩	両側縁裏面加工
33	V	B-4	a-1	736	29.2	16.4	10.8	4.0	頁岩	両側縁裏面加工
34	V	B-4	c-1	737	20.3	14.2	2.2	0.6	頁岩	側縁裏面・側縁背面加工
35	V	B-5	c-1	738	46.3	40.0	16.0	30.0	頁岩	側縁背面加工
36	V	B-5	e-5	739	34.8	20.1	2.4	2.0	頁岩	側縁裏面・側縁腹面加工
37	V	B-6	e-2	740	49.2	31.3	8.9	10.3	頁岩	両側縁背面加工
38	V	B-6	e-2	741	21.0	30.8	7.1	6.0	チャート	側縁背面加工
39	V	C-2	c-5	742	19.6	16.3	7.0	2.0	頁岩	両側縁裏面加工
40	V	C-2	e-1	743	67.9	52.4	13.6	44.6	頁岩	先端腹面加工
41	V	C-2	e-1	744	23.3	21.9	3.1	2.0	黒曜石	両側縁裏面加工
42	V	C-3	a-5	745	17.5	15.3	4.1	1.4	頁岩	側縁背面加工
43	V	C-3	b-1	756	53.3	41.4	8.7	22.8	頁岩	側縁背面加工
44	V	C-3	c-1	757	24.5	47.0	6.3	8.0	頁岩	側縁背面加工
45	V	C-3	c-1	758	39.3	21.6	4.9	5.0	頁岩	両側縁背面加工
46	V	C-3	c-2	759	51.9	40.1	8.7	22.0	頁岩	側縁背面加工
47	V	C-3	e-1	760	21.5	20.8	3.3	2.0	頁岩	側縁裏面加工
48	V	C-3	e-2	761	15.8	10.9	4.8	1.4	黒曜石	両側縁裏面加工
49	V	C-3	e-2	762	26.4	43.5	9.3	8.6	頁岩	先端腹面加工
50	V	C-4	b-1	763	45.4	23.9	8.0	10.0	頁岩	側縁背面加工
51	V	C-4	c-3	764	43.6	31.8	11.6	11.2	頁岩	両側縁背面加工
52	V	C-4	e-2	765	31.0	24.6	11.2	5.4	頁岩	側縁背面加工
53	V	C-5	a-2	766	26.0	20.0	5.0	2.1	頁岩	両側縁背面加工
54	V	C-5	a-3	767	48.8	23.2	6.6	7.7	チャート	側縁背面加工
55	V	C-5	b-2	768	24.7	20.3	3.7	2.0	頁岩	側縁裏面加工
56	V	C-5	c-1	769	45.9	33.3	4.8	7.4	頁岩	側縁背面加工
57	V	C-5	c-1	770	52.9	34.9	12.0	20.0	頁岩	側縁腹面加工
58	V	C-5	d-2	771	19.1	35.9	3.2	3.2	頁岩	側縁背面加工
59	V	C-5	e-2	772	42.3	37.8	6.4	15.5	頁岩	先端背面加工
60	V	C-5	e-3	773	59.7	53.7	10.9	26.6	頁岩	側縁背面加工
61	V	C-5	e-5	774	43.5	16.6	3.5	2.2	頁岩	側縁腹面加工
62	V	C-6	b-2	775	35.6	20.1	9.0	6.0	頁岩	側縁裏面加工
63	V	C-6	e-1	776	26.7	28.8	7.6	6.0	頁岩	側縁背面加工
64	V	D-1	e-4	777	31.6	23.1	4.8	2.9	頁岩	側縁背面・側縁腹面加工
65	V	D-2	a-2	778	54.5	86.0	17.9	71.4	頁岩	先端背面加工
66	V	D-2	a-2	779	21.3	25.1	8.4	5.3	頁岩	両側縁背面・先端腹面加工
67	V	D-2	a-2	780	40.7	25.2	11.8	10.0	チャート	両側縁背面加工
68	V	D-2	b-1	781	45.3	33.6	8.1	14.0	頁岩	側縁背面加工

表IV-34 Rフレイク一覧表(3)

No	層位	グリット名	種類	長さ	幅	厚さ	重量	石質	同番	備考
69	V	D-2	b-2	378	44.2	5.5	13.3	チャート		一側縁背面加工
70	V	D-2	d-3	379	41.2	6.2	9.0	頁岩		両側縁背面加工
71	V	D-2	d-3	784	36.4	28.4	11.4	頁岩		両側縁背面加工
72	V	D-2	d-3	785	73.2	50.0	14.7	頁岩		一側縁背面加工
73	V	D-2	e-3	786	69.3	42.9	8.2	頁岩		一側縁背面加工
74	V	D-2	e-5	787	33.2	31.9	7.3	9.0	安山岩	両側縁腹面加工
75	V	D-3	a-1	788	68.4	41.1	11.6	頁岩		一側縁腹面加工
76	V	D-3	a-1	789	30.3	39.7	7.6	頁岩		両側縁背面加工
77	V	D-3	a-1	790	103.1	50.7	16.7	頁岩		一側縁背面加工
78	V	D-3	b-1	791	39.9	48.6	11.4	頁岩		一側縁背面加工
79	V	D-3	b-4	792	31.6	19.5	5.3	4.0	頁岩	一側縁背面加工
80	V	D-3	c-4	793	32.5	16.2	3.8	2.0	頁岩	両側縁背面加工
81	V	D-3	c-4	794	35.9	48.9	8.1	18.0	頁岩	一側縁背面・一側縁腹面加工
82	V	D-3	d-1	795	71.4	57.4	16.7	74.0	頁岩	一側縫・先端腹面加工
83	V	D-3	d-3	796	44.7	26.0	9.2	10.0	頁岩	一側縫背面・一側縁腹面加工
84	V	D-3	d-3	797	71.4	60.4	12.4	50.0	頁岩	先端両面加工
85	V	D-3	e-4	798	23.6	17.9	3.6	2.0	頁岩	基部両面・一側縁背面加工
86	V	D-4	a-2	799	47.6	39.1	10.3	16.0	チャート	両側縁・先端背面加工
87	V	D-4	a-3	800	49.3	21.5	11.2	10.0	頁岩	一側縁背面加工
88	V	D-4	a-3	801	36.3	30.1	6.8	6.0	頁岩	両側縁背面加工
89	V	D-4	d-1	802	57.8	61.9	17.4	42.0	頁岩	一側縫背面加工
90	V	D-4	b-2	803	60.8	40.4	8.5	26.0	チャート	一側縫背面加工
91	V	D-4	b-5	804	72.2	69.6	15.4	80.0	頁岩	一側縁背面加工
92	V	D-5	a-3	805	33.2	13.5	5.7	3.0	黒曜石	両側縁背面加工、焼け
93	V	D-5	b-5	806	55.8	57.1	12.2	42.0	頁岩	一側縁背面加工
94	V	D-5	d-1	807	33.0	28.4	5.4	4.0	黒曜石	両側縁両面加工
95	V	D-5	e-5	808	20.8	26.1	6.2	4.0	頁岩	一側縫背面加工
96	V	D-6	a-1	809	81.6	63.2	19.1	84.1	頁岩	一側縁背面加工
97	V	E-1	b-2	810	93.2	44.9	12.5	46.0	頁岩	先端両面加工
98	V	E-1	b-2	811	44.1	48.5	11.4	28.0	頁岩	先端腹面加工
99	V	E-2	c-4	812	34.8	25.3	9.7	10.0	頁岩	一側縁背面加工
100	V	E-3	b-4	813	102.3	42.6	8.9	42.0	安山岩	先端腹面加工
101	V	E-3	b-4	814	39.6	34.2	9.5	14.0	安山岩	一側縁背面加工
102	V	E-4	e-1	815	34.1	13.6	3.5	1.8	頁岩	両側縁両面加工
103	V	E-4	e-1	816	35.0	30.4	7.9	9.1	安山岩	一側縫腹面加工
104	V	F-1	b-5	817	29.9	15.4	2.4	1.2	頁岩	両側縁背面加工
105	V	F-1	c-5	818	53.4	41.3	7.4	20.0	頁岩	両側縁背面加工
106	V	F-1	c-5	819	49.7	33.7	9.0	11.7	チャート	一側縁背面加工
107	V	F-1	c-5	820	29.2	16.6	5.8	3.0	頁岩	両側縫背面加工
108	V	F-1	c-5	821	17.7	25.6	4.7	2.6	頁岩	両側縫両面加工
109	V	F-2	a-1	822	48.0	35.9	13.8	17.9	頁岩	一側縫背面加工
110	V	F-2	b-5	823	90.0	41.0	9.7	40.0	頁岩	一側縫背面・一側縫腹面加工
111	V	F-2	c-1	824	36.6	44.1	13.8	26.5	チャート	一側縫・基部両面加工
112	V	F-2	c-1	825	41.5	25.9	8.5	8.7	頁岩	一側縫両面・一側縫腹面加工
113	IV	A-1	b-4	826	29.4	25.7	9.7	6.0	頁岩	一側縫腹面加工
114	IV	A-1	d-3	827	50.9	32.4	7.7	12.0	ハクモロ	一側縫両面加工
115	IV	A-1	e-2	828	33.7	23.1	4.2	4.2	頁岩	一側縫背面加工
116	IV	A-1	e-2	829	27.9	21.1	6.3	4.0	頁岩	一側縫背面加工
117	IV	A-1	e-2	830	40.1	34.8	7.6	10.0	頁岩	一側縫・先端両面加工
118	IV	A-2	c-2	831	55.7	69.7	8.4	23.2	頁岩	一側縫背面加工
119	IV	A-4	a-2	832	38.2	27.5	7.1	6.0	頁岩	一側縫両面加工
120	IV	A-4	a-2	833	23.2	14.2	4.9	2.0	頁岩	一側縫背面加工
121	IV	B-2	a-1	834	45.6	26.4	12.0	10.0	チャート	一側縫背面加工
122	IV	B-4	e-3	835	55.1	34.3	10.2	22.2	チャート	一側縫背面加工

表IV-35 Rフレイクー観表(4)

番号	グリット名	鋼材	長さ	幅	厚さ	重量	石質	国番	備考
123	IV B 5 c - 2	836	28.9	30.8	4.6	6.0	頁岩		両側縁前面加工
124	IV B 5 c - 5	837	40.3	34.7	8.4	11.6	頁岩		一側縁背面加工
125	IV B - 6	838	44.6	30.4	9.2	12.0	頁岩		一側縁背面加工
126	IV B - 6	839	26.3	23.9	5.4	4.0	頁岩		一側縁前面加工
127	IV B - 6	840	27.4	6.4	4.3	1.0	頁岩		一側縁前面加工
128	IV C 1 a - 2	841	31.9	34.5	9.9	12.0	頁岩		両側縁前面加工
129	IV C 1 c - 3	842	33.9	47.4	10.6	13.3	頁岩		一側縁背面加工
130	IV C 1 c - 3	843	33.9	21.7	3.9	3.6	黒曜石		両側縁背面加工
131	IV C 1 d - 3	844	61.2	39.5	12.7	26.0	安山岩		一側縁背面加工
132	IV C 1 d - 3	845	45.5	49.7	10.9	32.0	頁岩		一側縁前面加工
133	IV C 2 a - 5	846	48.1	37.1	6.1	15.7	安山岩		一側縁腹面加工
134	IV C 2 a - 5	847	61.7	56.8	14.4	35.4	安山岩		一側縁背面加工
135	IV C 3 a - 1	848	19.2	15.7	6.1	2.0	頁岩		両側縁背面加工
136	IV C 3 a - 2	849	56.0	28.7	12.2	20.0	頁岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
137	IV C 3 c - 3	849	17.7	11.9	2.4	0.9	頁岩		両側縁前面加工
138	IV C 3 e - 4	850	43.0	42.1	10.7	20.0	頁岩		一側縁背面加工
139	IV C 3 e - 5	851	65.1	39.3	13.7	35.5	安山岩		一側縁背面加工
140	IV C 3 e - 5	852	32.7	19.5	4.3	2.0	頁岩		両側縁背面加工
141	IV C 4 c - 2	853	34.7	21.4	7.5	6.5	頁岩		両側縁前面加工
142	IV C 4 c 3	854	57.4	36.1	8.5	16.0	頁岩		両側縁背面加工
143	IV C 4 e - 2	855	34.4	42.9	7.8	17.0	頁岩		先端背面・一側縁腹面加工
144	IV C 5 b - 3	856	47.5	36.4	12.5	19.8	安山岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
145	IV C 5 d - 4	857	31.6	15.9	7.9	4.7	頁岩		一側縁腹面加工
146	IV C 6 b - 4	858	25.2	20.3	4.4	3.0	頁岩		両側縁前面加工
147	IV D 1 e - 5	859	33.2	38.2	9.7	10.5	頁岩		基部腹面加工
148	IV D 2 a - 2	860	121.1	68.4	8.2	62.1	安山岩		両側縁背面加工
149	IV D 2 a - 3	861	79.6	44.4	12.7	54.0	安山岩		一側縁・先端背面加工
150	IV D 2 c - 3	862	35.5	20.0	6.5	4.2	安山岩		一側縁前面加工
151	IV D 2 d - 5	863	27.7	19.6	8.2	5.0	頁岩		両側縁背面加工
152	IV D 3 a 1	864	46.5	25.2	8.2	7.2	頁岩		一側縁背面加工
153	IV D 3 a 1	865	49.1	33.8	7.9	20.0	頁岩		一側縁・先端背面加工
154	IV D 4 d - 1	866	71.1	45.7	13.0	28.0	頁岩		両側縁背面加工
155	IV D 4 d - 2	867	30.6	13.5	4.5	2.0	頁岩		両側縁背面加工
156	IV D 4 d - 2	868	56.4	74.3	19.8	80.0	チャート		一側縁背面加工
157	IV D 4 d - 2	869	42.4	26.5	9.9	7.3	頁岩		一側縁前面加工
158	IV D 4 d - 3	870	51.7	28.7	7.4	10.2	頁岩		一側縁背面加工
159	IV D 4 e - 1	871	109.4	94.0	15.3	172.0	安山岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
160	IV D 4 e 1	872	38.7	12.4	5.7	3.0	頁岩		両側縁背面加工
161	IV D 4 e - 2	873	45.1	63.6	11.5	18.0	頁岩		先端背面加工
162	IV D 4 c - 3	874	51.3	45.2	41.1	20.0	頁岩		一側縁腹面加工
163	IV E - 1 b - 5	875	18.2	15.4	4.7	1.2	頁岩		両側縁前面加工
164	IV E - 1 d - 4	876	58.8	39.0	8.7	26.0	頁岩		一側縁背面加工
165	IV E - 2 a - 3	877	23.9	15.9	5.2	2.1	黒曜石		両側縁前面加工
166	IV E - 2 b - 2	878	63.3	88.2	11.8	55.3	安山岩		一側縁前面加工
167	IV E 2 b - 4	879	50.1	36.4	5.7	8.9	頁岩		先端背面加工
168	IV E - 4 a - 1	880	37.3	27.7	10.9	12.0	頁岩		両側縁前面加工
169	IV E - 4 a - 1	881	49.3	29.1	15.6	21.5	チャート		両側縁前面加工
170	IV E - 4 a - 1	882	55.7	60.3	12.6	53.4	安山岩		一側縁背面加工
171	IV E - 4 a - 1	883	55.9	48.5	15.2	28.0	安山岩		先端背面加工
172	IV E - 4 a - 1	884	26.0	13.1	4.1	1.4	安山岩		両側縁前面加工
173	IV E - 4 c - 2	885	45.1	34.4	11.1	22.0	安山岩		一側縁背面加工
174	IV F 3 a - 5	886	59.6	21.3	5.4	4.0	頁岩		一側縁背面加工
175	IV F 4 a - 4	887	52.9	32.4	11.8	20.0	頁岩		一側縁前面加工
176	IV F 4 b - 2	888	38.1	65.7	15.8	50.0	頁岩		一側縁背面加工

表IV-36 Rフレイク一覧表(5)

No.	層位	グリット名	粒径	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番	備考
177	IV	F-4 c-3	889	42.0	30.8	6.2	10.0	頁岩		一側縁両面・先端背面加工
178	IV	F-4 d-2	890	27.7	40.9	8.8	10.0	頁岩		先端背面加工
179	III	A-1 a-2	891	33.7	29.4	6.6	10.0	メノウ		一側縁両面加工
180	III	A-1 a-3	892	61.4	22.5	4.7	7.6	頁岩		一側縁背面加工
181	III	A-1 a-4	893	37.4	42.9	7.1	14.0	チャート		両側縁両面加工
182	III	A-1 a-4	894	42.8	26.2	5.6	8.0	頁岩		両側縁背面加工
183	III	A-1 c-3	895	38.9	44.5	10.5	19.3	頁岩		両側縁両面加工
184	III	A-1 c-4	896	32.1	18.0	3.6	2.0	頁岩		両側縁背面加工
185	III	A-2 c-3	897	38.7	34.8	6.9	20.0	チャート		一側縁両面加工
186	III	A-2 c-4	898	29.7	25.7	7.7	6.0	頁岩		一側縁背面加工
187	III	A-3 b-5	899	32.0	15.1	2.6	3.0	頁岩		両側縁背面加工
188	III	A-5 b-2	900	24.7	15.6	6.0	2.0	頁岩		一側縁両面加工
189	III	A-6 a-4	901	58.7	34.4	9.3	10.6	頁岩		一側縁背面加工
190	III	A-6 d-2	902	31.6	23.2	8.3	6.0	頁岩		両側縁両面加工
191	III	A-6 e-5	903	25.1	16.5	5.3	2.1	頁岩		一側縁両面・一側縁背面加工
192	III	A-6 d-3	904	26.1	17.4	6.2	2.5	頁岩		一側縁両面・一側縁腹面加工
193	III	A-6 e-5	905	27.7	30.9	9.3	4.5	頁岩		先端背面加工
194	III	A-7 d-1	906	52.7	23.8	4.9	6.0	頁岩		一側縁背面加工
195	III	B-1 b-2	907	63.8	32.7	9.8	19.0	頁岩		一側縁背面加工
196	III	B-1 e-2	908	34.1	16.9	7.0	4.9	黒曜石		先端両面加工
197	III	B-2 a-5	909	48.1	21.9	6.9	6.9	頁岩		両側縁両面加工
198	III	B-2 b-1	910	76.4	61.4	14.8	70.0	頁岩		周縁に粗い加工
199	III	B-3 c-1	911	20.1	19.1	6.5	2.4	頁岩		両側縁両面加工
200	III	B-3 d-1	912	49.2	26.9	8.9	14.0	頁岩		両側縁両面加工
201	III	B-4 a-4	913	68.2	44.6	13.5	40.9	頁岩		一側縁背面加工
202	III	B-4 c-2	914	45.5	11.9	6.6	4.0	頁岩		一側縁背面加工
203	III	B-4 e-2	915	32.0	22.4	5.1	5.0	頁岩		両側縁腹面加工
204	III	B-4 e-2	916	68.7	44.1	16.1	26.0	頁岩		両側縁背面加工
205	III	C-1 b-2	917	26.0	19.9	5.5	2.0	黒曜石		両側縁両面加工
206	III	C-2 a-4	918	53.4	28.7	13.0	18.0	頁岩		両側縁背面加工
207	III	C-2 a-5	919	44.6	23.6	7.6	9.8	頁岩		側縁両面加工
208	III	C-2 e-5	920	45.1	27.5	11.1	14.3	頁岩		一側縁背面・一側縁腹面加工
209	III	C-3 a-5	921	39.6	32.3	8.4	12.0	頁岩		一側縁背面加工
210	III	C-4 a-2	922	44.6	26.9	12.6	18.0	安山岩		両側縁両面加工
211	III	C-4 a-3	923	43.1	27.9	5.6	5.2	頁岩		両側縁両面加工
212	III	C-4 b-3	924	30.1	18.6	7.3	5.0	頁岩		一側縁腹面加工
213	III	C-4 b-4	925	63.9	48.5	25.5	50.0	頁岩		一側縁加工
214	III	C-5 d-5	926	33.2	19.4	4.9	2.7	頁岩		両側縁両面加工
215	III	D-1 a-3	927	20.9	23.3	5.5	3.0	頁岩		両側縁両面加工
216	III	D-1 a-3	928	22.5	19.4	6.3	3.1	頁岩		側縁背面加工
217	III	D-1 e-3	929	26.0	21.7	3.1	1.8	頁岩		両側縁両面加工
218	III	D-1 c-4	930	33.6	27.8	10.6	9.9	頁岩		一側縁両面加工
219	III	D-1 e-1	931	47.0	16.0	6.2	3.0	頁岩		一側縁背面加工
220	III	D-1 e-1	932	47.0	19.7	6.9	8.0	頁岩		側縁部分・両側加工
221	III	D-1 e-5	933	35.8	25.9	6.1	9.0	頁岩		先端背面加工
222	III	D-2 c-2	934	30.8	21.7	5.9	4.7	頁岩		両側縁両面加工
223	III	D-2 c-3	935	44.1	33.2	9.4	13.7	頁岩		両側縁両面加工
224	III	D-2 c-3	936	58.7	37.5	9.9	24.0	頁岩		両側縁両面加工
225	III	D-2 c-3	937	73.3	27.3	14.0	23.0	頁岩		先端背面加工
226	III	D-2 d-2	938	44.2	24.3	10.3	12.9	頁岩		両側縁背面加工
227	III	D-3 a-2	939	24.5	14.7	6.0	1.7	頁岩		両側縁両面加工
228	III	D-3 b-3	940	62.1	37.8	8.9	24.0	安山岩		一側縁背面加工
229	III	D-3 b-4	941	47.6	65.0	7.8	32.0	安山岩		先端背面加工
230	III	D-3 c-2	942	59.3	35.1	9.5	18.0	安山岩		一側縁背面加工

表IV-37 Rフレイク-鑿表(6)

No.	番号	グリット名	銘柄	長さ	幅	厚さ	重量	石質	国番	備考
231	III	D-3	d-1	943	17.8	22.3	4.1	2.0	頁岩	両側縁両面加工
232	III	D-3	d-5	944	56.4	39.8	7.2	20.0	安山岩	一側縁腹面加工
233	III	D-3	e-5	945	56.3	31.7	9.2	11.7	チャート	一側縁背面加工
234	III	D-3	e-5	946	61.3	30.8	14.6	23.0	頁岩	一側縁背面加工
235	III	D-3	e-5	947	33.0	17.3	4.4	2.0	頁岩	両側縁背面加工
236	III	D-4	a-2	948	54.4	111.7	13.9	74.9	安山岩	一側縁・先端背面加工
237	III	D-4	a-3	949	30.5	42.1	9.1	18.0	ノルマ	両側縁両面加工
238	III	D-4	a-4	950	28.7	19.6	3.1	2.0	黒曜石	一側縁両面・一側縁腹面加工
239	III	D-4	c-3	951	23.8	30.3	4.8	4.0	頁岩	両側縁両面加工
240	III	D-4	c-4	952	40.8	30.7	3.9	6.0	頁岩	一側縁両面加工
241	四	D-4	d-1	953	37.3	41.7	11.4	25.0	頁岩	一側縁両面加工
242	III	D-4	e-1	954	44.8	39.4	8.3	17.7	頁岩	一側縁両面加工
243	III	D-4	e-1	955	39.2	11.8	5.5	4.0	頁岩	両側縁背面加工
244	III	D-4	e-2	956	34.7	20.6	6.4	4.0	頁岩	両側縁背面加工
245	四	D-4	c-2	957	35.2	41.8	8.4	14.0	頁岩	両側縁両面加工
246	III	D-4	e-2	958	41.8	28.7	5.2	10.0	安山岩	一側縁背面加工
247	四	D-4	e-2	959	40.4	29.1	8.5	10.0	頁岩	一側縁背面加工
248	III	D-4	e-3	960	49.6	30.9	9.6	10.7	安山岩	一側縁背面加工
249	四	D-4	e-3	961	29.8	59.2	8.7	10.2	頁岩	一側縁背面加工
250	III	D-4	e-4	962	33.1	23.5	6.3	5.0	安山岩	両側縁両面加工
251	III	D-4	c-3	963	41.4	25.6	12.2	12.0	頁岩	一側縁背面加工
252	III	D-5	b-4	964	93.5	136.7	24.5	246.0	安山岩	一側縁背面加工
253	III	D-5	b-4	965	66.0	72.8	18.1	108.0	安山岩	側縁背面加工
254	III	D-5	b-5	966	118.7	79.9	20.5	190.0	安山岩	一側縁背面加工
255	III	D-5	b-5	967	74.8	40.2	11.1	16.0	安山岩	一側縁背面加工
256	III	D-5	c-3	968	57.6	50.0	16.2	42.0	安山岩	一側縁背面加工
257	III	D-5	c-4	969	35.1	21.5	7.4	6.0	頁岩	基部・先端腹面加工
258	III	E-1	a-4	970	35.6	13.3	4.5	2.2	頁岩	一側縁両面加工
259	III	E-2	a-1	971	45.5	38.9	13.4	20.8	頁岩	両側縁両面加工
260	III	E-2	a-1	972	29.0	28.7	6.5	6.0	頁岩	両側縁・先端背面加工
261	III	E-2	a-1	973	53.5	36.2	6.1	15.0	頁岩	一側縁両面加工
262	III	E-2	b-2	974	47.6	26.5	7.9	8.9	頁岩	両側縁背面加工
263	III	E-2	b-4	975	15.0	28.7	3.6	1.8	頁岩	一側縁背面・一側縁両面加工
264	III	E-2	b-5	976	26.2	20.0	6.4	3.6	ノルマ	一側縁背面加工
265	III	E-2	b-5	977	51.6	32.4	8.8	19.1	安山岩	一側縁背面加工
266	III	E-2	b-5	978	46.0	35.5	6.0	10.0	頁岩	両側縁・先端背面加工
267	III	E-2	c-5	979	52.6	67.0	10.4	29.0	頁岩	一側縁背面加工
268	III	E-3	a-1	980	47.6	30.9	10.7	14.8	頁岩	一側縁両面・一側縁背面加工
269	III	E-3	a-4	981	31.7	15.7	3.4	1.7	チャート	一側縁両面加工
270	III	E-3	a-4	982	27.3	42.1	10.4	13.0	頁岩	両側縁背面加工
271	III	E-4	a-3	983	8.5	7.8	5.9	0.3	黒曜石	両側縁両面加工
272	III	E-4	a-3	984	24.7	12.0	8.9	2.2	黒曜石	両側縁両面加工
273	III	E-4	b-2	985	65.1	23.6	11.4	18.0	頁岩	一側縁背面加工
274	III	E-4	b-3	986	25.3	19.7	9.0	4.2	安山岩	両側縁両面加工
275	III	E-4	b-3	987	31.6	14.1	6.9	2.3	頁岩	両側縁両面加工
276	III	E-4	b-4	988	25.4	15.1	4.1	2.0	頁岩	両側縁両面加工
277	III	E-4	b-4	989	26.8	20.6	2.9	2.0	チャート	一側縁背面加工
278	III	E-4	c-3	990	27.1	22.6	4.6	4.0	頁岩	一側縁・先端背面加工
279	III	E-5	d-1	991	34.8	23.4	7.3	5.8	頁岩	一側縁両面加工
280	III	E-5	d-1	992	21.8	15.5	5.0	1.3	頁岩	両側縁両面加工
281	III	F-3	b-4	993	41.4	17.4	7.0	4.0	頁岩	両側縁両面加工
282	III	F-3	c-1	994	30.8	21.9	5.2	4.0	頁岩	一側縁背面加工
283	III	F-4	a-2	995	80.6	48.3	21.2	55.2	頁岩	一側縁両面加工
284	II	A-1	b-3	996	40.2	25.4	11.4	6.9	頁岩	両側縁両面加工

表IV-38 Rフレイク一覧表(7)

No.	層位	グリット名	断面	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固番	備考
285	II	A-2	b-1	997	50.0	38.3	7.6	15.0	頁岩	両側縁両面加工
286	II	A-2	b-2	998	22.9	13.5	5.4	2.0	頁岩	一側縁・先端背面加工
287	II	A-2	c-5	999	27.0	21.2	4.6	3.0	頁岩	一側縁背面加工
288	II	A-2	c-5	1000	35.5	21.6	5.5	4.0	頁岩	一側縁背面加工
289	II	A-2	e-5	1001	48.6	36.8	14.3	22.3	頁岩	一側縁背面加工
290	II	A-3	a-2	1002	28.0	10.1	3.0	1.4	頁岩	両側縁両面加工
291	II	A-3	a-5	1003	38.2	32.8	8.2	12.3	頁岩	一側縁背面加工
292	II	A-3	a-5	1004	54.7	37.8	11.5	18.0	チャート	一側縁背面加工
293	II	A-3	b-1	1005	27.9	19.0	10.7	6.0	頁岩	一側縁背面加工
294	II	A-3	b-1	1006	32.7	18.0	2.9	2.1	頁岩	一側縁背面加工
295	II	A-3	b-4	1007	30.6	19.7	5.8	2.0	頁岩	一側縁背面加工
296	II	A-3	b-4	1008	22.2	22.0	5.1	3.0	頁岩	一側縁背面・一側縁腹面加工
297	II	A-3	c-4	1009	88.9	74.7	30.4	17.0	頁岩	周縁に粗い加工
298	II	A-3	c-4	1010	39.3	23.4	6.0	7.0	頁岩	一側縁両面加工
299	II	A-3	c-5	1011	48.9	48.9	16.8	50.0	頁岩	一側縁・先端腹面加工
300	II	A-3	c-5	1012	60.1	37.3	8.8	20.0	頁岩	両側縁両面加工
301	II	A-3	c-5	1013	38.1	30.0	4.3	6.3	頁岩	両側縁両面加工
302	II	A-3	c-5	1014	25.4	13.3	4.8	1.6	頁岩	両側縁両面加工
303	II	A-3	d-2	1015	18.4	15.4	3.2	1.4	頁岩	両側縁背面加工
304	II	A-4	c-2	1016	66.3	33.7	9.7	24.0	頁岩	一側縁両面・一側縁背面加工
305	II	A-4	c-2	1017	26.3	47.3	16.2	20.0	頁岩	一側縁背面加工
306	II	A-4	d-4	1018	23.9	21.9	6.2	4.0	頁岩	一側縁背面加工
307	II	A-4	e-3	1019	27.7	19.6	7.0	4.1	黒曜石	両側縁両面加工
308	II	A-4	c-5	1020	22.0	27.1	8.3	4.0	頁岩	一側縁背面加工
309	II	A-2	a-5	1021	55.0	38.5	14.9	27.6	頁岩	両側縁両面加工
310	II	B-2	a-5	1022	28.1	29.2	4.5	6.0	頁岩	両側縁両面加工
311	II	B-2	a-5	1023	52.4	26.8	14.3	20.0	頁岩	一側縁背面加工
312	II	B-2	b-3	1024	41.8	19.7	5.1	3.3	頁岩	両側縁背面加工
313	II	B-2	b-3	1025	30.3	21.2	5.8	4.0	黒曜石	両側縁両面加工
314	II	B-2	b-5	1026	15.6	19.0	5.0	2.0	頁岩	両側縁両面加工
315	II	B-2	c-4	1027	30.5	23.5	6.6	5.0	頁岩	両側縁両面加工
316	II	B-2	c-4	1028	41.8	30.2	6.4	7.0	頁岩	両側縁背面加工
317	II	B-2	c-5	1029	70.5	45.4	11.4	28.8	頁岩	一側縁両面加工
318	II	B-3	c-1	1030	33.9	23.9	6.2	6.0	頁岩	両側縁両面加工
319	II	B-3	c-3	1031	34.7	9.6	2.9	1.0	頁岩	両側縁背面加工
320	II	B-3	d-1	1032	75.6	49.6	14.1	46.4	頁岩	両側縁両面加工
321	II	B-3	d-1	1033	35.9	49.5	11.7	20.0	頁岩	一側縁背面・一側縁腹面加工
322	II	B-3	d-1	1034	54.9	43.7	14.2	39.9	頁岩	周縁に粗い加工
323	II	B-3	d-2	1035	25.5	16.3	7.8	3.0	黒曜石	一側縁背面・一側縁腹面加工
324	II	B-4	c-1	1036	53.5	28.4	10.7	17.0	頁岩	一側縁背面加工
325	II	C-4	b-4	1037	53.0	31.3	7.2	12.6	頁岩	両側縁両面加工
326	II	C-1	c-3	1038	28.1	3.0	3.4	2.0	頁岩	一側縁背面加工
327	II	C-1	c-3	1039	31.3	19.6	4.8	3.0	頁岩	一側縁両面加工
328	II	C-3	e-3	1040	58.1	47.9	12.3	46.0	頁岩	両側縁両面加工
329	II	C-2	c-1	1041	41.4	31.0	6.3	8.0	安山岩	一側縁腹面加工
330	II	C-3	a-4	1042	37.2	27.2	7.2	7.0	頁岩	両側縁両面加工
331	II	C-4	c-1	1043	30.6	23.8	10.5	6.9	頁岩	一側縁背面加工
332	II	C-6	c-1	1044	56.2	47.7	22.3	45.0	泥岩	一側縁背面加工
333	II	C-6	e-1	1045	19.6	31.2	6.8	4.6	頁岩	一側縁両面加工
334	II	D-2	a-5	1046	28.7	13.8	4.2	2.2	頁岩	両側縁両面加工
335	II	D-1	c-2	1047	24.9	19.1	5.7	4.0	黒曜石	両側縁両面加工
336	II	D-1	c-3	1048	72.5	53.7	12.0	53.0	安山岩	一側縁背面加工
337	II	D-2	e-3	1049	52.5	31.6	16.5	10.0	頁岩	両側縁・先端両面加工
338	II	D-2	e-4	1050	40.5	36.8	5.1	9.8	頁岩	一側縁両面・一側縁背面加工

表IV-39 Rフレイク一覧表(8)

No.	番号	グリット名	翻訳	長さ	幅	厚さ	重量	石質	国番	備考
339	II	D - 3 b - 5	1051	39.9	24.5	5.9	6.0	頁岩		両側縁背面加工
340	II	D - 3 d - 1	1052	58.4	80.4	15.5	66.6	頁岩		先端背面加工
341	II	D - 3 e - 5	1053	47.8	20.8	6.9	6.0	安山岩		一侧縁背面加工
342	II	D - 4 d - 1	1054	20.6	13.7	4.4	1.3	頁岩		一侧縁両面加工
343	II	D - 4 d - 2	1055	45.5	24.2	6.4	10.0	安山岩		両側縁両面加工
344	II	D - 5 a - 4	1056	94.2	49.2	16.1	64.0	安山岩		先端背面加工
345	II	D - 5 c - 3	1057	32.3	20.0	4.7	4.6	頁岩		両側縁背面加工
346	II	D - 6 a - 1	1058	61.6	34.6	9.2	14.5	頁岩		一侧縁背面加工
347	II	D - 6 a - 1	1059	40.4	14.1	3.7	2.0	安山岩		一侧縁両面加工
348	II	E - 1 b - 5	1060	21.6	15.6	4.4	1.4	頁岩		両側縁両面加工
349	II	E - 2 c - 4	1061	32.4	22.5	2.7	2.0	頁岩		一侧縁背面加工
350	II	E - 2 d - 4	1062	26.5	41.2	10.9	10.0	頁岩		一侧縁背面加工
351	II	E - 3 a - 2	1063	48.1	30.5	13.2	20.4	チャート		両側縁・先端背面加工
352	II	E - 3 a - 2	1064	13.8	33.6	4.1	1.0	頁岩		一侧縁背面加工
353	II	E - 3 a - 3	1065	23.6	12.1	5.5	1.3	頁岩		一侧縁両面加工
354	II	E - 3 a - 5	1066	51.9	43.2	12.0	22.0	頁岩		一侧縁両面加工
355	II	E - 4 a - 1	1067	29.1	22.4	6.3	2.9	頁岩		両側縁両面加工
356	II	E - 4 a - 1	1068	24.6	21.3	6.2	3.5	頁岩		両側縁両面加工
357	II	E - 4 a - 3	1069	53.1	53.3	11.5	22.0	頁岩		一侧縁背面・一侧縁腹面加工
358	II	E - 4 a - 4	1070	39.9	27.1	8.6	8.4	頁岩		一侧縁背面加工
359	II	E - 4 a - 2	1071	30.6	21.5	4.9	3.0	頁岩		両側縁・先端背面加工
360	II	E - 4 b - 2	1072	30.4	16.6	5.9	3.0	頁岩		一侧縁背面加工
361	II	E - 4 b - 4	1073	37.5	26.4	9.0	6.0	頁岩		先端背面加工
362	II	E - 4 c - 1	1074	45.6	31.8	9.1	14.0	頁岩		一侧縁背面加工
363	II	E - 4 c - 3	1075	42.7	30.9	5.2	7.7	頁岩		一侧縁・先端背面加工
364	II	E - 4 d - 1	1076	39.4	24.1	7.8	10.0	頁岩		両側縁両面加工
365	II	E - 4 d - 2	1077	58.6	40.0	10.1	19.0	頁岩		一侧縁背面加工
366	II	E - 5 a - 2	1078	53.3	31.6	10.1	11.7	頁岩		一侧縁・基部両面加工
367	II	E - 5 a - 2	1079	38.9	20.6	7.6	3.5	頁岩		一侧縁両面加工
368	II	E - 5 a - 3	1080	65.3	41.3	17.3	34.0	頁岩		一侧縁腹面加工
369	II	E - 5 d - 1	1081	23.9	24.9	7.6	5.0	頁岩		両側縁両面加工
370	II	F - 4 a - 1	1082	46.2	26.4	9.6	10.0	頁岩		一侧縁背面加工
371	II	F - 4 a - 1	1083	48.0	46.9	11.2	30.0	頁岩		両側縁両面加工
372	II	F - 4 a - 1	1084	34.0	21.7	2.9	3.0	頁岩		両側縁背面加工
373	II	F - 4 a - 1	1085	35.6	17.4	7.4	6.0	頁岩		一侧縁両面加工
374	II	F - 4 b - 1	1086	56.3	35.8	18.1	27.0	頁岩		一侧縁背面加工
375	II	F - 4 c - 4	1087	33.6	25.2	13.5	16.0	頁岩		一侧縁背面加工
376	I	A - 1	1088	40.2	25.4	11.4	6.9	頁岩		両側縁両面加工
377	I	B - 3	1089	69.0	35.9	13.8	30.3	頁岩		両側縁背面加工
378	I	B - 5	1090	32.9	24.8	7.2	6.0	頁岩		両側縁背面加工
379	I	C - 1	1091	31.7	24.9	9.5	9.3	頁岩		一侧縁両面加工
380	I	C - 1	1092	30.1	24.0	8.2	8.2	頁岩		一侧縁背面・一侧縁腹面加工
381	I	C - 1	1093	24.0	15.3	3.5	1.3	安山岩		両側縁両面加工
382	I	C - 1	1094	20.2	12.6	2.7	1.4	頁岩		一侧縁・先端背面加工
383	I	C - 2	1095	26.5	12.6	3.7	1.6	頁岩		一侧縁腹面・一侧縁背面加工
384	I	C - 3	1096	59.7	31.1	19.3	30.0	頁岩		一侧縁腹面加工
385	I	C - 3	1097	28.0	24.6	4.5	3.0	頁岩		一侧縁両面加工
386	I	C - 3	1098	52.8	24.0	8.9	10.0	頁岩		両側縁背面加工
387	I	C - 5	1099	33.7	29.7	5.3	5.9	頁岩		一侧縁背面加工
388	I	C - 5	1100	30.3	14.5	4.4	2.0	珪藻土		両側縁両面加工
389	I	E - 4	1101	49.5	32.4	9.2	16.2	頁岩		両側縁背面加工
390	I	F - 3	1102	32.2	26.8	9.6	6.0	頁岩		先端背面加工
391	I	表 採	1103	48.9	36.3	11.8	20.0	頁岩		側縁腹面加工
392	I	表 採	1104	88.1	62.7	26.5	100.0	頁岩		両側縁両面加工

表IV-40 Rフレイクー範表(9)

No.	番号	グリット名	鉄鋼	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
393	表	採	1105	30.6	15.7	6.3	2.0	頁岩		一側縁背面加工
394	表	採	1106	23.3	35.7	5.0	3.6	頁岩		一側縁背面加工
395	表	採	1107	35.5	14.4	1.2	2.1	頁岩		一側縁両面加工
396	表	採	1108	39.2	29.1	11.2	12.0	頁岩		両側縁両面加工

表IV-41 Uフレイクー範表

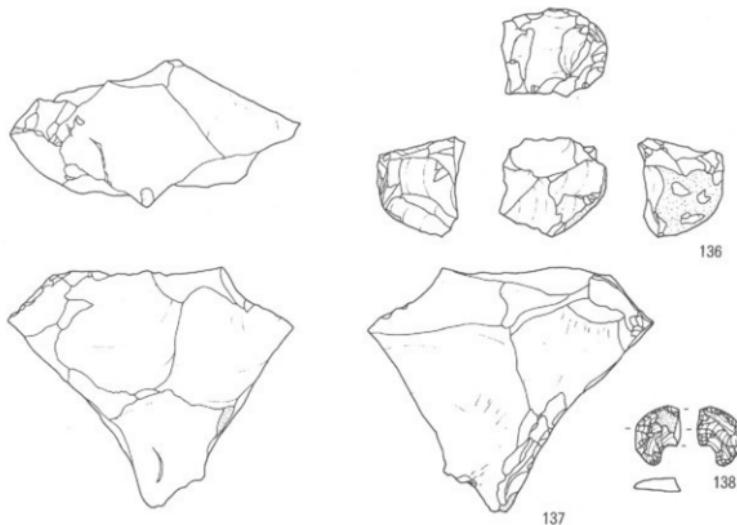
No.	番号	グリット名	鉄鋼	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	V	A-4 a-1	1109	32.4	21.0	5.2	4.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
2	V	A-4 c-2	1111	48.7	47.2	15.5	34.2	頁岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
3	V	B-4 a-3	1111	49.3	30.3	8.8	6.2	頁岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
4	V	B-4 d-1	1112	60.6	28.9	10.5	16.5	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
5	V	B-4 e-2	1113	37.8	22.1	4.5	4.0	頁岩		山側縁に刃こぼれ状の剥離
6	V	C-3 e-4	1114	53.3	32.9	11.5	20.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
7	V	C-4 a-3	1115	91.2	61.7	15.5	114.0	チャート		一側縁に刃こぼれ状の剥離
8	V	C-5 a-3	1116	59.9	27.9	6.5	10.8	チャート		一側縁に刃こぼれ状の剥離
9	V	C-5 b-3	1117	51.9	42.1	7.9	20.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
10	V	C-5 d-2	1118	41.5	21.0	9.9	10.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
11	V	C-6 c-2	1119	59.5	26.2	13.6	20.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
12	V	D-4 e-3	1120	28.1	28.5	7.8	4.0	頁岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
13	V	D-4 b-1	1121	28.1	20.5	7.4	2.0	黒曜石		山側縁に刃こぼれ状の剥離
14	IV	A-4 d-3	1122	24.4	47.7	10.9	10.2	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
15	IV	A-6 d-3	1123	51.3	40.3	8.6	20.0	頁岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
16	IV	B-2 a-5	1124	40.0	26.9	8.7	10.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
17	IV	B-2 a-5	1125	31.5	20.8	5.5	4.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
18	IV	C-4 c-1	1126	17.5	23.7	5.2	2.0	頁岩		一側縁・先端に刃こぼれ状剥離
19	IV	C-6 a-1	1127	47.1	34.7	18.0	20.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
20	IV	C-6 b-1	1128	36.6	35.1	9.8	10.6	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
21	IV	E-2 a-1	1129	44.5	58.8	10.9	26.0	安山岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
22	IV	E-4 a-1	1130	40.5	67.1	11.5	22.4	安山岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
23	IV	E-4 b-1	1131	22.9	17.9	5.0	2.4	頁岩		先端に刃こぼれ状の剥離
24	III	A-2 c-4	1132	51.7	35.6	6.0	10.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
25	III	A-4 b-1	1133	38.9	19.6	8.0	6.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
26	III	B-4 e-2	1134	42.8	41.9	10.4	20.2	チャート		先端に刃こぼれ状の剥離
27	III	C-3 a-3	1135	37.7	35.7	7.8	8.6	頁岩		一側縁・先端に刃こぼれ状の剥離
28	III	D-1 d-3	1136	26.8	23.2	3.7	4.0	頁岩		両側縁に刃こぼれ状の剥離
29	III	D-1 d-3	1137	17.1	17.4	2.9	1.0	黒曜石		両側縁に刃こぼれ状の剥離
30	III	D-2 b-1	1138	30.8	34.6	11.0	8.7	頁岩		先端に刃こぼれ状の剥離
31	III	D-4 d-1	1139	75.8	42.3	6.5	20.0	頁岩		先端に刃こぼれ状の剥離
32	III	E-2 b-4	1140	47.4	52.1	15.4	25.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
33	III	E-3 d-4	1141	26.2	18.1	3.4	1.3	頁岩		両側縁・先端に刃こぼれ状剥離
34	III	E-4 d-4	1142	28.1	17.7	3.6	2.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
35	III	B-2 d-1	1143	40.5	29.5	8.0	6.4	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
36	II	D-1 e-5	1144	48.9	23.9	9.6	10.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
37	II	D-4 d-1	1145	38.5	21.9	11.2	9.6	頁岩		先端に刃こぼれ状の剥離
38	II	E-3 a-2	1146	46.9	22.7	7.6	5.2	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
39	II	E-4 a-1	1147	25.6	18.2	3.5	2.0	頁岩		両側縁に刃こぼれ状の剥離
40	II	E-4 a-4	1148	38.3	15.9	4.8	2.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
41	II	E-4 a-4	1149	37.7	22.3	9.0	8.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
42	II	E-5 b-3	1150	55.5	34.2	2.8	8.0	頁岩		一側縁・先端に刃こぼれ状の剥離
43	II	F-4 a-2	1151	42.1	18.4	3.5	4.0	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
44	I	A-2 a-5	1152	48.9	23.8	4.8	4.8	頁岩		一側縁に刃こぼれ状の剥離
45	I	B-5	1153	39.3	65.6	5.7	10.8	チャート		先端に刃こぼれ状の剥離

石核

29点が出土している。石質はいずれも頁岩である。不定形な剥片を剥離するものであり、特定の技法などは確認できない。

石製品

5点が出土している。石質は黒曜石4点、チャート1点である。いずれも剥片を細かく調整した異形石器と呼ばれているものである。138は本来半円状のものであったと考えられる。



図IV-39 包含層出土石器 (10)

表IV-42 石核一覧表 (1)

No.	層位	グリット名	軸柄	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	V	D-3	c-1	1154	39.9	63.1	49.8	124.0	頁岩	二面に原石面を残す
2	V	D-5	b-5	1155	51.7	72.6	59.3	310.0	頁岩	三面に原石面を残す
3	V	E-3	c-5	1156	42.2	52.0	30.5	118.0	頁岩	三面に原石面を残す
4	IV	D-4	b-2	1157	32.6	52.7	31.1	64.0	頁岩	三面に原石面を残す
5	IV	E-3	b-4	1158	44.8	45.8	48.2	200.0	頁岩	一面に原石面を残す
6	IV	F-4	b-2	1159	27.8	35.5	36.6	72.0	頁岩	二面に原石面を残す
7	III	A-1	c-3	1160	12.9	51.4	13.4	15.2	頁岩	一面に原石面を残す
8	III	A-1	c-3	1161	49.2	56.0	21.3	43.0	頁岩	一面に原石面を残す
9	III	A-4	a-3	1162	46.2	62.2	53.8	223.0	頁岩	二面に原石面を残す
10	III	C-2	b-5	1163	53.1	87.5	39.2	226.0	頁岩	三面に原石面を残す
11	III	D-3	b-3	1164	46.4	74.4	44.6	376.0	頁岩	二面に原石面を残す
12	III	D-4	c-5	1165	42.1	55.0	22.6	70.0	頁岩	二面に原石面を残す

表IV-43 石核一覧表(2)

No.	層位	グリット名	標記	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
13	III	D-4	d-3	1166	44.5	91.8	30.8	103.0	頁岩	一面に原石面を残す
14	III	D-5	b-4	1167	26.9	48.0	21.7	38.7	頁岩	一面に原石面を残す
15	III	R-3	b-2	1168	38.0	50.2	51.6	392.0	頁岩	一面に原石面を残す
16	II	C-1	d-3	1169	28.8	46.8	27.1	60.0	頁岩	一面に原石面を残す
17	II	C-4	c-1	1170	53.9	86.9	31.0	200.0	頁岩	一面に原石面を残す
18	II	C-4	d-1	1171	40.8	52.6	31.4	123.0	頁岩	一面に原石面を残す
19	II	C-5	c-2	1172	58.8	50.3	41.1	154.0	頁岩	二面に原石面を残す
20	II	D-3	d-3	1173	101.0	99.0	63.9	690.0	頁岩	二面に原石面を残す
21	II	D-4	c-1	1174	43.4	44.9	34.3	60.0	頁岩	四面に原石面を残す
22	II	D-4	d-1	1175	70.5	86.3	32.7	150.0	頁岩	一面に原石面を残す
23	II	D-4	d-1	1176	36.6	48.1	26.2	88.0	頁岩	一面に原石面を残す
24	II	D-4	d-2	1177	60.1	54.0	25.6	85.0	頁岩	三面に原石面を残す
25	II	D-4	d-4	1178	30.0	33.0	36.3	75.0	頁岩	三面に原石面を残す
26	II	E-3	a-3	1179	82.2	119.4	72.5	351.0	頁岩	一面に原石面を残す
27	II	F-4	c-1	1180	52.7	62.7	61.2	444.0	頁岩	一面に原石面を残す
28	I	D-5		1181	28.0	43.2	15.8	26.0	頁岩	一面に原石面を残す
29	I	F-5		1182	26.3	55.6	34.0	64.0	頁岩	一面に原石面を残す

表IV-44 石製品一覧表

No.	層位	グリット名	標記	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	V	B-4	a-1	1183	21.7	18.7	7.9	2.0	黒曜石	異形石器
2	V	D-4	a-1	1184	19.8	30.9	5.7	3.0	黒曜石	異形石器
3	V	E-1	d-2	1185	30.6	17.7	9.7	4.0	黒曜石	異形石器
4	II	A-1	d-5	1186	43.4	32.0	14.8	16.0	黒曜石	異形石器
5	II	E-4	a-5	1187	24.3	17.6	5.8	2.5	チャート	138 異形石器

石斧

27点が出土している。石質は緑色泥岩23点、安山岩2点である。形態は扁平なものが多く、その多くの刃部は片刃である。139・144・145・147～149・153は扁平片刃のものであり9点出土している。

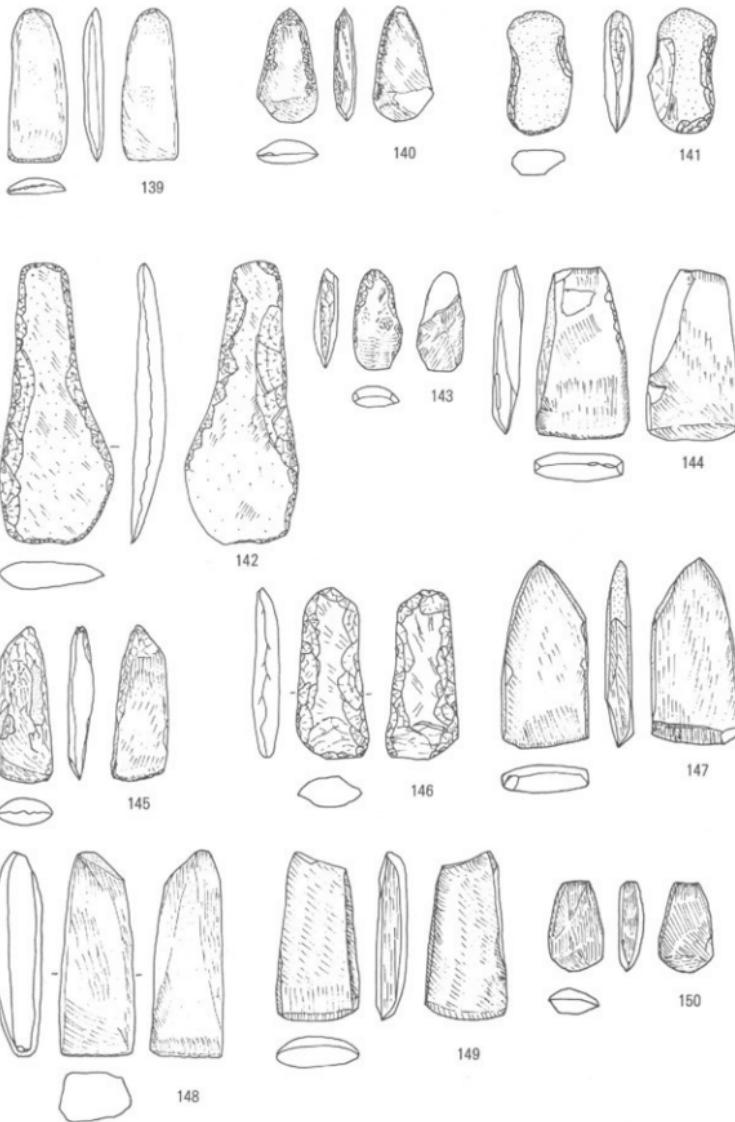
また、基部が傾斜しているものもあり6点が出土している。142・146は安山岩製の打製石器と考えられるものであり、いずれも安山岩の縁片を剥離加工したものである。No.2には擦り切り痕が残る。

すり石

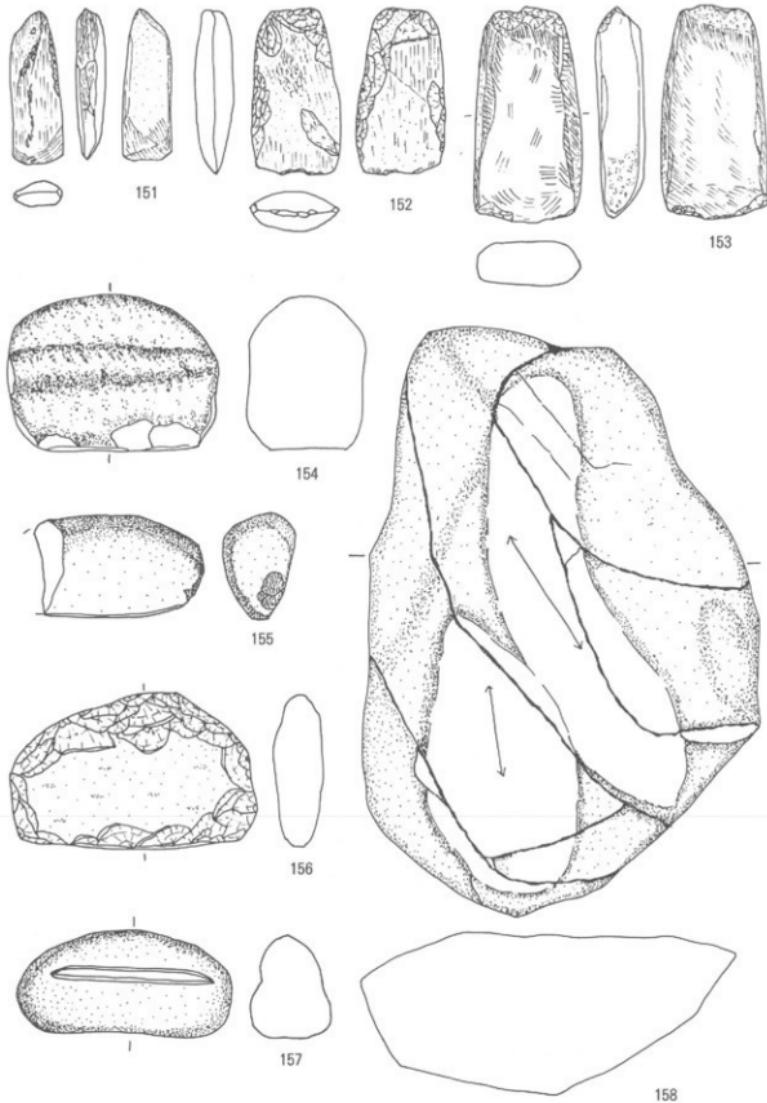
3点が出土している。石質は安山岩2点、花崗閃綠岩1点である。156は半円状扁平打製石器であり、154は北海道式石冠であり機能面が広いものである。155は断面三角形のものである。

砥石

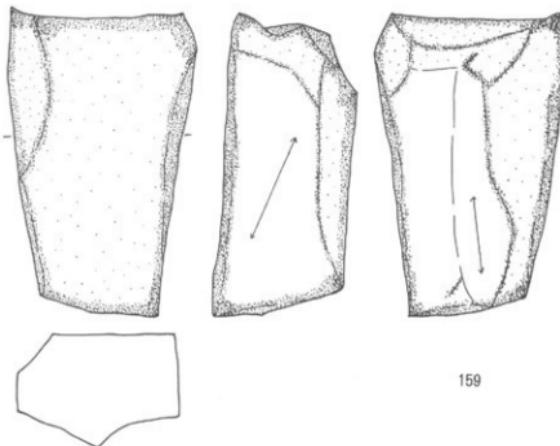
4点が出土している。石質は砂岩3点、泥岩1点である。157はV字断面の溝状の使用痕を持つ。158は二面を使用しているものであり、158は角柱状を呈する。



圖IV-40 包含層出土石器 (11)



图IV-41 包含层出土石器 (12)



159

図IV-42 包含層出土石器（13）

表IV-44 石製品一覧表

No.	層位	グリット名	鈎釘	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	VI	C-2 c-5	1188	92.7	33.0	9.4	48	緑色泥岩	139	偏平片刃
2	V	D-1 a-3	1189	37.7	27.5	6.8	10	緑色泥岩		石斧片、擦り切り痕残る
3	V	D-1 d-2	1190	68.7	36.5	11.2	40	緑色泥岩	140	片刃、敲打調整痕残る
4	V	D-3 c-4	1191	37.6	39.1	8.1	20	緑色泥岩		両刃
5	IV	B-5 e-5	1192	72.0	37.7	16.4	76	緑色泥岩	141	両刃
6	IV	D-2 d-4	1193	170.6	68.2	17.0	182	安山岩	142	打製石斧
7	IV	D-3 c-5	1194	60.6	26.2	11.5	30	緑色泥岩	143	両刃、剥離調整痕残る
8	IV	E-4 b-4	1195	25.9	13.8	2.6	2	緑色泥岩		石斧片
9	III	A-1 d-5	1196	28.5	17.2	4.6	3	緑色泥岩		石斧片
10	III	B-1 c-2	1197	44.3	43.4	8.4	17	緑色泥岩		石斧片
11	III	C-2 a-5	1198	103.9	54.4	13.9	140	緑色泥岩	144	偏平片刃
12	III	D-3 a-1	1199	28.2	23.4	5.6	5	緑色泥岩		石斧片
13	III	D-3 a-1	1200	93.4	32.3	13.8	64	緑色泥岩	145	偏平片刃
14	III	D-3 c-2	1201	103.2	43.1	15.7	88	安山岩	146	打製石斧
15	III	D-3 c-4	1202	113.2	53.5	14.0	170	緑色泥岩	147	偏平片刃、剥離調整痕残る
16	III	F-2 c-3	1203	62.1	40.4	9.6	50	緑色泥岩		基部欠損、偏平片刃
17	II	A-3 e-5	1204	76.2	40.8	10.4	70	緑色泥岩		偏平片刃
18	II	A-4 b-3	1205	80.5	37.5	19.2	110	緑色泥岩		先端欠損
19	II	B-1 c-2	1206	24.6	42.4	26.5	290	緑色泥岩	148	偏平片刃
20	II	B-3 c-3	1207	82.9	64.2	40.6	366	緑色泥岩		擦り切り残片
21	II	B-3 d-1	1208	101.3	48.0	16.8	158	緑色泥岩	149	偏平片刃
22	II	B-5 d-2	1209	54.6	33.4	14.2	42	緑色泥岩	150	両刃、円刃
23	II	D-1 c-2	1210	92.2	31.3	14.6	80	緑色泥岩	151	片刃
24	II	D-1 d-2	1211	100.9	52.5	21.9	162	緑色泥岩	152	両刃、剥離調整痕残る
25	II	E-3 a-1	1212	57.8	41.6	20.3	84	緑色泥岩		基部片
26	II	E-4 c-1	1213	93.6	46.6	14.5	112	緑色泥岩		偏平片刃
27	I	E-4	1214	124.3	65.7	27.6	462	緑色泥岩	153	偏平片刃、敲打調整痕残る

表IV-46 すり石一覧表

Na	層位	グリット名	鈍剣	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	IV	E-3	b-2	1215	121.3	94.2	73.6	1500	安山岩	154 北海道武石冠
2	III	E-3	b-4	1216	120.5	59.3	42.0	400	鈍剣	155 断面三角形
3	II	C-4	c-3	1217	147.0	94.5	30.1	620	安山岩	156 半円状偏平打製石器

表IV-47 磨石一覧表

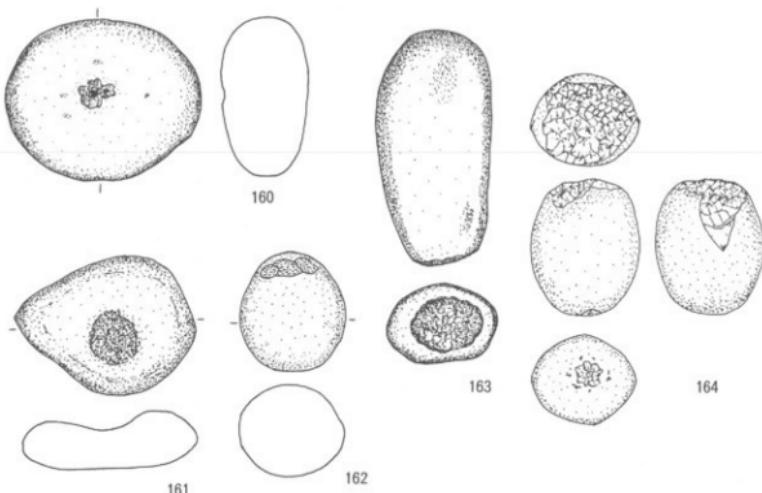
Na	層位	グリット名	鈍剣	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	III	D-3		1218	365.0	255.0	87.8	7800	砂岩	158
2	III	F-2	c-3	1219	185.0	93.7	60.9	1740	泥岩	159
3	II	B-1	d-5	1220	43.5	37.4	25.6	550	砂岩	破片、三面に使用痕
4	II	D-1	d-2	1221	132.4	61.6	47.5	372	砂岩	V字状の使用痕

たたき石

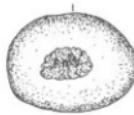
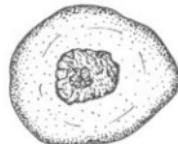
22点が出土している。石質は花崗閃緑岩19点、泥岩3点である。162~164は端部を使用しているもので12点、160・166は面部を使用しているものである。側縁を使用しているものは5点、168は面・側縁に使用痕をもつものである。165・167は端部・側縁に使用痕をもつものである。161はくぼみ石とよばれるものである。

石錘

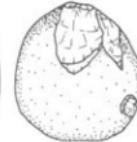
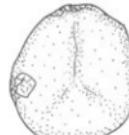
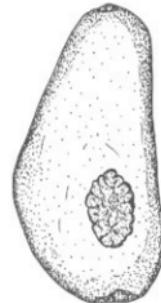
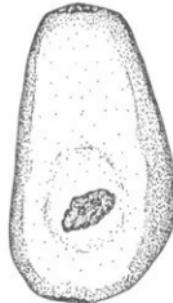
安山岩製のものが1点出土している。全面が敲打調整されている。また、胴部に溝状の加工が成されているものである。形状は北海道式石冠に類似する。



図IV-43 包含層出土石器 (14)



166

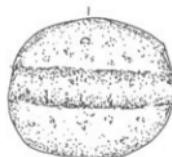


167



165

168



169

図IV-44 包含層出土石器 (15)

表IV-48 たたき石一覧表 (1)

No.	層位	グリット名	鑿剣	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	VI	F-4	b-4	1223	119.7	97.3	52.5	890	花崗隕岩	160 一面に敲打痕
2	V	A-4	e-2	1224	108.7	86.2	39.3	470	泥岩	161 くぼみ石
3	IV	A-5	e-3	1225	142.8	69.7	44.2	730	花崗隕岩	163 一面に敲打痕
4	IV	B-4	a-3	1226	100.9	59.3	43.6	370	花崗隕岩	両端に敲打痕
5	IV	B-5	d-4	1227	82.1	64.4	56.5	440	泥岩	164 両端に敲打痕
6	IV	C-4	c-2	1228	92.4	70.9	42.8	360	花崗隕岩	両端に敲打痕

表IV-49 たたき石一覧表（2）

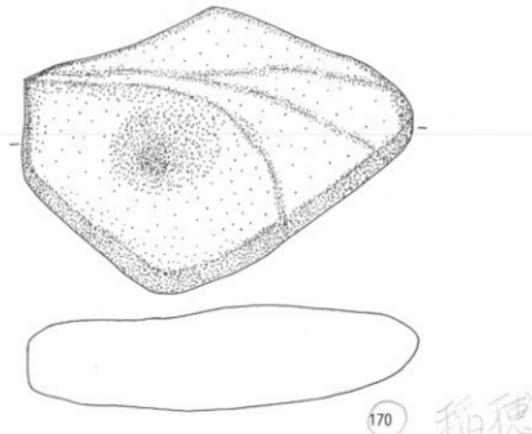
No.	番位	グリット名	鰐鈎	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
7	III	B-4 d-3	1229	79.4	60.8	55.2	380	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
8	III	C-1 c-2	1230	73.2	62.7	54.9	350	花崗閃緑岩	162	一端に敲打痕
9	III	C-4 a-2	1231	74.6	72.2	52.3	440	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
10	III	C-4 e-3	1232	118.0	76.3	49.3	660	花崗閃緑岩		両端縁に敲打痕
11	III	E-1 a-4	1233	185.0	94.9	81.4	2250	花崗閃緑岩	165	一端・両側縁に敲打痕
12	II	A-2 b-1	1234	78.6	59.9	33.6	210	花崗閃緑岩	166	両面に敲打痕
13	II	A-3 b-1	1235	76.8	64.8	44.1	300	花崗閃緑岩		一端に敲打痕
14	II	A-4 b-3	1236	85.1	64.4	60.5	480	花崗閃緑岩		一端に敲打痕
15	II	A-4 d-1	1237	74.0	86.6	55.1	640	花崗閃緑岩	168	両面・両側縁に敲打痕
16	II	A-4 d-4	1238	87.8	53.1	47.9	330	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
17	II	C-5 b-5	1239	75.4	55.3	38.2	230	花崗閃緑岩		両端に敲打痕
18	II	D-2 b-3	1240	100.3	65.1	51.1	520	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
19	II	D-4 b-1	1241	65.8	60.4	40.7	250	花崗閃緑岩		両端に敲打痕
20	II	E-1 b-5	1242	83.0	74.9	53.5	420	泥岩	167	一端・両側縁に敲打痕
21	II	E-4 B-1	1243	83.2	68.3	63.2	510	花崗閃緑岩		側縁に敲打痕
22		表採	1244	93.7	62.8	29.7	210	花崗閃緑岩		一端に敲打痕

表IV-50 石錘一覧表

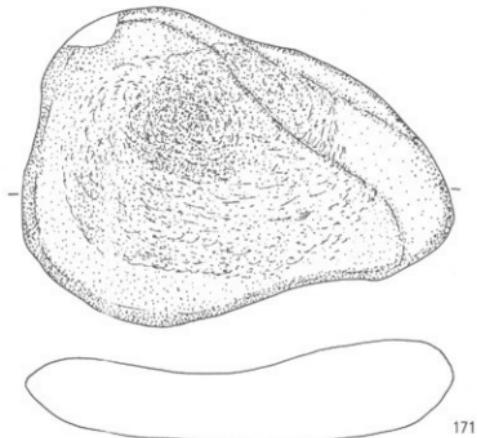
No.	番位	グリット名	鰐鈎	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1		C-4 c-3	1222	97.8	86.4	51.5	740	安山岩	169	

石皿

4点が出土している。石質は花崗閃緑岩3点、安山岩1点である。いずれも擦り凹んだ使用痕をもつものである。



図IV-45 包含層出土石器（16）



171

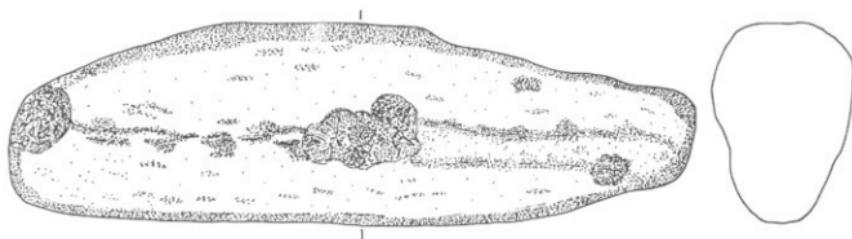
図IV-46 包含層出土石器（17）

表IV-49 たたき石一覧表（2）

No.	層位	グリット名	謝辞	長さ	幅	厚さ	重量	石質	図番	備考
1	VI	C-2 e-1	1245	240	165	52	2140	花崗閃綠岩	170	一面に擦り凹み
2	II	D-4	1246	348	195	85	6500	安山岩	171	一面に擦り凹み
3		F-3	1247	260	200	53	2580	花崗閃綠岩		一面に擦り凹み
4		表 採	1248	122	97	58	810	花崗閃綠岩		一面に擦り凹み

台石

18点が出土している。石質はいずれも花崗閃綠岩である。明瞭な使用痕はみとめられないが出土の状況から台石とし、平坦な面を使用面とした。



図IV-49 包含層出土石器（18）

表IV-52 台石一覧表

No.	順位	グリット名	面積	長さ	幅	厚さ	重量	石質	固形	備考
1	V	C - 2 c - 1	1249	200	120	53	1760	花崗閃緑岩		一面に使用痕
2	V	C - 2	1250	324	240	360	15000	花崗閃緑岩		一面に使用痕
3	IV	C - 3 e - 5	1251	240	173	70	4500	花崗閃緑岩		一面に使用痕
4	IV	F - 4	1252	230	145	58	3800	花崗閃緑岩		一面に使用痕
5	III	C - 4 b - 5	1253	178	107	51	1370	花崗閃緑岩		一面に使用痕
6	III	C - 4 d - 4	1254	300	194	85	5500	花崗閃緑岩		一面に使用痕
7	III	D - 3 b - 5	1255	278	195	27	2030	花崗閃緑岩		一面に使用痕
8	III	D - 3 c - 4	1256	500	320	100	13500	花崗閃緑岩		一面に使用痕
9	III	D - 4	1257	233	158	130	5580	花崗閃緑岩		一面に使用痕
10	III	E - 3	1258	133	122	41	810	花崗閃緑岩		一面に使用痕
11	II	B - 3	1259	345	120	107	5800	花崗閃緑岩		一面に使用痕
12	II	C - 3 a - 1	1260	224	210	86	6700	花崗閃緑岩		一面に使用痕
13	II	D - 1 b - 1	1261	165	113	78	1530	花崗閃緑岩		一面に使用痕
14	II	D - 1 c - 5	1262	295	155	123	8800	花崗閃緑岩		一面に使用痕
15	II	E - 4	1263	415	150	85	5500	花崗閃緑岩	172	一面に使用痕
16	II	E - 4 a - 3	1264	260	150	72	2550	花崗閃緑岩		一面に使用痕
17	II	E - 4 d - 2	1265	133	103	68	1450	花崗閃緑岩		一面に使用痕
18	II	E - 4 d - 2	1266	370	238	78	5300	花崗閃緑岩		一面に使用痕
19	I	C - 1	1267	234	112	81	2050	花崗閃緑岩		一面に使用痕

7						
6						
5						
4	1				1	
3			1	1		
2		3				
1					1	
A	B	C	D	E	F	

I 群土器

7	88	23	94	4		
6	36	27	172	62	16	14
5	152	36	53	66	66	46
4						
3	23	80	102	111	56	8
2	26	171	34	76	51	33
1	9	25	11	61	49	33
A	B	C	D	E	F	

II 群土器

7	264	28	301	60		
6	40	68	659	431	60	32
5						
4	251	156	239	674	1035	249
3	91	243	658	478	357	46
2	94	145	231	316	180	88
1	31	70	67	477	243	66
A	B	C	D	E	F	

III 群土器

7	4					
6	3					
5	4	9	126	64	23	8
4	209	49	69	148	100	25
3	247	136	93	85	67	12
2	454	119	136	68	92	11
1	315	104	115	155	67	4
A	B	C	D	E	F	

IV 群土器

图IV-48 包含层遗物分布(1)

	1					
6			4	1		
5	1	5	8	6	13	
4	26	81	24	30	20	6
3	39	35	24	31	14	
2	73	62	36	26	11	3
1	59	21	21	21	6	
A	B	C	D	E	F	

石錠

	1					
6				6		
5			3	34	51	11
4		14	4	24	39	49
3		15	12	15	35	32
2		37	32	20	31	109
1		43	13	21	128	16
A	B	C	D	E	F	

石錐

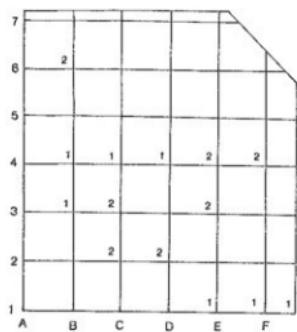
	1					
6	10	2	83			
5	1	4	36	10	1	1
4	7	17	100	19	21	14
3	7	1	16	21	2	3
2	6		14			1
1	7		11	8	10	
A	B	C	D	E	F	

楔石器

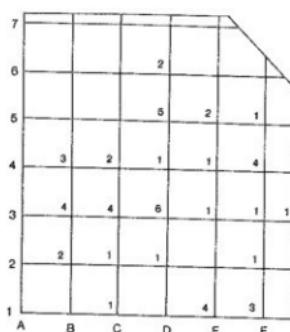
	1					
6			5	2		
5		1	6	7	5	4
4		11	11	8	14	28
3		6	14	13	14	8
2		5	6	10	6	3
1		1	6	3	13	4
A	B	C	D	E	F	

抉入石器

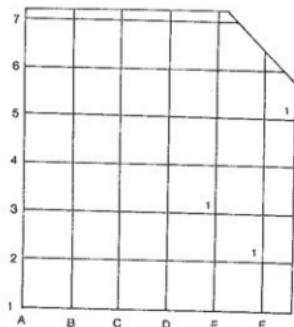
图IV-49 包含层遗物分布(2)



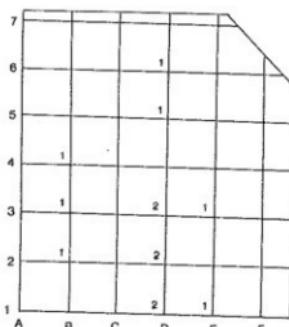
IV群 a 類土器



IV群 b 類土器



V群土器



石器

図IV-50 包含層遺物分布(3)

1	2	1				
2		3	2	1		
3	1	2	1	2	1	
4	2			2		
5	2	1	3			
6	3					
7						
A	B	C	D	E	F	

つまみ付きナイフ

1						
2	5	3	2	1		
3	1	6	13	9		1
4	16	11	16	20	8	4
5	9	14	20	13	4	1
6	5	12	18	12	6	2
7	3	3	8	5	4	
A	B	C	D	E	F	

削器

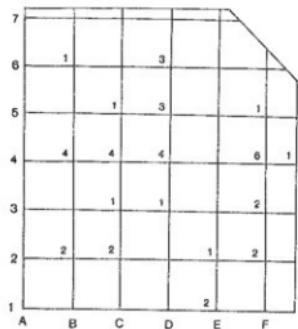
1	1	1	1			
2		2	2	2		
3	4	4	2	7	2	1
4	10	7	2	8	2	
5		5	2	2	6	
6	6	2	2	2	3	1
7						
A	B	C	D	E	F	

搔器

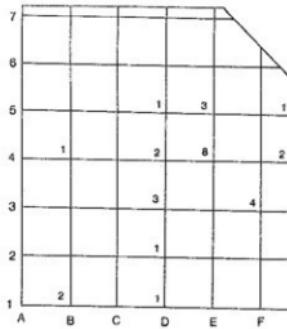
1						
2	5	5	5	3		
3	1	6	15	12	6	
4	14	10	11	33	28	13
5	17	19	19	28	9	4
6	8	14	12	21	13	
7	16	4	14	13	9	7
A	B	C	D	E	F	

R フレイク

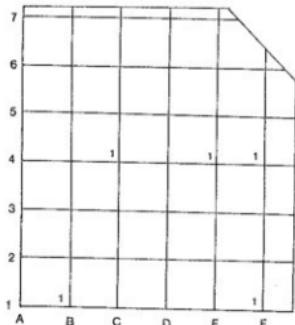
図IV-51 包含層遺物分布(4)



Uフレイク



石核



石製品



原石

図IV-52 包含層遺物分布(5)

7	21		21		
8	324	195	790	83	
5	337	551	1639	688	599 111
4	1471	1258	1696	2126	1959 1146
3	1750	2505	2324	2502	1355 142
2	1644	1486	1489	1770	1001 490
1	1051	662	872	1698	1397 231
A	B	C	D	E	F

フレイク・チップ

7					
6					
5			2		
4		1			3
3		1	2		6 1
2				2 1	
1	1	2		4	1
A	B	C	D	E	F

石斧

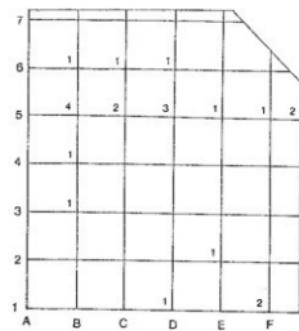
7					
6					
5					
4		1		3	
3				1	
2					1
1					
A	B	C	D	E	F

すり石

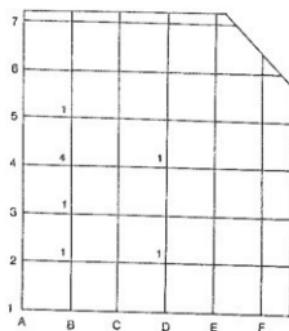
7					
6					
5					
4					
3				1	
2					1
1			1		
A	B	C	D	E	F

砥石

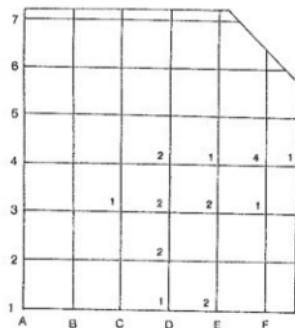
図IV-53 包含層遺物分布(6)



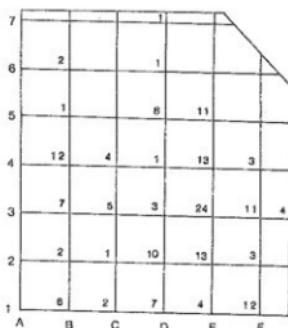
たたき石



石皿



台石



焼礫

図IV-54 包含層遺物分布(7)

第V章 関連科学

青苗B遺跡から出土した炭化種子について

*吉崎昌一・**椿坂恭代

1) 遺跡の調査の概要

遺跡の名称：青苗B遺跡

遺跡の所在地：奥尻町字青苗

調査期間：平成9年5月6日～同年7月4日

調査主体：奥尻町教育委員会

担当者：木村哲朗

遺跡の年代：縄文時代後期、繩文時代晚期、統縄文時代初頭～前葉、擦文時代。

2) 扱った資料

分析資料として依頼された炭化植物は、統縄文時代初頭から前葉に編年される大狩部式、兜野式、恵山式を伴う骨片集中地点B-10・11・13に関連するものである。これらの地点は、いずれも砂丘状に位置しているため、間層を挟んで上下に明確に異なった土器形式の差を認めることは困難であるらしい。

検出された各骨片集中遺構からは土壤は採取され、フローテーション法で処理されている。その後、第1次選別作業で種子以外のものを除去し、残りの植物種子が分析用として送付されてきた。これを分類し、実態顕微鏡と走査型電子顕微鏡で観察と撮影をおこなった。各遺構から出土した炭化種子は極めて少量であった。伴出遺構、層準、時期、種類、数量などの情報を加えて一覧表に作成しておいた（図V-1）。

3) 分析結果

分析に耐えた植物種子は図V-1に示すように、破片を入れて15個しかない。形態その他で分類してみると、ヒエ属*Echinochloa Beauv.*種子がB-11から1粒、マタタビ属*Actinidia Lindl.*種子の破片がB-13から1点、ウルシ属*Rhus L.*の種子の破片がB-11から1点、ブドウ属*Vitis L.*の完形のものがB-11から1粒と破片が10点、他に破片がB-10から1片抽出された。

4) ヒエ属種子の問題

検出されたヒエ属の種子（図版-1、1a～c）を見ると、形態的にはイヌヒエ*Echinochloa crus-galli Brau.*と異なり、側面が膨らんだタイプで、側面から観察するとその厚さはイヌヒエより厚い。

資料は1例しかないので明確な結論を得るのは難しいかも知れぬが、形態的にはいわゆる縄文ヒエより後世のヒエ*Echinochloa utilis Ohwi et Yabuno.*に類似するものである（納板：1993）。大きさは長さ1.5mm、幅は1.3mm、厚さは0.7mmを計る。同属のヒエは、北海道埋蔵文化財センターが発掘した渡島管内の上磯町茂別遺跡で統縄文時代前半のものに伴出した（吉崎・椿坂：1998）。東北地方では、北海道の大狩部式相当期の直前と思われる土器形式（砂沢式土器、東北地方の専門家は弥生文化に属する、と考えている）を出土した青森県八戸市八幡遺跡12号住居においてイネ、アワ、キビ、コムギ、オオムギなどの栽培種とともに検出されている（吉崎：1992）。こうした状況を考慮すれば、北海道西南部の統

縄文文化は、北辺の弥生文化として位置づけられるのではないか。土器の形態や文用の類似などからも、そう考えるのが合理的である。

統縄文文化や北辺の弥生文化の実態分析を通じて、概念の再検討が必要なのであろう。

引用文献

橋坂恭代

1993：アワ・ヒエ・キビの同定，“先史学と関連科学”261～281，吉崎昌一先生還暦記念論週刊行会

吉崎昌一

1992：青森県八幡遺跡12号立て穴から検出された雑穀類とコメほかの植物種子，小笠原善範 編集
八戸市埋蔵文化財報告書第47集 “八幡遺跡発掘報告書Ⅱ平成4年度” 59－73，八戸市教育委員会

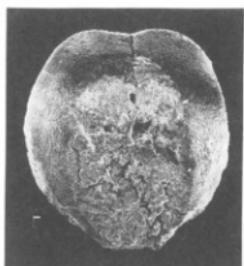
吉崎昌一・橋坂恭代

1998：茂別遺跡より出土した炭化植物種子について，㈱北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第121集“上磯町 茂別遺跡”第2分冊 84－99，財團法人 北海道埋蔵文化財センター

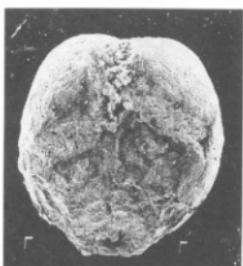
* 札幌国際大学 * * 北海道大学埋蔵文化財調査室

表V-1 青苗日遺跡出土炭化種子表

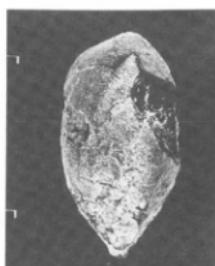
土壤採取遺構	層位	時期	ヒエ属	マタタビ属	ウルシ属	ブドウ属
			(粒)	(片)	(片)	(粒)
骨片集中範囲-10(石組炉)	II層下位	縄文時代初頭～前葉	-	-	-	1
骨片集中範囲-11	II層	縄文時代初頭～前葉	1	-	1	1
骨片集中範囲-13	II層	縄文時代初頭～前葉	-	1	-	-
			1	1	1	11



1 a ヒゴ属 背面



1 b ヒゴ属 腹面



1 c ヒゴ属 側面



2 a ブドウ属 背面



2 b 腹面

第VI章 総括

本遺跡からは、極めて多くの遺構・遺物が出土した。そこで、各時代毎にその状況を見てゆきたい。

1. 繩文時代中期

本遺跡に於て最も古い時期の遺物として円筒上層の図IV-1の1が認められるが、摩耗が著しく、もともとこの地点にあったものであるかどうかは疑わしい。それに対し、明らかに当地点に持ち込まれたものとしては図IV-1の3がある。この上器は突瘤文と内面に施された縄文を特徴とするもので北筒式ないし余市式に近いものと考えられる。時期的にはノダップⅡ式～レンガ台式などに相当するものと考えられる。当該期の遺跡である吉苗遺跡C地区、F地区では多量のノダップⅡ式、レンガ台式など在地系の上器が検出されているが、本遺跡では破片で2・3点ほどしか出土していない。遺跡全体からすれば一部分の調査のために明確なことは言えないが、この土器の所有者が何らかの理由で伝統的な生活の場である段丘上を避け、砂丘上に住み分けするかたちで居住していた可能性がある。

2. 繩文時代後期

この時期は前葉では遺物は数少なく、入江式の破片が散見される程度であるが、中葉になると俄かに遺物量が増える。図IV-1の14は手桶式と考えられる土器で底部以外はほぼ完形となったものである。この他、当時期と考えられるもので16・17のような円形刻文文を施したものも認められている。

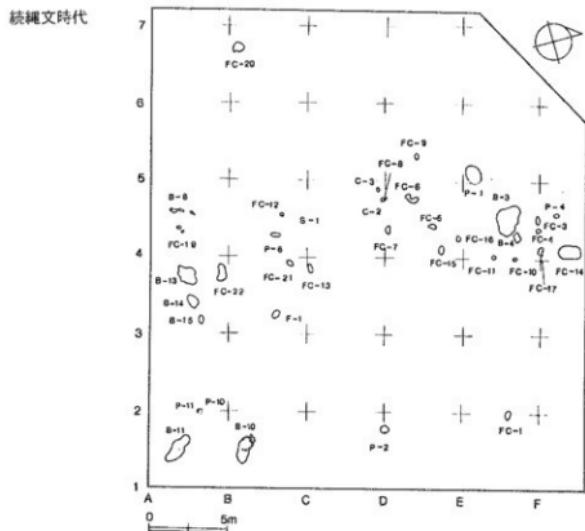
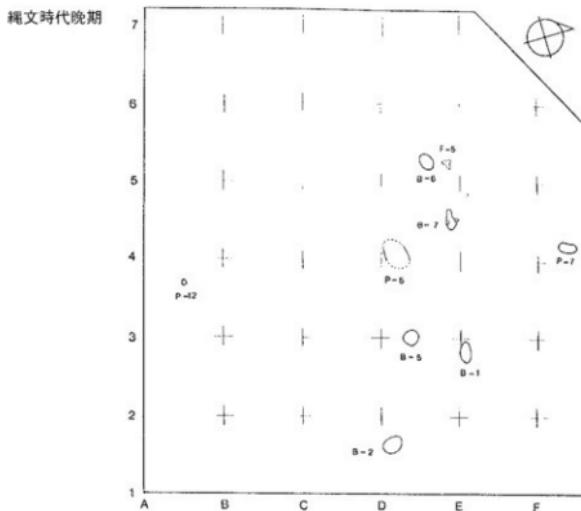
それに続くホッケマ式相当期ではかなりの遺物がV層を中心に検出されている。V層は他の層位と異なる特徴として石鐵や石鉈が多いが、比較的フレイク・チップは少ない。また、土器片は多いものの復元個体は余り多くない。唯一の完形土器は図IV-2の22がある。この当りを含むE・F-4グリットには当時期の遺構が残っており、焼土2ヶ所を始め、炭化物集中範囲1ヶ所、台石1点が認められ、周辺に骨片も散在している。場の状況などから動物を解体加工する作業場の可能性がある。また、遺跡の中央部を走る沢状の地形の認められる辺り（図II-3）からは、多くのホッケマ式土器片や、未製品を含めた石鐵・石鉈・抉入石器が出土している。このことは、当時この地点が狩猟生活における重要なスポットであったことを物語っているものといえよう。

繩文時代後期後葉では、堂林式、御殿山式などが散見されるが、その多くは破片であり少量がIV・V層から検出されている。

3. 繩文時代晚期

当時期では多くの、遺構、遺物が検出されている。その大半が繩文時代晚期前葉の1種、つまり上ノ国式に属するものである。遺構は5基の骨片集中範囲が確認された。そのうち、4基からは大型の礫が伴い、それぞれ、台石のような役割を担っていた可能性がある。骨片は比較的細かいものが多い。B-7では、その南側に接して焼土が1ヶ所検出され、何らかの関わりが考えられる。なお、これらの骨片集中のなかで最も骨片の遺存度の高かったのはB-6であり、土器も多量に出土、骨片は上器片の下などに沢山検出され、一括廃棄したものである可能性がある。出土した骨片の種類はB-1が鳥骨、B-5・6がアシカ科の海獣骨、B-7でホッケ骨が多く出土する傾向があり、なんらかの、場の使い分けがなされていたのかもしれない。なお、これらの遺構は沢状の地形（図II-1）に沿って分布しており（図VI-1）、当時の遺構が沢水と密接に関わっていたことを物語る。

同時期の2種、つまり大洞B式相当の土器も本遺跡では少なからず見つかっている。分布は発掘区体にまばらに認められ、分布上の偏りは明確に認められない。遺構は明確に判断できるものはないが、P-7から同2種の破片と考えられる土器が発見されていること、形状が大洞式を伴う土壙墓の形状に似て



図VI-1 時期別遺構分布図

いること、西隣のグリットから図IV-13の231が出土していることなどから、P-7が2種に伴う遺構の可能性がある。

4. 繩文時代

この時期は遺構、遺物ともに最も多くが検出されている。遺構は土壙5基、骨片集中範囲9ヶ所、フレイク・チップ集中範囲20ヶ所である。当時期の土器はIV群a類（青苗B式、大狩部式、兜野式、トニカ式、東歌別式など）と、b類（砂沢式相当のものや、南川III群・IV群）であり、遺構もほぼこの時期に該当するものである。なお、a類とb類の層位的な差は明確に捉えることができなかった。

当時期の特徴は9ヶ所もの骨片集中範囲と20ヶ所ものフレイク・チップ集中範囲があることで、当時期のこの地点が海産物や剥片石器類の加工を行う作業場であったことを物語っている。

骨片集中範囲はA-1グリットにB-11、A-3グリットにB-13、14、15、A-4グリットにB-8、9、B-1グリットにB-10、E-4グリットにB-3、4が検出されている。特徴的なことは、沢状の地形を境に南側は7ヶ所が分布し、北側には2基のみである（図VI-1）ことである。また、南側では石組の伴うもの1基、ほぼ円形の焼土の伴うものが3基認められている。出土した骨片についても、南側のものからはB-10からはアイナメが、B-11・13についてはカレイ類が特徴的で、カサゴ類が少ない。これに対し、北側のB-3は石組、焼土は認められず、骨片はカサゴ類が目立ち、アイナメやカレイ類が認められないという違いがある。カサゴ類が磯魚で沿岸で磯釣りの対象となっているのに對し、カレイ類が砂底、磯底で捕る魚であることを考えると、南側の骨片集中範囲を造したのは少なくとも船をだして漁をする集団である可能性が高いと考えられる。

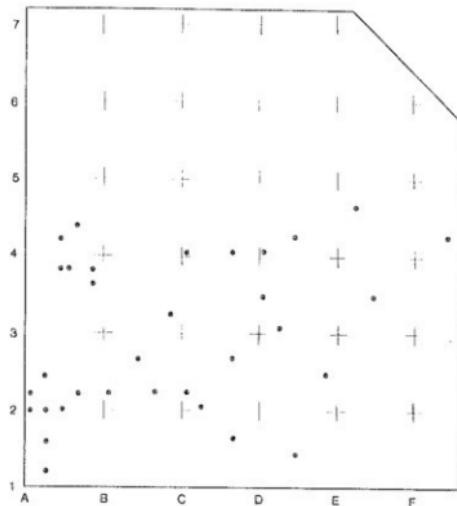
一方、フレイク・チップ集中範囲も、沢状の地形を境に分布状況が異なる傾向が認められる。

北側では、F・C-1・3~11・14~17が分布する。F・C-1を除くとD-4~6グリットやE・F-4グリットに分布が集中し、計14ヶ所もの集中範囲が認められる（図VI-1）。この地区での各集中範囲は粗いフレイクが出土する地点から、細かいチップが出土するなど様々な段階のものが存在し、各集中範囲により場を使い分けているものと考えられる。各集中範囲のフレイク・チップは一塊に接合するものではなく、F・C-7のものが原石面のあるフレイクを中心に部分的に接合したにすぎなかった。F・C-7は原石面を剥がし取る作業を行っていたと考えられるが、他のフレイク・チップ集中範囲においても一部のフレイクどうしが接合したのみであることから、本道跡の作業場である程度の調整を行ったのち、本体はもじ出されたものと考えられる。恐らく、ここで奥尻特産の貞岩の原石を利用しやすいように加工し、本体を“輸出”していたものと推測される。なお、この中にあってF・C-4は若干状況が異なる。ここでは細かいチップが多く、貞岩に対し黒曜石の比率が高い。このことから4は石器の細部調整をおこなった場所と考えられ、他の地点とは逆に、輸入した黒曜石のフレイクなどから、何らかの石器を作っていたと考えられる。また、F・C-4の属するE-4区やF-4区のⅡ層からは安山岩製のフレイクが集中で出土している。この安山岩も、奥尻産のものであり、ここで何らかの加工を行っていた可能性がある。D-4~6区やE・F-4区は奥尻特産の貞岩や安山岩の原石を加工し、輸入した黒曜石を二次加工するなど、石器の素材をめぐる交易と加工の場と位置付けられよう。

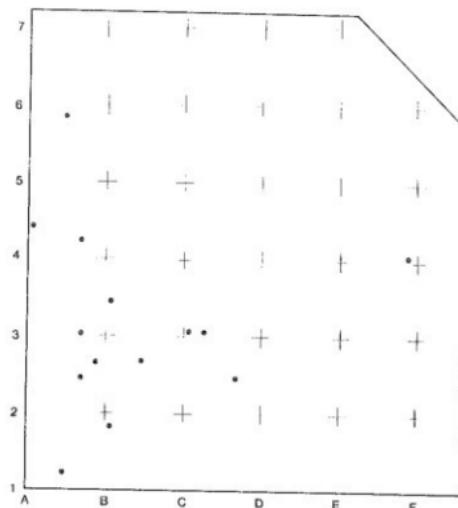
一方、南側は、F・C-12・13・19・21・22が認められる（図VI-1）が、F・C-12は同じ位の大きさのフレイクが1ヶ所にまとめて置かれていた状況であり、19は極めて小範囲、22は、唯一骨片集中範囲から復元土器が出土し、一括施楽場と考えられるなど、石器加工場的な様相を呈する場所が少ないのが特徴である。

このことは同じ縄文時代初頭～前葉でありながら沢状地形を挟んで異なる作業領域として機能していたことを示すものと言える。北側が石器の加工に関わる作業場であるのにたいし、南側は海産物の解体と加工の領域であると考えらるよう。なお、Ⅱ層において搔器と焼縄が南側に、台石と原石が北側に分布が偏っている。これらも沢状地形を境にした場の在り方の違いを反映したものと考えられる（図VI-4~8）。

1種

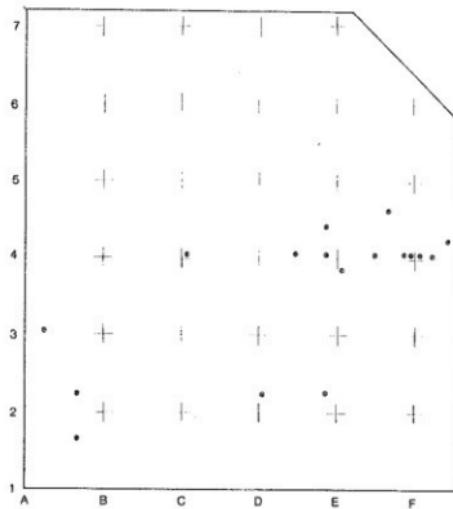


2種

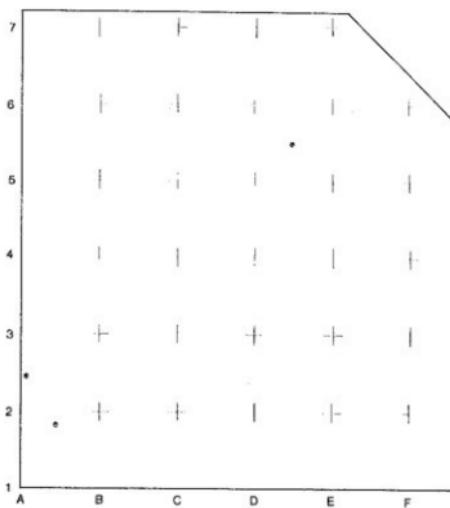


図VI-2 IV群a類土器分布

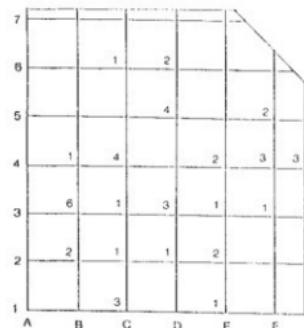
1種



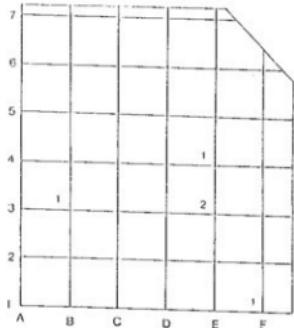
2種



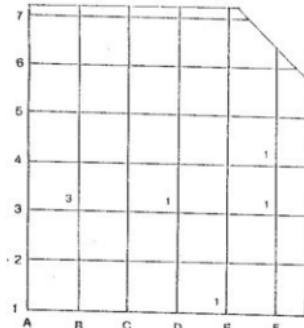
図VI-3 IV群 類土器分布



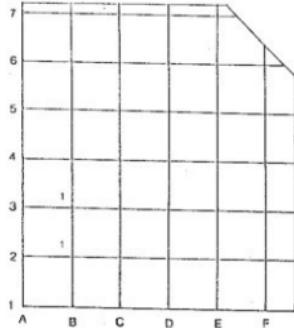
石器



石錘

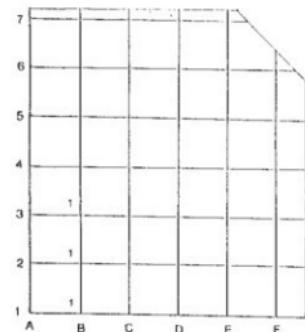


石錐

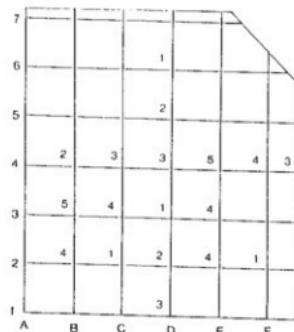


抉入石器

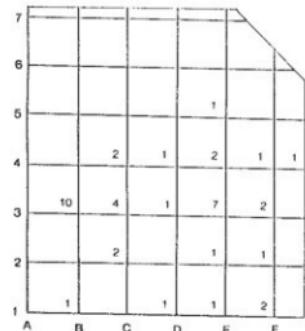
図VI-4 II層出土遺物分布(1)



つまみ付きナイフ



削器

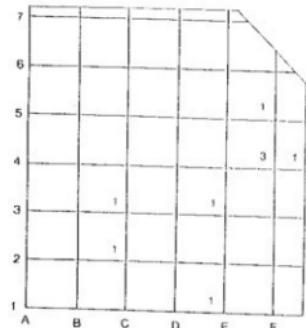


掻器

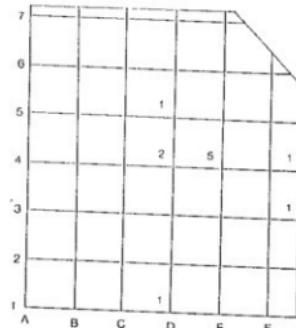


Rフレイク

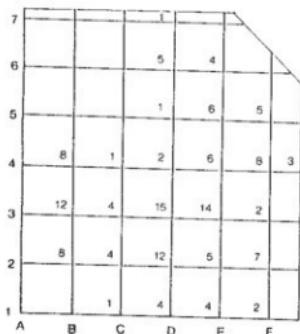
図VI-5 II層出土遺物分布(2)



Uフレイク



石核

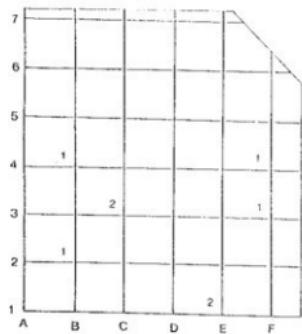


原石

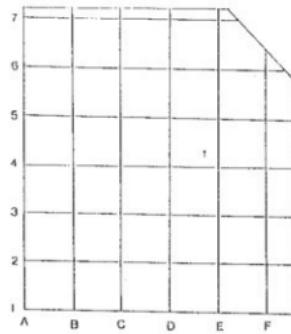


フレイク・チップ（安山岩）

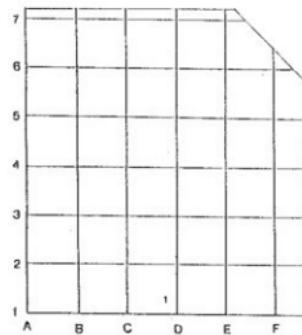
図VI-6 II層出土遺物分布（3）



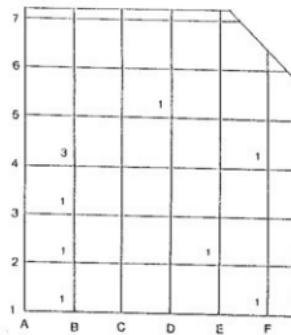
石斧



すり石

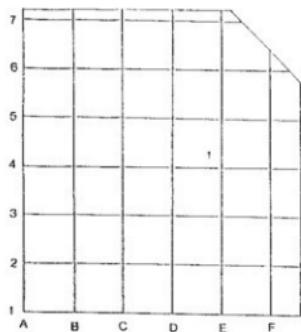


砥石

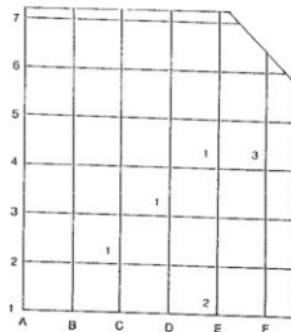


たたき石

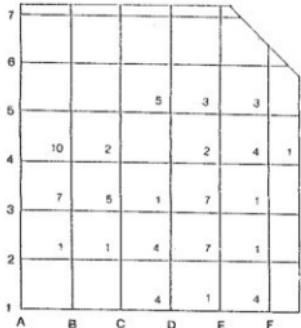
図VI-7 II層出土遺物分布(4)



石皿



台石



焼礎

図VI-8 II層出土遺物分布(5)

土器の分布傾向においても、このような場のあり方に相關するような分布を示すものがある。

図VI-2及び3はIV群土器のうち、復元土器の最大破片もしくは最も破片が出土した小グリットを1個体につき1箇所点を落とし、各種別に主要な土器の分布傾向を示したものである。

IV群a類1種はAラインにその分布の中心があり、南側がその分布の中心であるが、北側にも比較的ランダムに分布しており沢状の地形を境にした場の状況の差は明確に認められない。それに対し、IV群a類2種の分布は明らかに南側の“海産物の解体と加工の領域”と重なり、注目される。

一方、IV群b類では1種がD～F-4区に分布が偏り、北側の“石器の加工に関わる作業域”とほぼ一致する。のことからIV群a類2種と“海産物の解体と加工の領域”及びIV群b類1種と“石器の加工に関わる作業域”が沢状の地形を境にある種の場の規制のもとで対峙していたことを示唆するものと言えよう。標高からみると、“石器の加工に関わる作業域”は“海産物の解体と加工の領域”よりも標高が高く海成段丘の斜面に近い。このことは背後に迫る貝塚台地や“沢”を介して石器の原石を採集できる内陸へと向かうのに好都合だったからと思われる。一方、標高の低い“海産物の解体と加工の領域”は眼前に広がる砂丘を介して海に開かれていたと考えられる。そして、この砂丘を舞台にそれぞれ異なる系譜に属するひとびとが、自分たちの特技を生かしつつ活動し、活発な交易活動を行なっていたと考えられるのである。

南川IV群に相当するIV群b類2種土器は、復元土器が3点と少なく、1種に認められるような場の規制も確認できない(図VI-3)。この時期では当地点が人間の生活の場として頻繁に利用されなくなってきたことを示すものと言える。理由として、弥生海進の進行による生活域の減少などが考えられるかもしれない。

5. 撥文時代

当時期の包含層はII層の上位であるが、その殆どは消失しており、遺構もP-3が1基のみである。P-3の性格は不明である。当時期の出土土器は背後の山本台地や貝塚台地より出土したものと同時期のものが出土し、両台地より続く撫文時代後期の生活の場があったものと考えられる。

「引用参考文献」

- | | | |
|-----------|------|------------------------|
| 木村哲朗 | 1997 | 「青苗遺跡(F地区)」奥尻町教育委員会 |
| 木村哲朗・石橋孝夫 | 1995 | 「堀株神社遺跡」泊村教育委員会 |
| 佐藤忠雄 | 1978 | 「奥尻島米岡第2遺跡」奥尻町教育委員会 |
| 佐藤忠雄 | 1981 | 「奥尻島青苗遺跡」奥尻島教育委員会 |
| 佐藤忠雄 | 1982 | 「奥尻島松江遺跡」奥尻町教育委員会 |
| 田部 淳 | 1996 | 「ヘロカルウス遺跡E～G地点」泊村教育委員会 |
| 田部 淳 | 1997 | 「ヘロカルウス遺跡群」泊村教育委員会 |

写 真 図 版

図版1

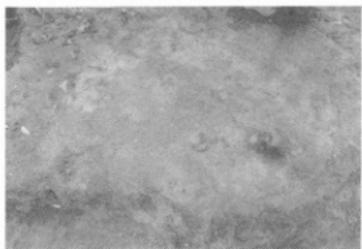


遺跡全景

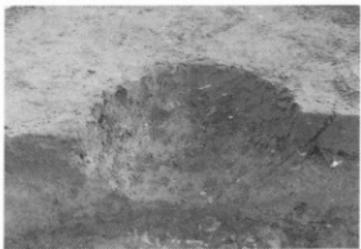


発掘風景

図版2



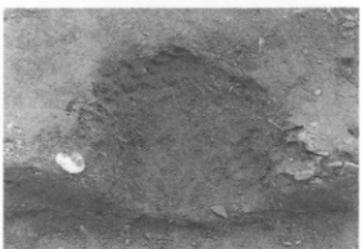
P-1



P-2



P-3



P-4



P-5



P-5 セクション



P-6

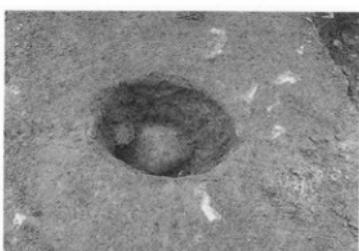
図版3



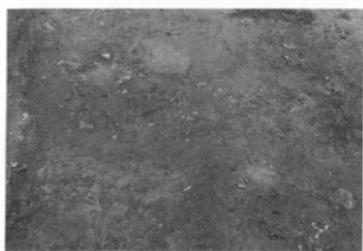
P-7



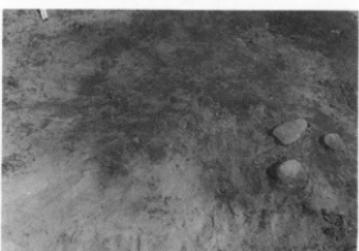
P-10・11



P-12



B-2



B-3

図版4



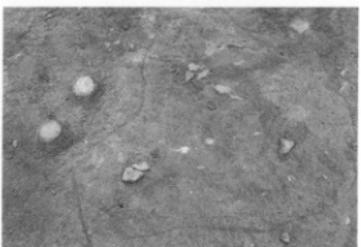
B-6



B-8



A 4 グリット骨出土状態



B-10



B-10 石組出土状態

図版5



FC-4



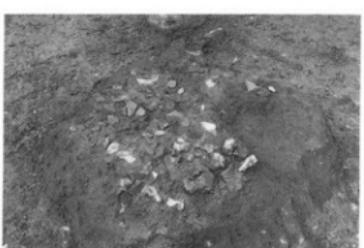
FC-5



FC-6



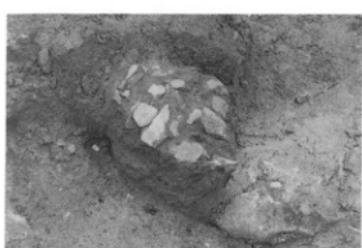
FC-7



FC-8



FC-9

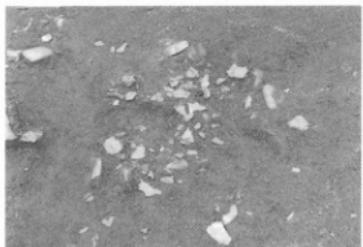


FC-12



FC-13

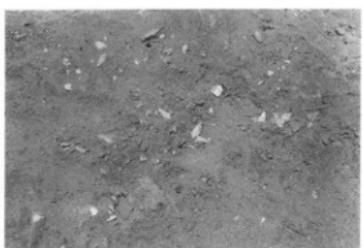
図版6



FC-15



FC-16



FC-17



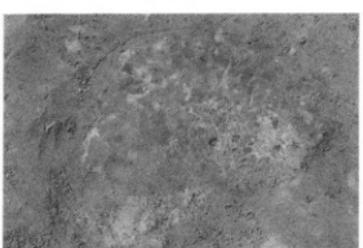
FC-20



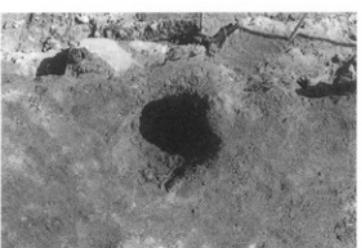
FC-21



S-1

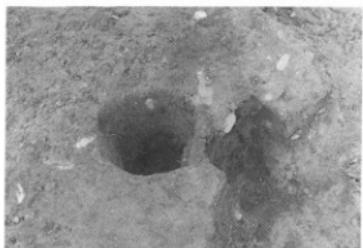


C-1

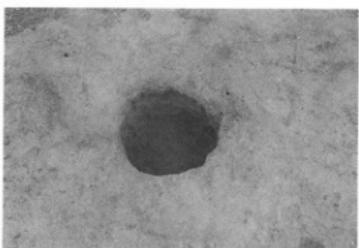


SP-6

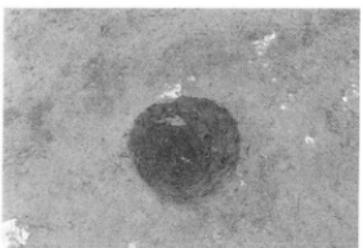
図版7



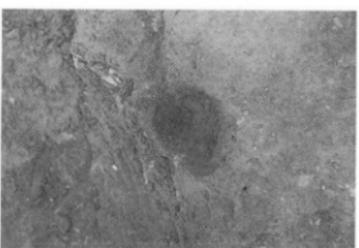
SP-7・8



SP-12



SP-13



SP-14



FC-16とIV群b類土器出土状況

図版8



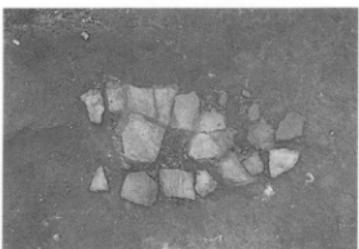
II群b 類土器出土状況



III群a 類土器出土状況



III群a 類土器出土状況



IV群a 類土器出土状況



IV群b 類土器出土状況



V群土器出土状況



砾石出土状況



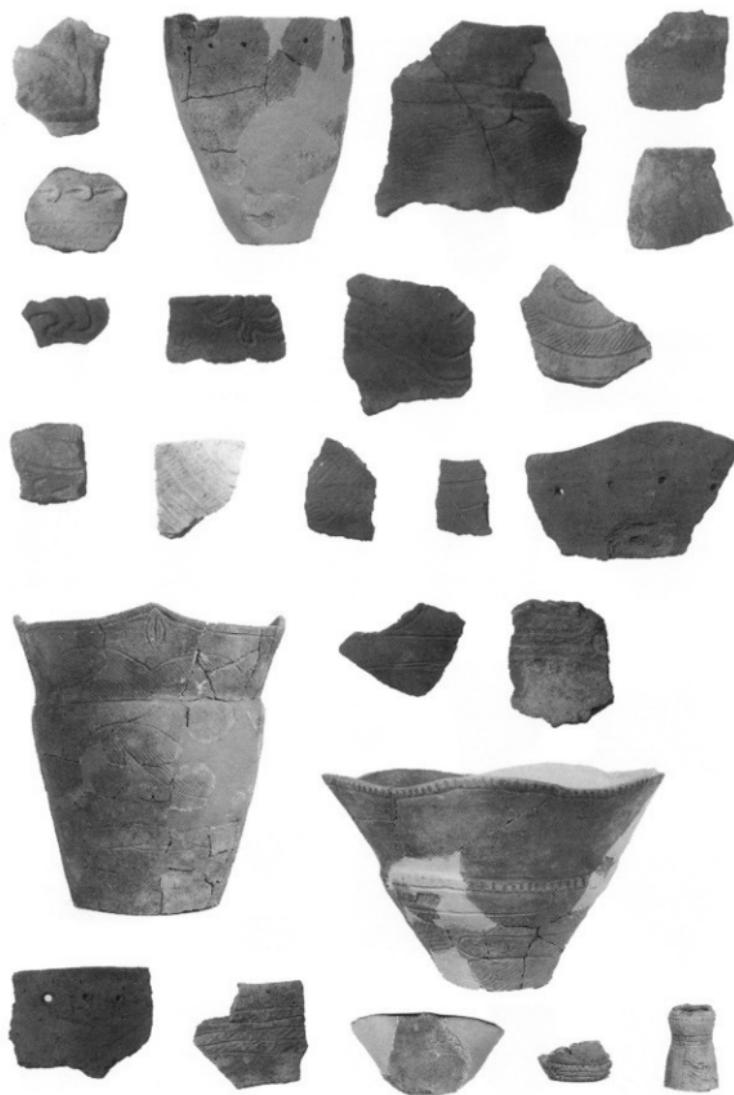
台石出土状況



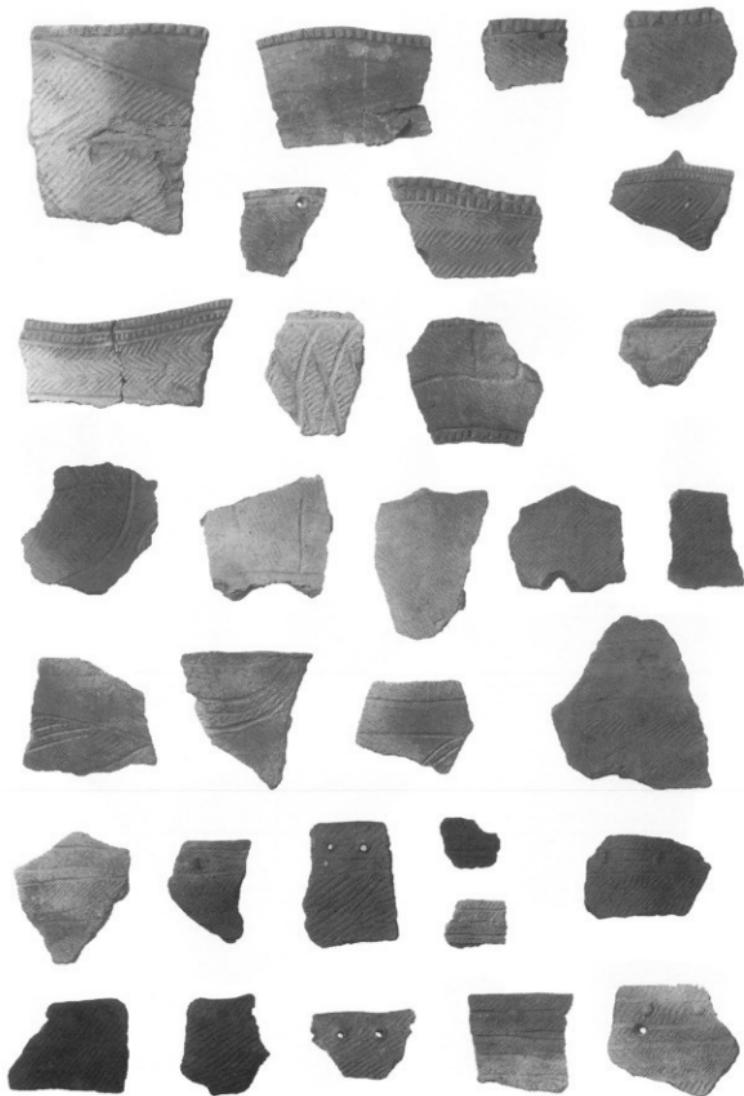
遗构出土遗物（1）



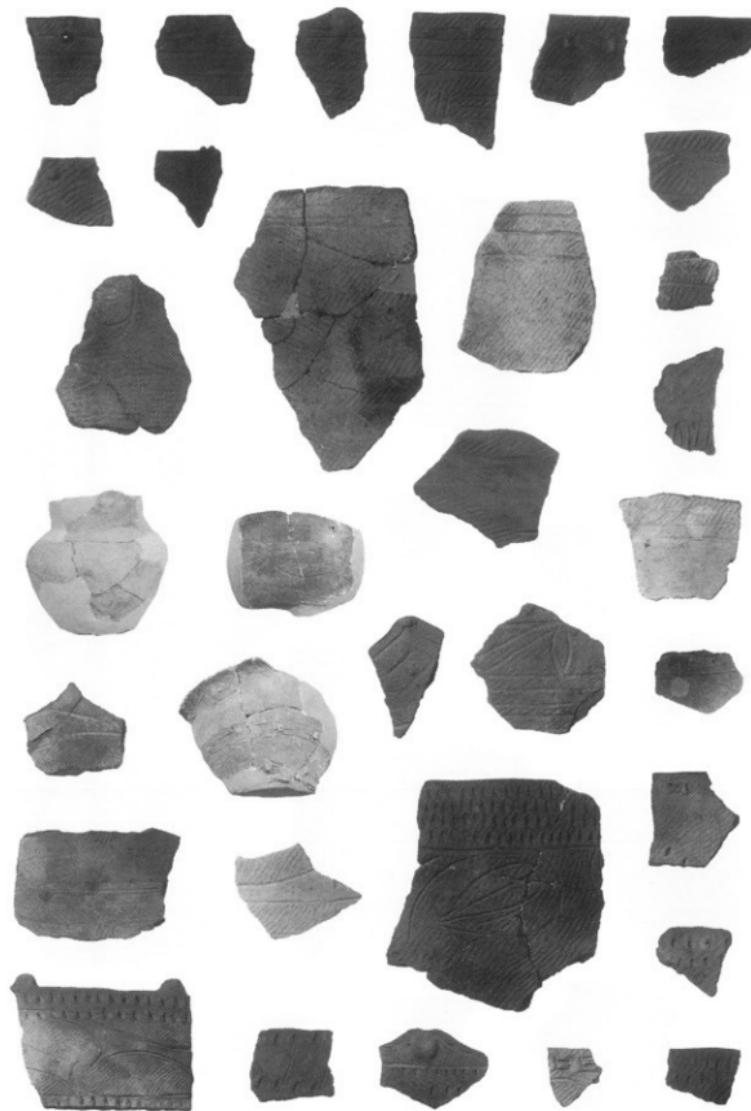
遺構出土遺物（2）



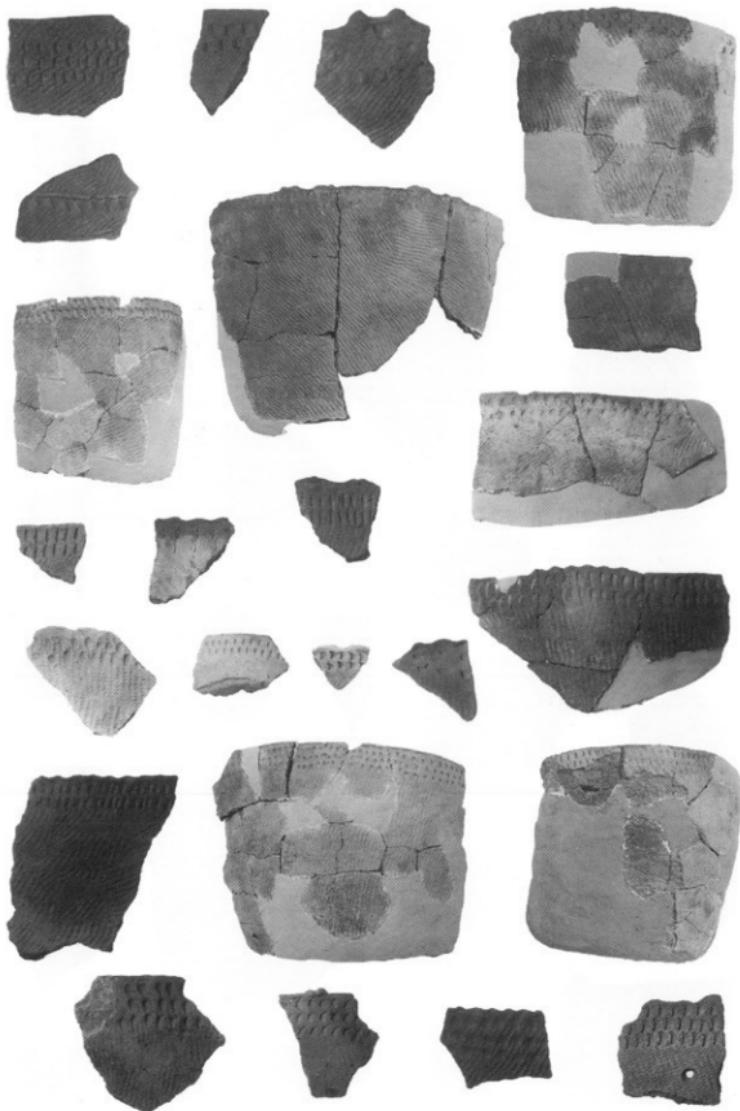
包含层出土土器（1）



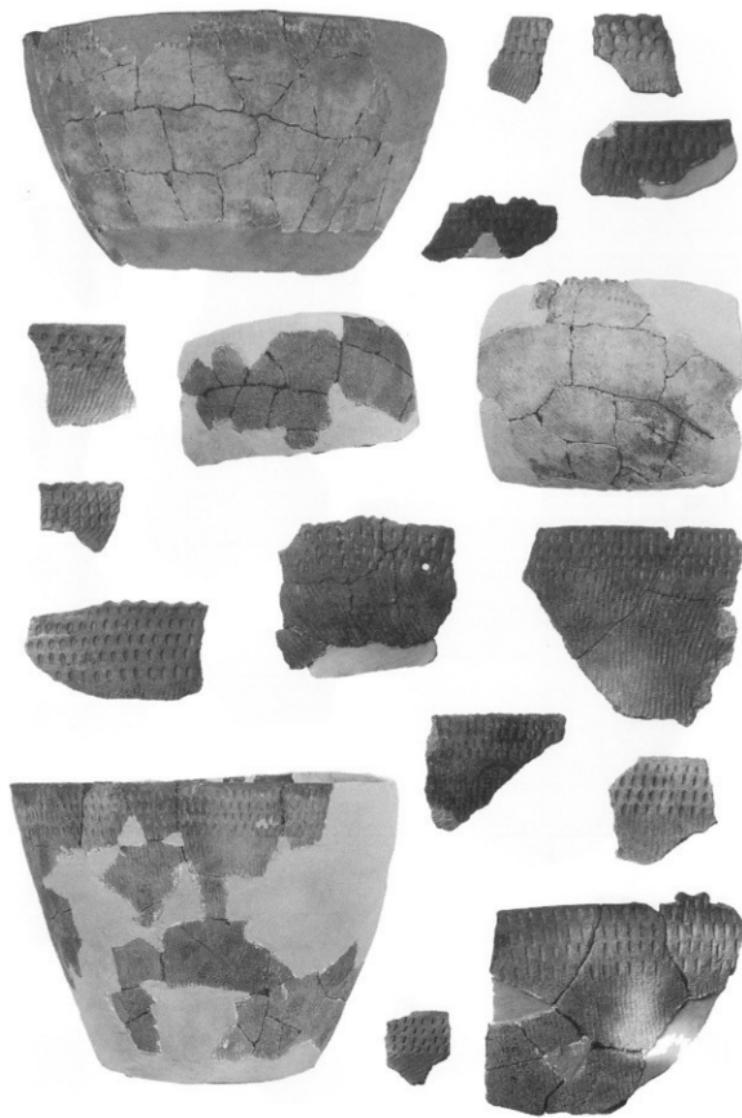
包含层出土土器 (2)



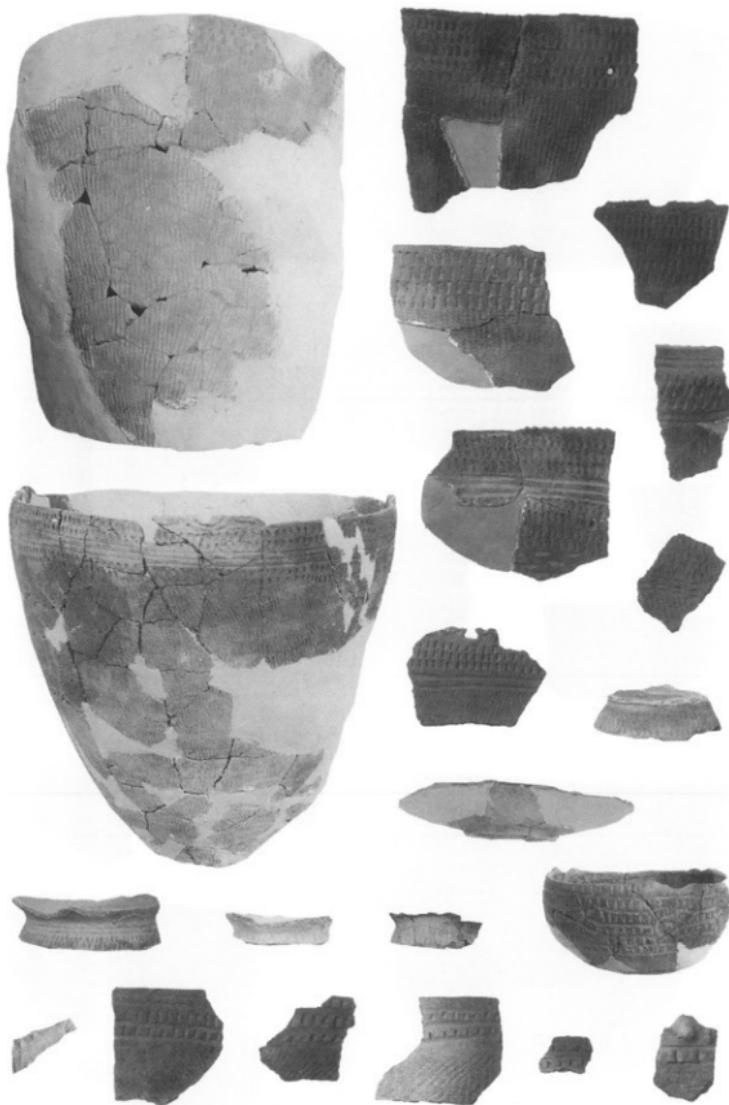
包含层出土土器（3）



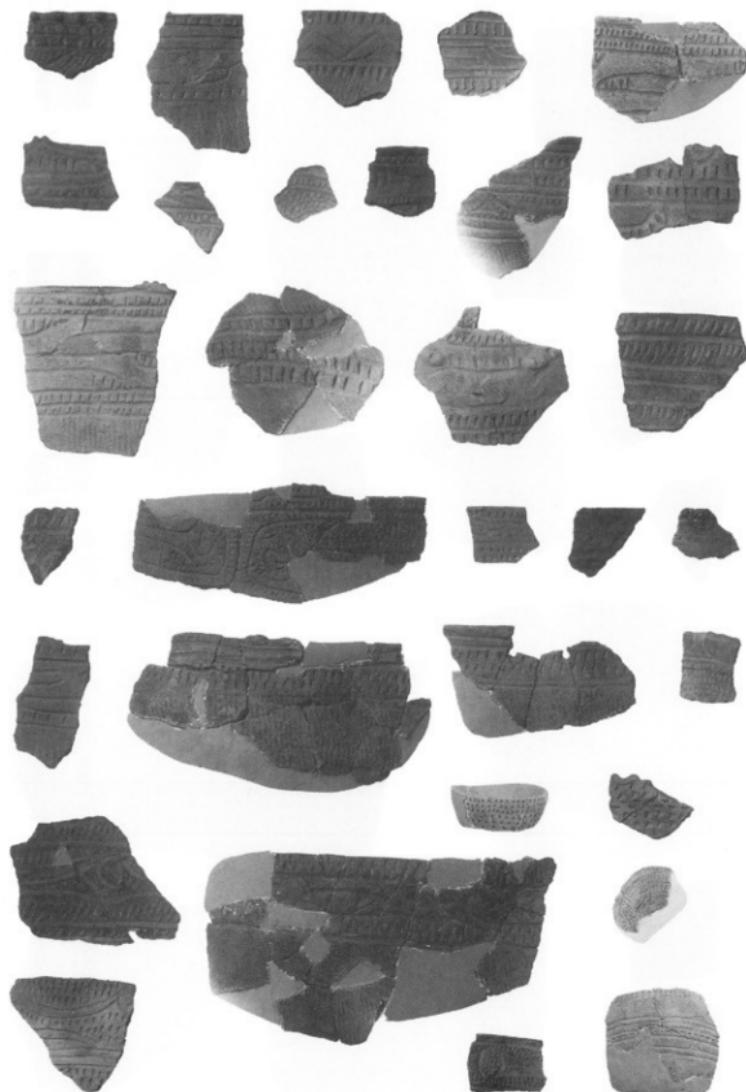
包含層出土土器（4）



包含層出土土器（5）



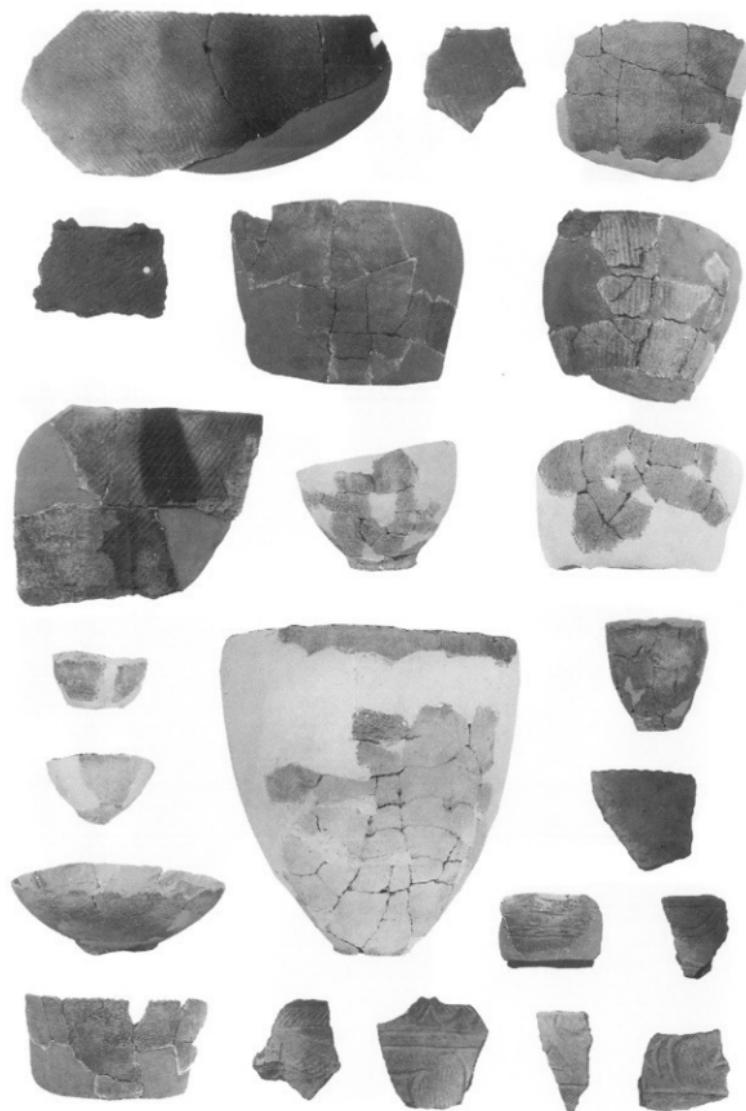
包含层出土土器 (6)



包含层出土土器 (7)



包含層出土土器（8）



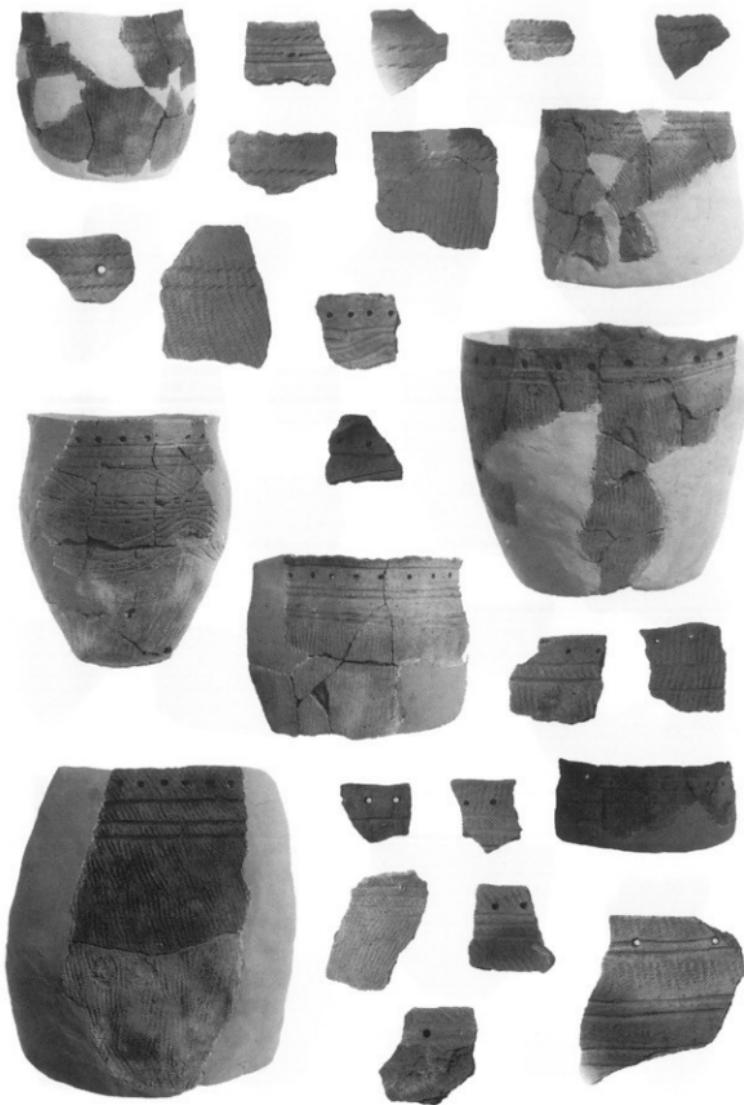
包含層出土土器（9）



包含層出土土器（10）



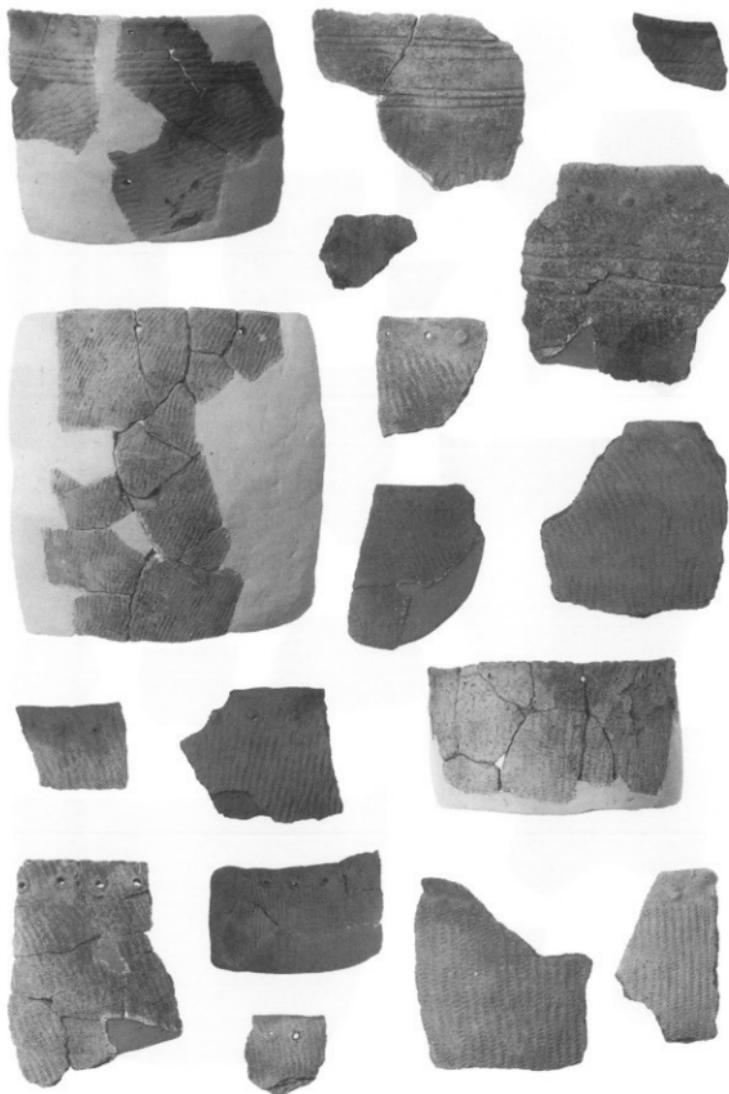
包含層出土土器 (11)



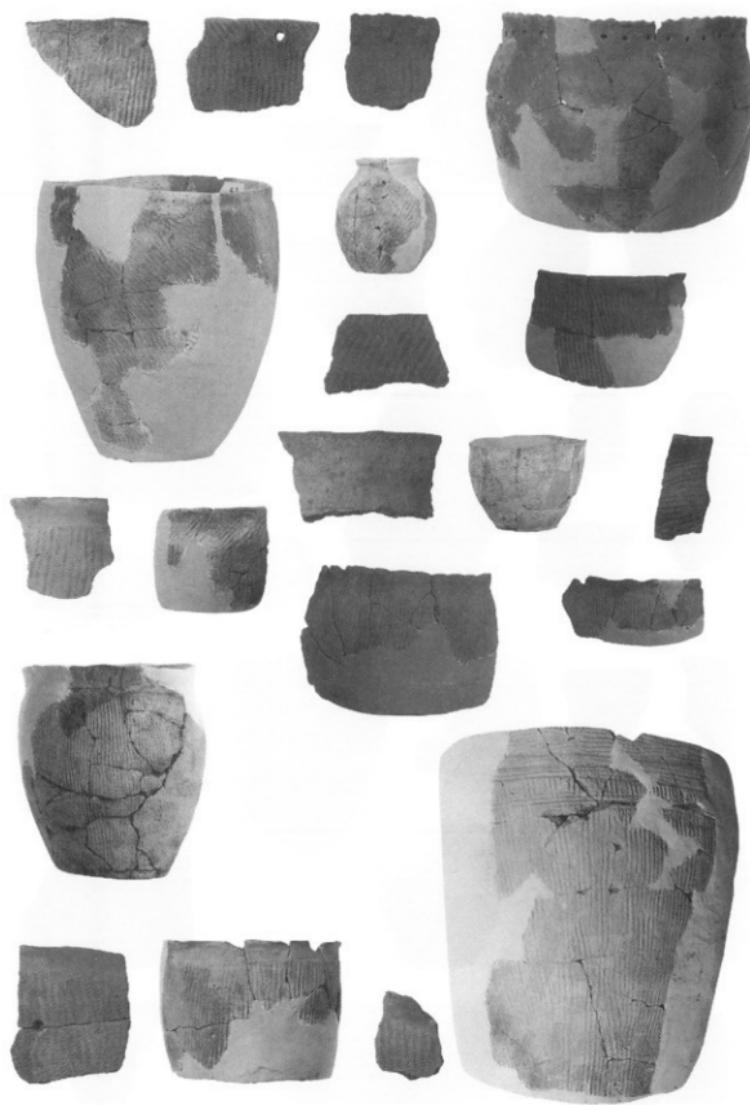
包含層出土土器 (12)



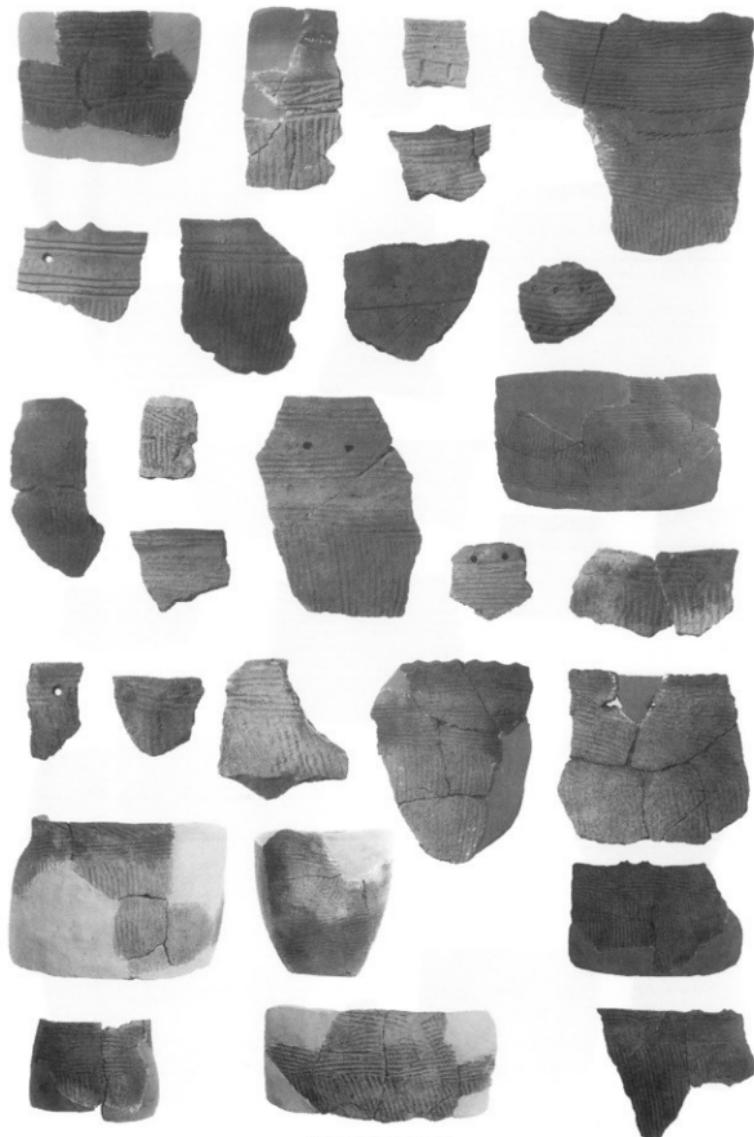
包含層出土土器 (13)



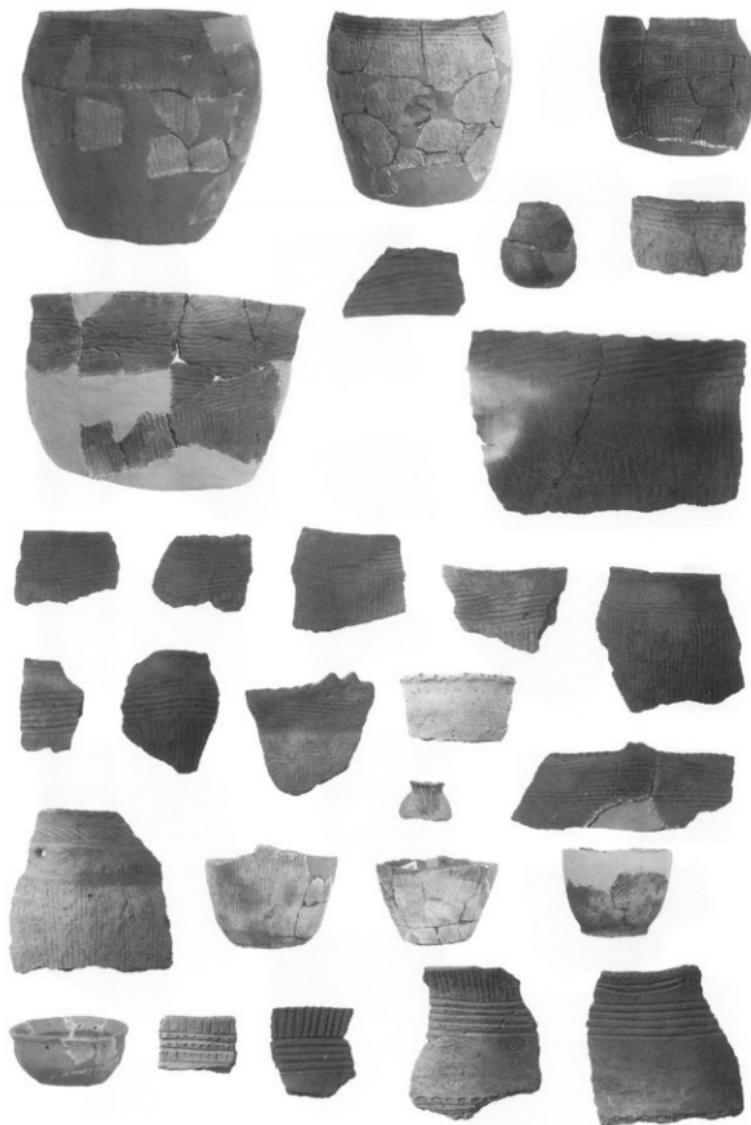
包含层出土土器 (14)



包含层出土土器 (15)



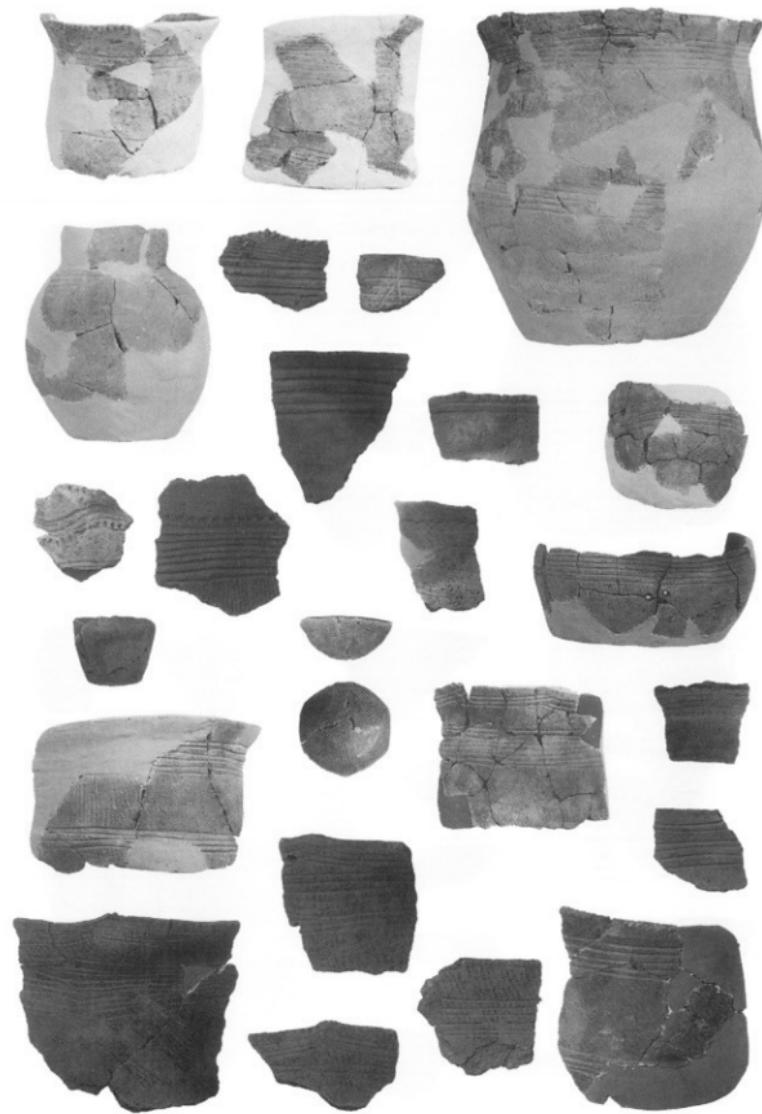
包含层出土土器 (16)



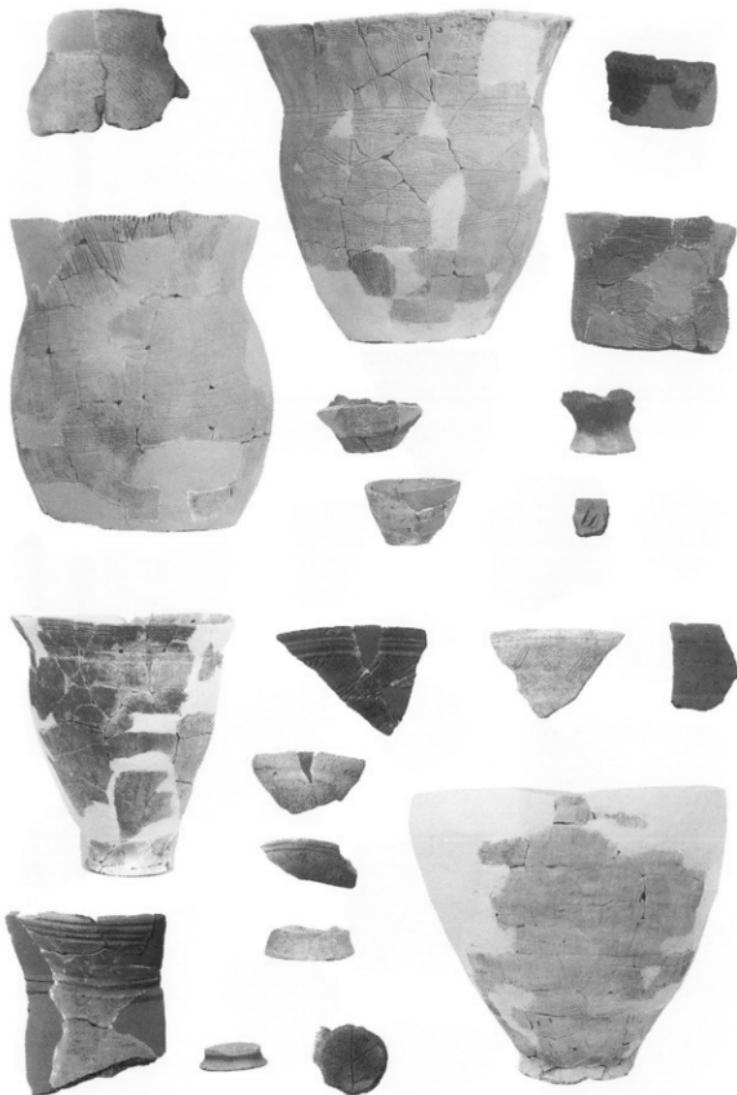
包含层出土土器 (17)



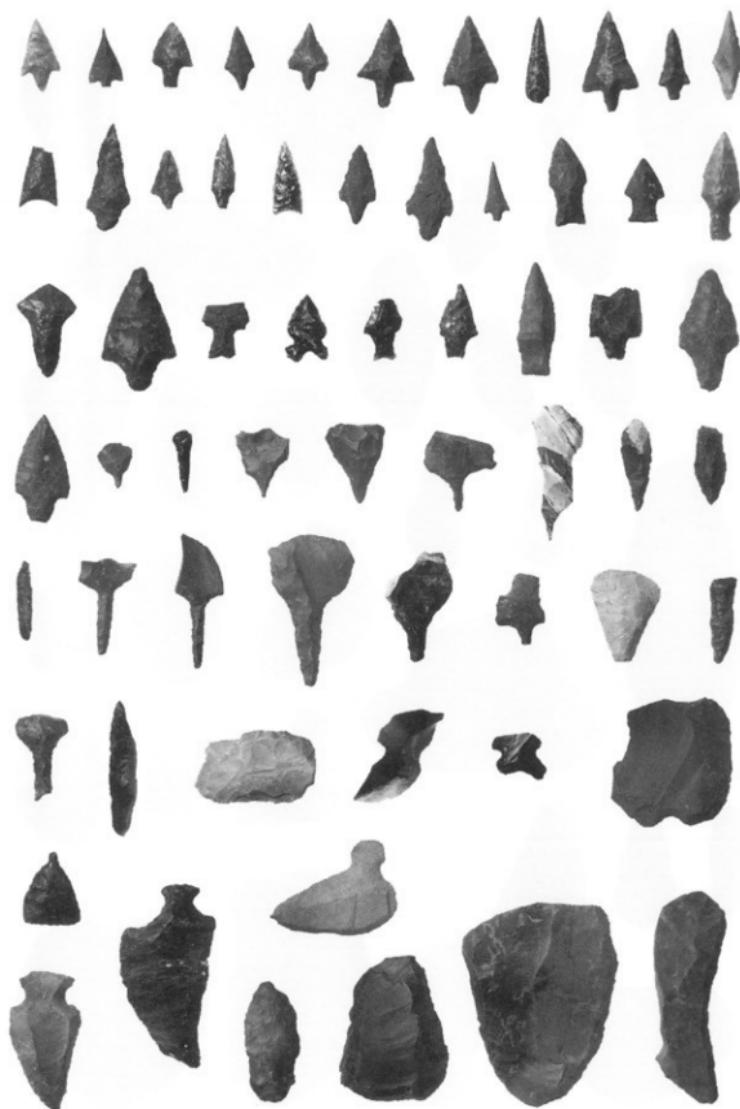
包含層出土土器 (18)



包含層出土土器 (19)



包含層出土土器（20）



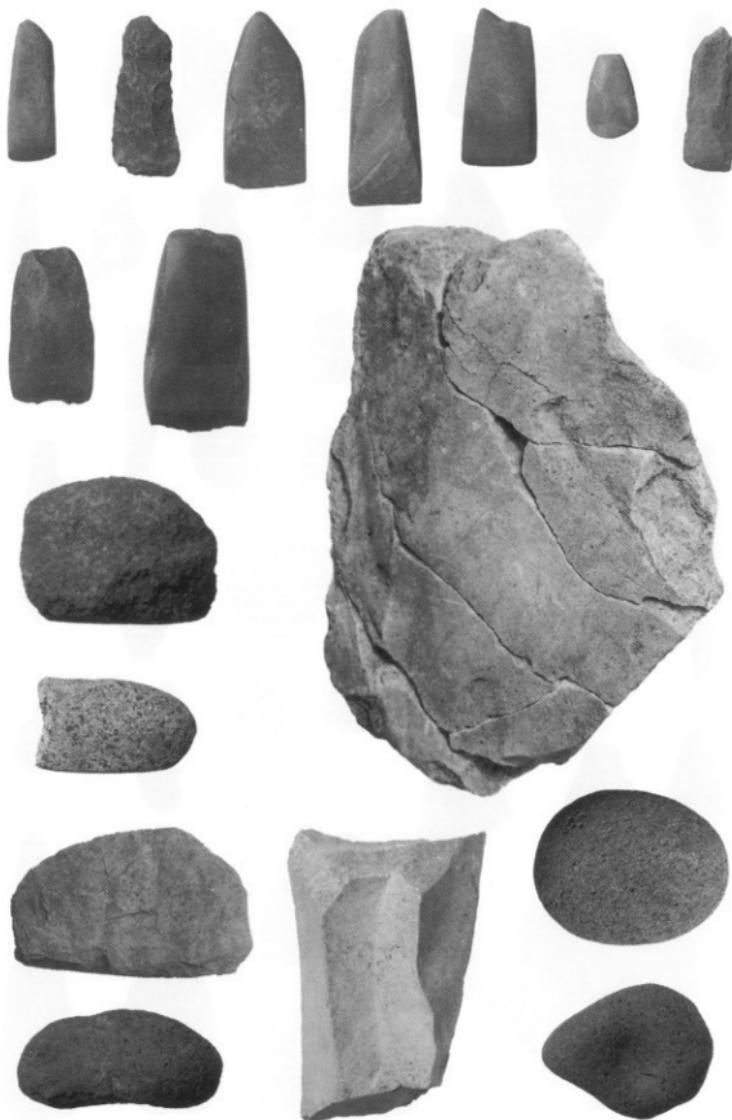
包含层出土石器 (1)



包含層出土石器（2）



包含層出土石器（3）



包含層出土石器（4）



包含層出土石器（5）

青苗日遺跡

～萬德寺再建に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書～

1999年3月発行

発行 奥尻町教育委員会
北海道奥尻郡奥尻町字奥尻317番地地先
☎ 01397 (2) 3890

印刷 梶長門出版社 印刷部
北海道函館市日乃出町11番13号
☎ 0138 (52) 2461
